ISSN 1341-6952

東北大学埋蔵文化財調査年報19

第4分冊

仙台城跡二の丸北方武家屋敷地区第7地点の調査
出土遺物3〈その他の遺物〉

東北大学埋蔵文化財調査室
2008

東北大学埋蔵文化財調査年報19

第4分冊

仙台城跡二の丸北方武家屋敷地区第7地点の調査
出土遺物3〈その他の遺物〉

東北大学埋蔵文化財調査室
2008

1．武家屋敷地区第７地点　２号遺構出土漆器椀

2．武家屋敷地区第７地点　２号遺構出土漆器椀

3．武家屋敷地区第７地点　２号遺構出土下駄

4．武家屋敷地区第７地点出土漆器皿

5．武家屋敷地区第７地点出土駒形木製品

6．武家屋敷地区第７地点出土漆塗製品

7．武家屋敷地区第７地点出土漆塗製品

例　言

1．本書は、東北大学構内において、東北大学埋蔵文化財調査研究センターが2001年度に行った遺跡調査、ならびに研究成果をまとめた調査年報19の、第４分冊である。

2．報告書の紙幅の関係から、年報19は５分冊に分けて刊行する。本書は、その第４分冊である。本書には、仙台城跡二の丸北方武家屋敷地区第７地点（BK７）の出土遺物のうち、その他の遺物として、第２分冊・第３分冊に掲載するもの以外の遺物を掲載した。掲載する遺物の種類を列記すると、漆塗製品、木簡や墨書のある木製品以外の木製品、金属製品、石器・石製品、ガラス製品、材質不明の遺物である。

3．整理作業および本書の編集は、阿子島香の指導のもとに、藤沢敦・柴田恵子・高木暢亮が担当した。

4．本文は、柴田恵子が執筆した。英文要旨については、柴田恵子が作成し、阿子島香が校訂した。

5．実測図の作成にあたっては、木製品と古銭以外の金属製品はデジタルトレースで作成した。漆塗製品と石器・石製品は手描きのトレースによって作成した。

6．巻頭カラー図版以外の写真図版の写真撮影は、（有）仙台写真工房に委託した。

7．整理・報告書作成にあたっては、以下の方々や関係機関から御指導・御協力を賜った。
記して感謝申し上げる（敬称略）。
仙台市教育委員会、東北大学大学院文学研究科考古学研究室。

8．出土遺物・調査記録は、東北大学埋蔵文化財調査室で保管・管理している。

凡　例

1．遺物の実測図および写真の縮尺は、遺物の種類に応じて変えている。漆塗製品と木製品は、特に大型のものを除き、縮尺３分の１で掲載した。古銭は等倍、古銭以外の金属製品と石器・石製品は縮尺２分の１で掲載した。実測図には、スケールを付して縮尺を示している。

2．図９～17に掲載したその他の漆塗製品では、一部を除き、黒漆と朱漆の別を、次のようなスクリーントーンで表した。これ以外の実測図中で使用したスクリーントーンは、それぞれの図中において、差し示す内容を提示した。

その他の漆塗製品　黒漆：　　朱漆：

3．引用・参考文献は、巻末にまとめた。また本文中で、『東北大学埋蔵文化財調査年報』を引用する場合は、年報１という形で略記した。

図 目 次

図１　武家屋敷地区第７地点出土漆椀(1) ……13
図２　武家屋敷地区第７地点出土漆椀(2) ……14
図３　武家屋敷地区第７地点出土漆椀(3) ……15
図４　武家屋敷地区第７地点出土漆椀(4) ……16
図５　武家屋敷地区第７地点出土漆椀(5) ……17
図６　武家屋敷地区第７地点出土漆椀(6) ……18
図７　武家屋敷地区第７地点出土漆椀(7) ……19
図８　武家屋敷地区第７地点出土
その他の漆塗製品(1) ……20
図９　武家屋敷地区第７地点出土
その他の漆塗製品(2) ……21
図10　武家屋敷地区第７地点出土
その他の漆塗製品(3) ……22
図11　武家屋敷地区第７地点出土
その他の漆塗製品(4) ……23
図12　武家屋敷地区第７地点出土
その他の漆塗製品(5) ……24
図13　武家屋敷地区第７地点出土
その他の漆塗製品(6) ……25
図14　武家屋敷地区第７地点出土
その他の漆塗製品(7) ……26
図15　武家屋敷地区第７地点出土
その他の漆塗製品(8) ……27
図16　武家屋敷地区第７地点出土
その他の漆塗製品(9) ……28
図17　武家屋敷地区第７地点出土
その他の漆塗製品(10)……29
図18　武家屋敷地区第７地点出土下駄(1) ……30
図19　武家屋敷地区第７地点出土下駄(2) ……31
図20　武家屋敷地区第７地点出土下駄(3) ……32
図21　武家屋敷地区第７地点出土下駄(4) ……33
図22　武家屋敷地区第７地点出土下駄(5) ……34
図23　武家屋敷地区第７地点出土下駄(6) ……35
図24　武家屋敷地区第７地点出土下駄(7) ……36
図25　武家屋敷地区第７地点
出土下駄(8)・曲物 ……37
図26　武家屋敷地区第７地点出土
箸状木製品(1) ……38
図27　武家屋敷地区第７地点出土
箸状木製品(2) ……39
図28　武家屋敷地区第７地点出土桶類(1) ……40
図29　武家屋敷地区第７地点出土桶類(2) ……41
図30　武家屋敷地区第７地点出土桶類(3) ……42
図31　武家屋敷地区第７地点出土
栓・円板状木製品(1) ……43
図32　武家屋敷地区第７地点出土
円板状木製品(2) ……44
図33　武家屋敷地区第７地点出土
円板状木製品(3)・楔 ……45
図34　武家屋敷地区第７地点出土
へら状木製品(1) ……46
図35　武家屋敷地区第７地点出土
へら状木製品(2) ……47
図36　武家屋敷地区第７地点出土
へら状木製品(3)・柄状木製品(1) ……48
図37　武家屋敷地区第７地点出土
柄状木製品(2) ……49
図38　武家屋敷地区第７地点出土鍬 ……50
図39　武家屋敷地区第７地点出土槽・刳物 ……51
図40　武家屋敷地区第７地点出土
その他の木製品(1) ……52
図41　武家屋敷地区第７地点出土
その他の木製品(2) ……53
図42　武家屋敷地区第７地点出土
その他の木製品(3) ……54
図43　武家屋敷地区第７地点出土
その他の木製品(4) ……55
図44　武家屋敷地区第７地点出土
その他の木製品(5) ……56
図45　武家屋敷地区第７地点出土
その他の木製品(6) ……57

図46　武家屋敷地区第７地点出土
その他の木製品(7) ……58
図47　武家屋敷地区第７地点出土
その他の木製品(8) ……59
図48　武家屋敷地区第７地点出土
その他の木製品(9) ……60
図49　武家屋敷地区第７地点出土竹製品 ……61
図50　武家屋敷地区第７地点出土古銭(1) ……62
図51　武家屋敷地区第７地点出土古銭(2) ……63
図52　武家屋敷地区第７地点出土古銭(3) ……64
図53　武家屋敷地区第７地点出土煙管 ……65
図54　武家屋敷地区第７地点出土
その他の金属製品(1) ……66
図55　武家屋敷地区第７地点出土
その他の金属製品(2) ……67
図56　武家屋敷地区第７地点出土
その他の金属製品(3) ……68
図57　武家屋敷地区第７地点出土
石器・石製品(1) ……69
図58　武家屋敷地区第７地点出土石製品(2) ……70

表　目　次

表１　武家屋敷地区第７地点出土
漆塗製品・木製品集計表(1) ……71
表２　武家屋敷地区第７地点出土
漆塗製品・木製品集計表(2) ……72
表３　武家屋敷地区第７地点出土
漆塗製品・木製品集計表(3) ……73
表４　武家屋敷地区第７地点出土
その他の遺物集計表(1) ……74
表５　武家屋敷地区第７地点出土
その他の遺物集計表(2) ……75
表６　武家屋敷地区第７地点出土
漆椀観察表(1) ……76
表７　武家屋敷地区第７地点出土
漆椀観察表(2) ……77
表８　武家屋敷地区第７地点出土
その他の漆塗製品観察表 ……78
表９　武家屋敷地区第７地点出土下駄観察表 ……79
表10　武家屋敷地区第７地点出土曲物観察表 ……80
表11　武家屋敷地区第７地点出土
箸状木製品観察表 ……80
表12　武家屋敷地区第７地点出土桶類観察表 ……81
表13　武家屋敷地区第７地点出土栓観察表 ……81
表14　武家屋敷地区第７地点出土
円板状木製品観察表 ……82
表15　武家屋敷地区第７地点出土
へら状木製品観察表 ……82
表16　武家屋敷地区第７地点出土楔観察表 ……83
表17　武家屋敷地区第７地点出土
柄状木製品観察表 ……83
表18　武家屋敷地区第７地点出土竹製品観察表 ……83
表19　武家屋敷地区第７地点出土
その他の木製品観察表(1) ……84
表20　武家屋敷地区第７地点出土
その他の木製品観察表(2) ……85
表21　武家屋敷地区第７地点出土
古銭観察表(1) ……86
表22　武家屋敷地区第７地点出土
古銭観察表(2) ……87
表23　武家屋敷地区第７地点出土
煙管雁首観察表 ……88
表24　武家屋敷地区第７地点出土
煙管吸口観察表 ……88
表25　武家屋敷地区第７地点出土
その他の銅製品観察表 ……88
表26　武家屋敷地区第７地点出土
その他の鉄製品観察表 ……89
表27　武家屋敷地区第７地点出土
その他の鉛製品観察表 ……89
表28　武家屋敷地区第７地点出土
石器・石製品観察表 ……89
表29　武家屋敷地区第７地点出土
その他の遺物観察表 ……89

図 版 目 次

図版１　武家屋敷地区第７地点出土漆椀(1) ……97
図版２　武家屋敷地区第７地点出土漆椀(2) ……98
図版３　武家屋敷地区第７地点出土漆椀(3) ……99
図版４　武家屋敷地区第７地点出土漆椀(4) ……100
図版５　武家屋敷地区第７地点出土漆椀(5) ……101
図版６　武家屋敷地区第７地点出土漆椀(6) ……102
図版７　武家屋敷地区第７地点出土漆椀(7) ……103
図版８　武家屋敷地区第７地点出土漆椀(8) ……104
図版９　武家屋敷地区第７地点出土漆椀(9) ……105
図版10　武家屋敷地区第７地点出土
その他の漆塗製品(1) ……106
図版11　武家屋敷地区第７地点出土
その他の漆塗製品(2) ……107
図版12　武家屋敷地区第７地点出土
その他の漆塗製品(3) ……108
図版13　武家屋敷地区第７地点出土
その他の漆塗製品(4) ……109
図版14　武家屋敷地区第７地点出土
その他の漆塗製品(5) ……110
図版15　武家屋敷地区第７地点出土
その他の漆塗製品(6) ……111
図版16　武家屋敷地区第７地点出土
その他の漆塗製品(7) ……112
図版17　武家屋敷地区第７地点出土
その他の漆塗製品(8) ……113
図版18　武家屋敷地区第７地点出土下駄(1) ……114
図版19　武家屋敷地区第７地点出土下駄(2) ……115
図版20　武家屋敷地区第７地点出土下駄(3) ……116
図版21　武家屋敷地区第７地点出土下駄(4) ……117
図版22　武家屋敷地区第７地点出土下駄(5) ……118
図版23　武家屋敷地区第７地点出土下駄(6) ……119
図版24　武家屋敷地区第７地点出土
曲物・箸状木製品(1) ……120
図版25　武家屋敷地区第７地点出土
箸状木製品(2) ……121
図版26　武家屋敷地区第７地点出土桶類(1) ……122
図版27　武家屋敷地区第７地点出土桶類(2) ……123
図版28　武家屋敷地区第７地点出土
桶類(3)・栓 ……124
図版29　武家屋敷地区第７地点出土
円板状木製品(1) ……125
図版30　武家屋敷地区第７地点出土
円板状木製品(2)・楔 ……126
図版31　武家屋敷地区第７地点出土
へら状木製品(1) ……127
図版32　武家屋敷地区第７地点出土
へら状木製品(2) ……128
図版33　武家屋敷地区第７地点出土
柄状木製品 ……129
図版34　武家屋敷地区第７地点出土鍬 ……130
図版35　武家屋敷地区第７地点出土槽・刳物 ……131
図版36　武家屋敷地区第７地点出土
その他の木製品(1) ……132
図版37　武家屋敷地区第７地点出土
その他の木製品(2) ……133
図版38　武家屋敷地区第７地点出土
その他の木製品(3) ……134
図版39　武家屋敷地区第７地点出土
その他の木製品(4) ……135
図版40　武家屋敷地区第７地点出土
その他の木製品(5) ……136
図版41　武家屋敷地区第７地点出土
その他の木製品(6) ……137
図版42　武家屋敷地区第７地点出土
その他の木製品(7)・竹製品 ……138
図版43　武家屋敷地区第７地点出土古銭(1) ……139
図版44　武家屋敷地区第７地点出土古銭(2) ……140
図版45　武家屋敷地区第７地点出土古銭(3) ……141
図版46　武家屋敷地区第７地点出土古銭(4)・
煙管・その他の金属製品(1) ……142
図版47　武家屋敷地区第７地点出土
その他の金属製品(2) ……143
図版48　武家屋敷地区第７地点出土
その他の金属製品(3) ……144

図版49　武家屋敷地区第７地点出土
石器・石製品(1) ・・・・・145
図版50　武家屋敷地区第７地点出土
石製品(2)・その他の遺物 ・・・・・146

第Ⅲ章　仙台城跡二の丸北方武家屋敷地区第７地点（BK７）の調査

７．出土遺物３〈その他の遺物〉

(1) 漆塗製品・木製品（図１～49、表１～３・６～20、図版１～42）

①整理作業と資料化の方法

作業の便宜上、木製品のうち、漆塗りのものを漆塗製品として集計している。また、竹製品についても、ここで一括して扱うこととし、木製品に後続した登録番号を付している。

漆塗製品、木製品、竹製品は、水洗洗浄の後、それぞれの種類に分類した。出土量が非常に多いことから、すべてのものを水浸け状態で保管することができないため、加工木、木羽、樹皮については、分類後、ゆっくりと自然乾燥させて保管することとした。他のものについては、整理作業が終わるまで、水浸け状態で保管した。

集計にあたっては、加工木、木羽、樹皮、不明木製品を除く、すべての漆塗製品・木製品で、１点ごとに、計測値やその特徴を記した観察表を作成した。集計は、その観察表をもとにおこなっている。

箸状木製品は完形、一端が破損しているもの、両端が破損しているものに分類して点数を集計した。本来であれば、十分な接合を行った後に集計するべきであるが、箸状木製品は約３万点弱の点数があるため、接合関係を確認することが困難であり、このような分類を試みた。下駄のうち、差歯下駄では、台部のみ、もしくは差歯部分のみの出土であっても、それぞれを１点として集計している。桶類の側板は、個体数ではなく、接合するものであっても板一枚ずつの数を集計した。天板と底板については、区別せずに集計している。曲物の側板は、破損している場合が多く、一部だけ残存しているものも１点として集計している。部材としたものは、何らかの木製品の一部品であるが、明確でないものを示している。

加工木は、製品にならない加工途中の木材や、加工で出た木屑など、何らかの加工の痕跡があるものを示している。また、今回の調査では、柱や杭がほとんど出土していないことから、これらについても加工木として集計している。

木羽は、屋根を葺いた板材であるが、非常に薄い木材であるため、破損しやすく、個体数を把握することが困難であった。そのため、集計では、乾燥後の重量を計測している。樹皮については、完形か破損したものかを形状から判断することが困難であるため、破損・完形に関わらず、１片を１点として集計した。そのため、集計表（表１～３）の合計点数は、木羽と樹皮を含めず、それ以外での合計点数を示している。

木製品については、図化したものは、実測図の作成、写真撮影などの整理作業が終了後、図化しなかったものについては、分類・集計の作業が終わった後、順次、糖アルコール法によって、保存処理を行っている。漆塗製品については、整理作業が終了後、水浸け状態のまま、冷蔵庫にて保管している。

今回の資料については、実測図・写真を掲載するものについて、登録番号を付している。登録番号は、漆塗製品にはWL－001から始まる通し番号を付している。木製品については、W－049から始まる通し番号を付している。図、図版では、WL、Wの表現は省略した。なお、木製品のうち、木簡と墨書ある木製品については、年報19第３分冊にまとめて掲載している。本分冊に掲載した木製品の集計表（表１～３）にも、木簡・墨書ある木製品の点数は含まれていない。また、木製品の登録番号は、墨書ある木製品に継続して番号を付したため、W－049から始まっている。

②漆塗製品・木製品の出土傾向

漆塗製品・木製品は、Ⅱ期に属する２号遺構からの出土量が圧倒的に多い。２号遺構に隣接し、同じくⅡ期に属する１号遺構、24号土坑からも、多くの漆塗製品・木製品が出土しているが、２号遺構はその量をはるかに超

えている。また、量だけでなく、さまざまな種類の漆塗製品・木製品がみられることも特徴である。2号遺構は、埋土の場所によっては、箸などの木製品がびっしりと詰まり、土壌よりも木製品の量の方が多いような状況もみられた。

2号遺構と、2号遺構の西側に接する24号土坑は、ほぼ同時にごみ穴として使用されていたと考えられる。2号遺構、24号土坑は、漆塗製品・木製品だけでなく、陶磁器や木簡なども多数出土している遺構である。これらの遺構からは、廃材のような加工木も出土しているが、何らかの製品となる木製品の出土量が多いことが注目される。

他の遺構では、Ⅱ期の4号土坑、15号土坑、18号土坑、28号土坑、29号土坑、27号溝、1号井戸、4号井戸、Ⅲ期の2号土坑、池状遺構新段階などからも、ややまとまった出土がみられる。

③漆塗製品

【椀・蓋】(図1～7、表6・7、図版1～9)

漆塗製品の椀とその蓋は、Ⅱ期の遺構からの出土が多く、1号遺構、2号遺構、4号土坑、18号土坑、24号土坑などからまとまって出土している。中でも2号遺構からは167点と、非常に多くの漆椀が出土している。他の時期では、Ⅰ期では14号土坑、30号土坑、12号溝から各1点ずつ、Ⅲ期では2号土坑から4点が出土しているのみである。

漆椀と蓋については、残存状態のよいものを中心に図化をおこなっている。また、残存状態がよくないものでも、特徴的な文様については、写真を提示するなど、可能な限り図化して提示している。漆塗製品の椀や蓋は、破片や漆膜のみのものも含めて、276点が出土した。そのうち、126点を図化している(WL－1～126)。全体として、埋土の圧力によって、器形が歪んでいるものが多い。そのため、器形の特徴や変化を捉えることが困難なものも少なくない。

文様では、外面には家紋のみられるものが多い(WL－10、11、43、45、48～56、58～60、62、65～68、70～74、79～81、87、90、95、98、101、103～105、108、109、111、112、114、116、120、123)。残存状況の悪いものでは不確定のものも含まれるが、家紋は漆椀の3ヶ所に配されており、漆椀に配される家紋の基本的な配置であろうと考えられる。家紋は、一見すると同じように見えるものがいくつか確認された。例えば、WL－52、59、71、72の三つ柏や、WL－49、66の芦、WL－50、56、98の花菱、WL－67、101、105、116の三つ巴、WL－54、70の亀甲と菱などである。これらは同じ家紋であるが、家紋の葉や花の形など、細部の表現に違いがみられる場合が多かった。

その他の文様では、菊花文(WL－42)、格子に桜花文(WL－57)、扇文(WL－63、64、91)、紅葉文(WL－69)などがみられる。家紋や文様があるものは、地色が黒色で、朱色、金色、銀色などで文様が描かれている場合が多いが、地色が茶や黒茶のもの(WL－117、120)などもみられる。

WL－7～9は、内面が黒色で、見込みに朱色の丸文が共通して描かれている。WL－9についてのみ、外面に朱色で2条の線の文様が描かれている。2条の線による文様は、WL－12にもみられるが、見込みに丸文はなく、朱色の地に黒色の線であり、高台内には線が延びないことなど、様相は異なる。

高台内の銘は、黒色の地色に、朱色や金色で銘が書かれたものが多い(WL－2、3、10～12、14、16～21、23～26、28～32、43、45、79、82～85、93、96、97、99、105、109、119、124、125)。また、朱色の地色に、黒色で書かれた銘などもみられるが、点数は比較的少ない(WL－13、22、27)。高台内には、銘以外にも、WL－69、114のように文様が描かれる場合もある。WL－69では、高台内に、外面と同様の紅葉の文様が描かれている。

外面の地色が朱色であるものは、文様がないものに多い傾向がみられる。また、内外面とも朱色であっても、口唇部のみが黒色になるもの(WL－2、13、14、23、24、29～31、33)なども存在する。

椀や蓋の中には、底部に穿孔があるものが存在した（WL－44～47、64、115）。特にWL－44では、底部の穿孔に箸が刺さった状態で出土している。また、WL－46では口縁部に、WL－115では体部にも穿孔がみられる。

【その他の漆塗製品】（図８～17、表８、図版10～17）

その他の漆塗製品は、皿、曲物、桶の天板や底板、側板、箸状木製品、栓、へら状製品、杓子、しゃもじ、折敷、箱状製品など、様々な製品が出土している。また、何らかの部材に漆塗りが認められるものも多数出土している。

その他の漆塗製品は、２号遺構、24号土坑などのⅡ期の遺構からの出土が多く、様々な漆塗製品が出土している。Ⅱ期の遺構では、他にも１号遺構、15号土坑、18号土坑、28号土坑、27号溝、１号井戸などからも出土がみられるが、２号遺構、24号土坑に比べると量・種類ともに少ない。他の時期では、Ⅲ期の２号土坑から、いくつかの漆塗製品が出土している。Ⅰ期、Ⅳ期の遺構では、その他の漆塗製品がまとまって出土している遺構はみられない。

その他の漆塗製品については、残存状況がよく、種類がわかるものを中心に図化している。箱状製品や部材などは、類似した形状のものが多く、残存状況がよいものすべてを図化することができないため、その中から代表的なものを選択して、図化している（WL－127～186）。

皿は、11点出土しており、そのうち4点を図化した（WL－127～130）。WL－127は、比較的大型の皿である。外面黒色、内面朱色の漆が塗られており、内面には海老の文様が描かれている。WL－128は破片であるが、内外面ともに朱色で、菊花の文様が描かれている。WL－129は、内面の中心が朱色、その外側が黒色に塗り分けられている。

曲物は、９点を図化した（WL－132～140）。WL－132・133は、曲物の天板もしくは底板で、内外面ともに黒色で、一面には朱色で「□部や」あるいは「□部屋」の文字がみられる。WL－133については、もう一面にも文字がみられるが、不明確であった。WL－136も同様に、内外面ともに黒色で、両面に朱色で文字が書かれているが、文字は不明確である。他の曲物では、天板、底板、側板のみが残存する状態であるが、いずれも内外面ともに黒色の漆が塗られている。WL－135は、内面の下部0.5cm程度の部分は漆が塗られておらず、底板が収まる部分と考えられる。

WL－141・142は、円板状木製品である。内外面に黒漆が塗られている。

桶は、天板４点を図化した（WL－143～146）。WL－143、145は、内外面ともに黒色である。WL－145では、天板の側面にも、わずかに漆が塗られていた痕跡が認められる。WL－144は、外面が朱色、内面は黒色である。WL－146は、外面にのみ黒色の漆が塗られている。WL－143～145は、漆が塗られていない箇所が線状に認められ、取手などの部品が付属していた部分と考えられる。図化していないが、桶の側板についても漆塗りのものが6点出土している。いずれも、側板の内外面ともに黒色である。外面の箍の位置には、漆が塗られていない。

WL－147・148は、へら状製品である。WL－147は、漆が塗られた後でへら状に削られた痕跡が観察されることから、何らかの漆塗製品を再加工して作られた可能性が考えられる。WL－149は杓子で、外面に黒色の漆が塗られているが、杓子の柄が付く部分には漆がみられない。WL－150は栓である。側面の一部に黒漆が残存している。WL－151はしゃもじで、内面朱色、外面黒色である。

折敷は14点を図化した（WL－152～165）。破損し、一部品が残るだけのものが多く、全体の形状がわかるものはなかった。側板や脚などの他の部品と組み合うと考えられる箇所には、漆が塗られておらず、木釘や釘穴などが観察される。WL－155、164は内面が朱色、外面が黒色である。WL－157は内外面ともに朱色である。これら以外は、黒色の漆が塗られている。WL－152は、漆が削られたような痕跡が観察され、漆塗りの折敷を再加工したものと考えられる。WL－158は、外面に無数の傷が観察される。

箱状製品は、５点を図化した（WL－166～170）。WL－166は、部材が組み合って、箱形の形状を示している。

他は箱状製品の一部である。WL－166は外面のみ黒色である。それ以外のものは、内外面ともに黒色であるが、他の部品と組み合うと考えられる箇所には漆はみられない。

WL－171～180は、何らかの部材に漆塗りが認められるものである。WL－173は、桶の天板や蓋の摘み部分と推測されるが、詳細は不明である。

④木製品・竹製品

【下駄】（図18～25、表９、図版18～23）

下駄は、270点出土しており、45点を図化した（W－49～94）。出土点数が多いため、残存状態がよいものを中心に、代表的な形状のものに加えて、台部や歯の形状に特徴があるもの、刻みや焼印が認められるものなどを選択して、図化している。Ⅱ期の２号遺構からの出土が圧倒的に多い。他では、同じくⅡ期の１号遺構、18号土坑、24号土坑、28号土坑、Ⅲ期の２号土坑からも比較的まとまった出土がみられる。Ⅰ期、Ⅳ期の遺構からは出土していない。

下駄の分類は、次のようにおこなった。大きくは、一木作りで台部と歯を作り出した連歯下駄、別材の台と歯を組み合わせた差歯下駄、一木作りで歯を持たない無歯下駄の３つに分類した。連歯下駄は、前後の歯が独立するもの（W－49）と、台部から歯が必ずしも独立しないもの（W－77、87）がみられ、後者を刳り下駄とした。差歯下駄は、台部にある枘穴に歯を差し込んで接続する露卯差歯下駄と、枘穴がなく、台部裏の溝に歯を接続する陰卯差歯下駄がみられる。

連歯下駄では、丸型連歯下駄（W－49、71、73～75、89）と、角型連歯下駄（W－55～70、83、85、88）がみられる。丸型連歯下駄は全体で28点、角型連歯下駄は79点出土しており、角型連歯下駄の方が多い。また、残存状態により、丸型・角型の判別ができない連歯下駄が、他に16点確認される。歯が磨り減り、比較的低くなったものが多く、歯の凸部がほとんどない場合もみられる。横緒孔が後歯の前になるもの（W－67、69、70、88）と、後になるもの（W－49、55～66、68、71、73、83、85）とが確認される。また、歯の部分に鉄釘が残存するものも、いくつか確認される（W－58～60、63、73）。W－61は、裏側に焼印が確認される。また、W－62、64～67は、表側に刻みによる目印のようなものが確認される。W－62は、後端部分を切断し、意図的に短くしたような痕跡がみられる。W－85は、前後の歯の間が丸みを持って作り出される形状をしている。W－89は、一部に畳表が残存している。

また、W－72、76～79、87、94は、連歯下駄の中でも「刳り下駄」と呼ばれるものである。前後の歯は必ずしも独立せず、台端部から続いた形状をするものである。丸型刳り下駄（W－72、76、87）と、角型刳り下駄（W－77～79、94）がみられる。丸型刳り下駄は全体で３点、角型刳り下駄は全体で８点出土している。歯の作り方には、様々な形状がみられる。W－76～79、94は、前後の台端部から連続して歯が作られている。さらに、W－94は、前の歯がV字状に削り出されている。W－87は、後方の歯は独立するが、前方の歯は台部と連続しており、台端部から斜めに削られるものである。W－77～79は、前方にある孔に木材が残存している。鼻緒孔はなく、この木材に指を挟んで履かれたものと考えられる。刳り下駄は、２号遺構からの出土が多いが、15号土坑（W－87）、２号土坑からも出土している。

W－51～54、84、86は露卯差歯下駄である。下駄の差歯が抜けた状態で出土する場合も多く、差歯部分のみの出土も多くみられる。差歯下駄では、台部と差歯部分が分離して出土した場合、同一個体を識別することが困難なことも多い。そのため、分離し、同一固体を識別できないものについては、それぞれを１点として集計している。露卯差歯下駄の台部分（差歯が残存するものを含む）は44点、差歯部分のみのものは74点出土している。なお、差歯部分の点数については、残存状態によっては、差歯か、連歯下駄の歯部分かの判断がつかないものもわずかにみられるが、この点数に含まれている。W－51、84、86は角型、W－52～54は丸型に分類される。台部の

歯が差し込まれる部分の形状は、四角の孔が１つみられるもの（W－51、52、54、84、86）と、四角の小孔が３つみられるもの（W－53）との違いが認められる。図化しなかったものも含めて、前者の１つ孔のものが多い傾向にある。Ⅱ期の遺構から出土した差歯下駄は、すべて露卯差歯下駄であった。Ⅲ期の池状遺構から出土したものについては、露卯差歯下駄である。

W－93は陰卯差歯下駄である。陰卯差歯下駄は、この１点のみの出土である。Ⅲ期の２号土坑から出土している。

W－50、80～82、90～92は無歯下駄である。W－50は無歯中切下駄である。無歯中切下駄は、全体でこの１点のみの出土である。表側には釘穴がみられる。側面には１条の溝が刻まれている。W－80～82は、台が一枚板で作られており、表面や裏面に鉄釘・釘穴が多数みられる。このような無歯下駄は、全体で10点出土している。Ⅱ期では１号遺構、２号遺構、24号土坑、Ⅲ期では２号土坑から出土している。W－90～92は、「草履下駄」と呼ばれる形状のもので、底面の形状は、前方と中央の左右に刳り込みをもつものである。W－92は、畳表が残存している。この畳表は非常に脆弱であったため、図化することができず、写真のみの提示とした。このような無歯下駄は全体で６点出土しており、いずれもⅢ期の２号土坑からの出土である。

下駄全体を通して、表側には、使用による指の跡と考えられる凹みがみられる場合が多い。また、底面には小石が付着しているものも多くみられる。多数出土している下駄のうち、形状や大きさなどが似ており、左右一揃いかと推測されるものもわずかにみられたが、確定できるものはなかった。

【曲物】（図25、表10、図版24）

曲物は、70点出土している。そのほとんどが、２号遺構からの出土である。曲物の側板は、破損している場合が多く、同一個体を判断することが難しいため、一部だけ残存しているものも１点として集計している。そのため、実際の個体数は、これより少なくなるものと考えられる。曲物は、残存状態のよい６点を図化した（W－95～100）。

W－95～99は、天板（底板）と側板ともに残存している。W－95は、四角の小孔が穿たれ、小孔の脇には樹皮製の綴じ紐が付属している。その対角線上にも同様の小孔と樹皮がみられる。またW－100（図版24－100）には、四角の小孔の他に、内部に樹皮製の紐によって付けられた「こけし」状の部品が確認される。これらは、曲物の中でも柄杓と考えられる。この四角の小孔からは、柄杓の柄が差し込まれたものと考えられる。柄の先端は、内部でW－100のような部品に接続される場合と、W－95のように内部の部品はなく、対角線上の側板に貫通して、樹皮製の紐などで固定される場合とがある（岩井宏實1994）。柄杓の柄と考えられるものは、後述の柄状木製品にまとめている（W－219～227）。柄杓内部の部品についても、その他の木製品としてまとめている（W－276）。

【箸状木製品】（図26・27、表11、図版24・25）

箸状木製品は、直径が５～6mm程度の箸状の形態をしたものをまとめた。箸状木製品は、両端が残存するもの（完形）5416点、一端が欠損したもの14320点、両端が欠損したもの9213点が出土している。１号遺構、２号遺構、24号土坑からの出土が多いが、中でも２号遺構が圧倒的に多い。箸状木製品は、先端形状や断面形状の特徴を表わしている代表的なものを選択して、39点を図化した（W－101～139）。

箸状木製品は、先端の形状により、A～Fに分類される。Aは特に加工を加えず、切断面を残す形状のものである（W－101）。Bは、先細に作り出すが、切断面を残すものである（W－119下端）。Cは、切断面を残さないほど先端を尖らせたものである（W－121下端）。Dは、先端をへら状に作り出すものである（W－127上端）。Eは、先端を片側だけ削って尖らせたものである（W－125、126下端）。Fは、これら以外で特殊な形状のものをまとめたものである（W－128上端）。表11に示した観察表では、両端の形状を組み合わせて、AAやACのように示している。

先端形状で圧倒的に多いのは、W－101～104のようなAAの形状である。一端が尖る形状は、削り出しの形状

によってB～Eに分類されるが、W－105やW－109は、その削り出す途中の状態のものと考えられる。また、W－127～129、W－134～136のように、両端の形状が異なるものもみられる。

箸状木製品の断面の形状では、円形のもの、略円形のもの、角状のものなどがみられる。断面が略円形で、面取りの痕跡が残るものが多い。中には、W－107、W－108のように、面取りの痕跡がなくなるほど丁寧に表面が調整されているものもみられるが、量はごく少ない。また、W－116のように、断面角状のものもみられるが、これも量的には少ない。

箸状木製品の中には、先端が焦げているものも比較的多く存在する。中には、先端形状がわからなくなるくらい焦げているものもみられる。これらについては、食事用の箸だけではなく、調理用具などとして使われた可能性も考えられる。また、先端が尖るものの中には、箸として使うには先端が尖りすぎているものもみられる（W－134）。これらについては、食事用の箸ではなく、例えば串として料理に使用したものなどの可能性も考えられる。

【桶類】（図28～30、表12、図版26～28）

桶類の側板は、破損すると側板がばらばらになるため、完形品でない限り個体数を把握することは困難である。そのため、今回の集計では個体数ではなく、接合するものであっても側板一枚ずつの数を集計した。天板と底板については、判断の困難なものも存在するため、天板もしくは底板として区別せずに集計している。天板もしくは底板が41点、側板は147点出土している。Ⅱ期の２号遺構からの出土が最も多い。同じくⅡ期の遺構では18号土坑、24号土坑、28号土坑から、Ⅲ期の遺構では２号土坑から、比較的多くの桶類が出土している。側板については、焼印が認められるものや、取手部分など特殊なものについて図化している。天板もしくは底板については、残存状況がよいもの、焼印のあるもの、孔を有するなどの特徴があるものを掲載した（W－140～154）。

天板あるいは底板では、数枚の板材を釘などでつなぎ合わせて作られているものが多くみられる。接合部には木釘、鉄釘が残存している場合や、釘穴がみられる場合などが確認される。数枚の板材を組み合わせた天板・底板は、比較的径の大きいものに多いようである。天板・底板は、完形品よりも、接合部で分離し、一部材という状態での出土が多い。径の小さいものでは、一枚板を円形に加工している場合もみられる。W－142、144、149は、栓をするための円形の孔がみられる。W－147では、孔に栓が残った状態で出土している。W－146は、底板と各側板が分離した状態で出土している。底板、側板のいずれも２号遺構埋土2b層から出土しており、側板や底板の形状や、箍や内面の付着物の痕跡が類似している点などからも、同一個体であろうと考えられる。W－150は、桶埋設遺構に、ほぼ完形の状態で埋設されていたものである。

側板では、「富」あるいは「冨」の文字の焼印が付けられたものがみられる（W－151・152）。この２点以外に、同様に「富」、「冨」の焼印がみられる側板は３点確認されている。いずれも２号土坑からの出土である。これらは、焼印の文字や箍の痕跡が組み合うものはなく、同一個体ではなく、いずれも別々の桶ではないかと考えられる。W－153は、側板の上側に孔がみられ、桶の持ち手部分になるのではないかと推測される。W－154は、上端が波状の形状をしており、被熱の痕跡が認められる。

【栓】（図31、表13、図版28）

栓は、46点出土しており、そのうち代表的なものを選択して、17点を図化した（W－155～171）。ほとんどがⅡ期の２号遺構からの出土である。

栓は、様々な形状がみられた。最も多いのは、W－155～160、162・163のように、下端がやや細くなる円錐台のものである。栓の長さや太さなどは様々である。W－156のように比較的短いもの、W－158のように細めのもの、W－163のように上端と下端の径にほとんど差がないものもみられる。W－160は、上方は断面が四角形であるが、下方は略円形に削られている。

W－167～169、171は、逆L字状の形状をしている。長さや太さなどは一様ではないが、このような栓は計６点

出土している。

その他の栓では、それぞれ１、２点程度であるが、多様な形状がみられる。W－161は、差し込む部分が一段細くなる形状である。W－164は、断面が四角形の形状を示し、上端より下端が細くなるように削られている。W－165は、厚みのある「鍵」のような形状をしている。W－166、170は、茸状の形状である。

【円板状木製品】（図31～33、表14、図版29・30）

平面が円形を呈する木製品で、小型のものや、桶類や曲物の天板・底板と断定できないものを、円板状木製品としてまとまた。そのため、円板状木製品には、様々な製品が含まれていると思われる。比較的大きいものでは、曲物、桶類などの天板や底板の可能性のあるものが含まれている。小さいものでは、提灯の上下両端の板などが含まれていると考えられる。合計157点出土しており、特徴的なものを中心に、19点を図化した（W－172～190）。

円板状木製品は、Ⅱ期の２号遺構から92点と最も多く出土している。また、27号溝からも36点と、比較的多くが出土している。他では、Ⅱ期の１号遺構、４号土坑、15号土坑、24号土坑、Ⅲ期の２号土坑などからも、数点ずつの出土がみられる。

大きさは様々で、径３cm程度のものから、径25cm程度のものまでみられる。

円板状木製品では、中央に孔が確認される場合が多い。W－173～175、177～179、186・187には、中央に小孔がみられる。また、W－173・174、177、187、189には紐状の樹皮が通されている。この紐状の樹皮は、W－189のように円板の中心にある場合と、W－173・174、177、187のように中心から外れている場合とがみられる。

鉄釘や木釘が残存するものもいくつか確認された。W－176は、鉄釘が刺さった状態で残存している。W－180は側面に木釘が残存しており、W－181、185は側面に木釘と釘穴が残存している。W－183には鉄釘と釘穴があり、片面には木材が接合していたと考えられる痕跡がみられる。

円板の表面には、線刻が観察されるものがみられる。W－176は片面には１条の線刻が確認される。W－187も片面に刻みがみられる。W－179は、片面に、中心を同じくする四角形が５条重なって刻まれている。また、W－186は、側面の円周上に溝状の刻みがある。

その他、特徴的なものとしては、W－172は円形の中央部に焼印が認められる。W－175は、片面に無数の傷がみられる。W－190は、側面に面取り加工のような痕跡がみられる。

【楔】（図33、表16、図版30）

楔は37点出土している。そのうち、代表的な形状のものを選択し、10点を図化した（W－191～200）。２号遺構、15号土坑、24号土坑、27号溝から出土しているのみである。２号遺構からの出土が最も多く、24号土坑からも比較的多く出土している。他は数点ずつの出土である。

楔は、様々な大きさのものが出土している。小さいものでは、長さ4.6cm（W－198）、大きいものでは長さ20.5cmのもの（W－199）が確認される。また、W－193、197のように、幅が広く薄手のものなどもみられる。楔は、農耕具や建具など、様々なものの固定に使用されていたと考えられ、固定するものの違いによって多様な大きさがみられるものと推測される。

【へら状木製品】（図34～36、表15、図版31・32）

へら状木製品としたものは、一端をへら状に作り出した木製品をまとめている。全体で90点出土している。そのうち、残存状態がよく、代表的な形状のものを中心に、18点を図化した（W－201～218）。Ⅱ期の２号遺構と24号土坑からの出土が大半である。

へら状木製品は、大まかな形態の違いによってＡ～Ｃの３種類に分類される。Ａは、厚さ0.2～0.4cm程度の板材の一端を削ってへら状に加工したものである（W－201～206、216・217）。もう一方の持ち手側にあたる端は、持ちやすい程度にやや細く加工される場合が多い。また、持ち手側に孔が穿たれる場合もみられる（W－206、217）。

Ｂは、持ち手部分が柄状に伸び、全体的に細長い形態をしたものである（Ｗ－207～213・215）。へら部分が、片側に張り出すもの（Ｗ－207～210、212、215）が多いが、Ｗ－211のようにへら部分が下端全体のものもみられる。へら部分の張り出しは、個々によって違いがみられ、Ｗ－207、212のように丸みを帯びるもの、Ｗ－208・209のように角が付くもの、Ｗ－215のように直線的に伸びるものなどがある。Ｗ－210のように、ナイフ状の形状のものもみられる。

Ｃは、おたま状の形態のものである（Ｗ－214、218）。おたま部分は刳り抜いて作られている。そのため、埋土の圧力などによって破損している場合が多く、図化できるものは少なかった。Ｗ－214のようにおたまに近い形態のものと、へらとの中間的な形態のものとがみられる。Ｗ－218のように、大型のものもみられる。

【柄状木製品】（図36・37、表17、図版33）

柄状の木製品をまとめている。62点出土しており、そのうち大きさや断面形状が代表的なものを中心に、９点を図化した（Ｗ－219～227）。２号遺構からの出土が中心である。

柄状木製品は、形態によりＡ～Ｆの６種類に分類される。Ａ類は、柄の一端が細くなり、断面の形状が長方形のもののうち、比較的大きめのものである（Ｗ－219・220、226）。幅2.5～3.0cm程度、厚さ1.0～1.5cm程度で、長さは40～55cm程度のものが多いが、60cmを超えるものも出土している。細くなる側には釘穴がみられる。釘穴は貫通している場合と貫通していない場合があり、木釘が残存しているものもみられた。全体のうち、21点がＡ類であり、６種類の分類のうち最も多い形態である。

Ｂ類は、一端が細くなる形状はＡと同じであるが、全体的にＡより小さいものである（Ｗ－221・222）。大きさは、幅1.0～2.0cm程度、厚さ0.6～1.2cm程度、長さ25～35cm程度である。大きさ以外の、釘穴などの特徴はＡ類と同じである。17点がＢ類である。

Ｃ類は、一端が細くなり、断面形状が丸みを帯びるもので、比較的大きめのものである（Ｗ－227）。大きさは、幅３cm程度、厚さ2.0～3.0cm程度と、Ａに近い。Ａ、Ｂと同じように、釘穴が確認される。Ｃ類は６点確認された。

Ｄ類は、断面形状が丸みを帯びるもののうち、比較的小さいものである（Ｗ－224・225）。幅、厚さは１cm程度、もしくは１cm以下である。Ｄ類としたもののうち、釘穴が確認されるものはなかったが、破損しているものも多いため断定することは難しい。Ｄ類は、13点みられた。

Ｅ類は、一端が細くなり、断面形状が正方形に近いものである。この形状のものは、あまり大型のものはみられない。幅、厚さは0.9～1.3cm程度である。釘穴はみられない。Ｅ類は、２点確認された。

Ｆ類は、断面形状が長方形であるが、一端が細くならないものである（Ｗ－223）。Ｆ類は、３点みられる。

Ａ、Ｂ、Ｃ類の形態の柄は、柄杓の柄になるものと考えられる。前述のように、曲物の中には、側板に四角の孔がみられるものがあり（図25－95、図版24－95、100）、この孔から柄が差し込まれるものと考えられる。柄は、柄杓の内側で木釘を打って固定される。柄に残る釘穴や木釘は、この痕跡であると推測される。差し込まれた柄の先端は、そのまま対角線上に側板を貫通して、外側で樹皮製の紐によって固定される場合と、柄杓の内側で、Ｗ－100にみられるような部品と接続して固定される場合とがみられる（岩井宏實1994）。用途や柄杓の大きさなどにより、柄にもＡ～Ｃのような大きさの違いがみられるのではないかと推測される。Ｄ、Ｅ、Ｆは、釘穴や木釘の痕跡がないことから、柄杓の柄になるものかは不明である。他の様々な製品の柄である可能性も考えられる。

【その他の木製品】（図38～48、表19・20、図版34～42）

今回の調査では、上記以外にも様々な種類の木製品が出土している（Ｗ－228～305）。それらをまとめて、その他の木製品として、その特徴を述べていく。形状から、何の木製品であるかが推測されるものを中心に図化したが、中には完形品でもどういう用途の木製品かわからないものもあった。それらは不明木製品として、図化している。

その他の木製品は、Ⅱ期の２号遺構から最も多く出土している。２号遺構は、量だけでなく、木製品の種類も様々なものがみられた。形状から何であるかが判明するものだけでなく、部材、加工木、不明木製品なども多数出土している。その他の遺構では、Ⅱ期の１号遺構、15号土坑、24号土坑、Ⅲ期の２号土坑からも、様々な木製品が出土しているが、２号遺構に比べると、量・種類ともに多くはない。

Ｗ－228～230は鍬である。Ｗ－228は、鍬台部分のみの出土である。Ｗ－229は、鍬柄と鍬台が一体で作られている。Ｗ－230は、鍬柄と鍬台部分からなり、楔などで柄を鍬台に固定して使用するものと考えられる。柄は形状から、図の下方部分が鍬台に固定されていたのではないかと推測される。いずれも、鉄製の鍬先が付属するものと考えられるが、鍬先は出土していない。

Ｗ－231～234は、刳物である。大小さまざまな大きさのものがみられるが、木を刳り取って作られた木製容器を示している。Ｗ－231、234は、大型の槽である。Ｗ－232は、形状から、捏ね鉢などの用途が推測される。

Ｗ－236～238は、釣瓶桶と考えられる。Ｗ－236、237は、角状の釣瓶桶に、Ｗ－238は釣瓶桶の持ち手になるものと考えられる。

Ｗ－239・240は、形状からみて、扉の取手などが推測されるが、詳細な用途は不明である。同様の形状のものが、合計８点出土している。上下の端部には、鉄釘が残存している。Ｗ－239では、別の木材が鉄釘で留められた状態で残存している。

Ｗ－241～245は、駒形の木製品である。Ｗ－241は馬の立像である。尾には金属が填め込まれている。Ｗ－242・244は馬の上半身部分を模っている。下部は、他に差し込めるような形状になっている。Ｗ－243は馬の下半身部分のみで、上半身は欠損している。Ｗ－245は、馬の上半身部分のみで、下半身は欠損している。Ｗ－241・242、244・245は、たてがみ部分に孔がみられる。この孔は、何らかのものを差し込んで、たてがみを表現したものと考えられるが、残存していない。Ｗ－241、243、245では、背にあたる部分に木材が差し込まれており、鞍を表現していることが観察される。また、Ｗ－246は、水鳥を模した木製品とみられる。

Ｗ－247～249は、コマ状の木製品である。同様の形状のものが合計６点出土している。Ｗ－250はミニチュアの連歯下駄である。鼻緒部分には穿孔がみられる。Ｗ－251、252は竹とんぼである。竹とんぼは、同様のものが合計10点出土している。Ｗ－253は、羽子板である。持ち手部分は欠損している。

Ｗ－254、255は耳かきである。箸状木製品を再加工して作ったような形状をしている。Ｗ－256は扇子の要部分である。扇子は８点出土しているが、Ｗ－256以外は要が破損し、骨がばらばらになっている。Ｗ－257は団扇である。団扇は、１点のみの出土である。Ｗ－258は物差である。目盛の刻みには墨の痕が観察される。物差は他に竹製のものが出土している（Ｗ－310）。Ｗ－259・260は櫛で、これら２点のみの出土である。いずれも白木の櫛で、装飾はみられない。

Ｗ－261～263は、刷毛である。先端に毛が装着されていたものと考えられるが、すでに欠損している。Ｗ－261・262は、毛を装着する部分が柄に対して垂直である。Ｗ－263は、毛を装着する部分が、柄に対して斜めになっている。Ｗ－264は錐と推測され、内部には金属が残存している。

Ｗ－265～268は、灯明台の一部である。Ｗ－265～267は、灯明皿などを置いて、灯火具として使用したものと推測される。Ｗ－265には煤のような付着物が、266には、炭化の痕跡が観察される。３点とも底面に釘穴がみられることから、下部に軸や台などの付属があるものと考えられる。また、Ｗ－268は、灯明台の底部と考えられる。中心には釘が残存しており、棒状の軸が接続するものと推測される。Ｗ－265～268は、様々な灯火具の中で、「切灯台」と呼ばれるものに形状が類似している（小林克2000）。

Ｗ－269は、砥石台である。汐留遺跡に類例がみられる（小林博範他2003）。Ｗ－271・272は、串状製品としたものである。箸状木製品（Ｗ－101～139）とは、断面形状が異なる。全体で62点みられることから、串状製品として区別した。Ｗ－271・272のように、断面が長方形で、一端は串状に尖り、他端は斜めに加工されている場合

が多い。また、同様の断面形状で、一端は串状に尖り、他端はまっすぐなものや、両端とも尖らないものなどもみられる。

W－273は、折たたみ枕の一部と推測される。合計３点が出土している。同様の形状のものが２つ組み合って、携帯用に折りたためる構造になっていたものと推測される。W－275は、傘の手元ろくろ部分であると考えられる。類似したものは竹製品で出土している（図49－312）。

W－276・277は、柄杓の内部部品で、柄杓の曲物部分と柄を接続するための部品と考えられる。同様のものは合計８点出土しており、W－276の形状のものが多い。図版24－100のように、柄杓に付けられるものと考えられる。

W－282は、棟木を隠すために使われた懸魚と推測される。W－283は、形状から何らかの台座になるものと考えられる。中心には溝があり、その中には四角の枘穴があることから、上部に何らかの部材が組み合うものと考えられる。類似したものは、汐留遺跡において出土している（小林博範他2003）。

W－296は、不明木製品としたものであるが、汐留遺跡（小林博範他2003）において、同様のものが出土しており、糸巻きの可能性も考えられる。W－297は、陽物形木製品と考えられる。墨書ある木製品（年報19第３分冊 図101、図版43）に類似したものがみられるが、W－297には文字の痕跡は確認されなかった。W－299～304は、刻みによって文字や文様が表現されているものである。W－305は、焼け焦げた痕跡が観察され、焼印であろう考えられる。片面には、反転した「寛永通寶」の文字が観察される。裏面にも、明確ではないが、古銭の輪郭と思われる焼印の痕がみられる。

【竹製品】（図49、表18、図版42）

竹製品は、全体で11162点出土している。竹の性質上、繊維方向に割れやすいため、破損し、何であったかは不明のものが多い。また、破損した場合、同一個体を判断することは不可能なため、破片１つを１点として集計しており、不明のものの点数が多くなっている。不明の中には、竹製の柄なども多数含まれていると考えられる。Ⅱ期の１号遺構、２号遺構、15号土坑、18号土坑、24号土坑、Ⅲ期の２号土坑などで出土量が多い。そのうち、残存状態がよく、形状がわかるものを中心に、８点を図化した（W－310～317）。

W－310は物差である。１目盛が１寸を示している。W－312は、傘の手元ろくろ部分である。W－313・314は不明としたが、形状から、何らかの柄になる可能性が考えられる。W－315～317は、編籠である。W－315・316は、竹ひごの状態が類似しているが、W－317はやや様子が異なる。

（2）金属製品（図50～56、表４・５、21～27、図版43～48）

金属製品は、古銭、煙管などの銅製品、釘、火箸などの鉄製品、弾丸などの鉛製品に分類して、集計している（表４、５）。全体的な出土状況では、２層と２号遺構からまとまった出土がみられる。２層では、和釘を主とした鉄製品の出土が多い。２号遺構では、古銭や和釘の出土が多いことに加えて、様々な種類の金属製品が出土している。

図化にあたっては、古銭については、全点を登録し、その特徴を観察表にまとめ、可能な限り図化している。その他の金属製品については、残存状況のよいものや特徴的な形状のものを中心に登録・図化し、観察表にまとめている。

【古銭】（図50～52、表21・22、図版43～46）

古銭は、80点出土している（MC－１～80）。基本層では、２層から８点、3a層から１点が出土している。遺構では、Ⅱ期の２号遺構で33点と最も多く出土している。Ⅱ期では、他にも、１号遺構、15号土坑、24号土坑、５号溝、９号溝、22号溝から数点ずつの出土がみられる。他の時期では、Ⅰ期の13号土坑、12号溝、28号溝、Ⅲ期の７号溝、池状遺構新段階、Ⅳ期の１号土坑からも１、２点ずつの出土がみられる。

古銭の種類では、寛永通寶が最も多く出土している（MC－１、６、８～11、13～24、27～48、50～58、60～65、68～75、78、79）。寛永通寶65点のうち、古寛永18点、新寛永38点（うち文銭５点）、不明９点の種類がみられる。また、寛永通寶以外にも、さまざまな種類の古銭が出土している。享保一分金（MC－５）、天聖通寶（MC－２）、熙寧元寶（MC－67）、元豊通寶（MC－77）、元祐通寶（MC－76）、洪武通寶（MC－４、49）、永楽通寶（MC－７）、四文銭（MC－58）、１セントコイン（MC－80）、不明３点（MC－12、59、66）がみられた。寛永通寶や四文銭の鉄銭については、集計表、観察表において、鉄銭であることを表記している。寛永通寶と四文銭以外の種類は、主にⅠ期、Ⅱ期の遺構からの出土である。

最も出土の多い２号遺構では、新寛永が23点（うち文銭４点）、古寛永が８点と寛永通寶の数が多いが、永楽通寶も１点出土している。また、MC－26は不明瞭な文字があるため、観察表では渡来銭としているが、「■宋通寶」の文字が確認できることから、皇宋通寶の可能性が考えられる。13号土坑からは天聖元寶が、28号溝、15号土坑からは洪武通寶が出土している。１号遺構からは、永楽通寶１点のほかに、享保一分金も１点出土している。２層からは熙寧元寶が出土している。また、１層・攪乱からは、１セントコインが１点発見された。これは、戦後、調査地点がアメリカ軍の駐留地であった頃のものではないかと推測される。

【煙管】（図53、表23・24、図版46）

煙管は、雁首20点、吸口33点の合計53点が出土している。そのうち、雁首７点、吸口11点を図化した（MO－１～18）。

Ⅱ期の２号遺構からは、雁首・吸口合わせて22点が出土しており、最も出土点数が多い。その他では、２層、２層下部、１号遺構、池状遺構、４号土坑、20号土坑、28号土坑、４号溝、11号溝から数点の出土が確認される。

煙管の形態分類は、年報６に従っておこなった。分類の模式図は、年報18に掲載しているので参照されたい。雁首の形状は、図化したもの、しなかったものを合わせて、ⅡB類が13点と多い。ⅡB類は、首部が一本の管で製作されており、肩の接合されない型式で、中でも、脂返しが上方に大きく湾曲し河骨形になるものである。２号遺構、16号土坑、池状遺構の雁首については、いずれもⅡB類である。

雁首の他の形状では、図化していないが、４号溝でⅠC類が１点、１層・攪乱でⅠB類、ⅡC類がそれぞれ１点確認されるのみと非常に少ない。ⅠC類は、首部に肩がつき、脂返しの部分が極端に短く屈曲がない型式である。ⅠB類は、首部に肩がつき、脂返しが下方へ大きく湾曲しない型式である。ⅡC類は、首部が一本の管で製作され、脂返しが上方へ湾曲しない型式である。

火皿の形状は、形状が判明するものは、すべて１a類であった。１a類は、火皿の深さが口径の半分以上で、火皿後方に小孔をもつものである。

今回出土した雁首では、全体形状がⅡB類、火皿形状が１a類のものが多く、長さに多少の違いはあるものの、全体として類似した形態のものが多い傾向にある。

吸口の形状では、図化したもの、しなかったものを合わせて、ⅡB類が26点と最も多い。ⅡB類は、一本の管から製作され、肩のない形状のものである。

吸口の他の形状は、ⅠB類が１号遺構で１点、ⅡA類が２号遺構で２点、20号土坑で１点みられる程度である。ⅠB類は、径の異なる二本の管から肩と吸口を個別に作り、肩の後方をすぼめて緩やかに吸口を接合した型式である。ⅡA類は、一本の管から作り、形態上は肩と吸口が分離する型式である。

【その他の金属製品】（図54～56、表25～27、図版46～48）

古銭、煙管以外の金属製品を、その他の金属製品としてまとめて、その特徴を述べていく。その他の金属製品には、銅製品、鉄製品、鉛製品が含まれている。

銅製品では、物差、火箸、鉄漿坏、鉤、飾り金具、水滴、櫛、匙、鎖、雁首銭などが出土している。そのうち、21点を図化した（MO－19～39）。物差（MO－19）は、一方が留められており、くの字状に可動する。一目盛は

一分で、十目盛で一寸を示している。櫛（MO－34）は、峰の部分が銅製で、歯部分は木製である。鉄漿坏（MO－23）は、線刻による文様がみられる。MO－29は、携帯用の筆と墨壺からなる矢立の蓋部分ではないかと考えられる。鉄漿坏、矢立の蓋、鉤（MO－25）、水滴（MO－31）、杓子（MO－35）、匙（MO－36）、不明銅製品（MO－30）は、汐留遺跡（福田敏一他1997、小林博範他2003）に類例がみられる。

鉄製品では、和釘、錐、火箸、小柄、鎹などがみられる。そのうち、10点を図化した（MO－40～49）。錐（MO－42）は、柄の部分は木製で、鉄製の錐が接続している。火箸は2点出土している（MO－43、45）。MO－43は、持ち手側に捻りの加工がなされている。上下端は欠損している可能性があるが、明確ではなかった。MO－45は、上端が紐通し穴状の加工がされている。銅製品でも火箸が1点出土しているが（MO－21）、いずれも細部の形状に違いがみられる。MO－48・49は、刀の鞘に刺した小柄ではないかと考えられる。刃部は鉄製で、柄部分は銅製とみられる。腐食により明確ではないが、いずれも柄部分には、彫金により魚子地や線刻などの文様がみられる。

鉛製品は、弾丸、錘などが出土している。そのうち、3点を図化した（MO－50～52）。MO－52は、投網用の錘かと推測される。同様のものは、武家屋敷地区第4地点の調査（年報13）や、汐留遺跡（小林博範他2000）においても出土している。MO－50、51は、不明である。

(3) 石器・石製品（図57・58、表4・5、28、図版49・50、）

出土した石器・石製品のうち、20点を図示している（S－1～20）。近世の石器・石製品は、基本層では、2層、2層下部、3a層から、遺構では、Ⅱ期の2号遺構、4号土坑、27号溝、Ⅲ期の池状遺構から、やや多く出土している。しかし、特に出土が集中するような、遺構、層序は認められない。近世以前と考えられる石器も2点出土しており、それぞれ2層下部と2号遺構からの出土である。

S－1は、頁岩製の石鏃である。S－2は、頁岩製の石匙であるが、一部に欠損がみられる。それぞれ、2層下部、2号遺構からの出土であるが、縄文時代の石器であろうと考えられる。

S－4～12は火打石である。S－10が水晶製である以外は、いずれもメノウ製である。S－4、6～8、12では、稜部分に磨耗痕が明瞭に観察され、使用された痕跡が確認される。

S－13は粘板岩製の砥石である。

S－14～20は硯である。S－19以外は粘板岩製である。S－19は、灰白色の斑紋が入る凝灰質粘板岩製である。この石材は、紫雲石と呼ばれ、現在でも硯として利用されているものである。この石材を用いた硯は、仙台城跡二の丸第10地点、第17地点においても出土している（年報9、年報17）。S－14、16、17には墨汁の痕跡が残っている。S－18は、背面に「宝永七年大□□村三月十八日」の文字が刻まれている。宝永七年は1710年であるが、1層・攪乱からの出土であるため、詳細は不明である。

(4) その他の遺物（表4・5、29、図版50）

その他の遺物としては、ガラス製品のほか、材質不明の遺物が出土している。そのうち、ガラス製品2点と材質不明の遺物1点を写真図版で示している（OT－1、G－1・2）。G－1は、ガラス製で、何らかの容器の一部と考えられる。G－2は、ガラス製の箸や簪などの先端部分ではないかと推測されるが、残存部分が少ないことから詳細は不明である。OT－1は、材質不明の遺物である。極小さい玉状の形状をしており、半分は欠損している。欠損面には、穿孔された痕跡がみられる。

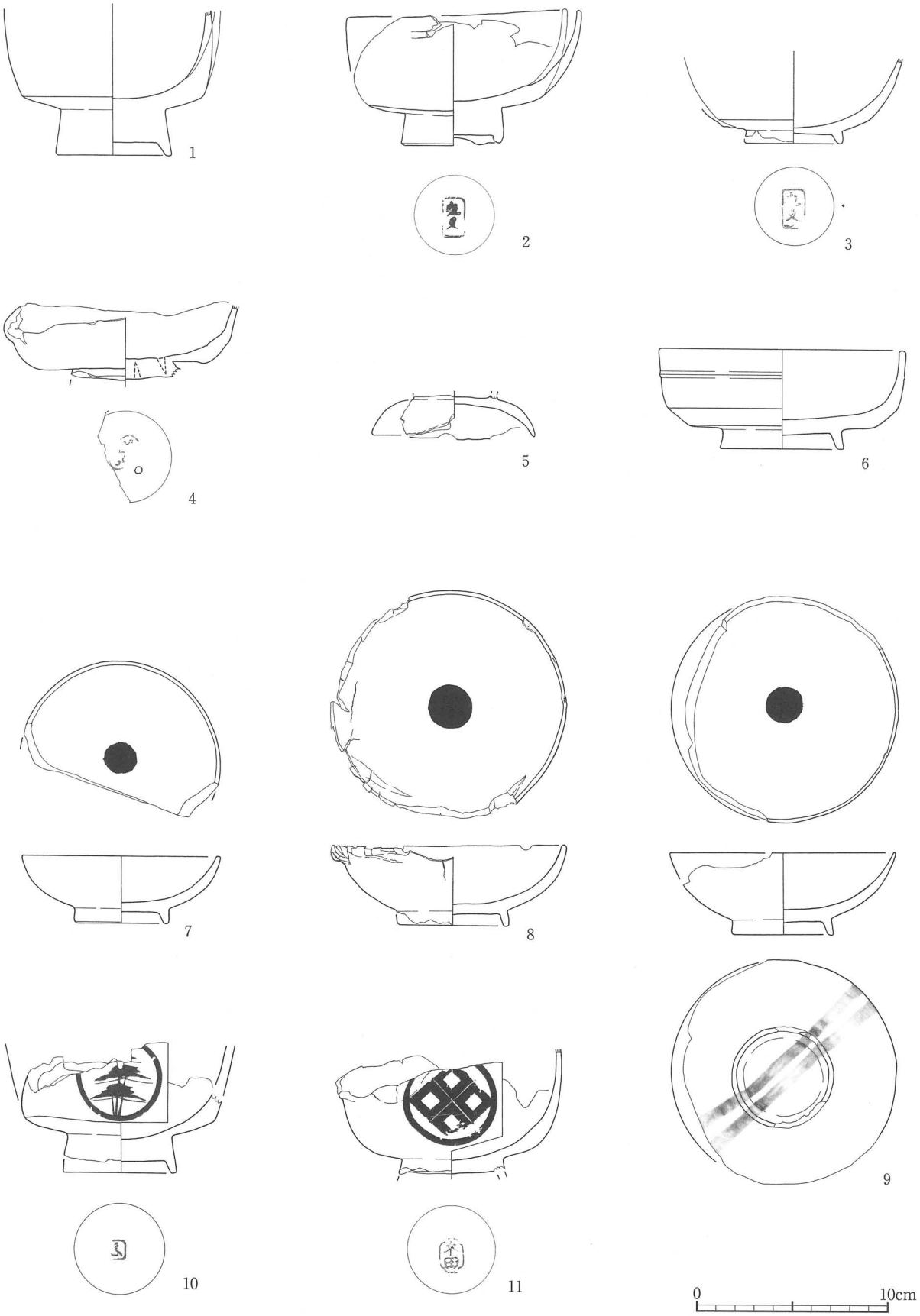


図１　武家屋敷地区第７地点出土漆椀（1）
Fig.1　Bowls with lacquer from BK7　(1)

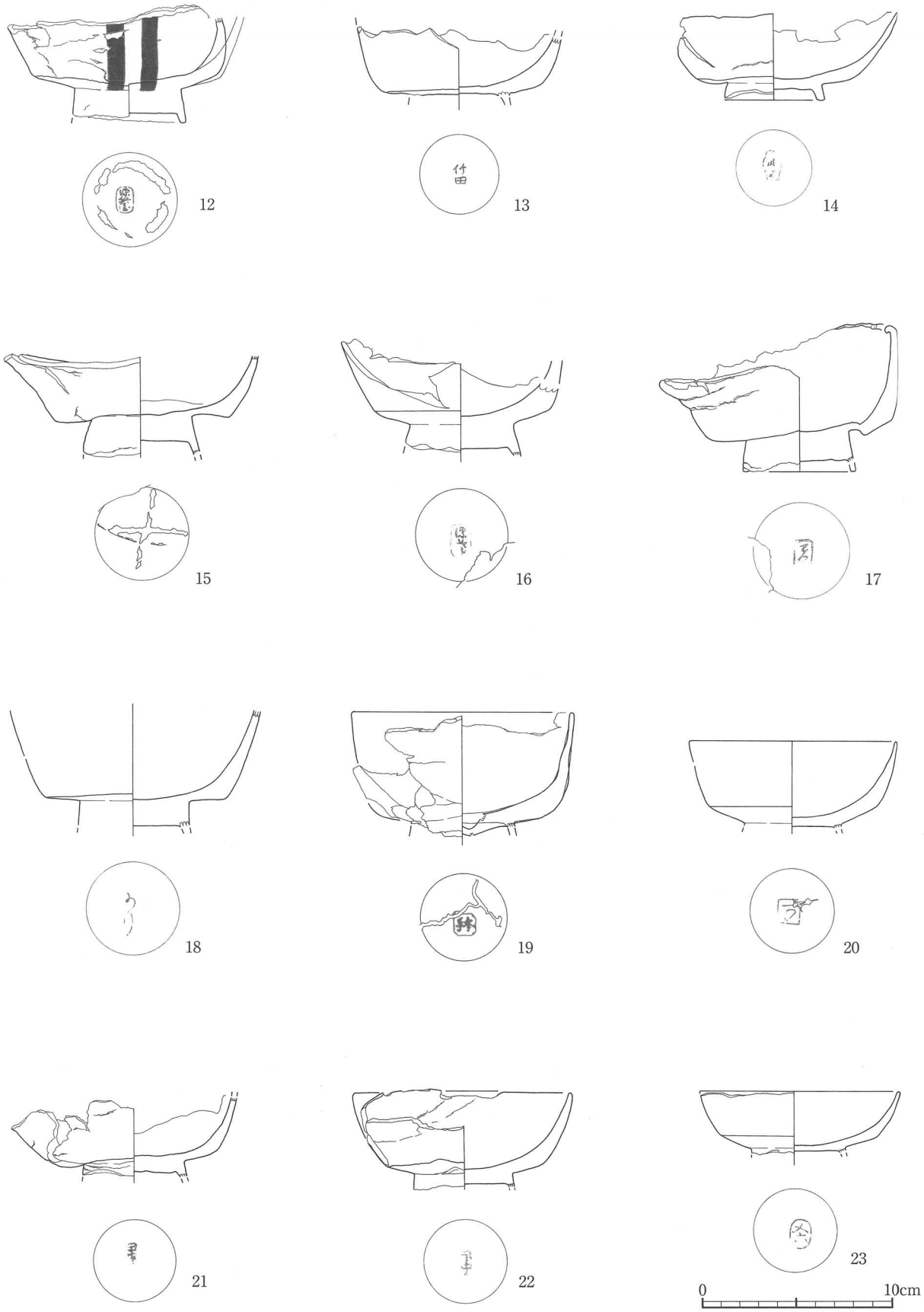


図２　武家屋敷地区第７地点出土漆椀（2）
Fig.2　Bowls with lacquer from BK7　(2)

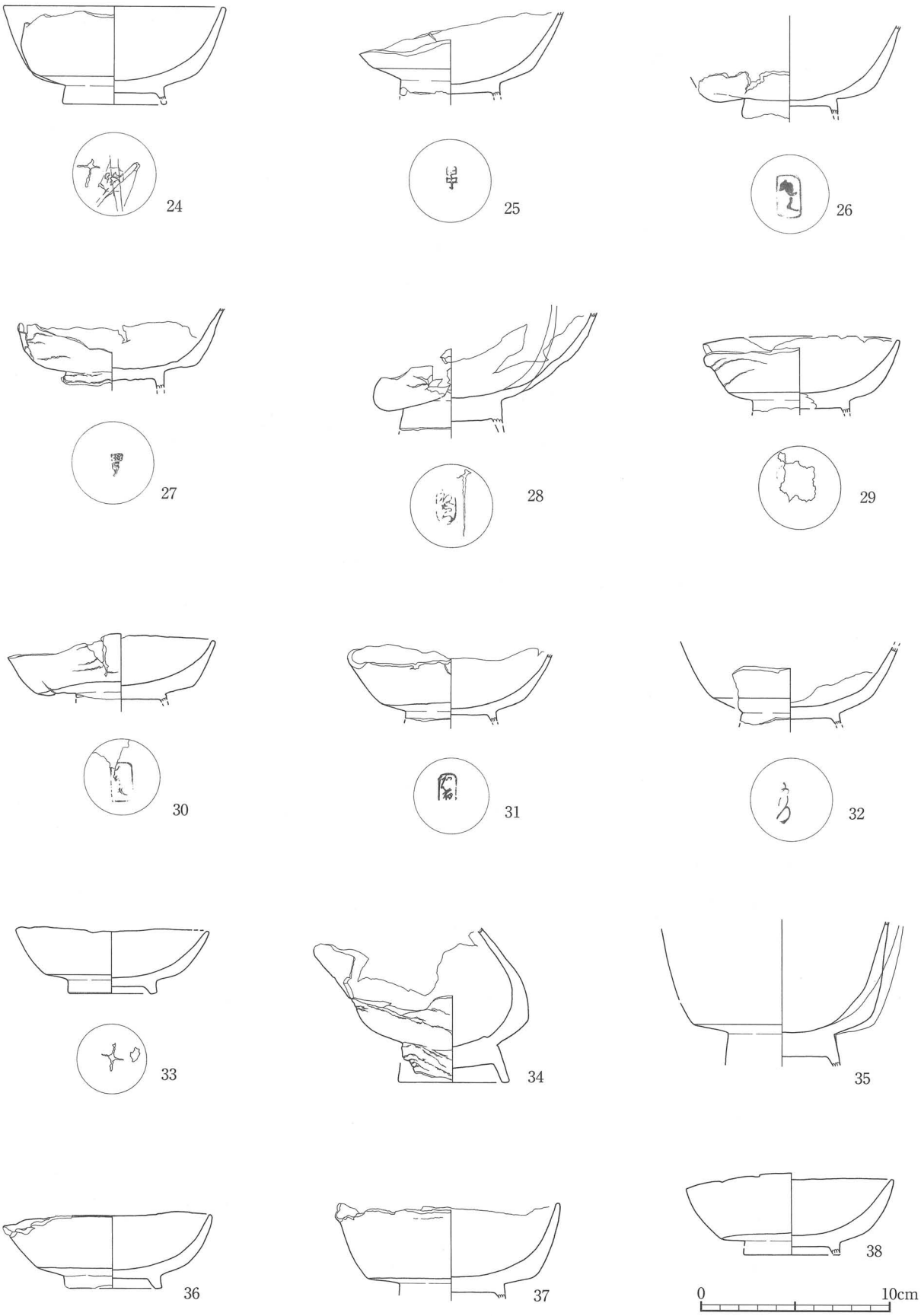


図 3　武家屋敷地区第 7 地点出土漆椀（3）
Fig.3　Bowls with lacquer from BK7　(3)

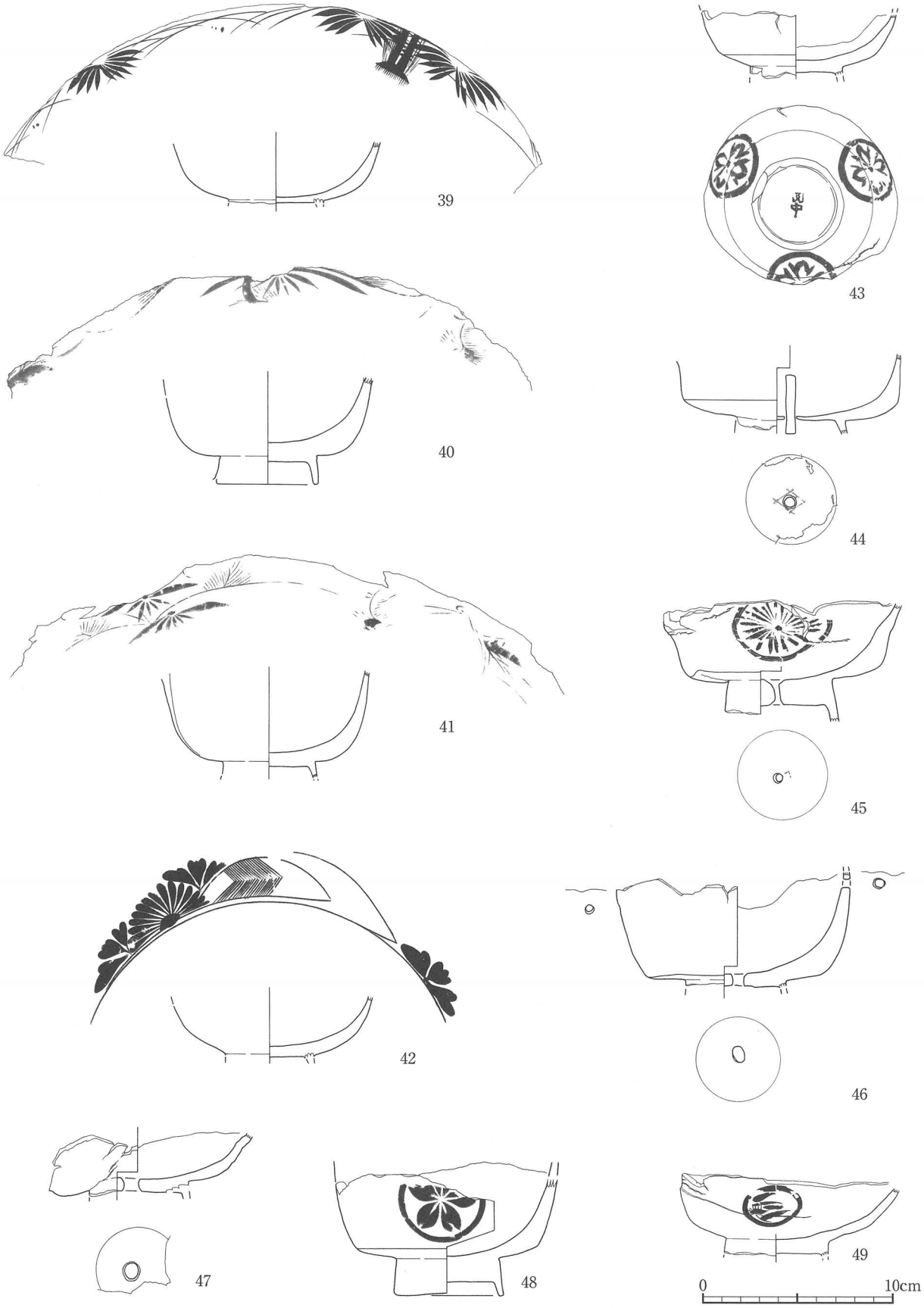


図４　武家屋敷地区第７地点出土漆椀（4）
Fig.4　Bowls with lacquer from BK7　(4)

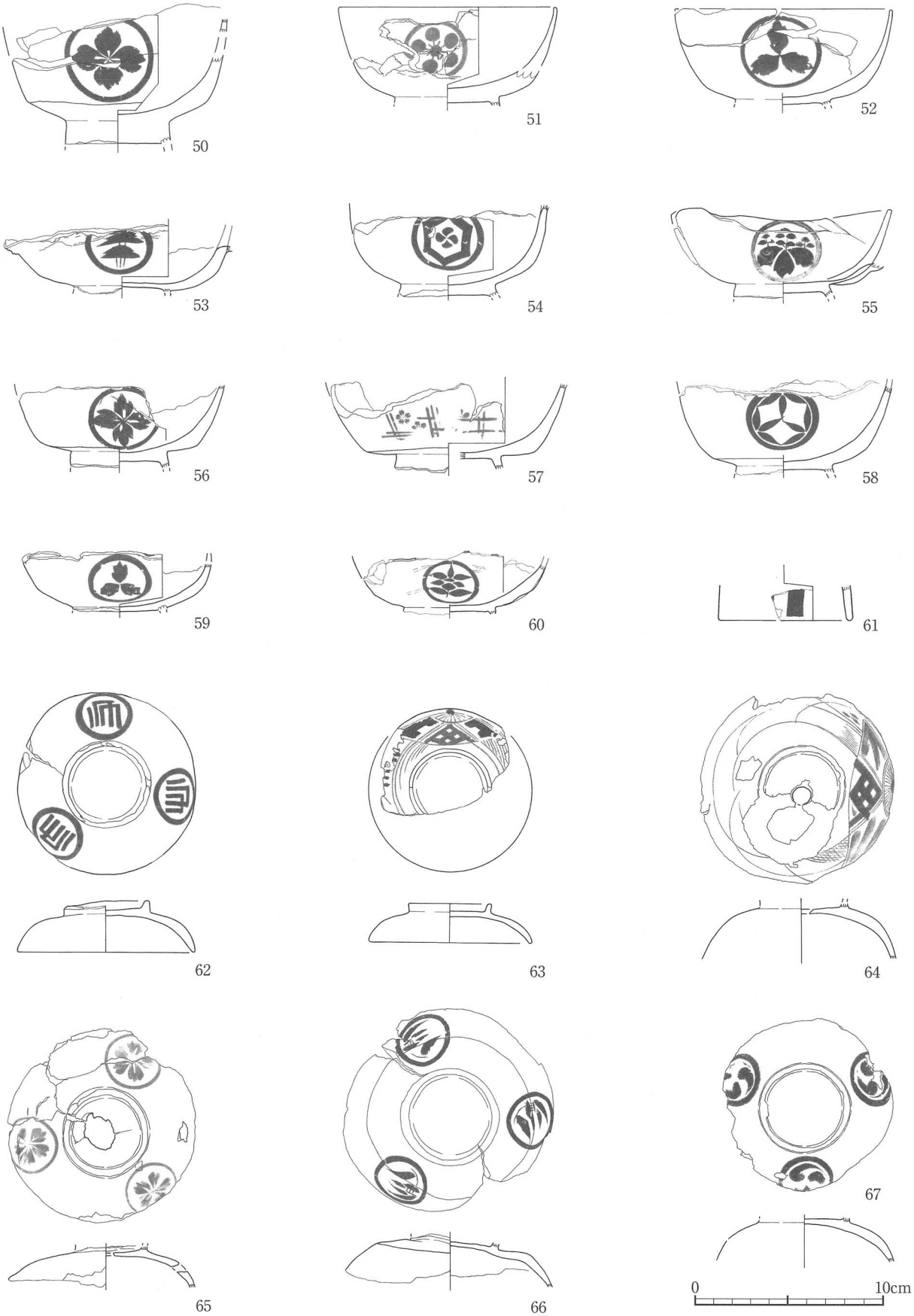


図５　武家屋敷地区第７地点出土漆椀（5）
Fig.5　Bowls with lacquer from BK7　(5)

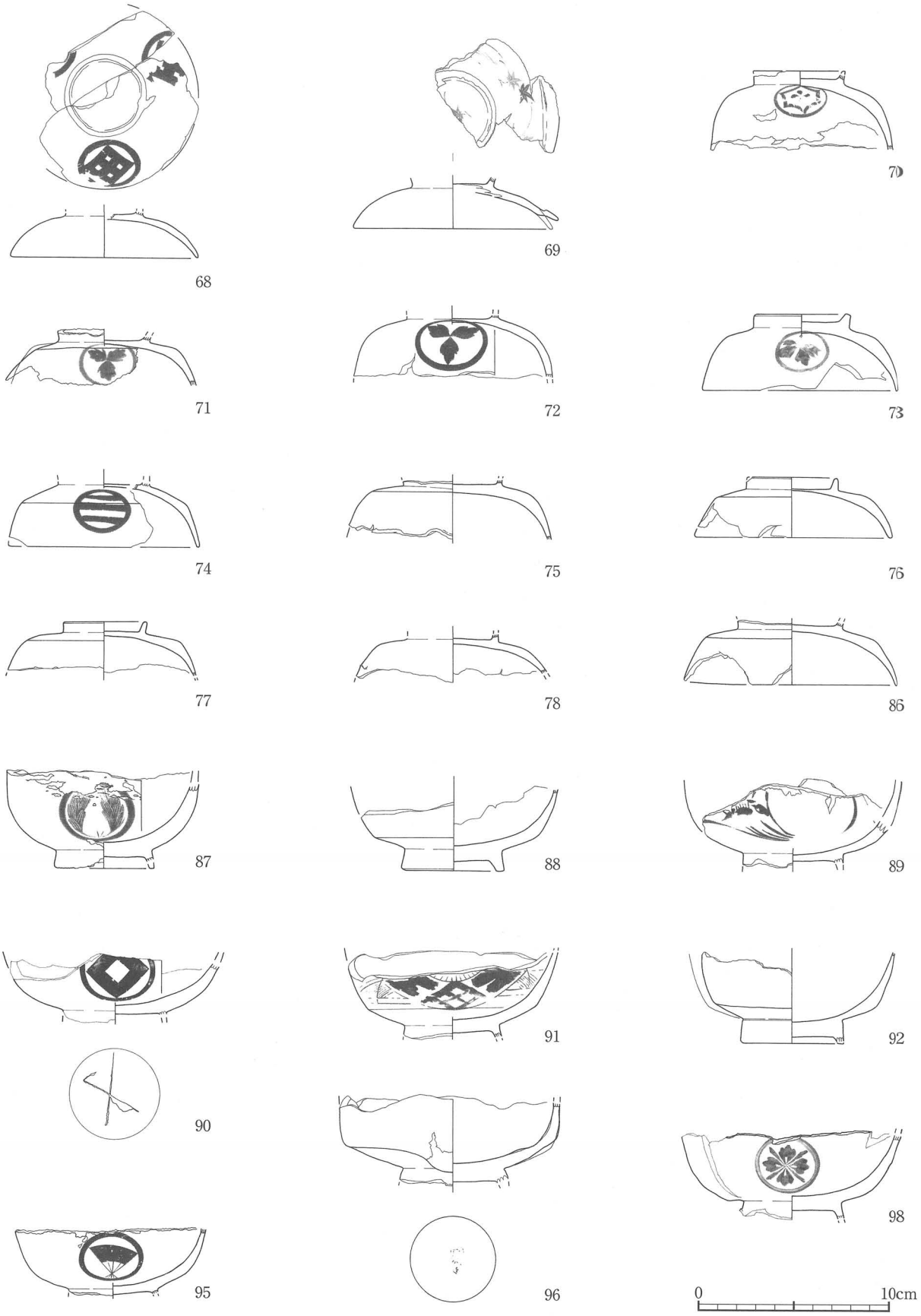


図6　武家屋敷地区第7地点出土漆椀（6）
Fig.6　Bowls with lacquer from BK7　(6)

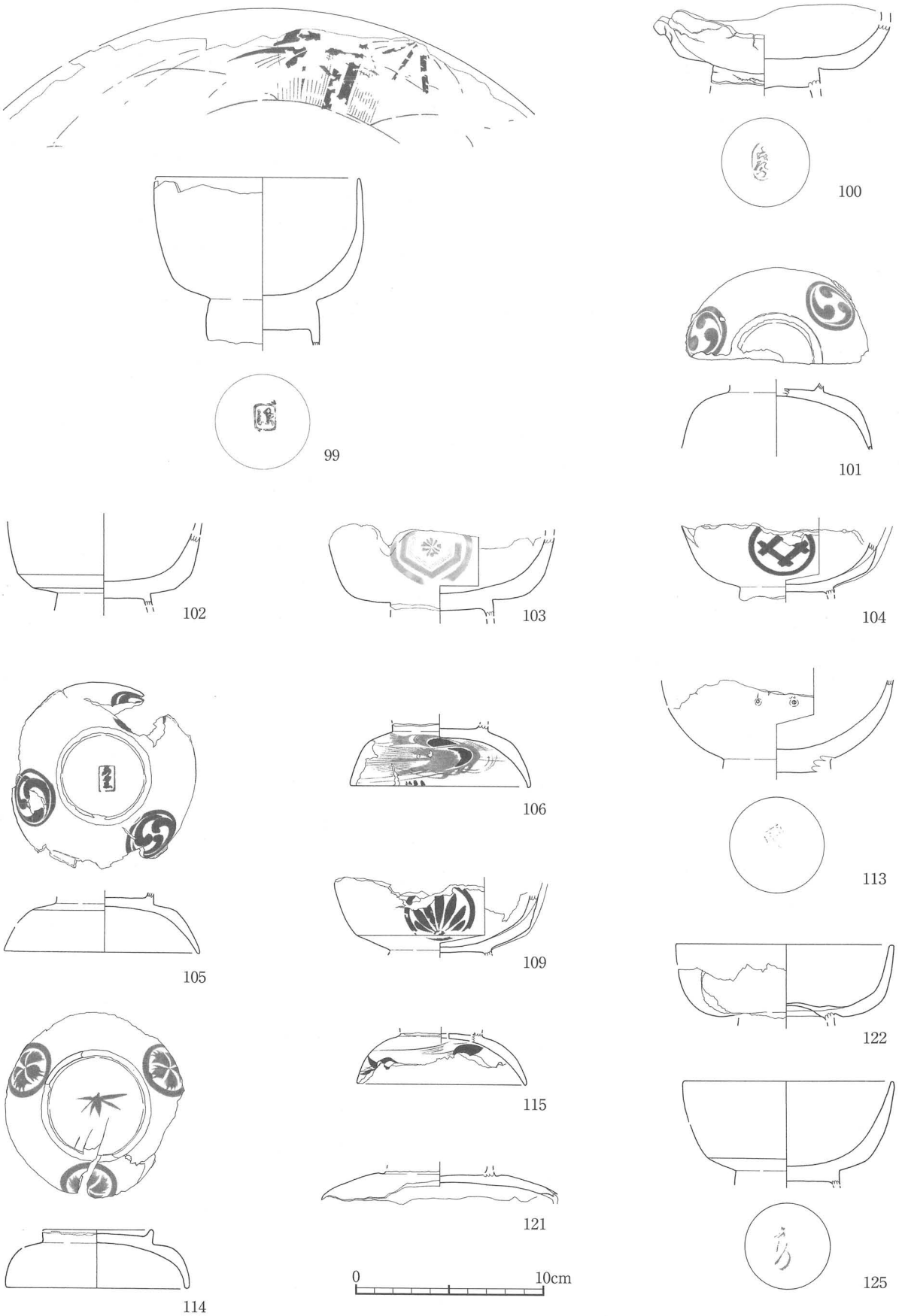


図７　武家屋敷地区第７地点出土漆椀（7）
Fig.7　Bowls with lacquer from BK7　(7)

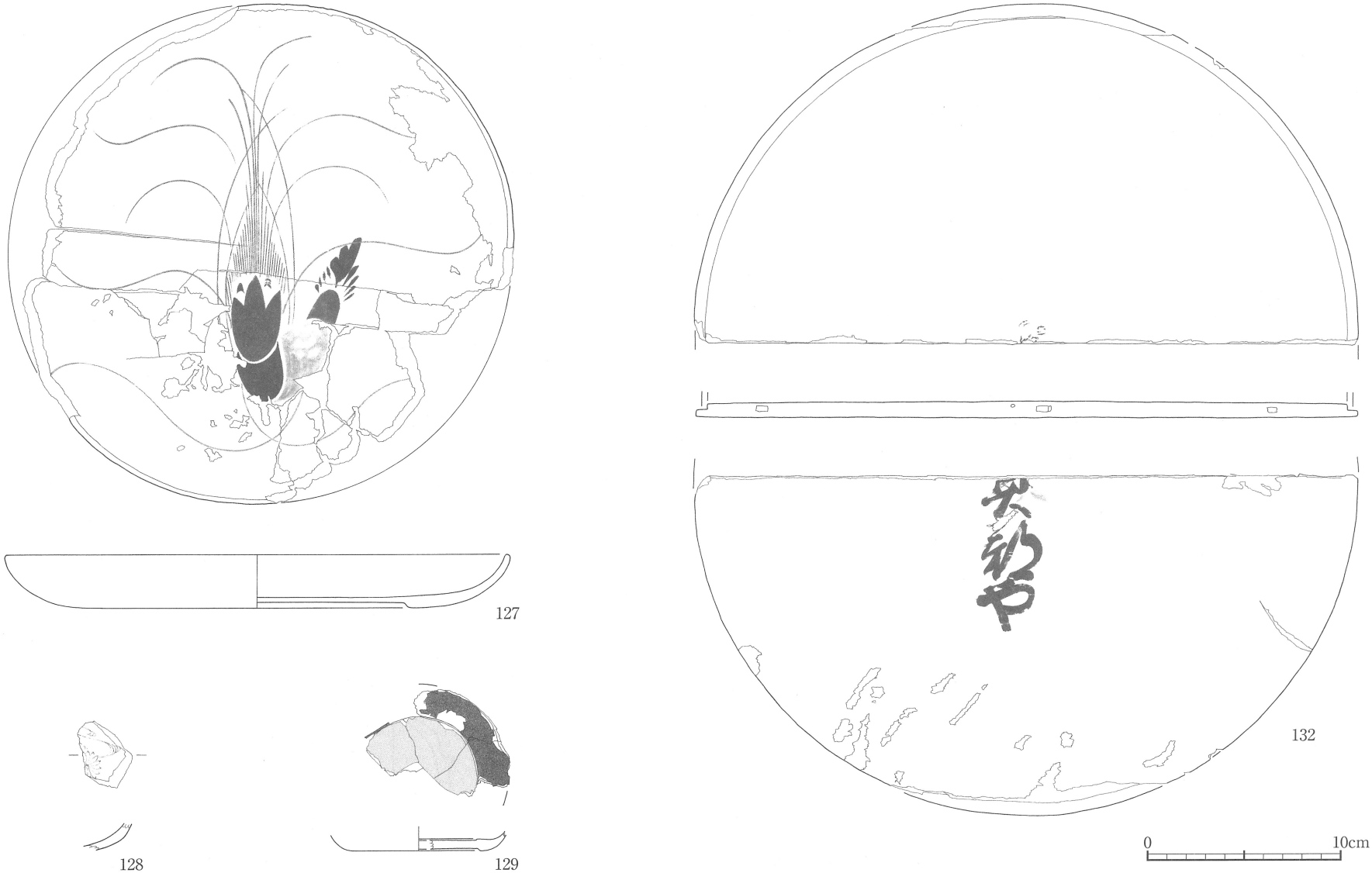


図８　武家屋敷地区第７地点出土その他の漆塗製品（1）
Fig.8　Various wooden implements with lacquer from BK7（1）

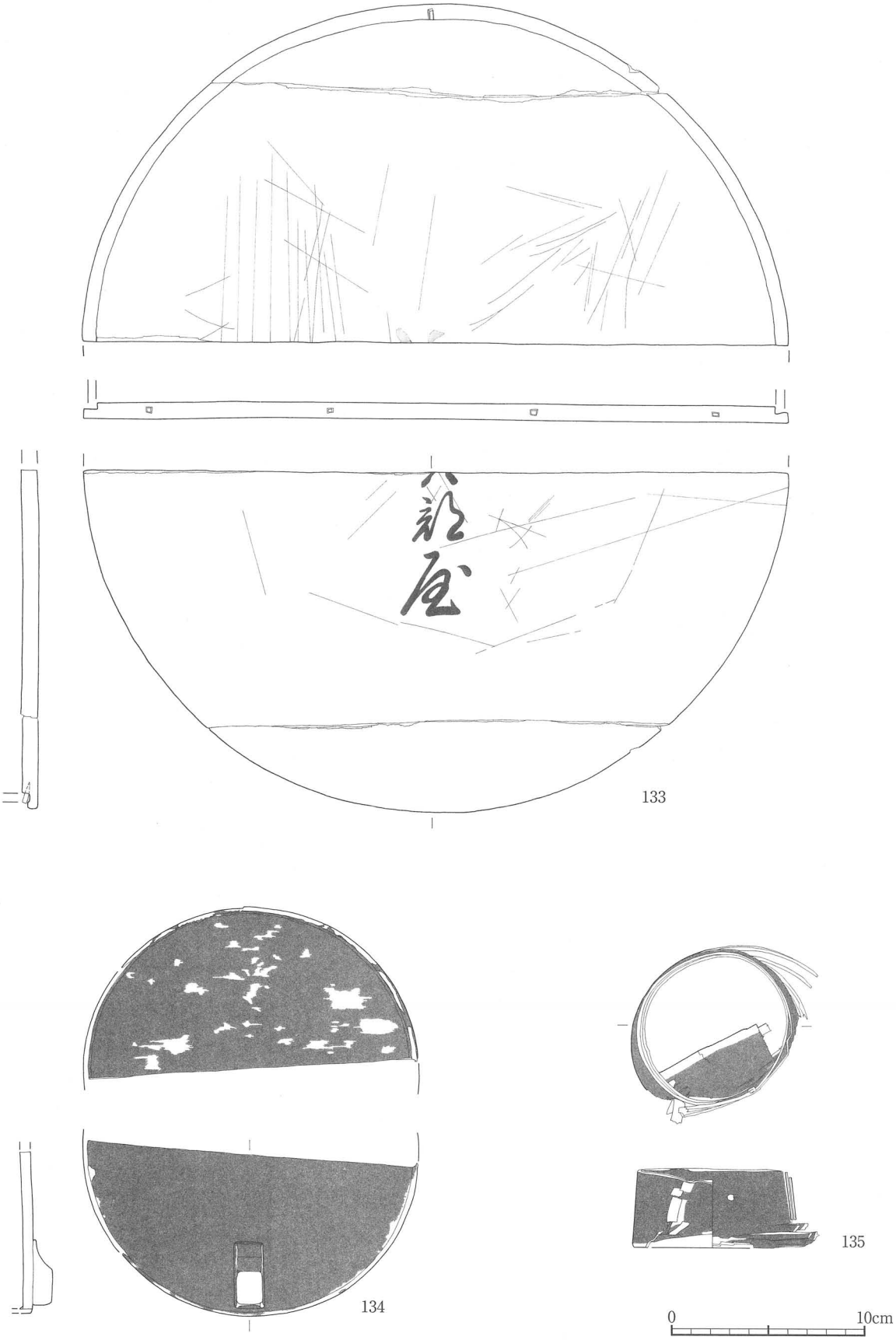


図９　武家屋敷地区第７地点出土その他の漆塗製品（2）
Fig.9　Various wooden implements with lacquer from BK7（2）

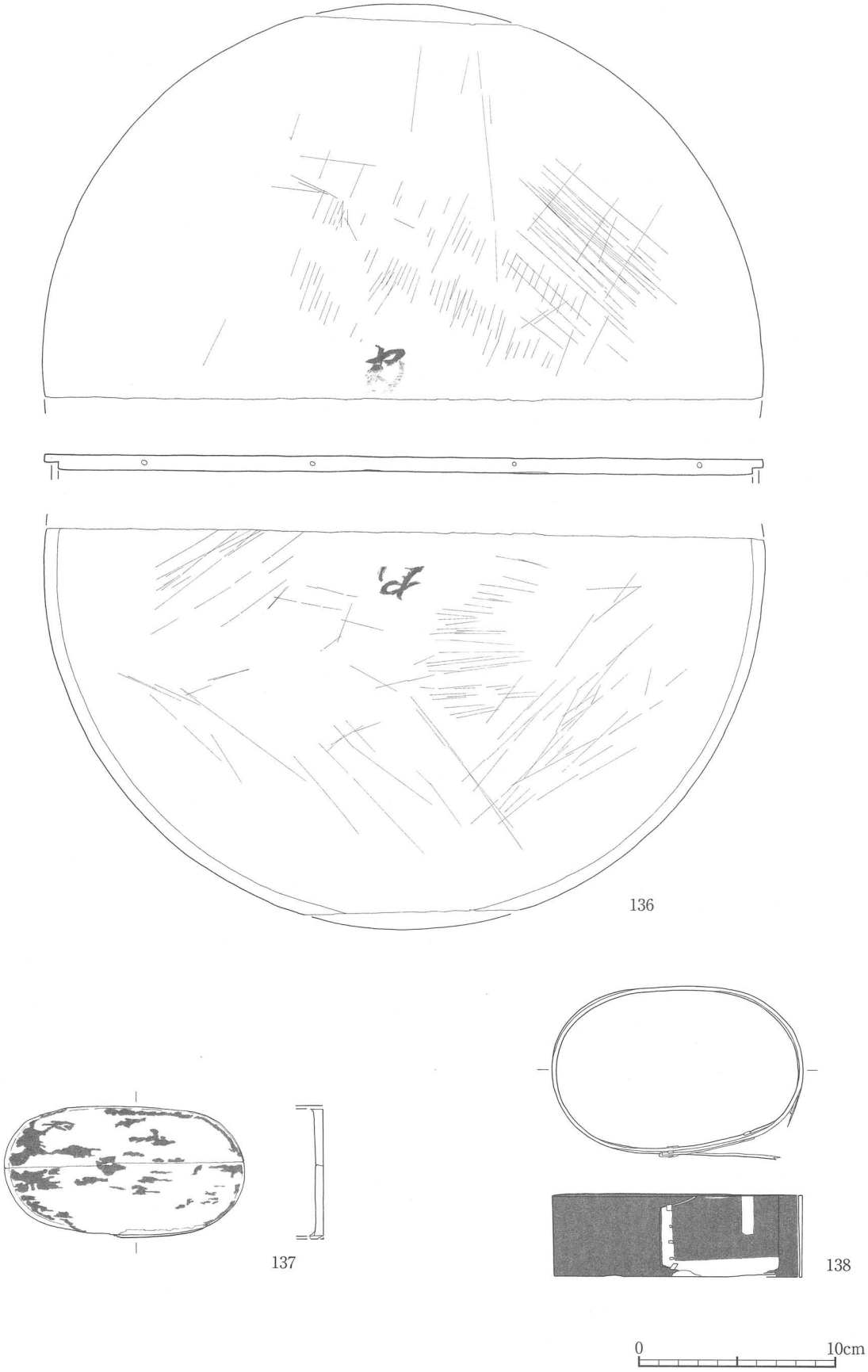


図10　武家屋敷地区第７地点出土その他の漆塗製品（3）
Fig.10　Various wooden implements with lacquer from BK7（3）

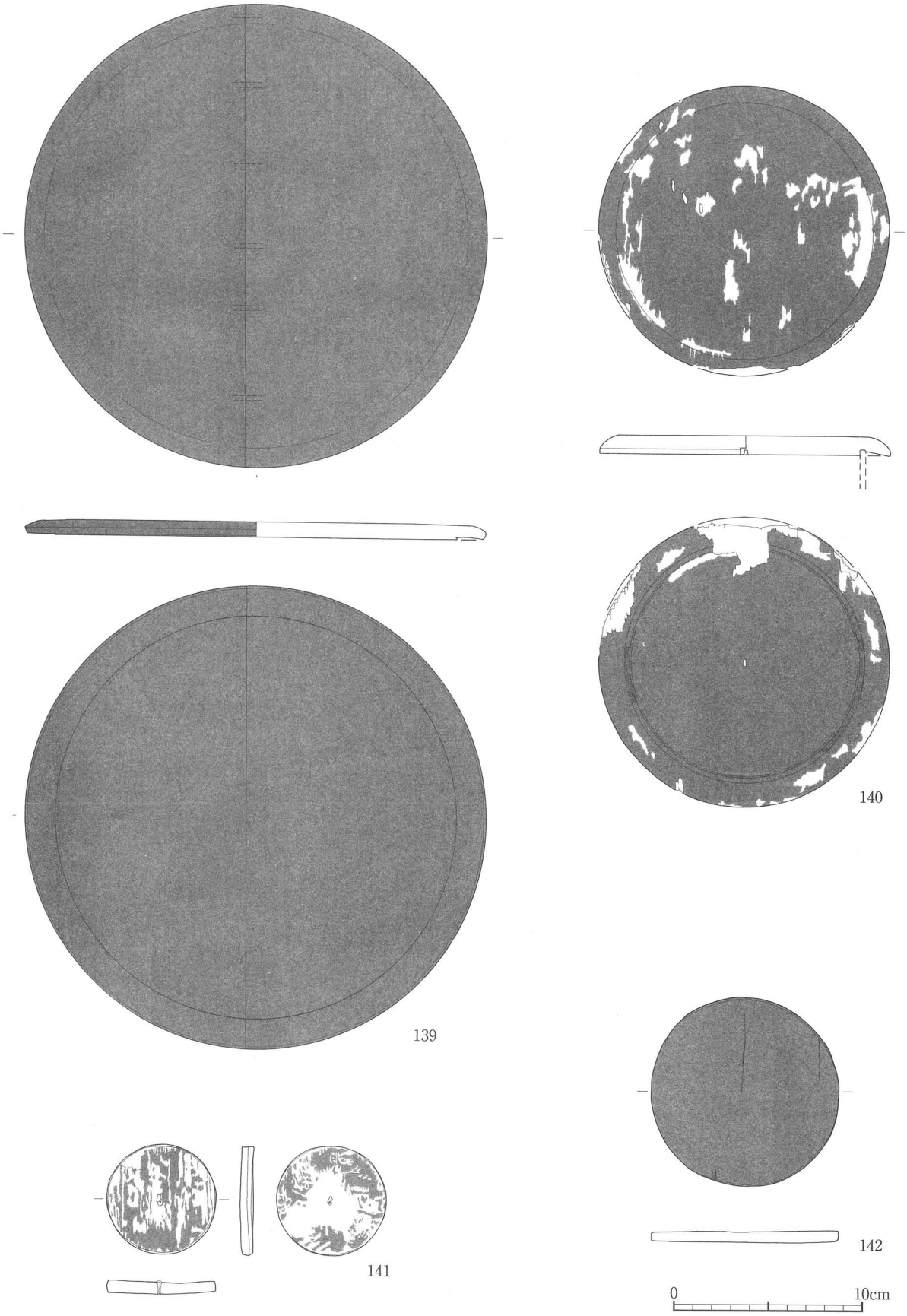


図11　武家屋敷地区第７地点出土その他の漆塗製品（4）
Fig.11　various wooden implements with lacquer from BK7（4）

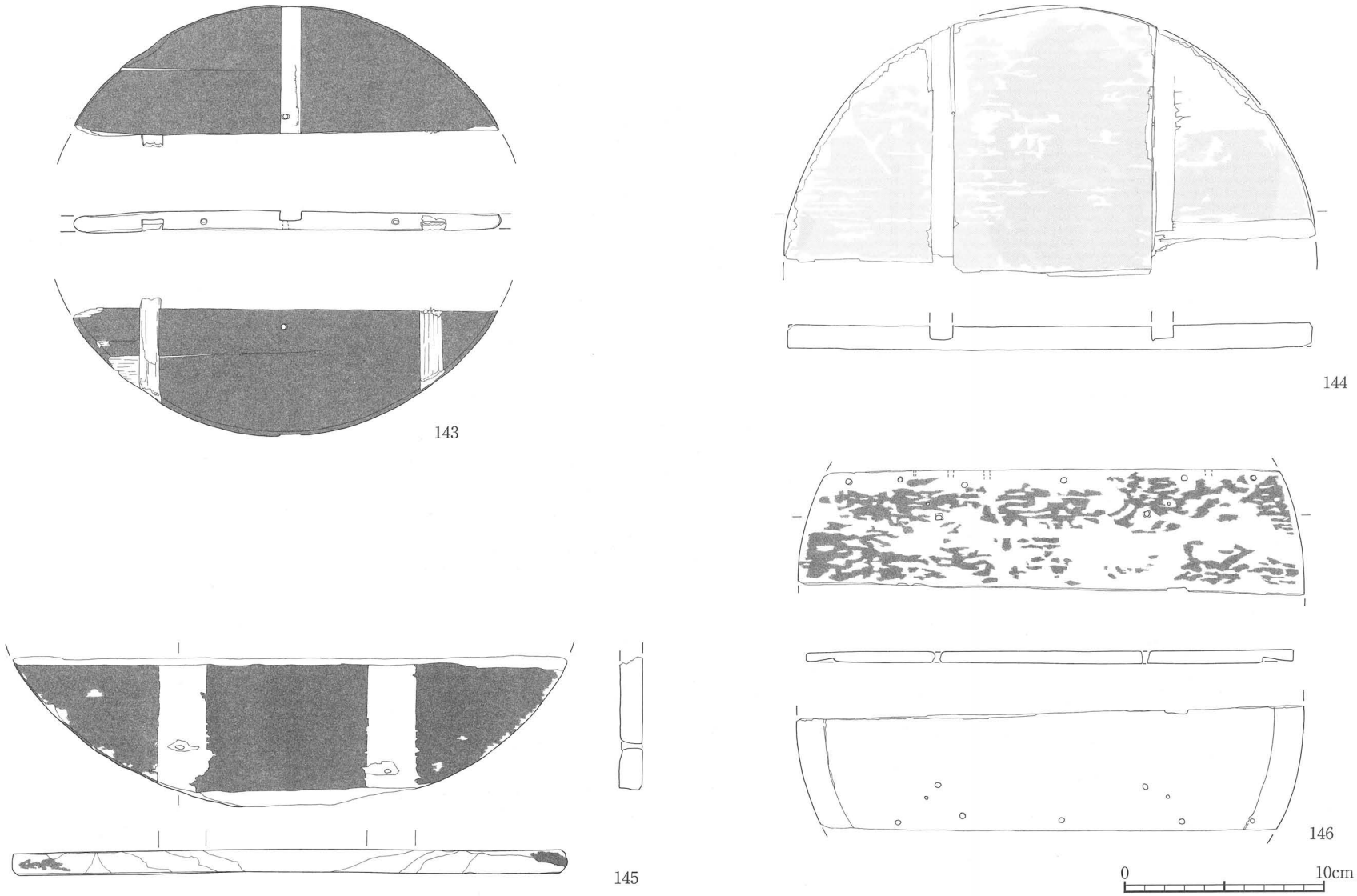


図12　武家屋敷地区第７地点出土その他の漆塗製品（5）
Fig.12　Various wooden implements with lacquer from BK7（5）

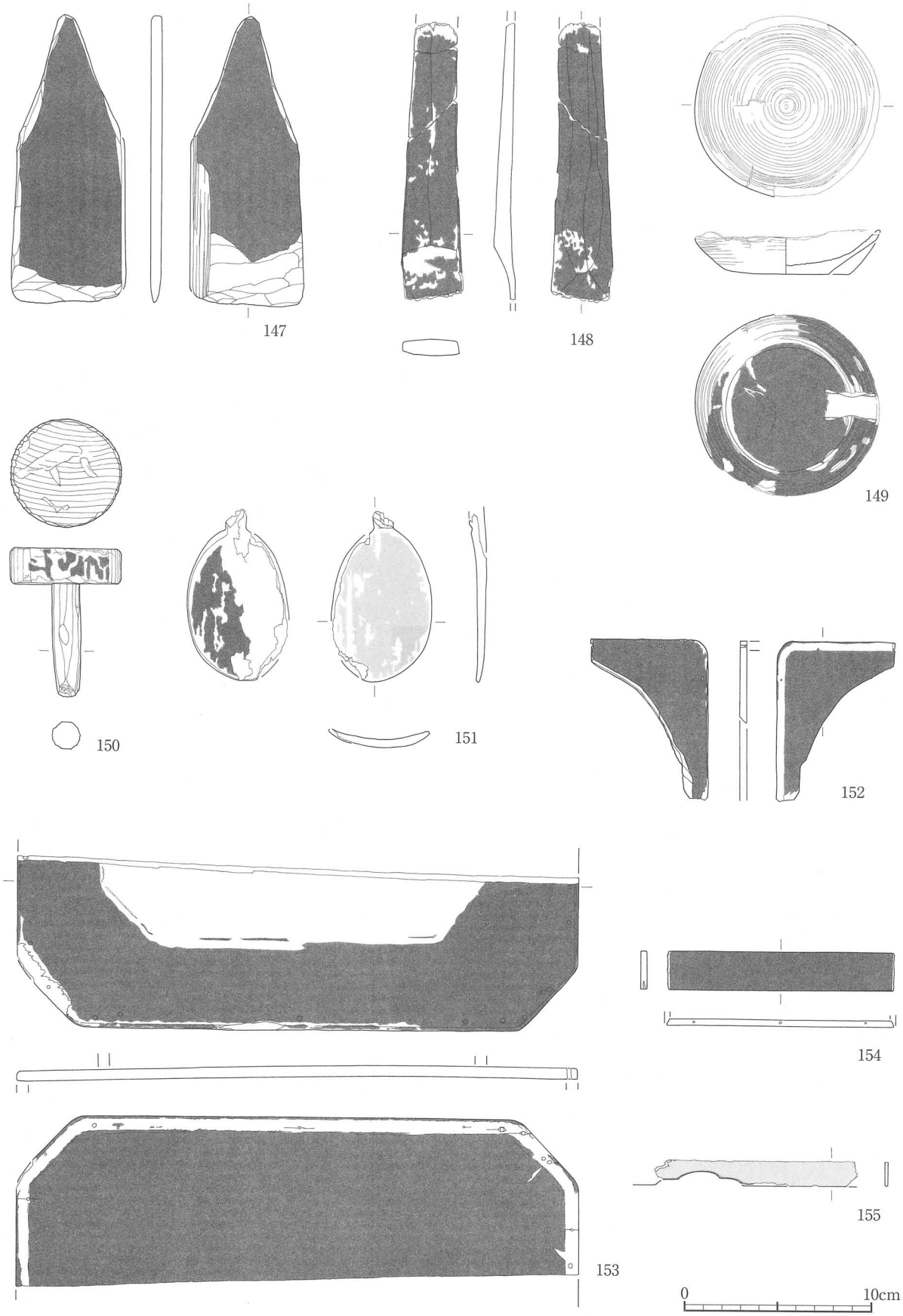


図13　武家屋敷地区第７地点出土その他の漆塗製品（6）
Fig.13　Various wooden implements with lacquer from BK7（6）

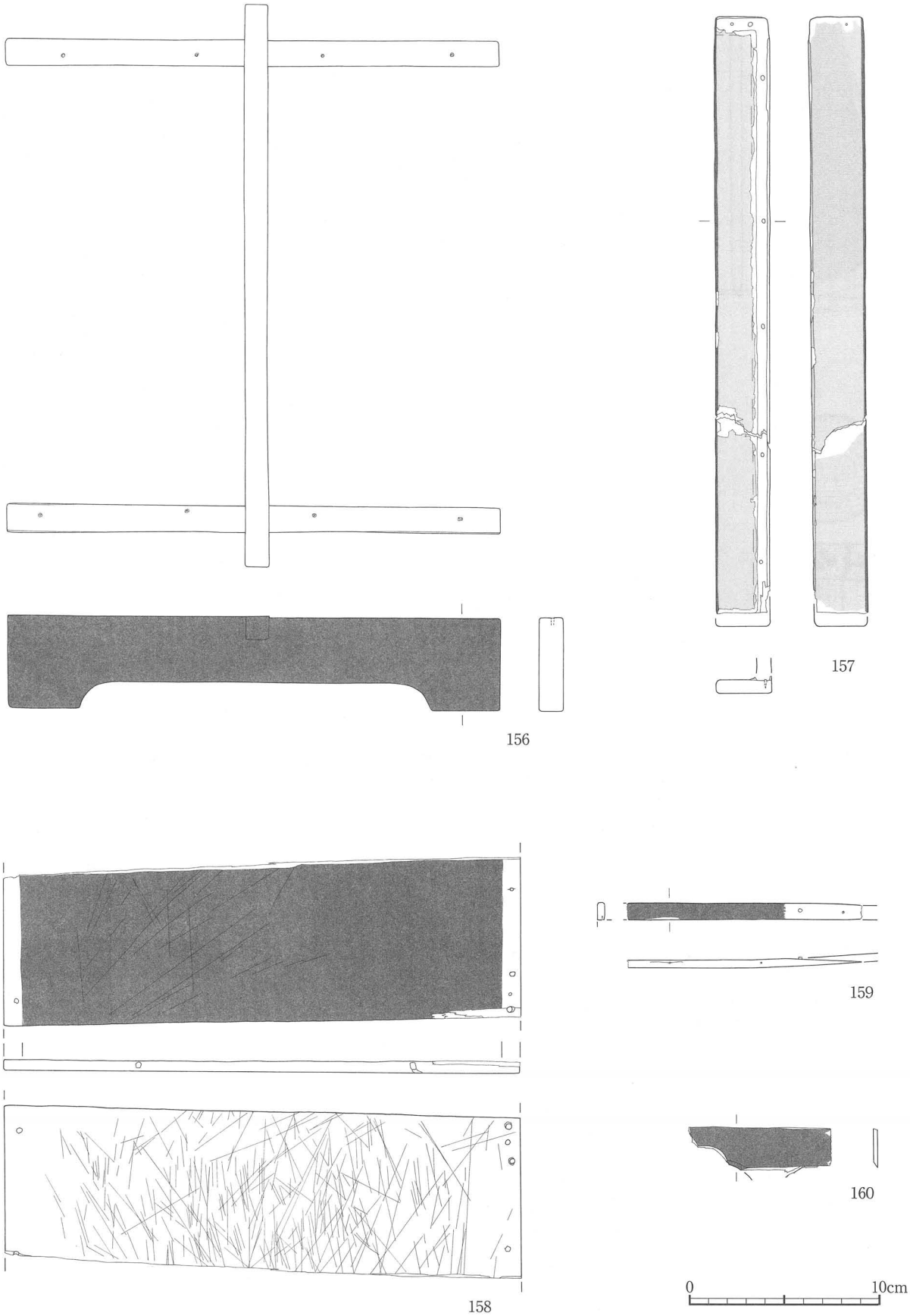


図14　武家屋敷地区第７地点出土その他の漆塗製品（7）
Fig.14　Various wooden implements with lacquer from BK7（7）

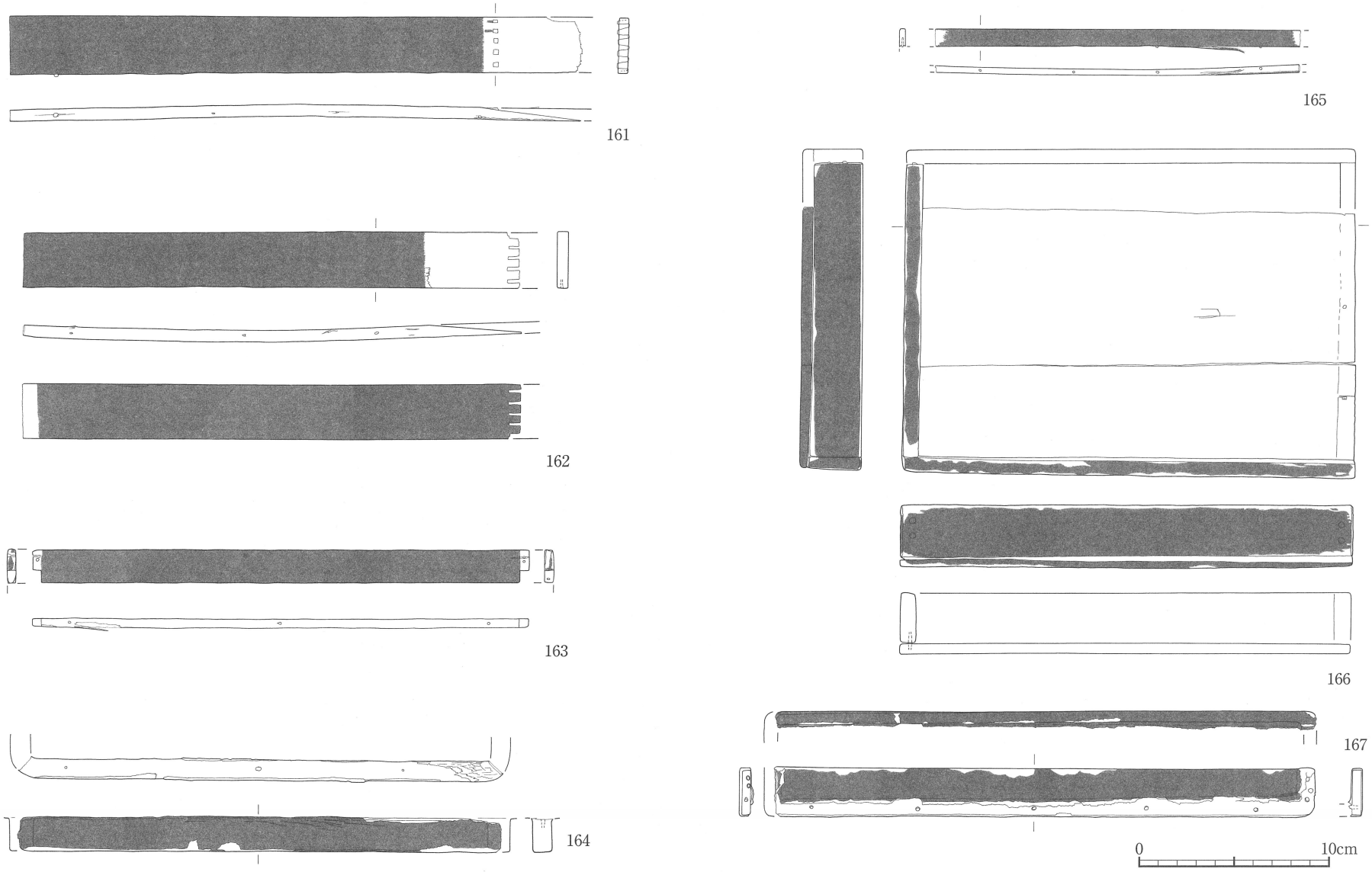


図15　武家屋敷地区第７地点出土その他の漆塗製品（8）
Fig.15　Various wooden implements with lacquer from BK7（8）

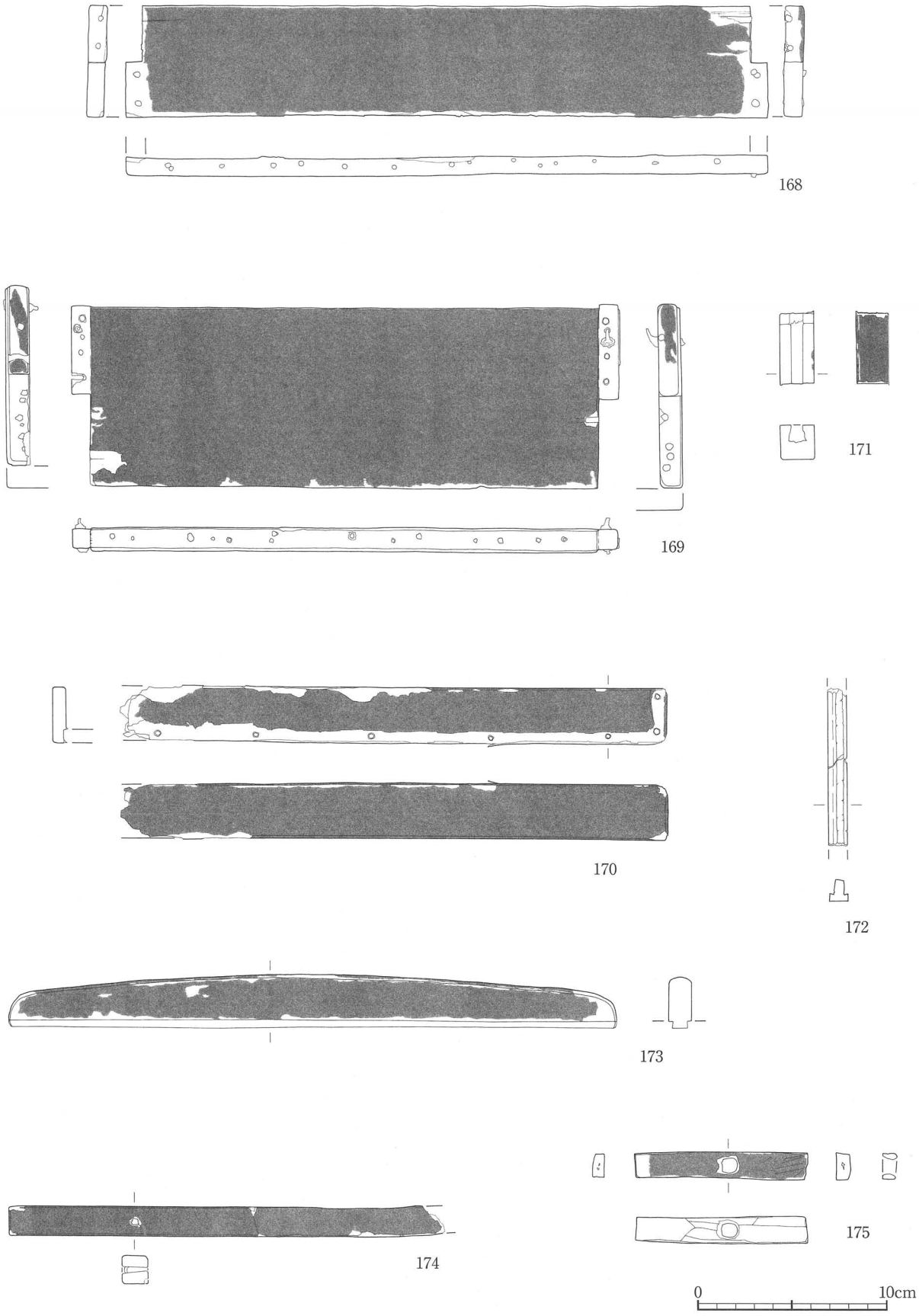


図16　武家屋敷地区第７地点出土その他の漆塗製品（9）
Fig.16　Various wooden implements with lacquer from BK7（9）

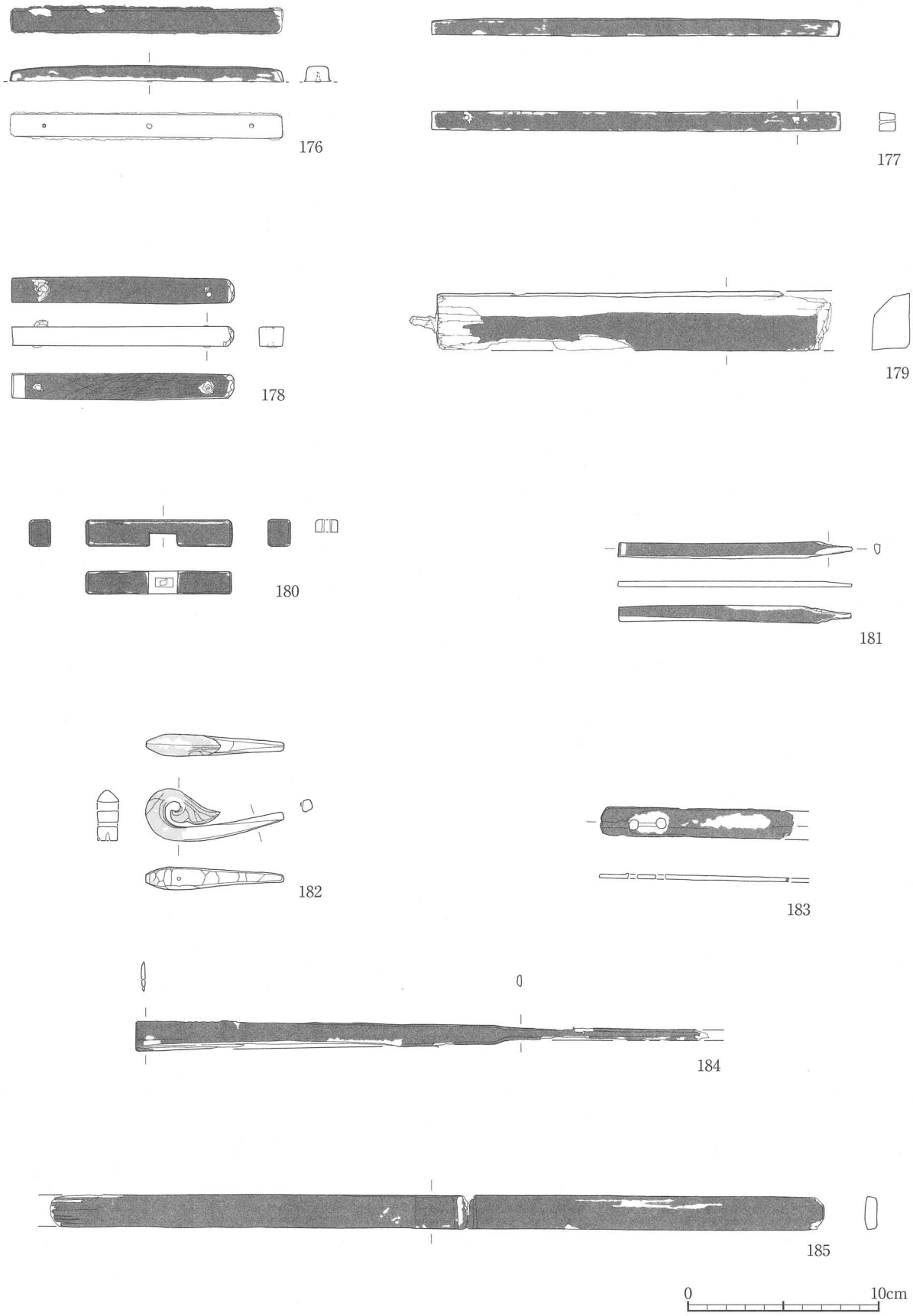
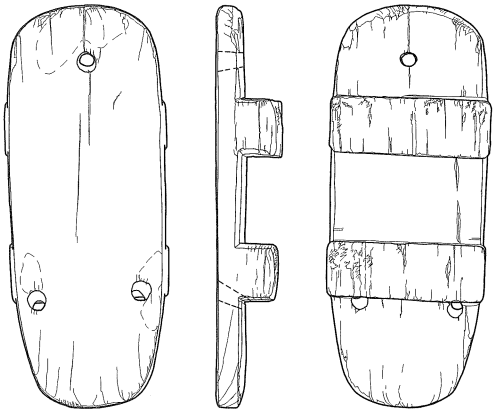
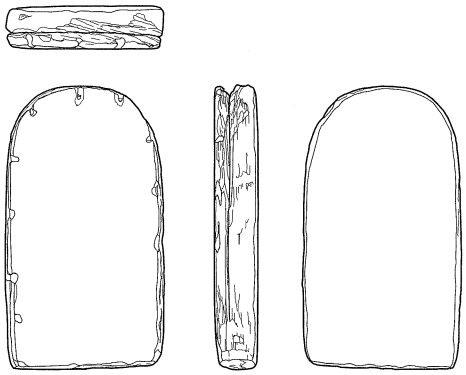


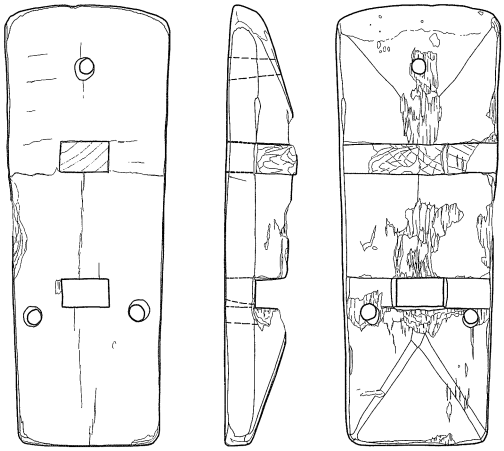
図17　武家屋敷地区第７地点出土その他の漆塗製品（10）
Fig.17　Various wooden implements with lacquer from BK7（10）



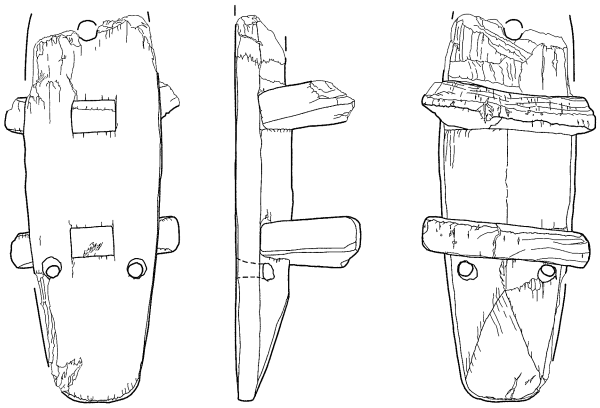
49



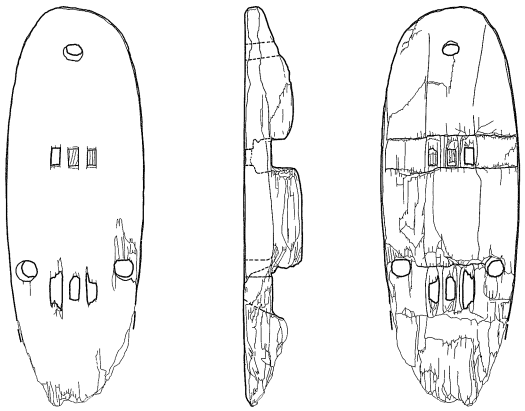
50



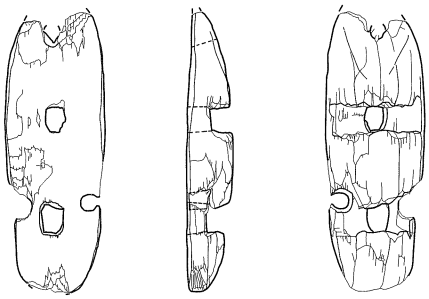
51



52



53



54

0 10cm

図18　武家屋敷地区第７地点出土下駄（1）
Fig.18　Clogs from BK7（1）

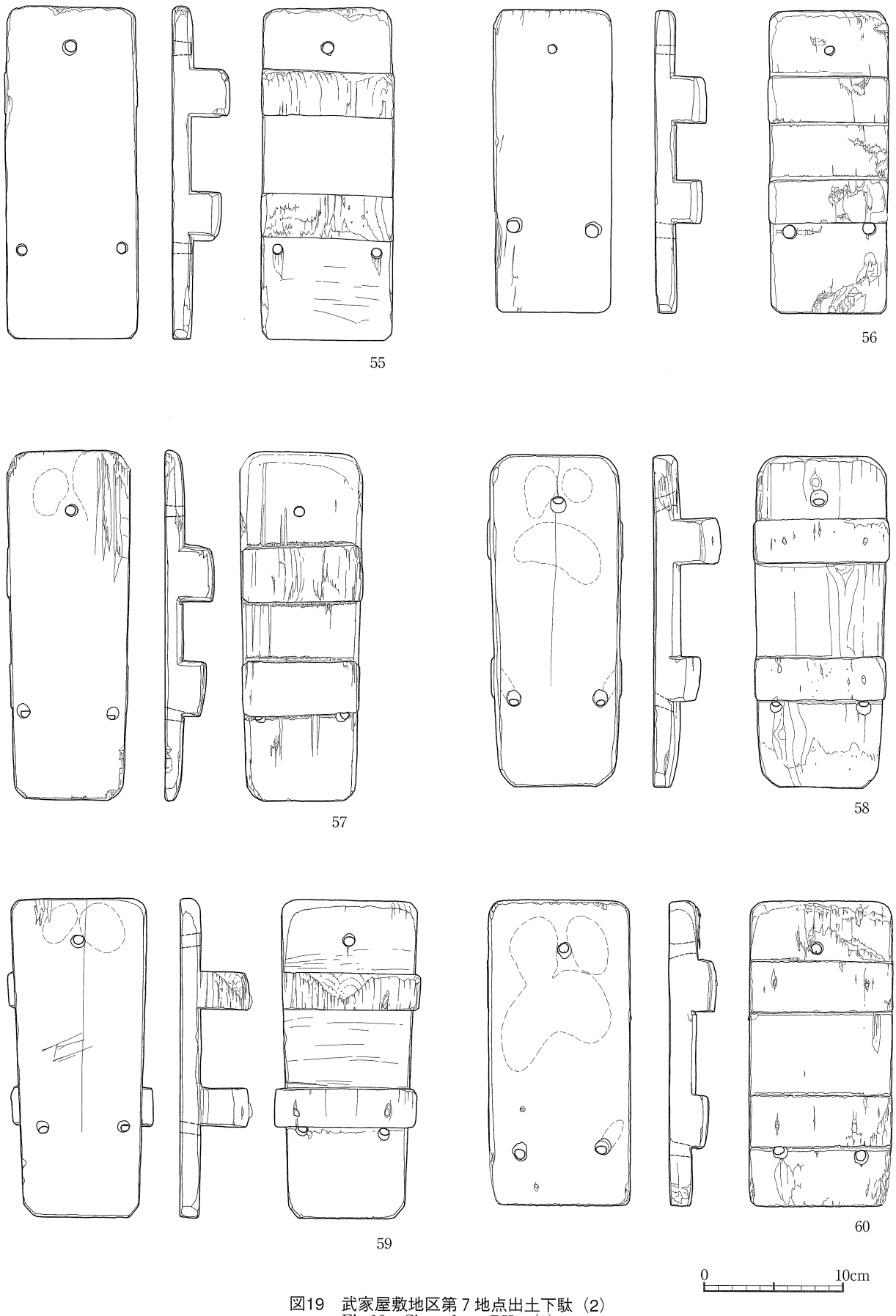


図19　武家屋敷地区第７地点出土下駄（2）
Fig.19　Clogs from BK7（2）

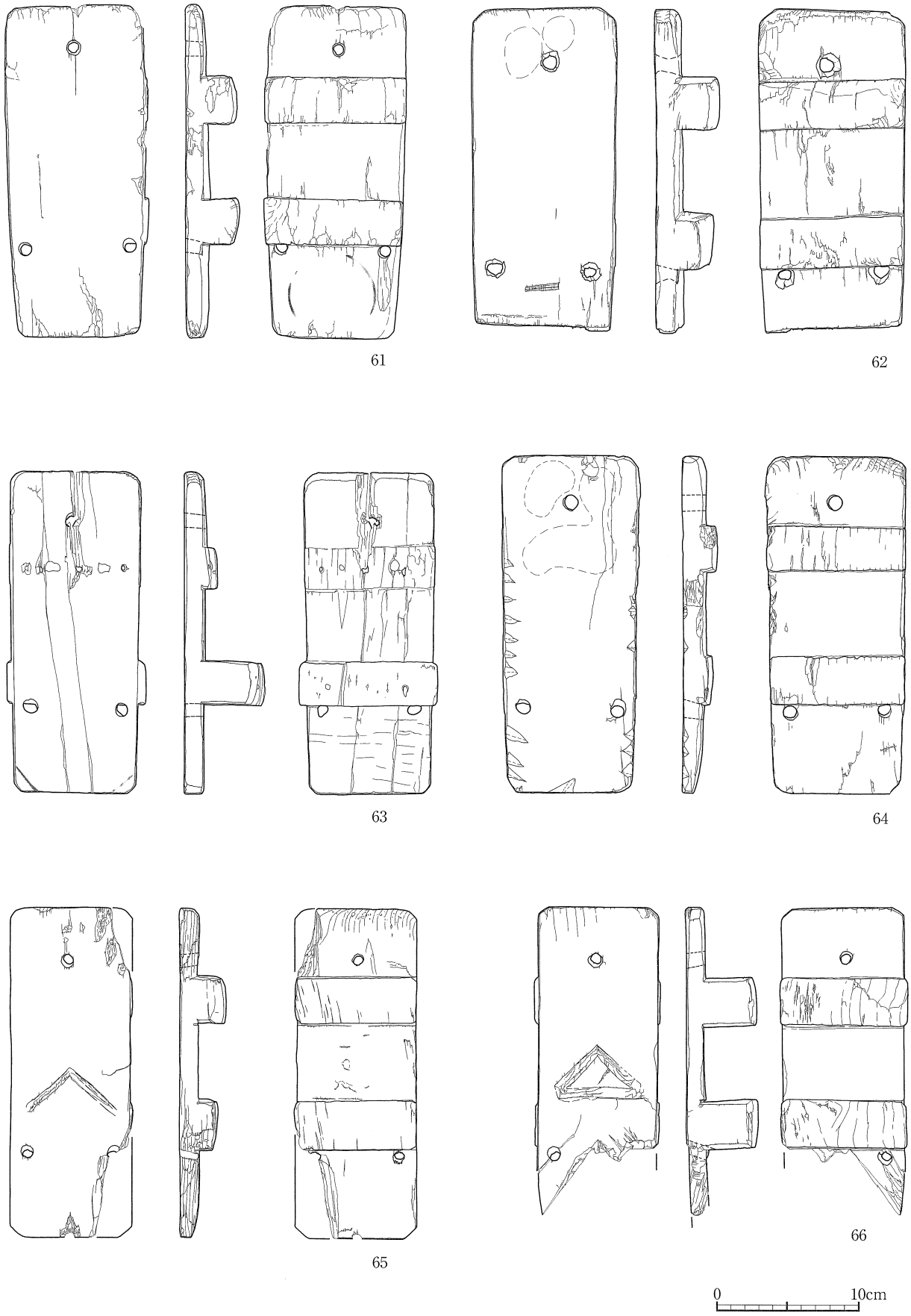
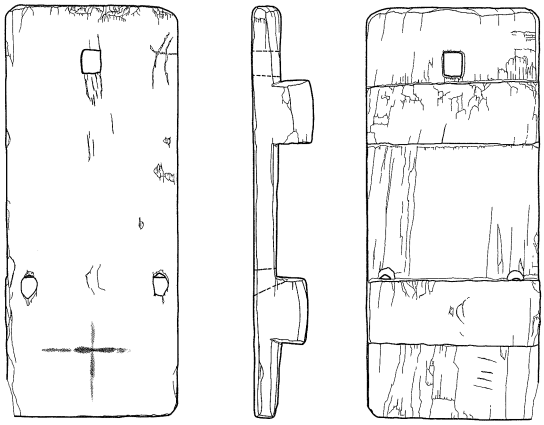
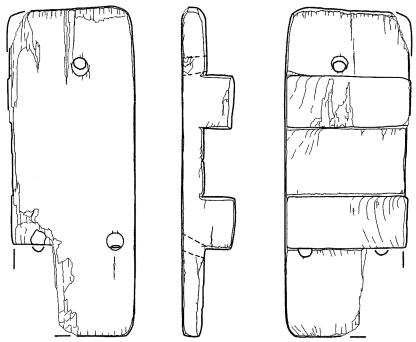


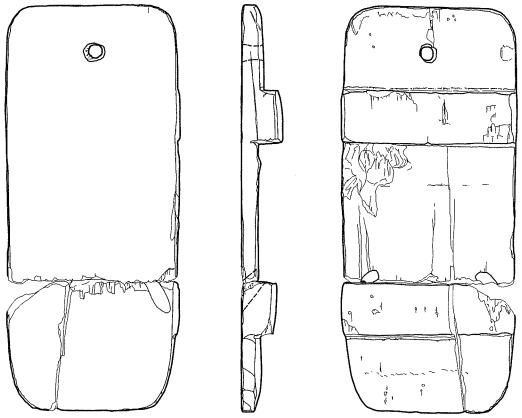
図20　武家屋敷地区第７地点出土下駄（3）
Fig.20　Clogs from BK7（3）



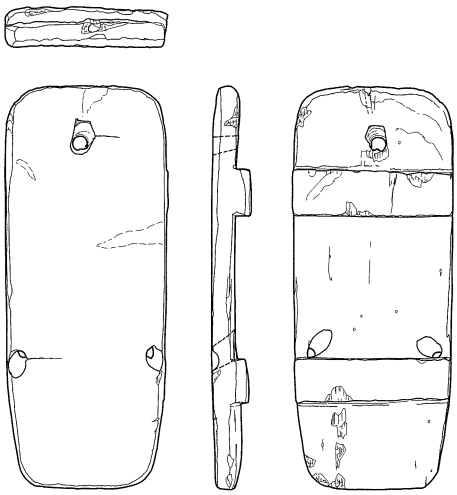
67



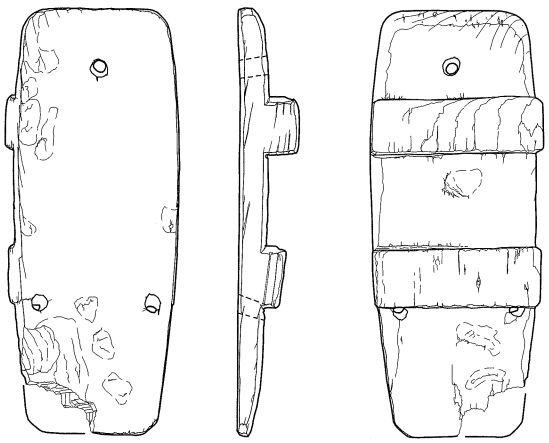
68



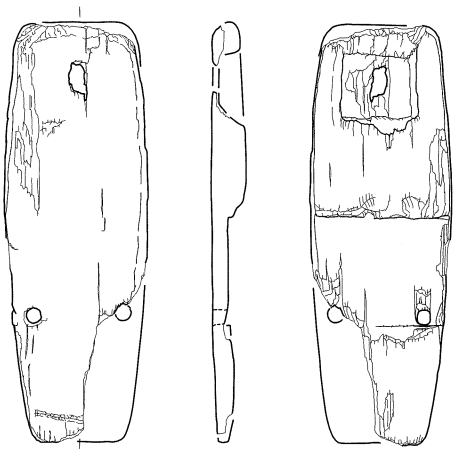
69



70



71



72

0 10cm

図21　武家屋敷地区第７地点出土下駄（4）
Fig.21　Clogs from BK7（4）

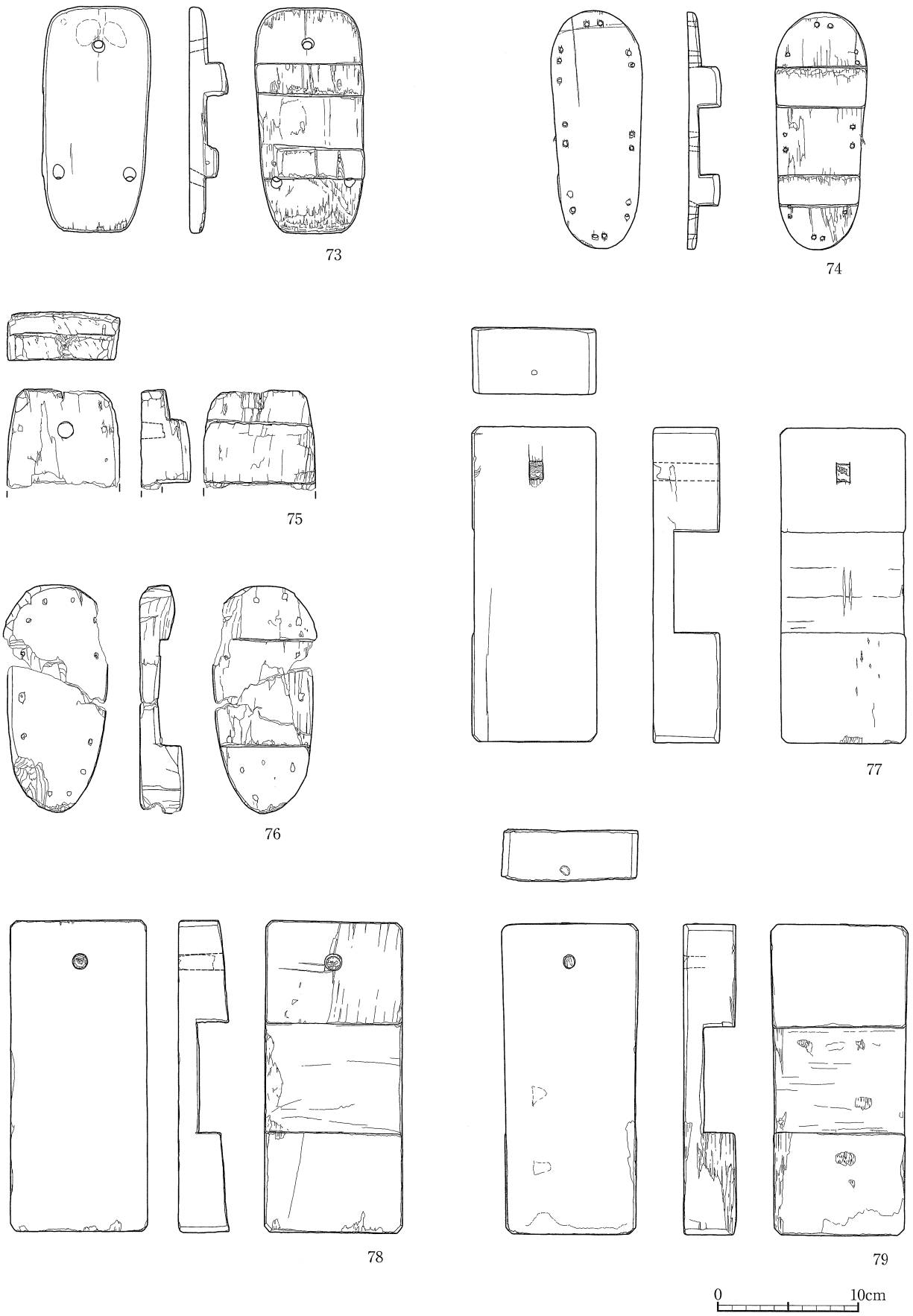
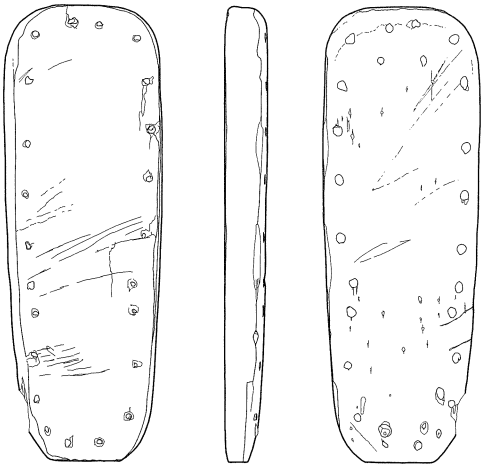
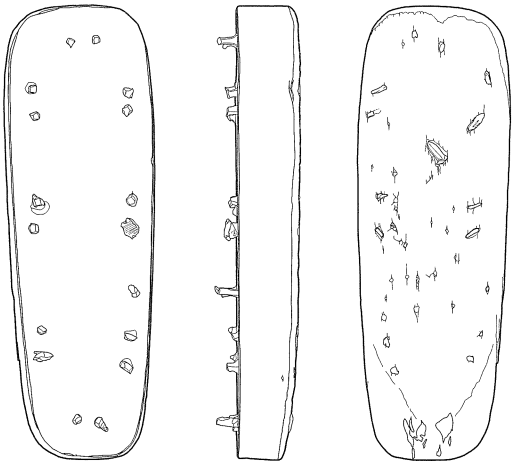


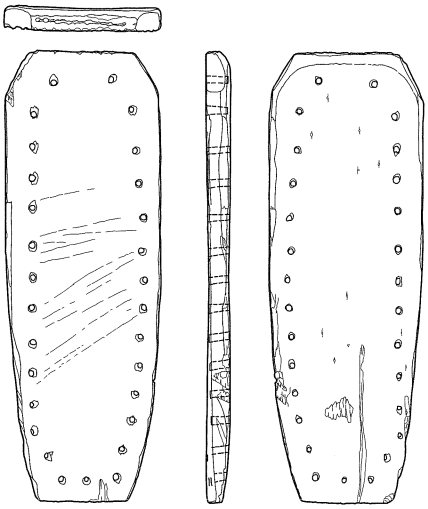
図22　武家屋敷地区第７地点出土下駄（5）
Fig.22　Clogs from BK7（5）



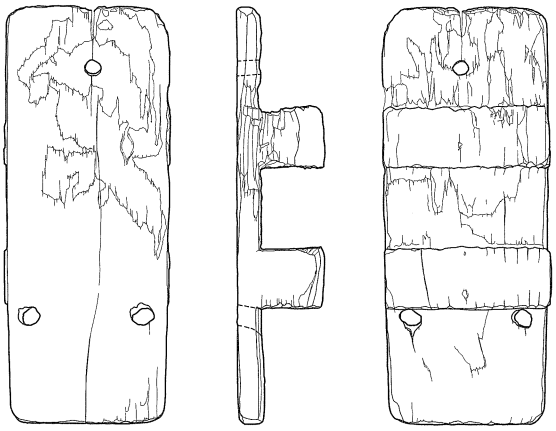
80



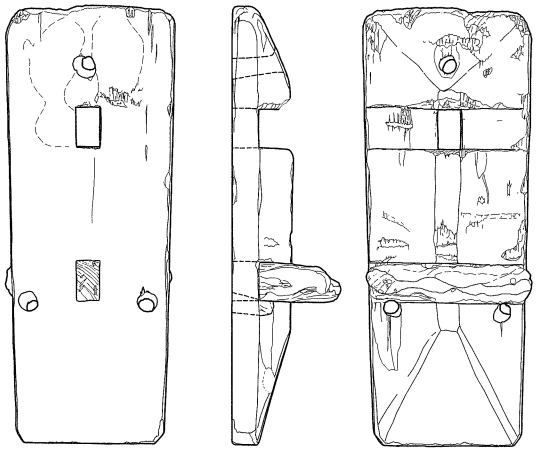
81



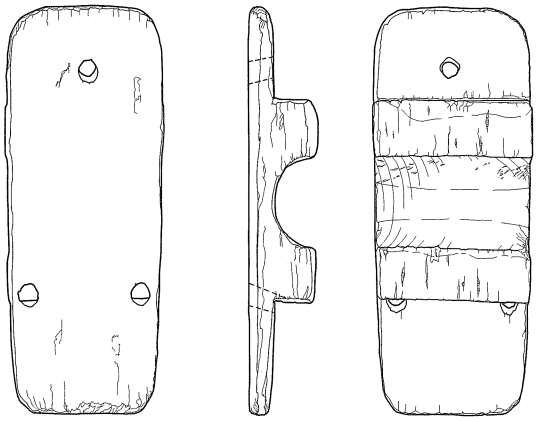
82



83



84



85

0 10cm

図23　武家屋敷地区第７地点出土下駄（6）
Fig.23　Clogs from BK7（6）

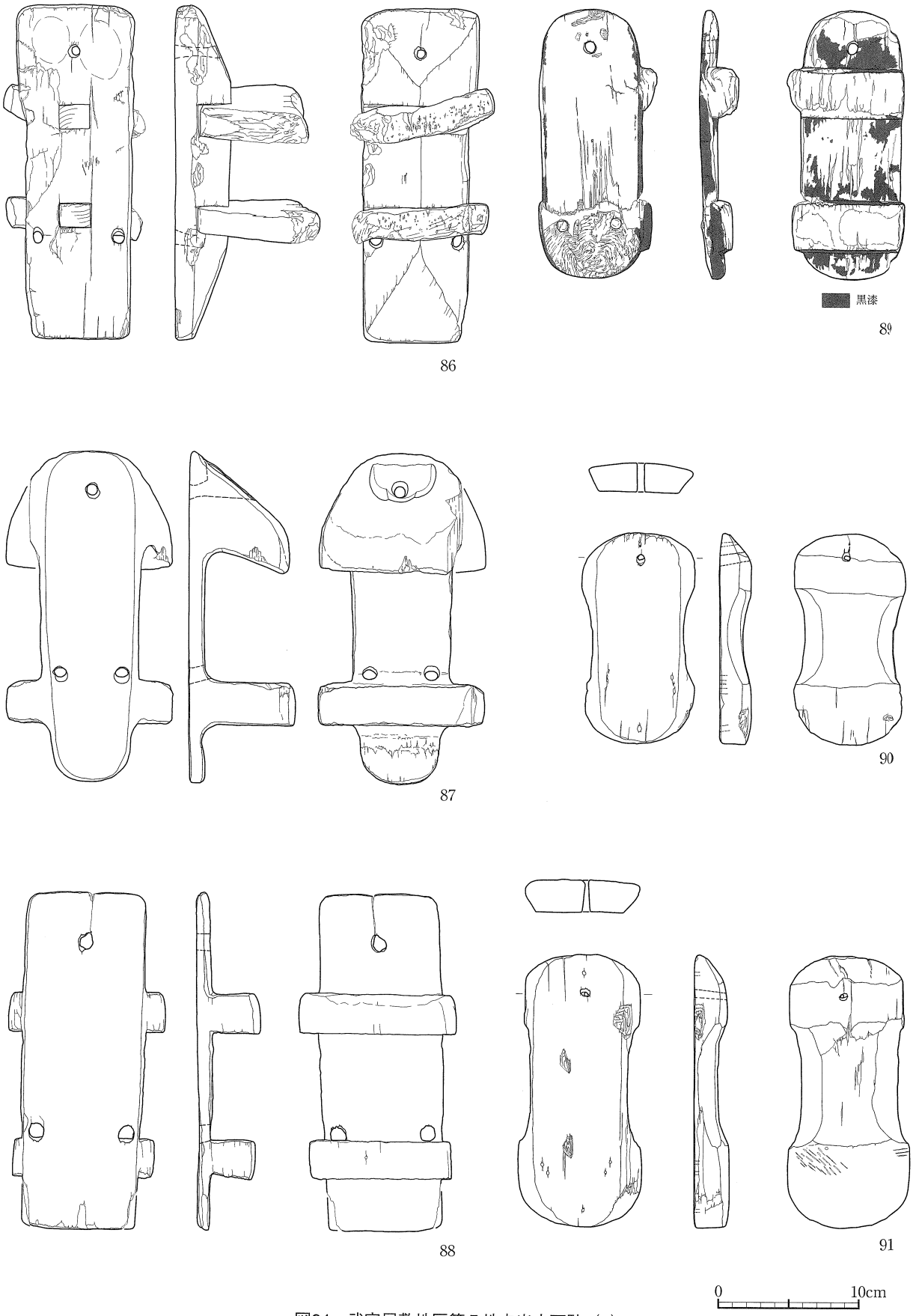


図24　武家屋敷地区第７地点出土下駄（7）
Fig.24　Clogs from BK7（7）

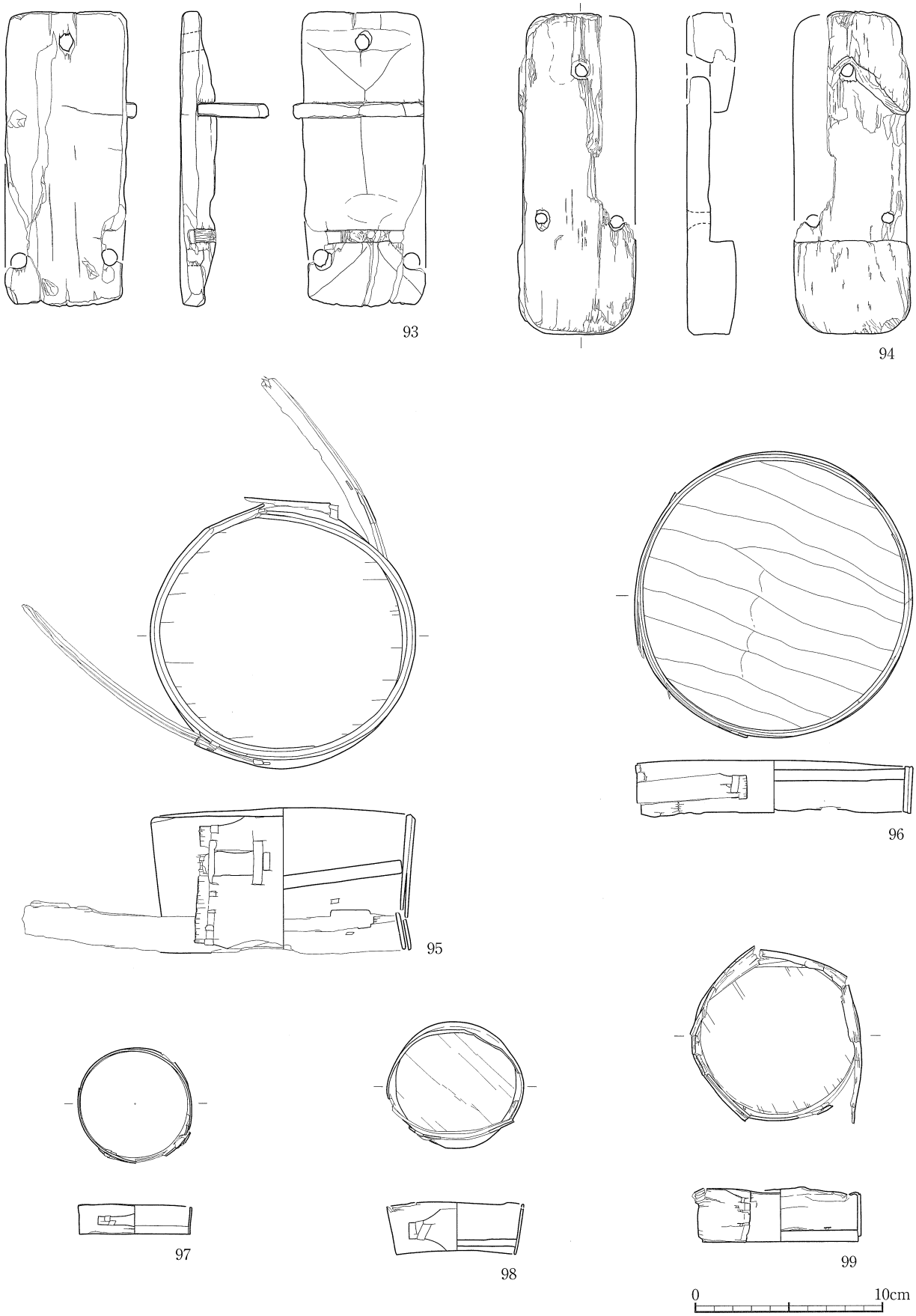


図25　武家屋敷地区第７地点出土下駄（8）・曲物
Fig.25　Clogs and round vessels by bending and securing a thin sheet of cypress wood from BK7

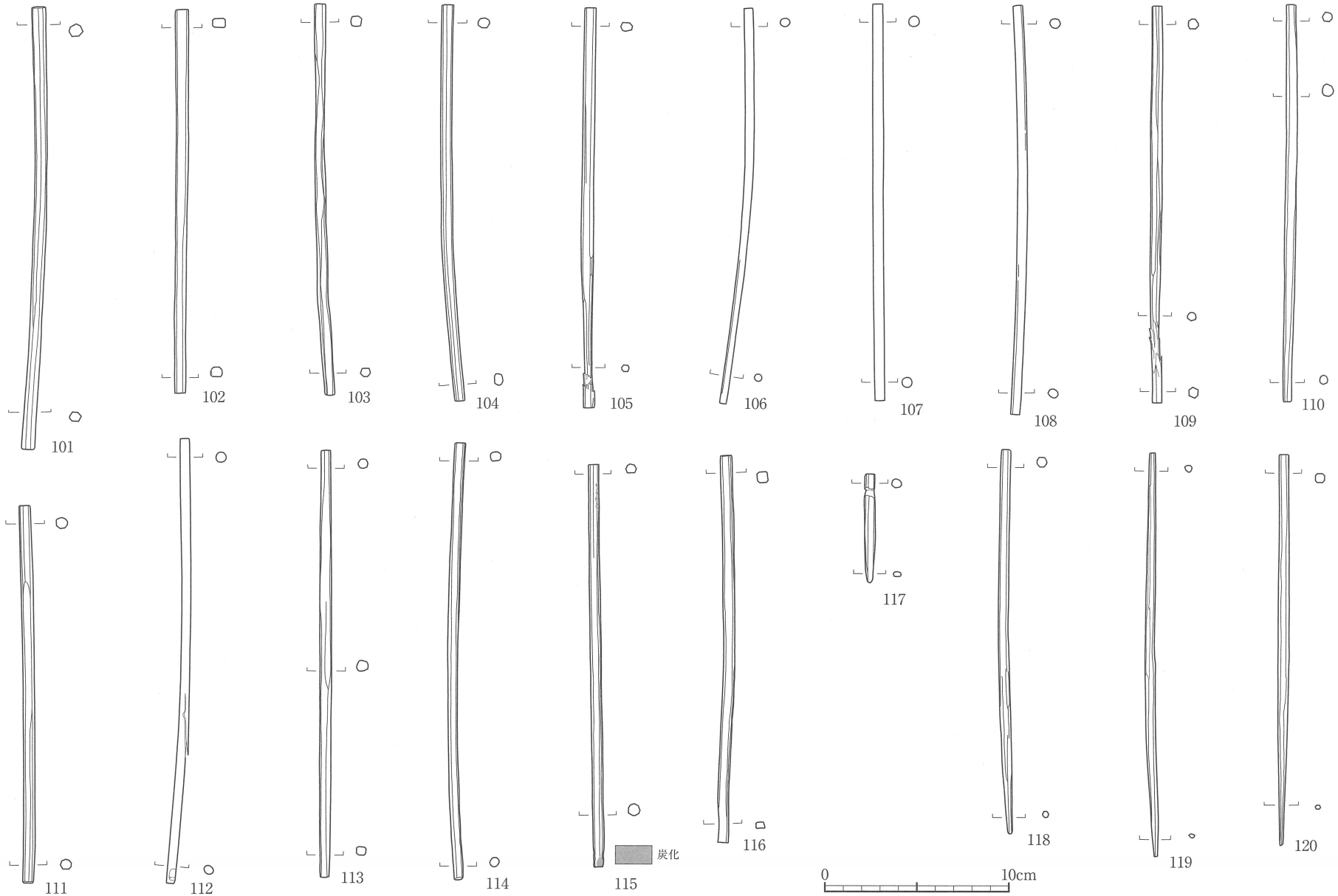


図26　武家屋敷地区第７地点出土箸状木製品（1）
Fig.26　Wooden chopsticks from BK7（1）

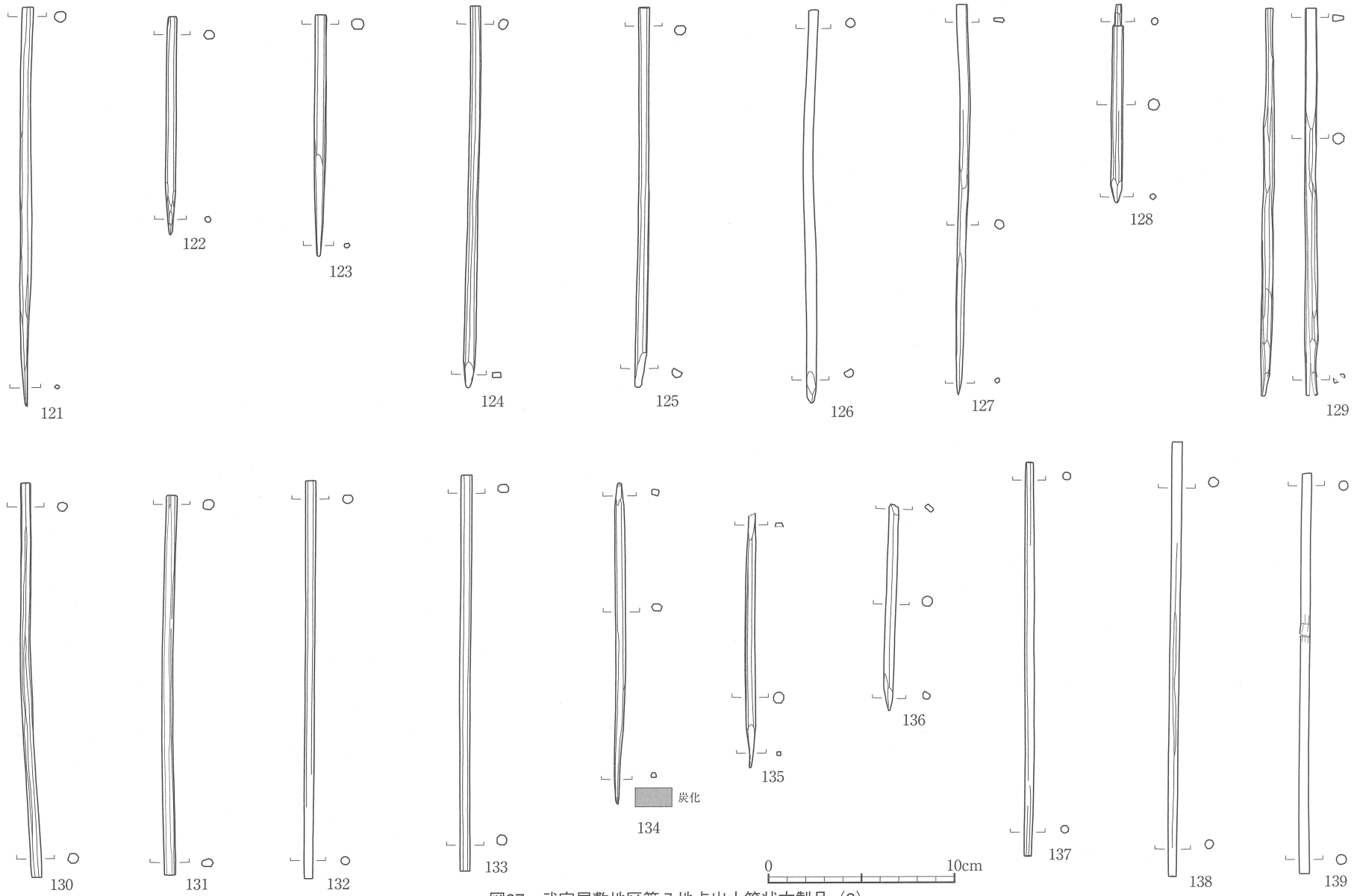


図27　武家屋敷地区第７地点出土箸状木製品（2）
Fig.27　Wooden chopsticks from BK7（2）

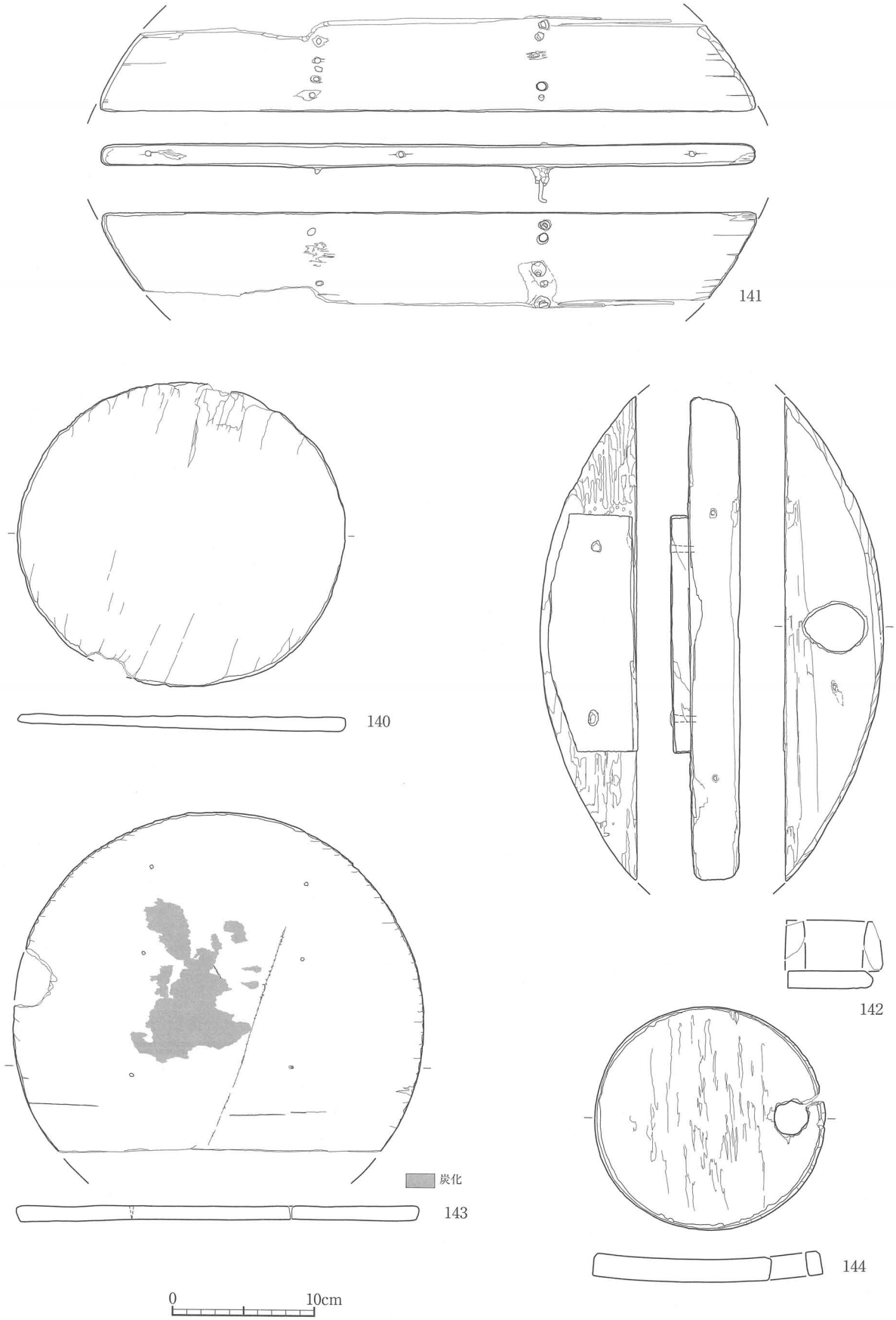


図28　武家屋敷地区第７地点出土桶類（1）
Fig.28　Wooden buckets from BK7（1）

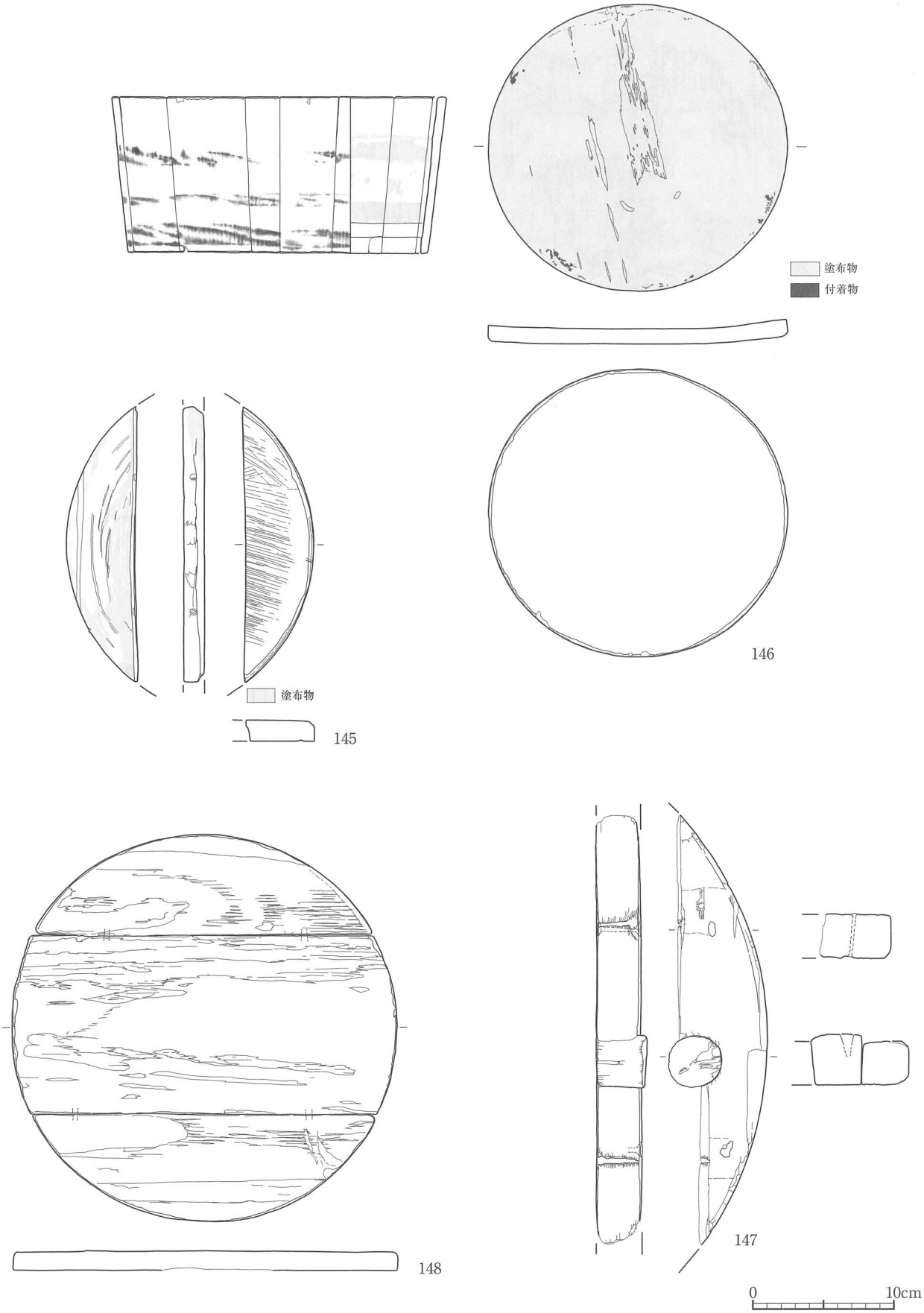


図29　武家屋敷地区第７地点出土桶類（2）
Fig.29　Wooden buckets from BK7（2）

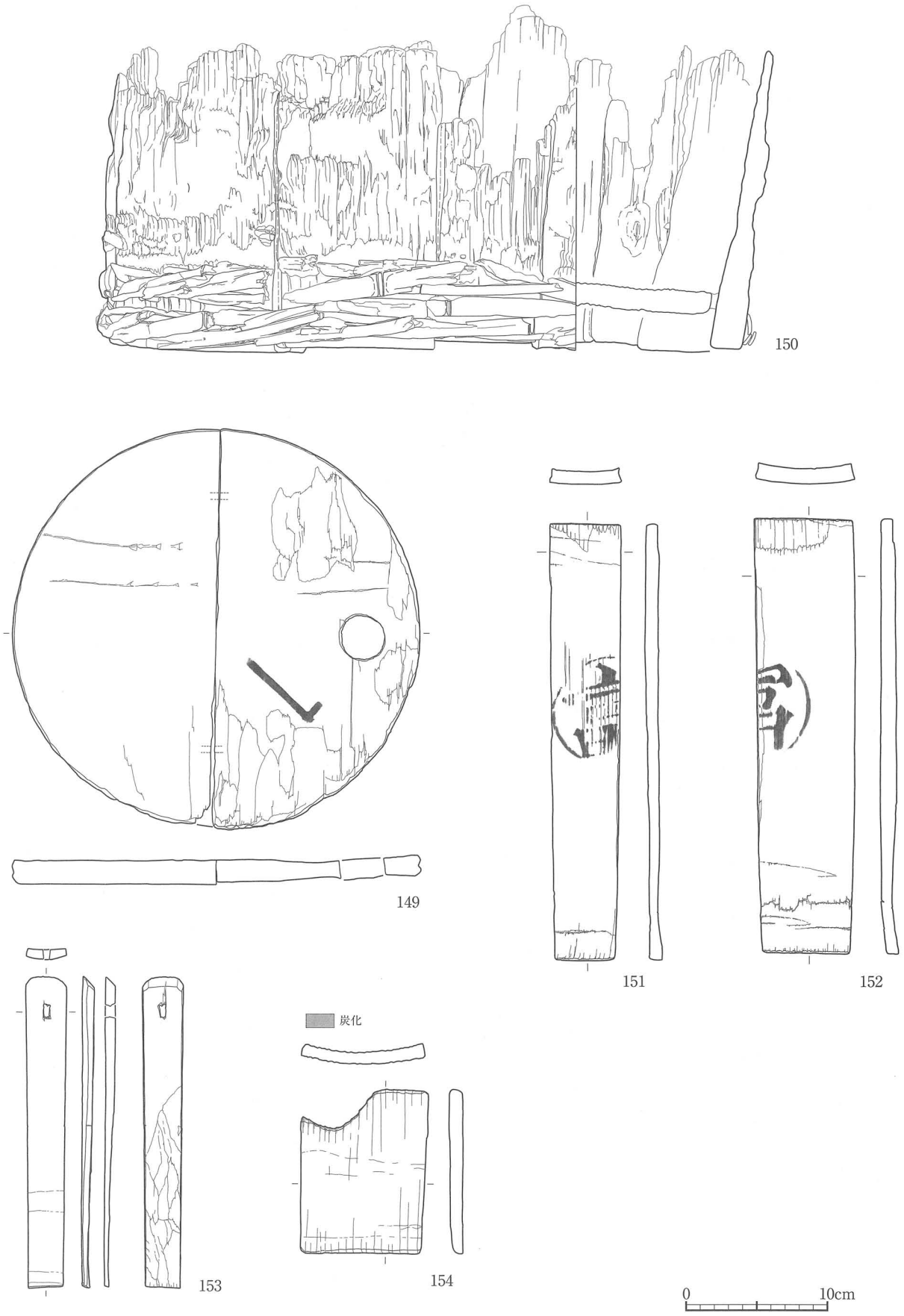


図30　武家屋敷地区第７地点出土桶類（3）
Fig.30　Wooden buckets from BK7（3）

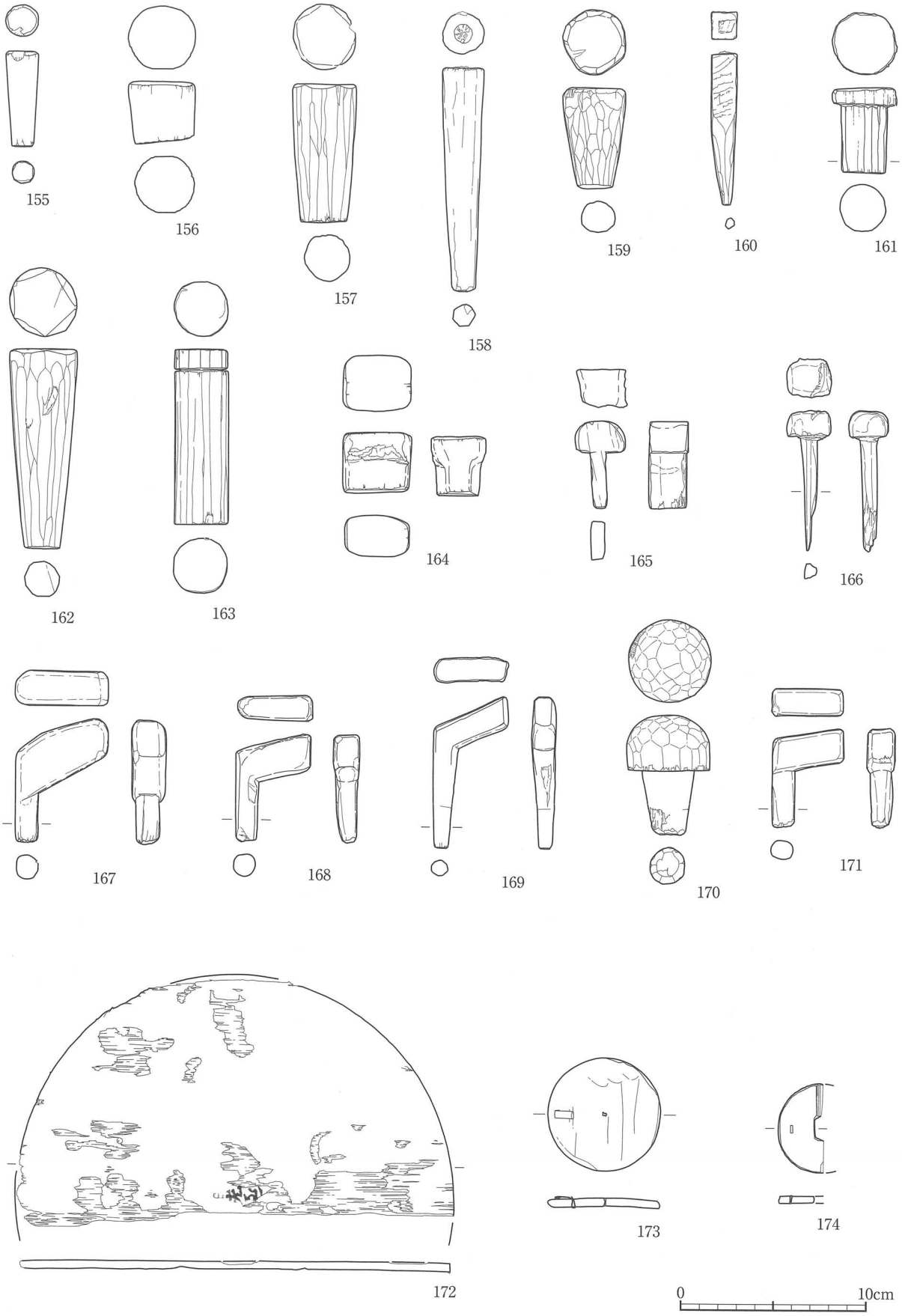


図31　武家屋敷地区第７地点出土栓・円板状木製品（1）
Fig.31　Wooden plugs and wooden implements shaped round plate from BK7（1）

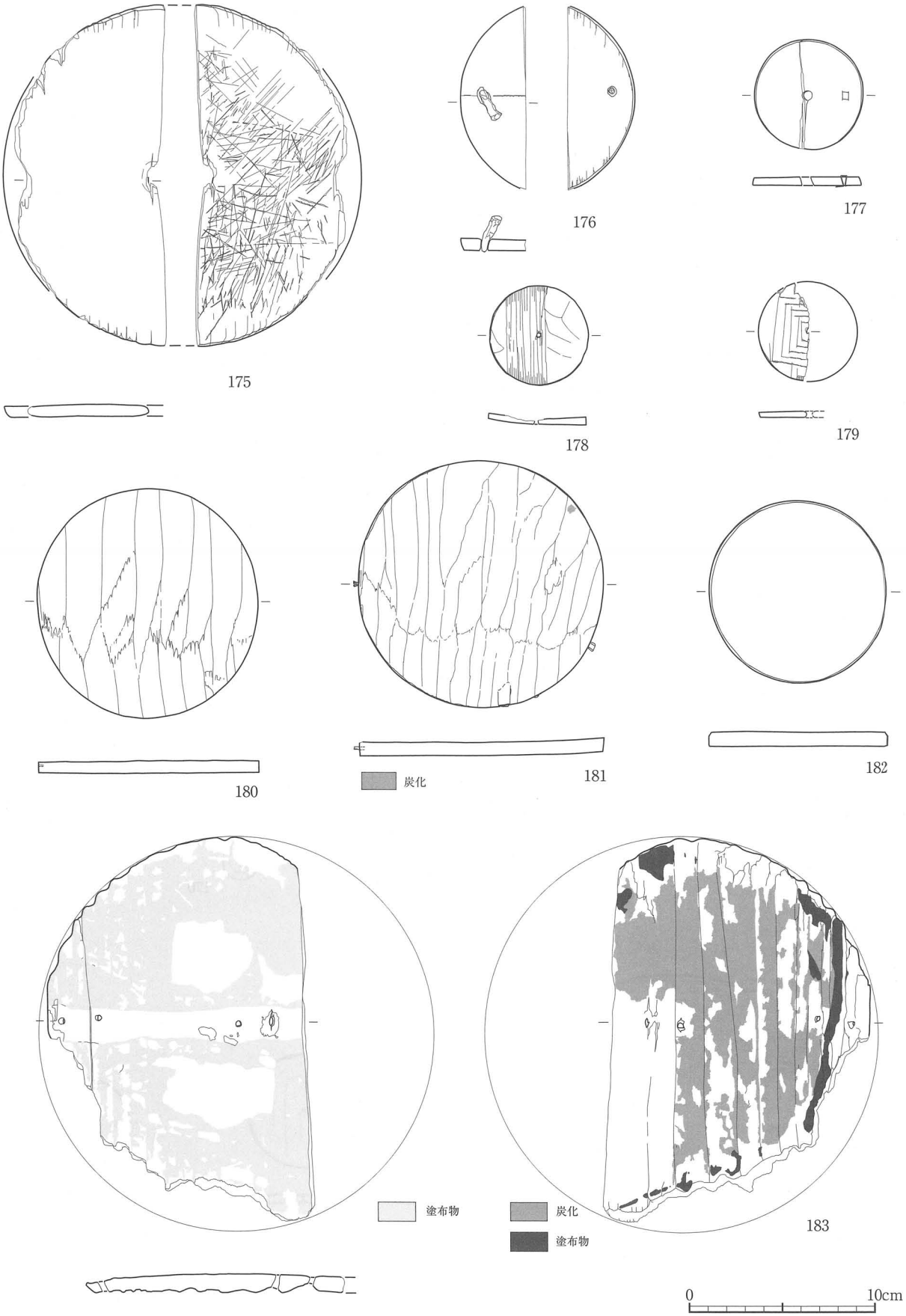


図32　武家屋敷地区第７地点出土円板状木製品（2）
Fig.32　Wooden implements shaped round plate from BK7（2）

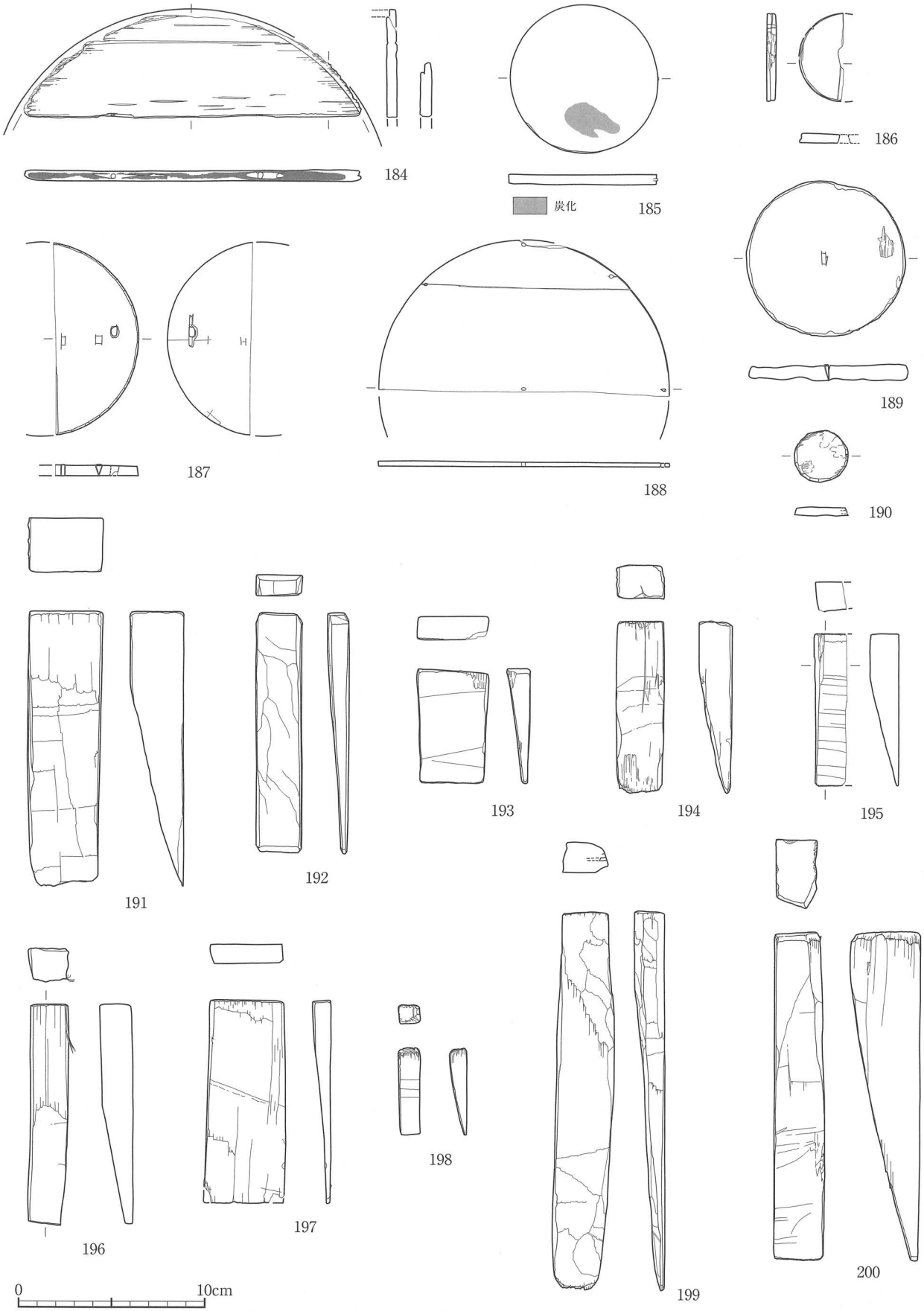


図33　武家屋敷地区第７地点出土円板状木製品（3）・楔
Fig.33　Wooden implements shaped round plate and wooden implements shaped wedge from BK7

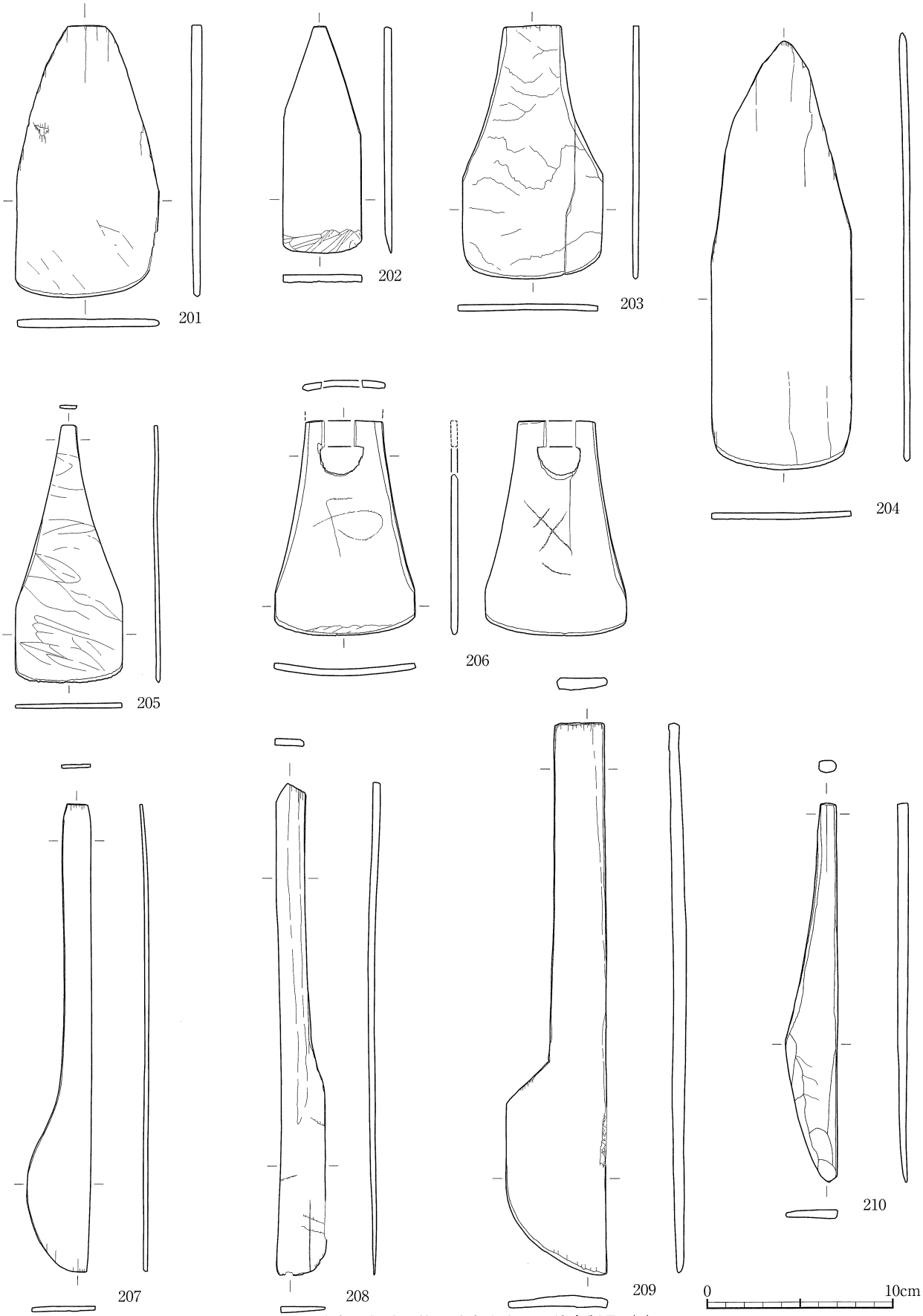


図34　武家屋敷地区第７地点出土へら状木製品（1）
Fig.34　Wooden spatulas from BK7（1）

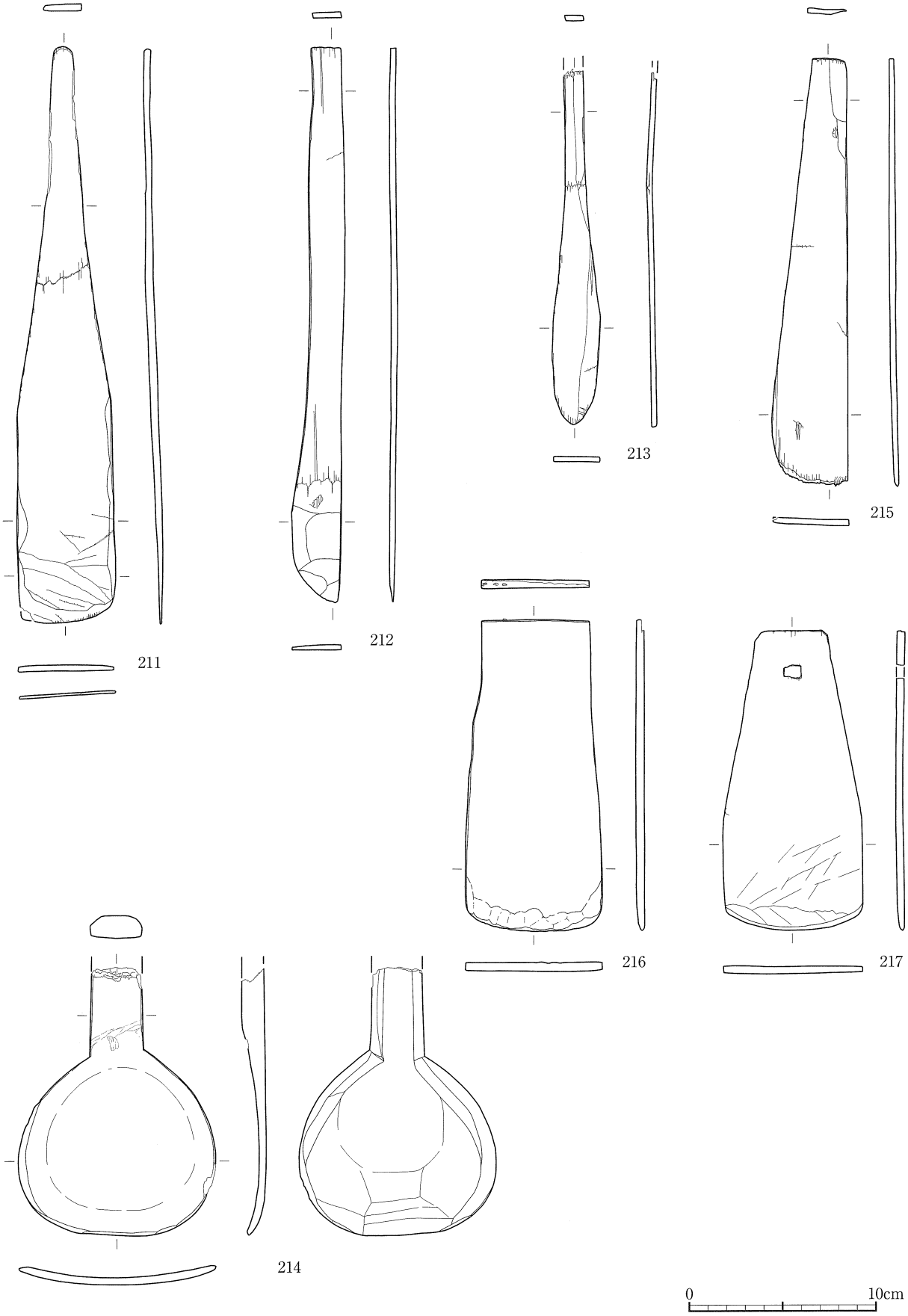


図35　武家屋敷地区第７地点出土へら状木製品（2）
Fig.35　Wooden spatulas from BK7（2）

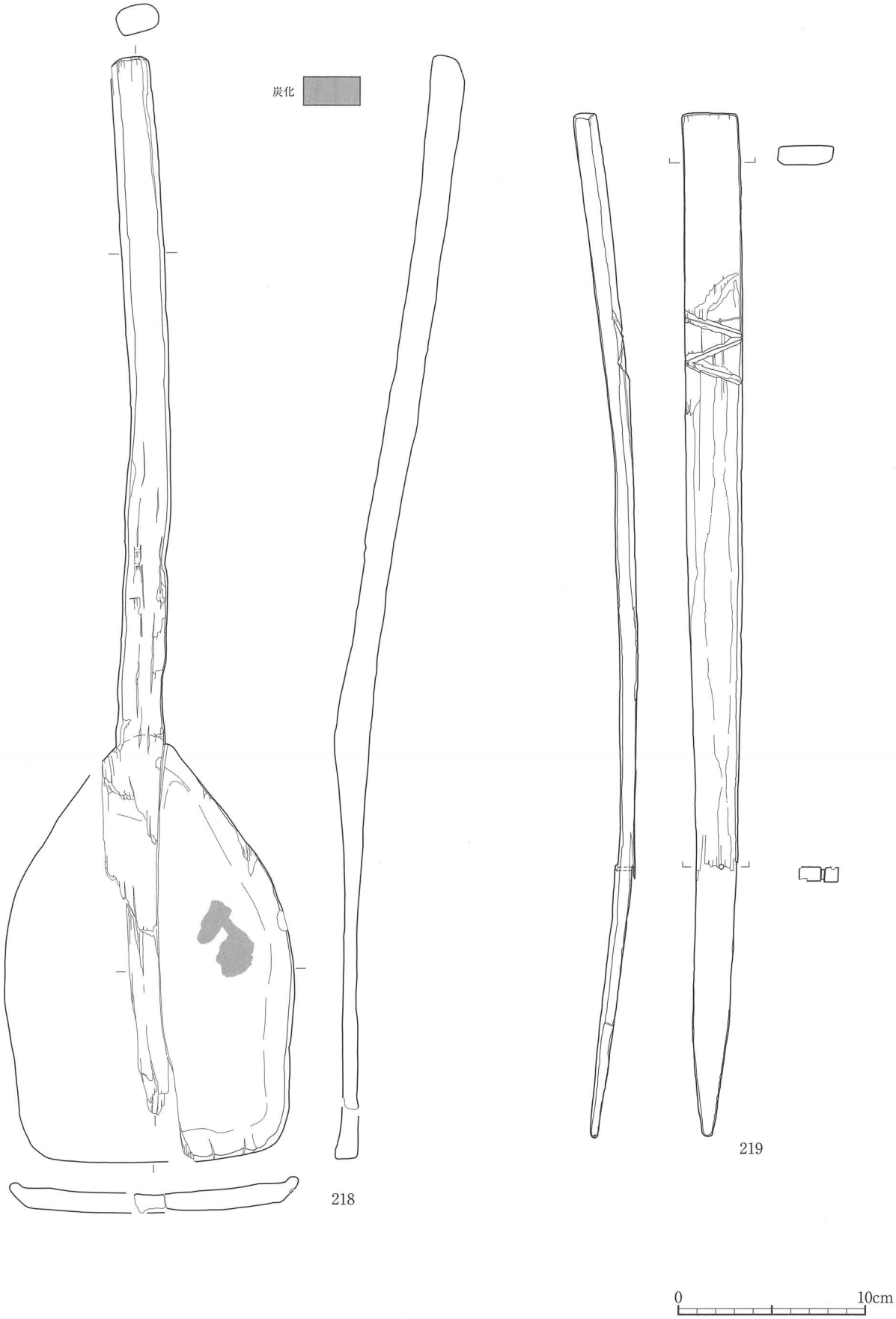


図36　武家屋敷地区第７地点出土へら状木製品（3）・柄状木製品（1）
Fig.36　Wooden spatulas and wooden handles from BK7（1）

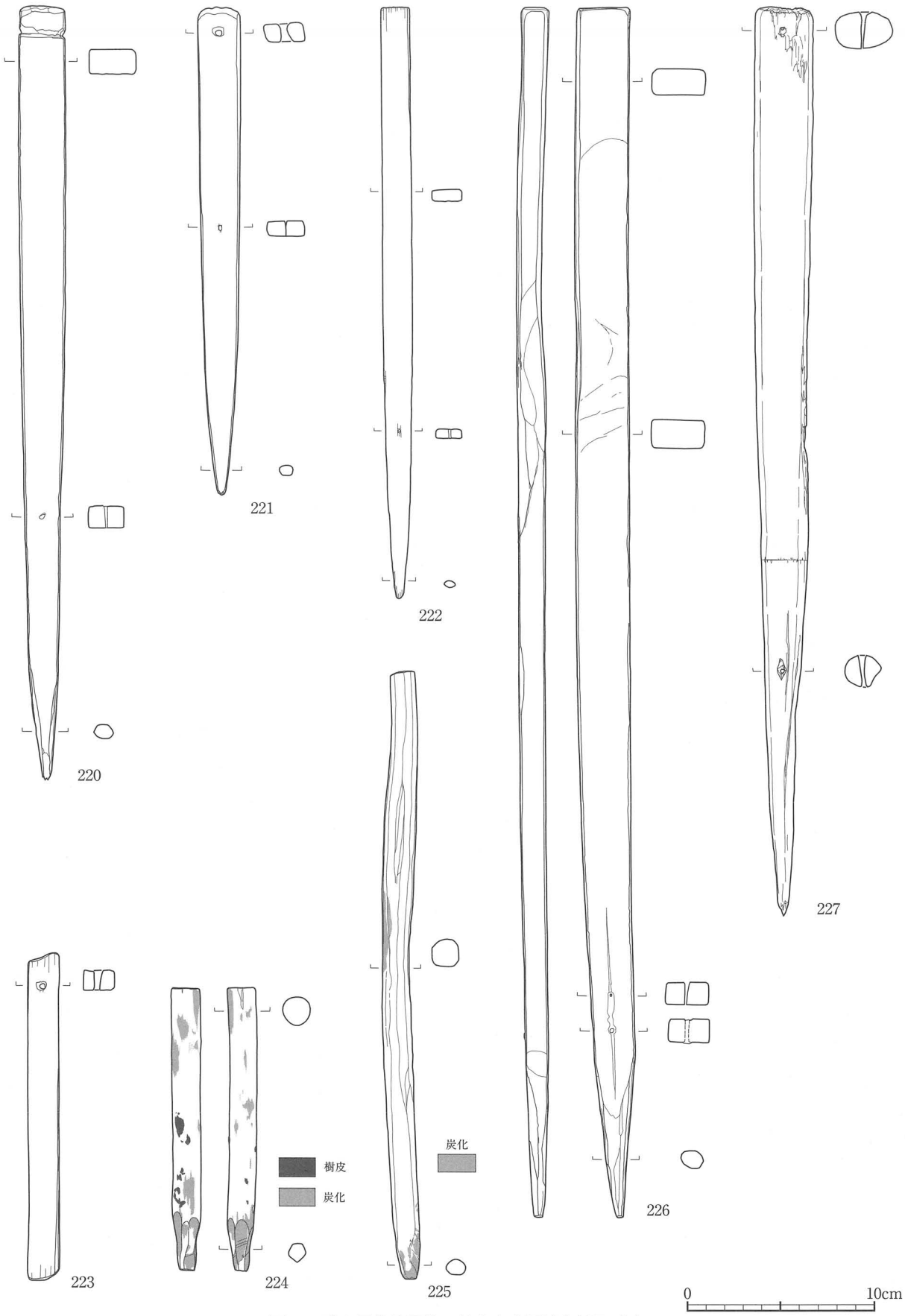


図37　武家屋敷地区第７地点出土柄状木製品（2）
Fig.37　Wooden handles from BK7（2）

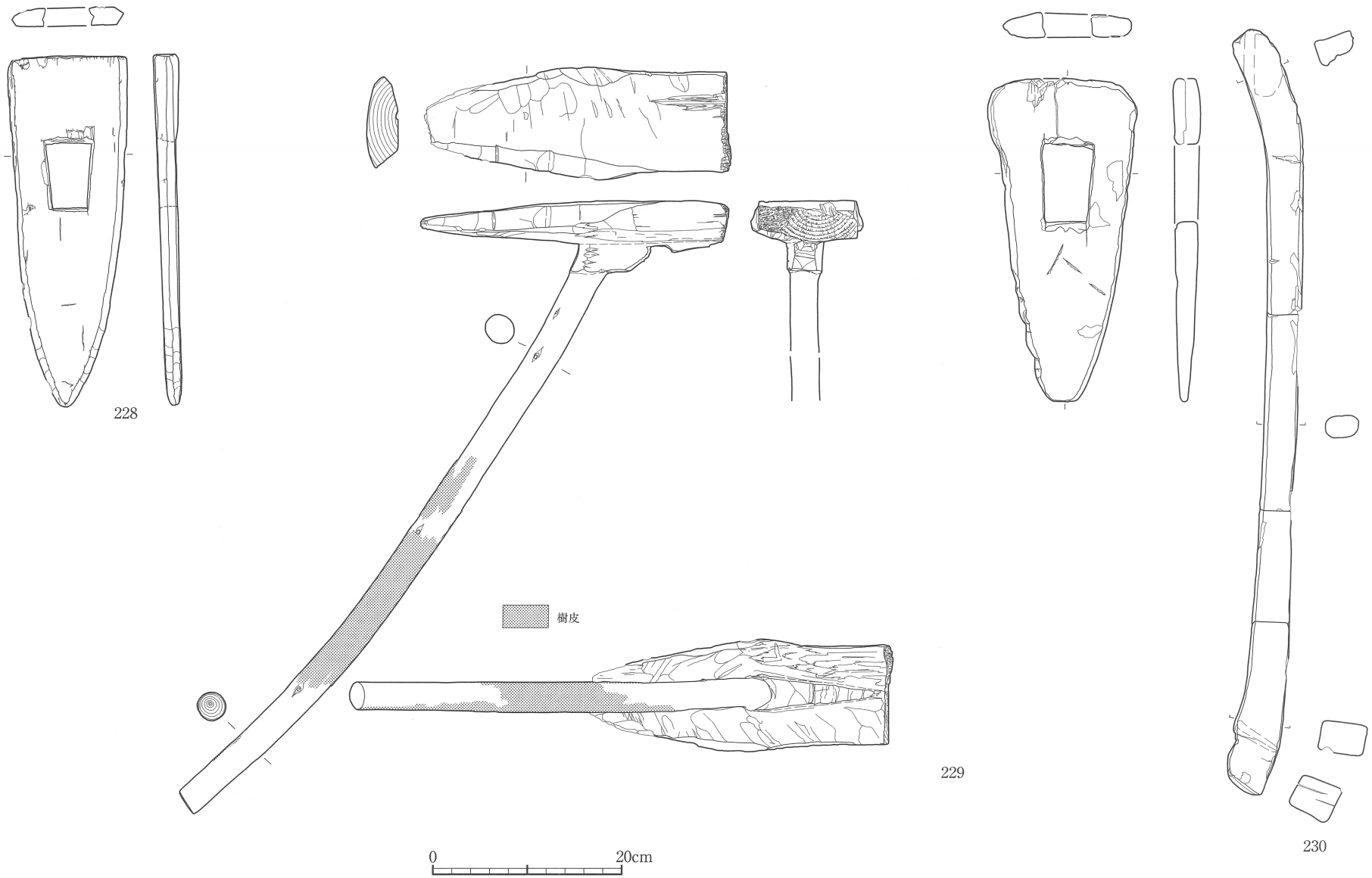


図38　武家屋敷地区第７地点出土鍬
Fig.38　Wooden hoes from BK7

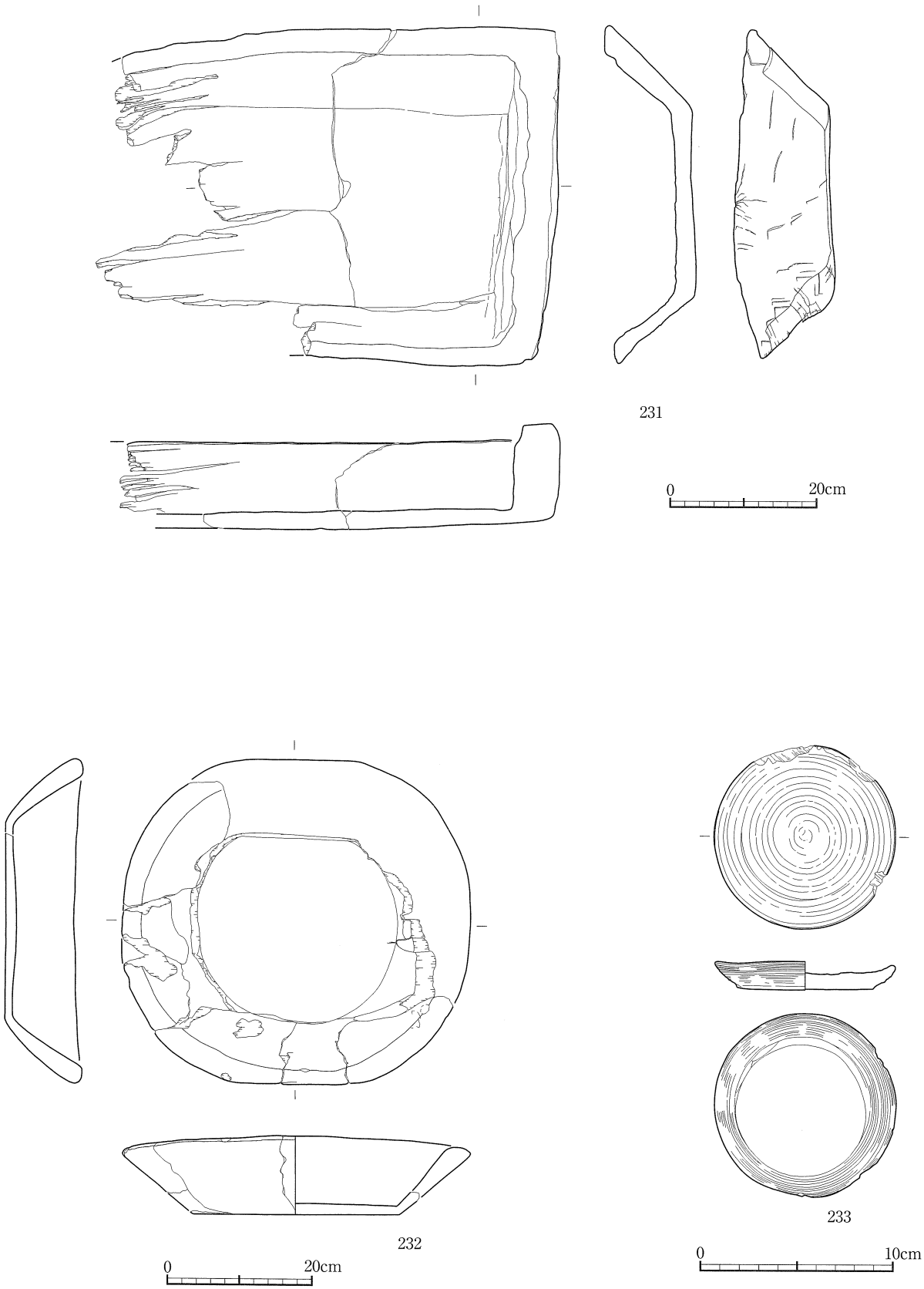
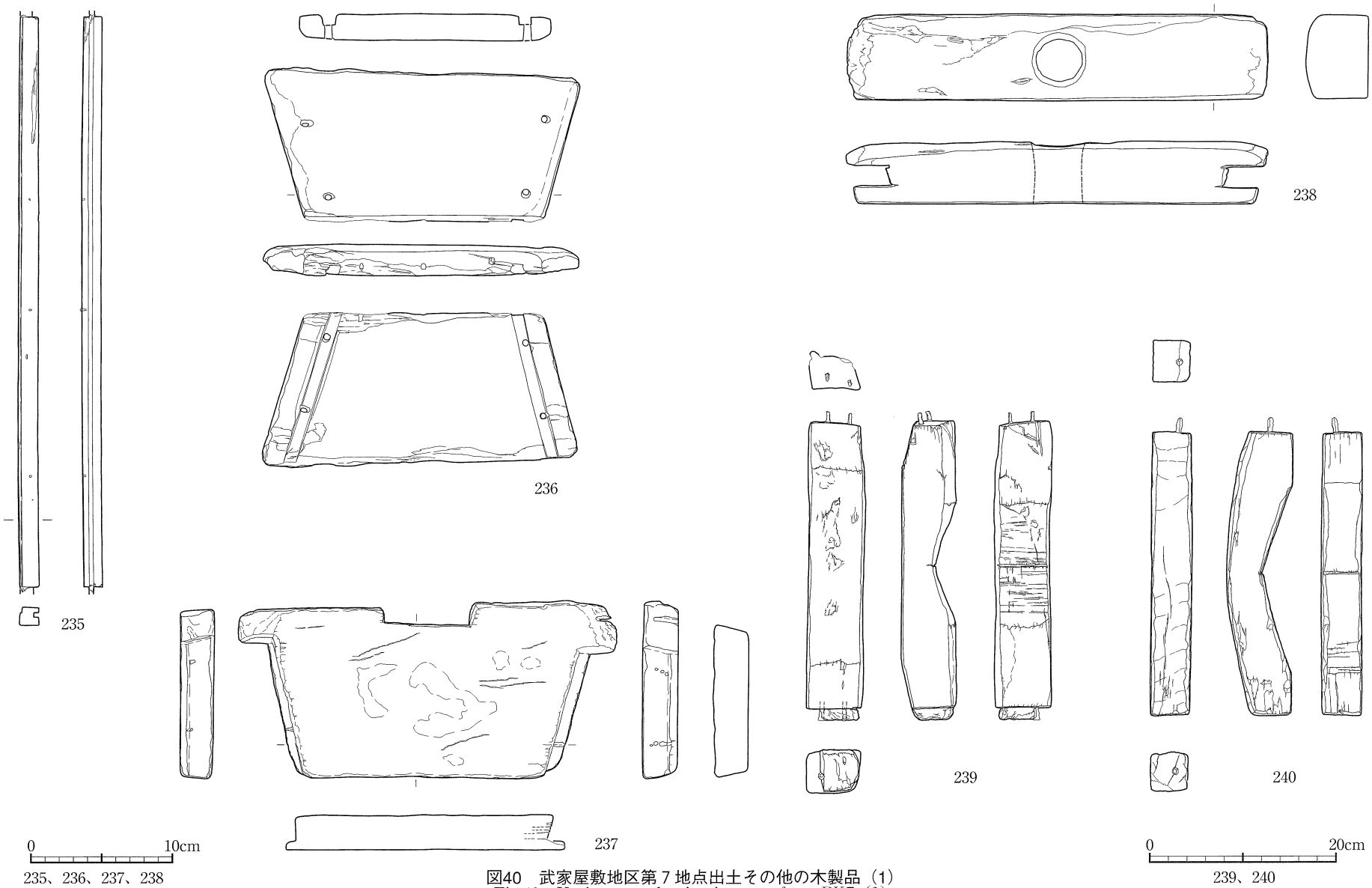


図39　武家屋敷地区第７地点出土槽・刳物
Fig.39　Wooden troughs from BK7



235、236、237、238

239、240

図40　武家屋敷地区第７地点出土その他の木製品（1）
Fig.40　Various wooden implements from BK7 (1)

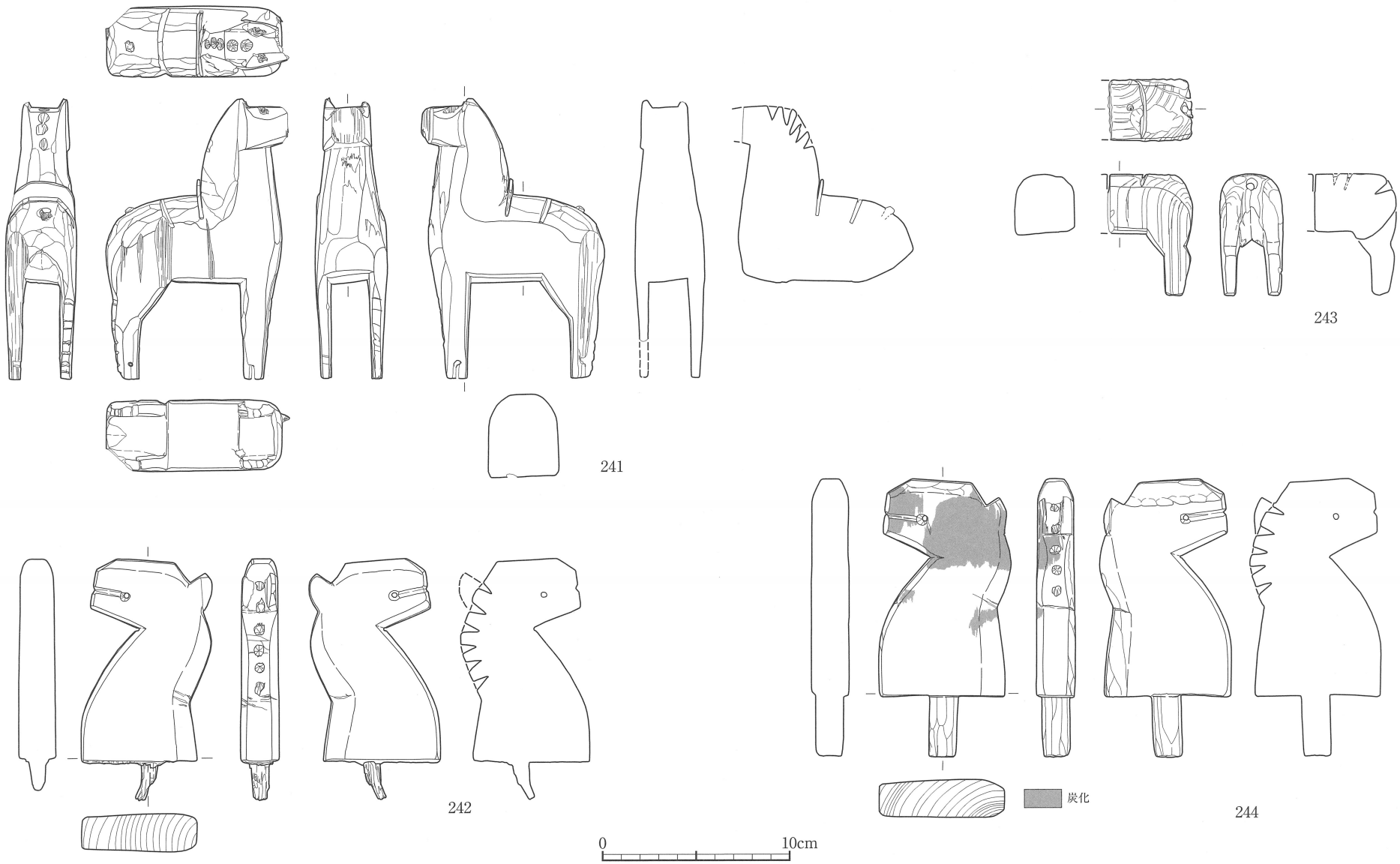


図41　武家屋敷地区第７地点出土その他の木製品（2）
Fig.41　Various wooden implements from BK7（2）

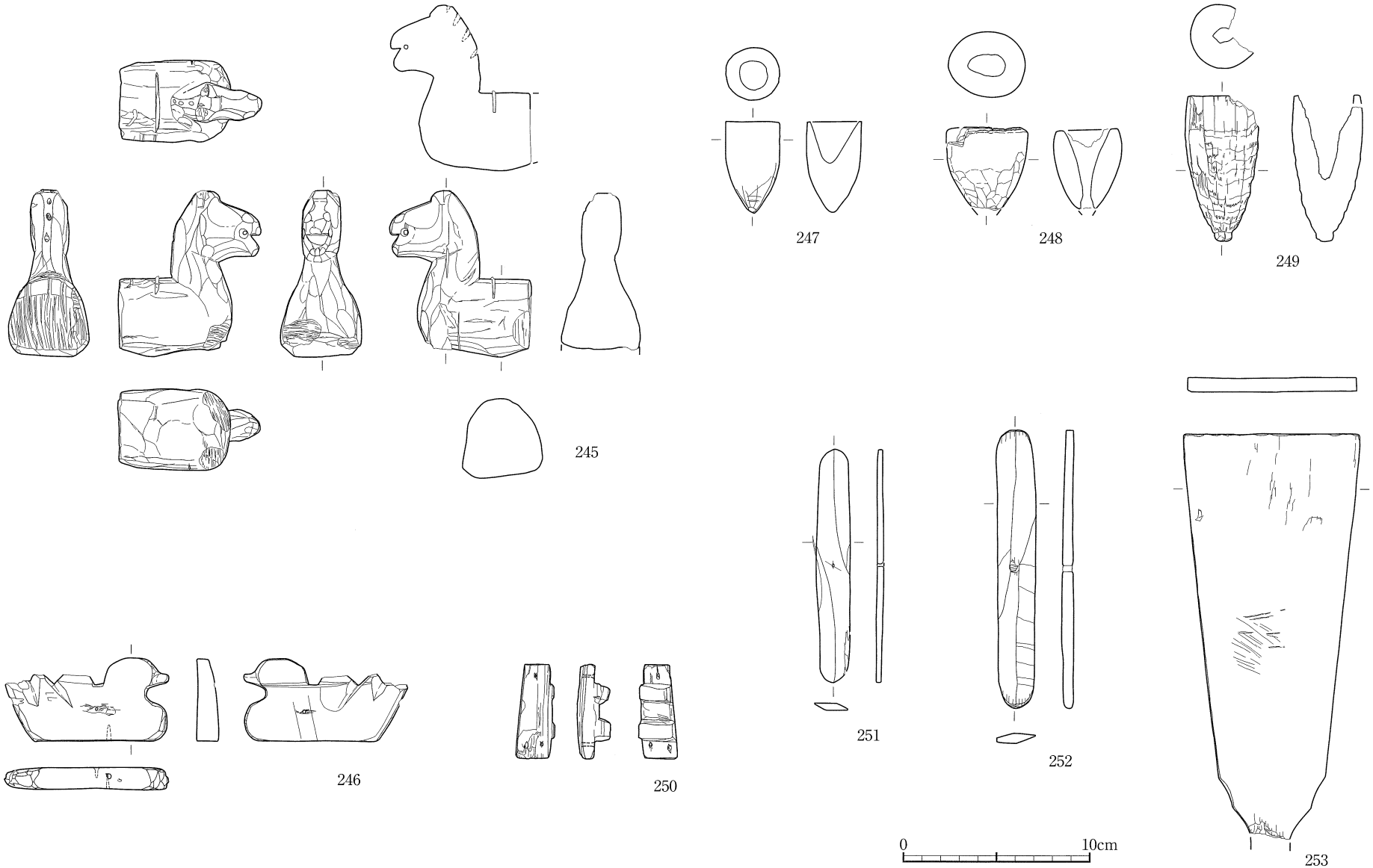


図42　武家屋敷地区第７地点出土その他の木製品（3）
Fig.42　Various wooden implements from BK7（3）

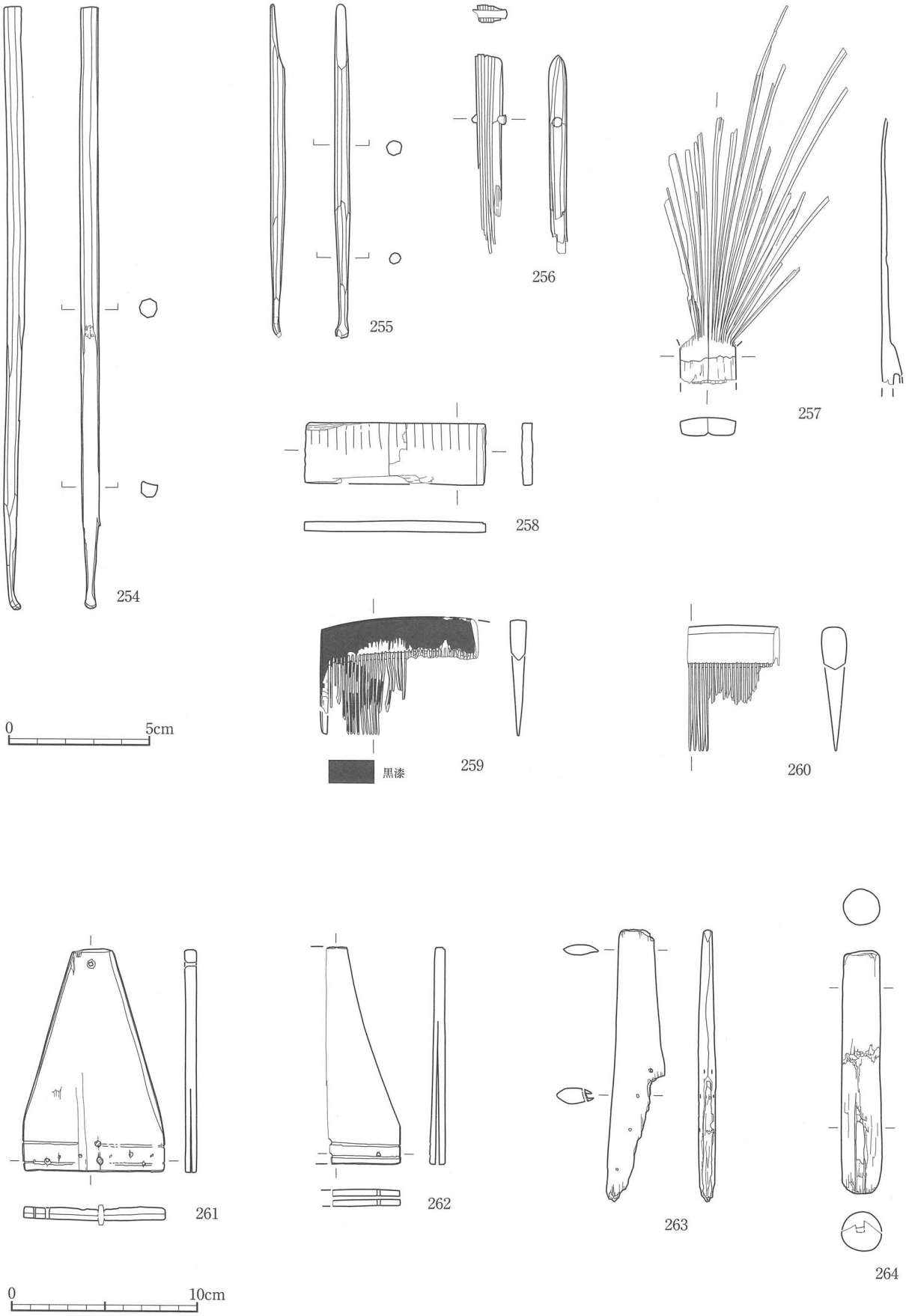


図43　武家屋敷地区第７地点出土その他の木製品（4）
Fig.43　Various wooden implements from BK7（4）

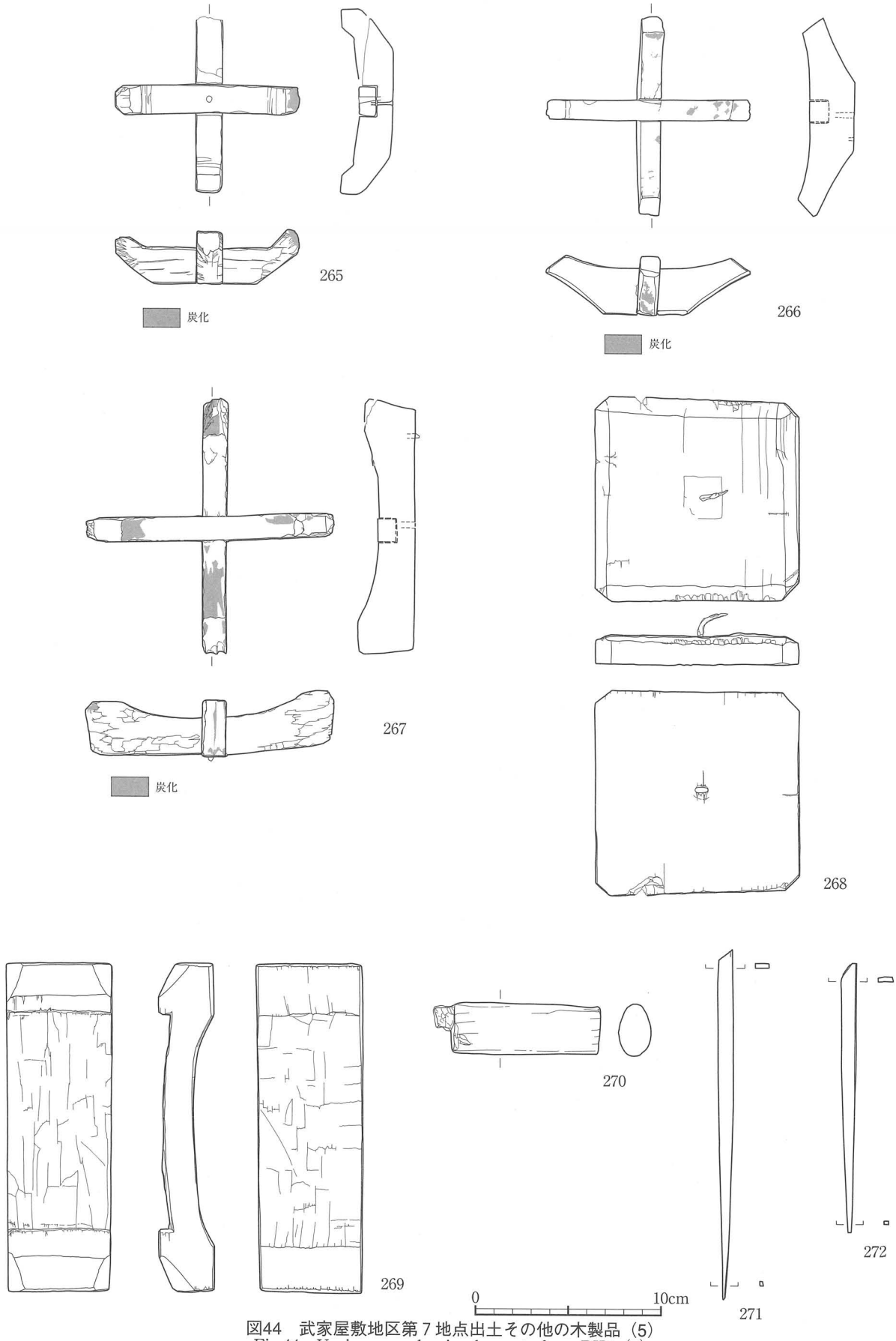


図44　武家屋敷地区第７地点出土その他の木製品（5）
Fig.44　Various wooden implements from BK7（5）

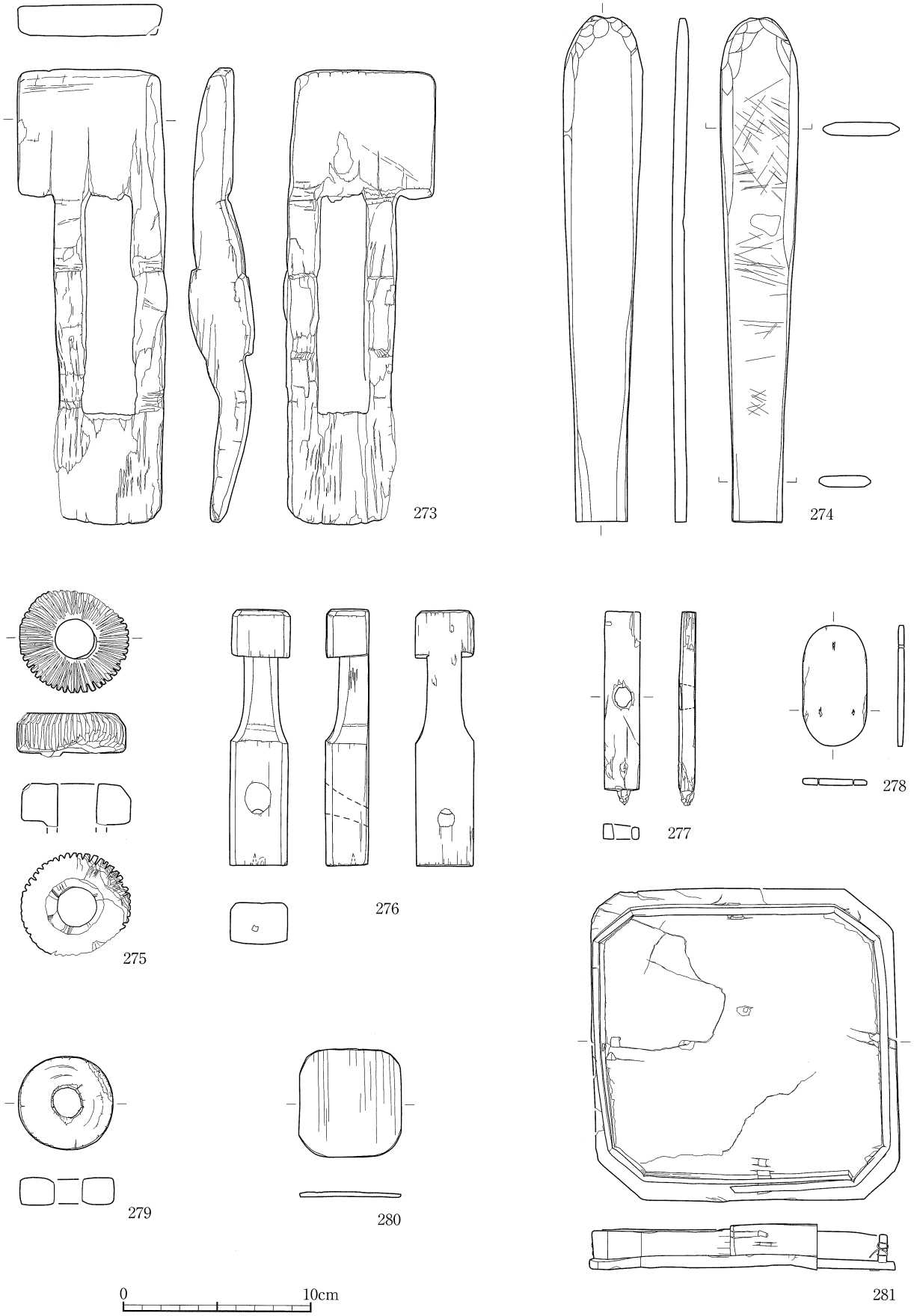


図45　武家屋敷地区第７地点出土その他の木製品（6）
Fig.45　Various wooden implements from BK7（6）

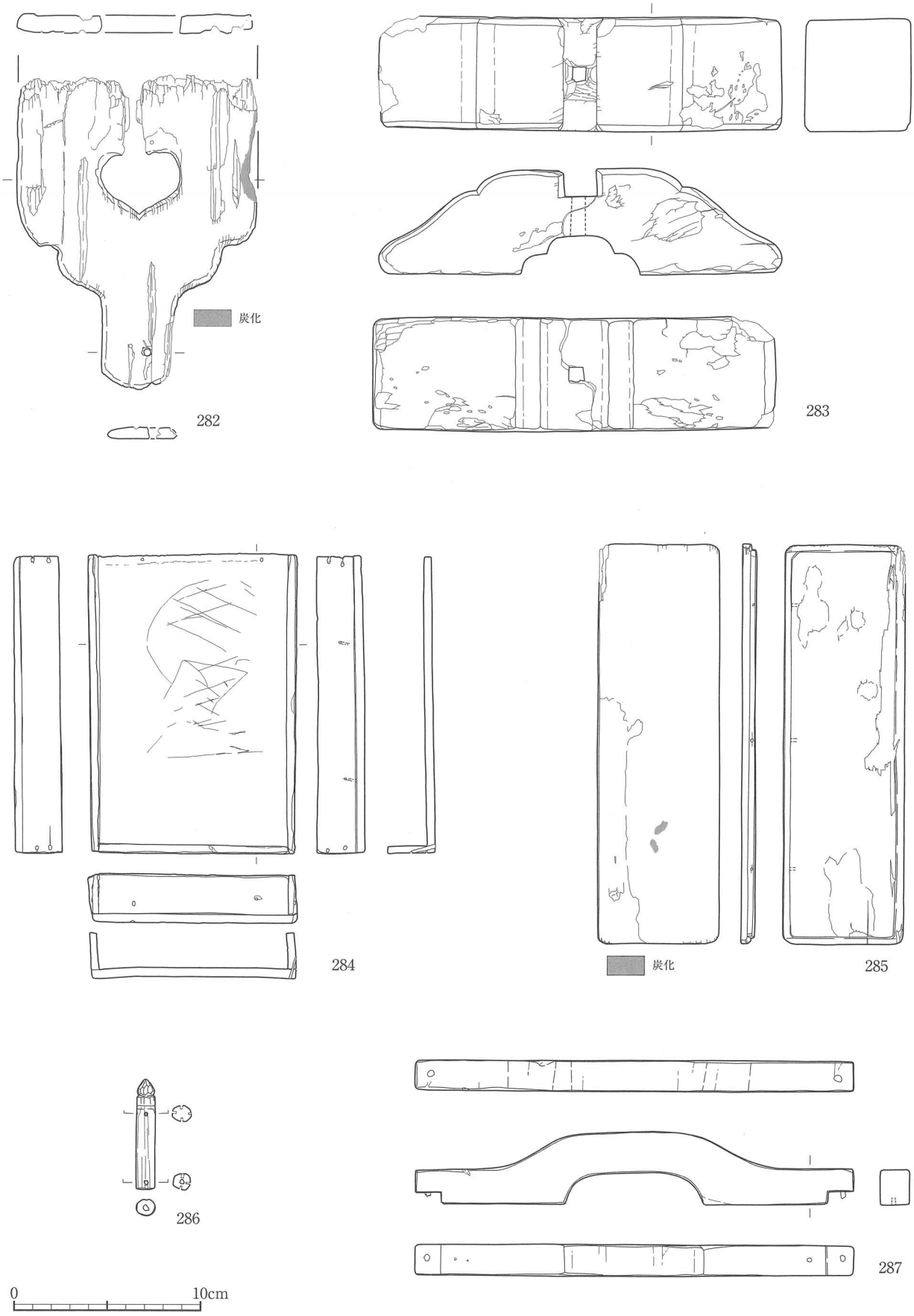


図46　武家屋敷地区第７地点出土その他の木製品（7）
Fig.46　Various wooden implements from BK7（7）

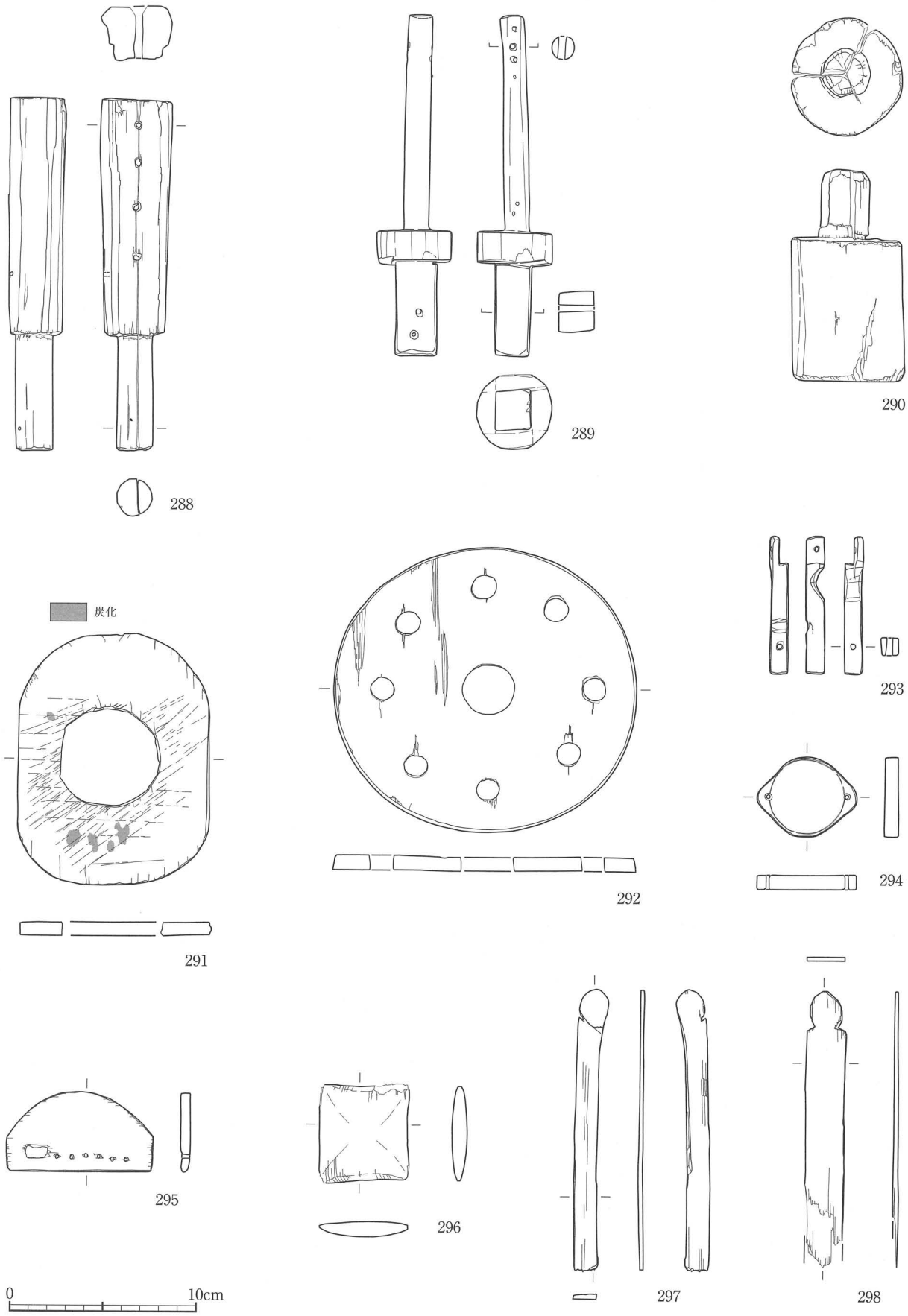


図47　武家屋敷地区第７地点出土その他の木製品（8）
Fig.47　Various wooden implements from BK7（8）

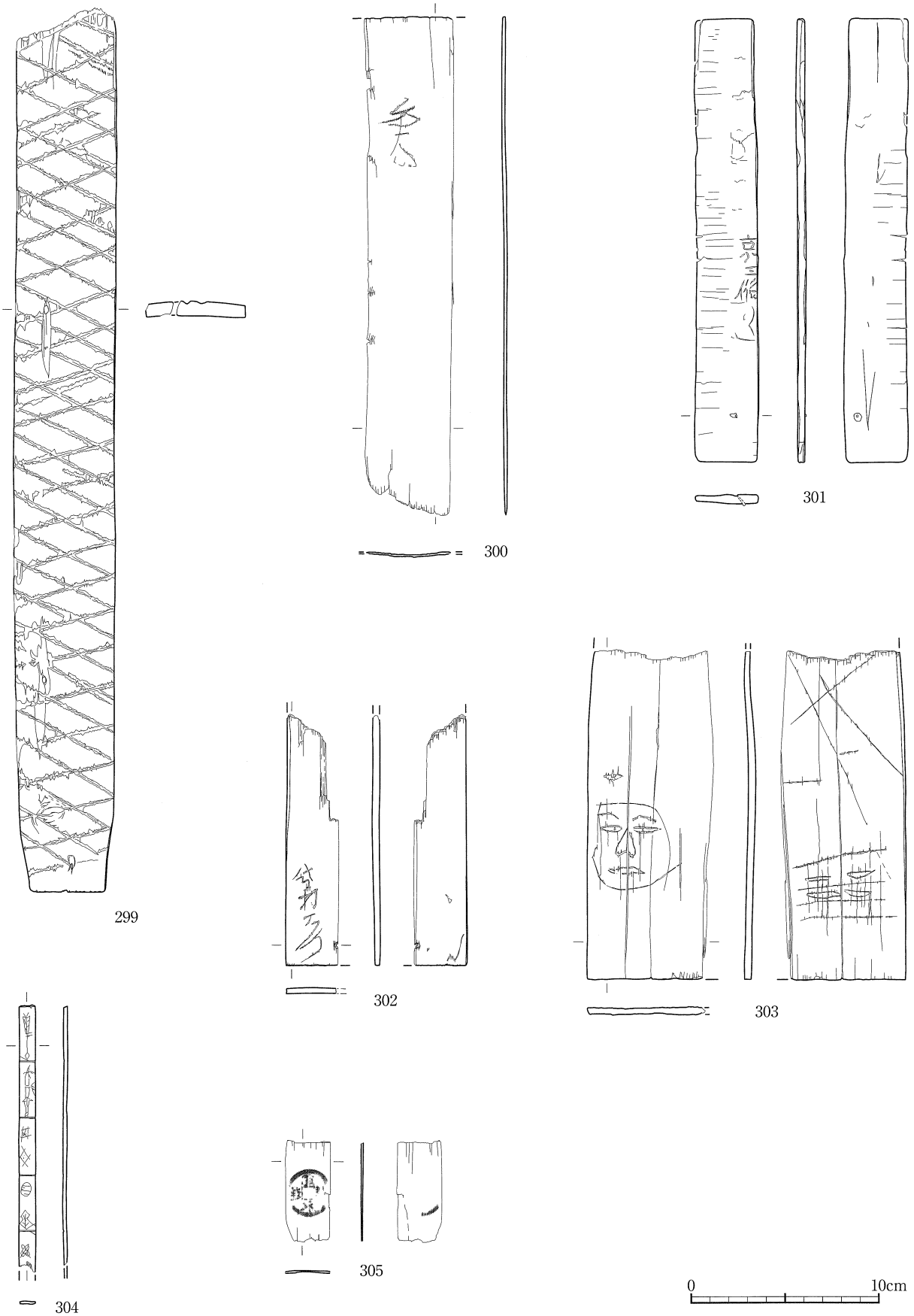


図48　武家屋敷地区第７地点出土その他の木製品（9）
Fig.48　Various wooden implements from BK7（9）

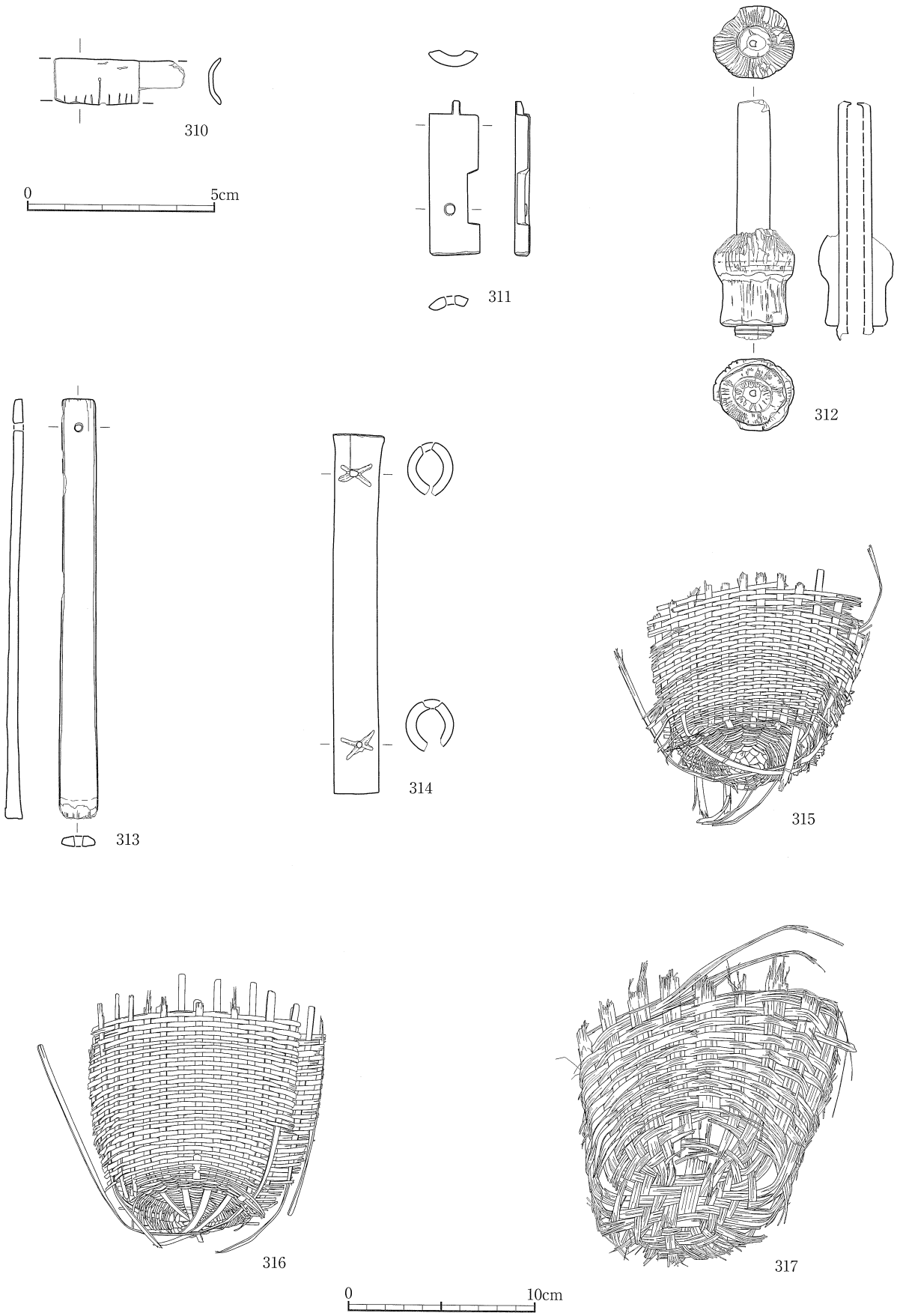


図49　武家屋敷地区第７地点出土竹製品
Fig.49　Various bamboo implements from BK7

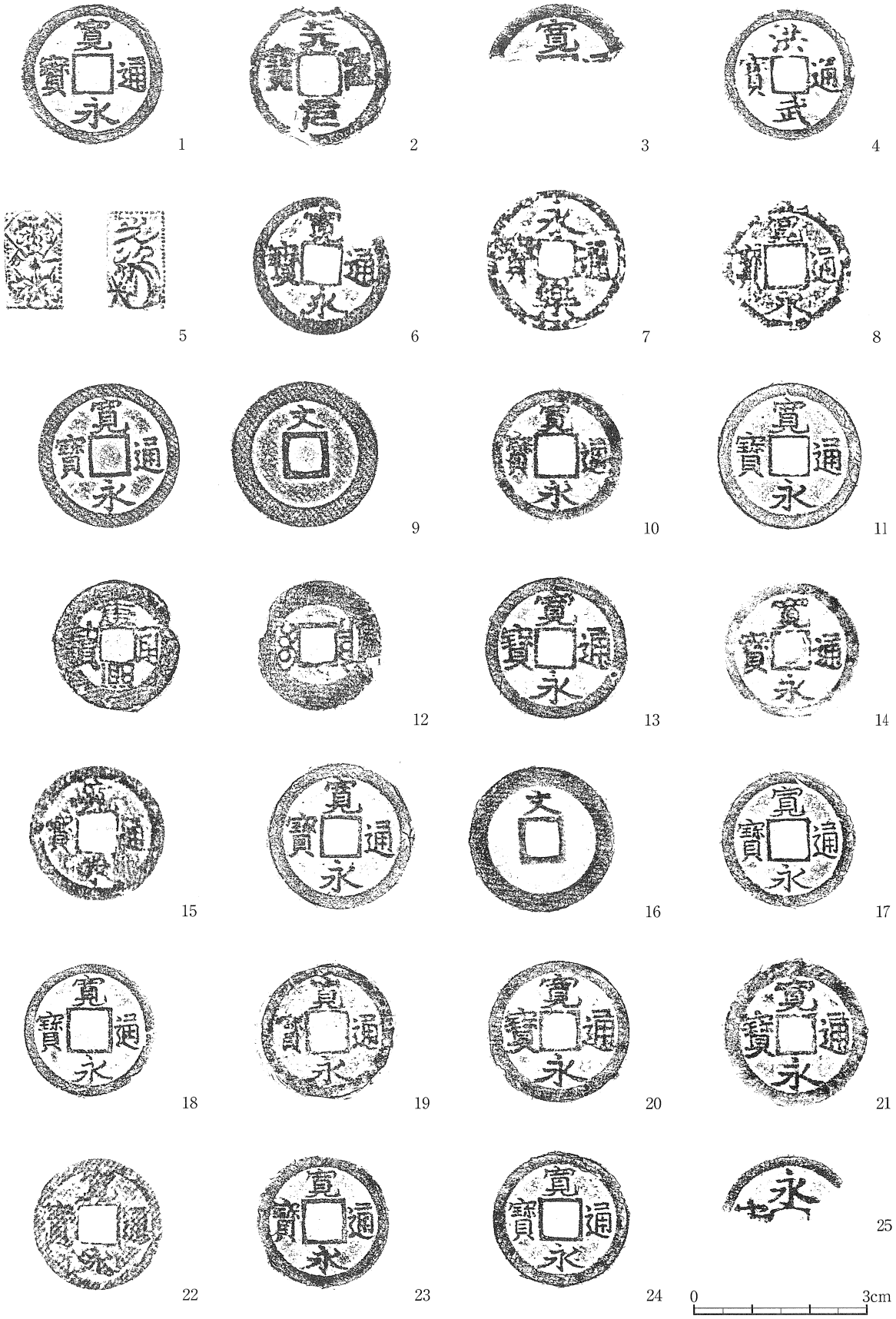


図50　武家屋敷地区第７地点出土古銭（1）
Fig.50　Coins from BK7（1）

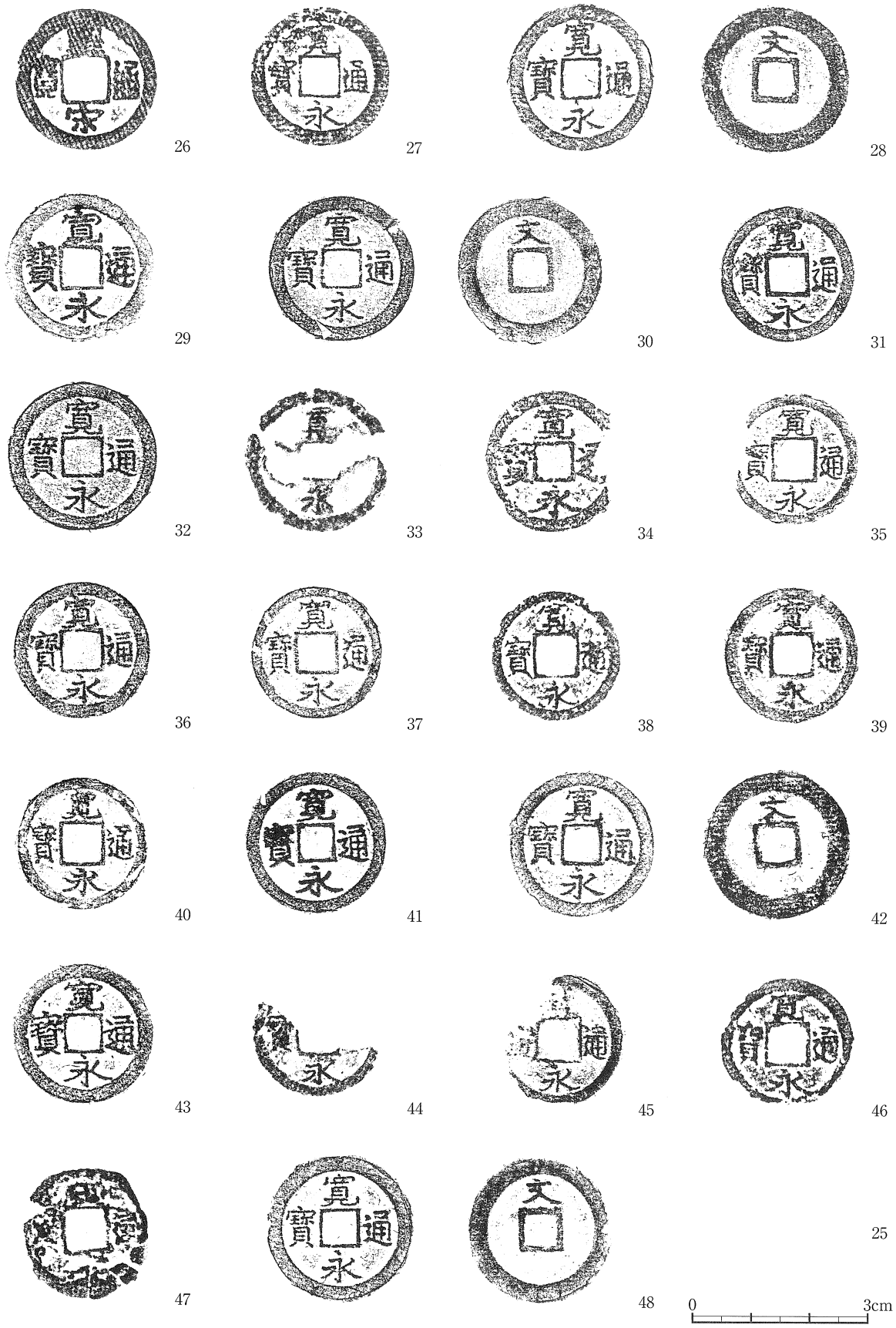


図51　武家屋敷地区第７地点出土古銭（2）
Fig.51　Coins from BK7（2）

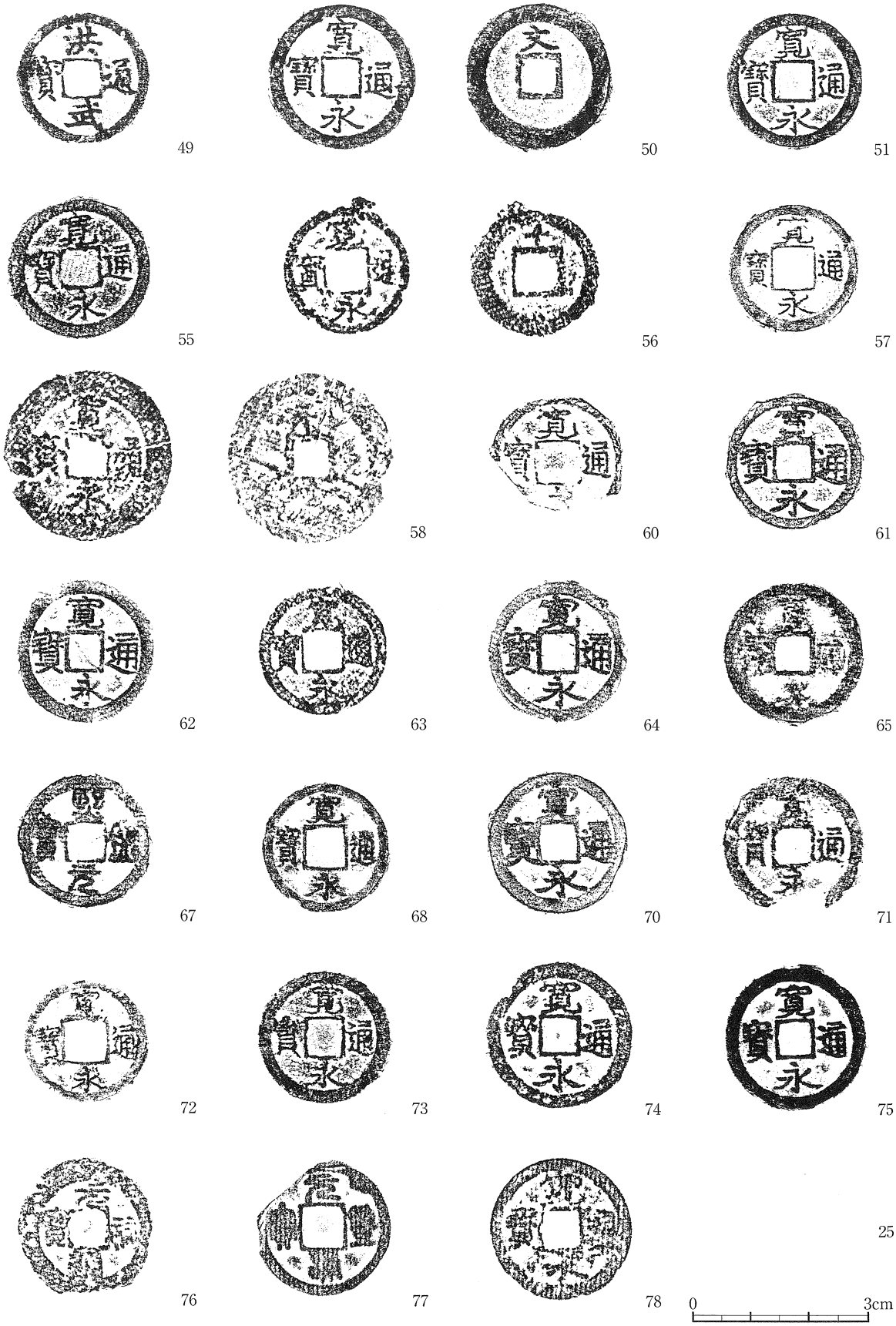


図52　武家屋敷地区第７地点出土古銭（3）
Fig.52　Coins from BK7（3）

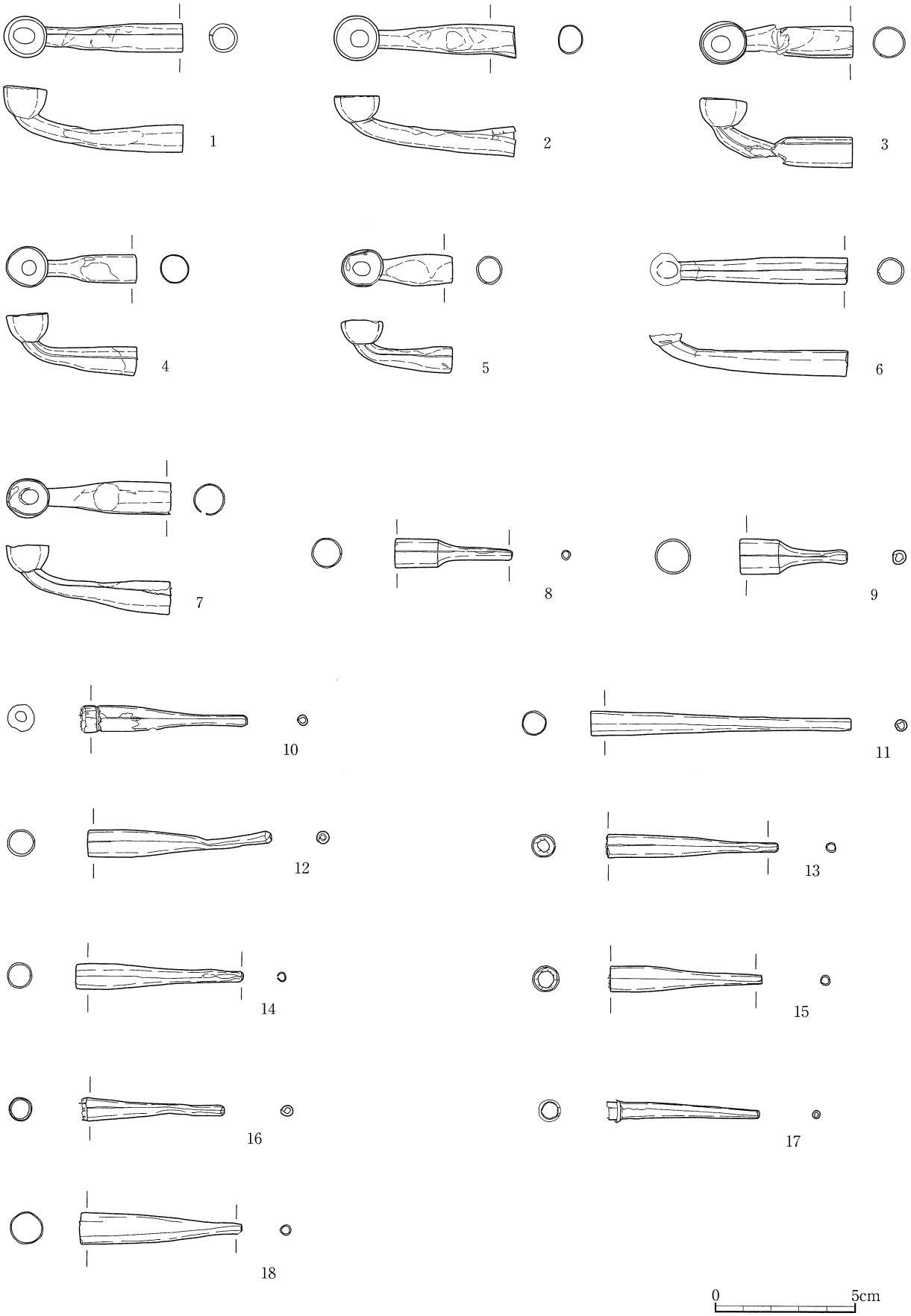


図53　武家屋敷地区第７地点出土煙管
Fig.53　Pipes from BK7

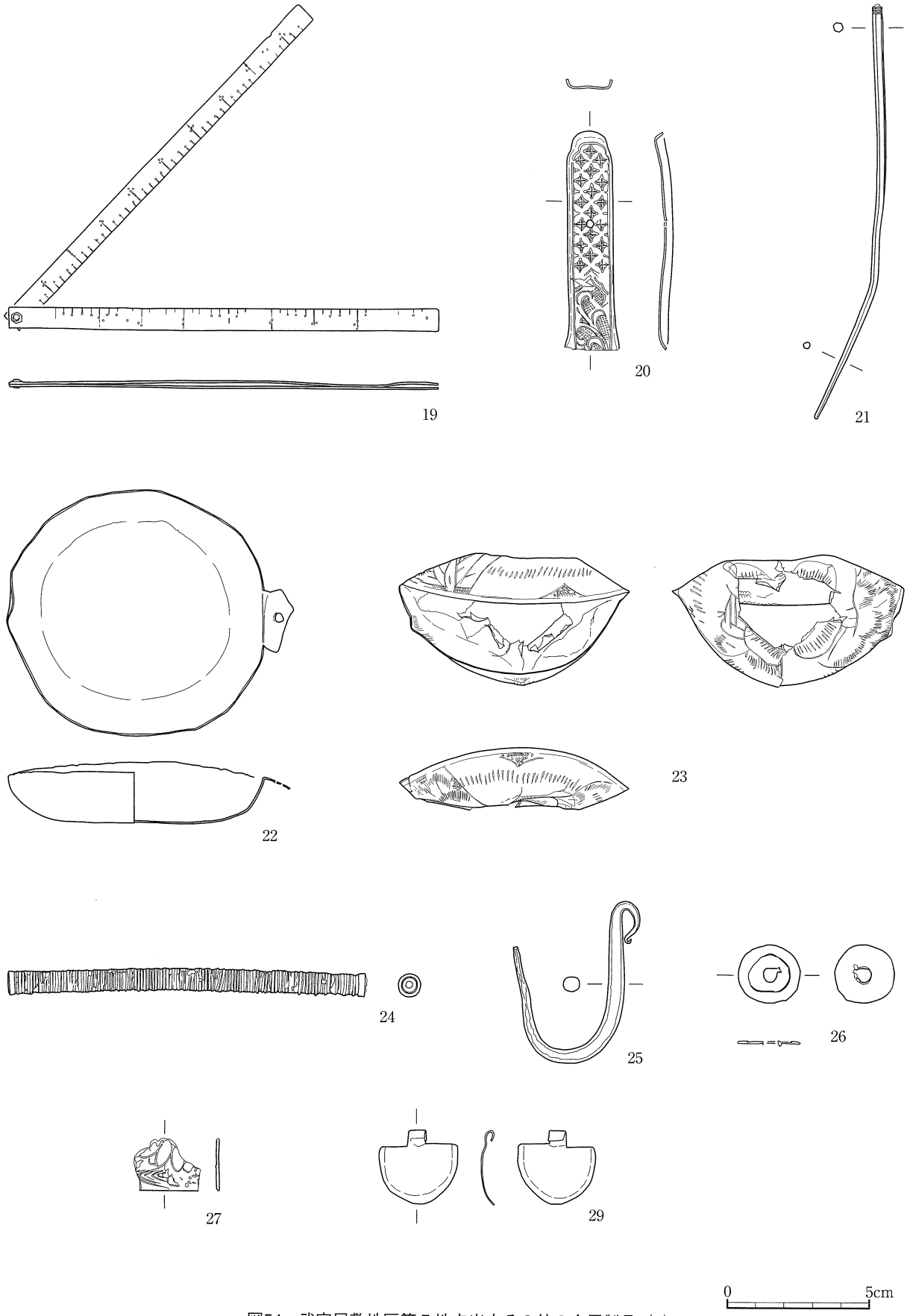


図54　武家屋敷地区第７地点出土その他の金属製品（1）
Fig.54　Various metal implements from BK7（1）

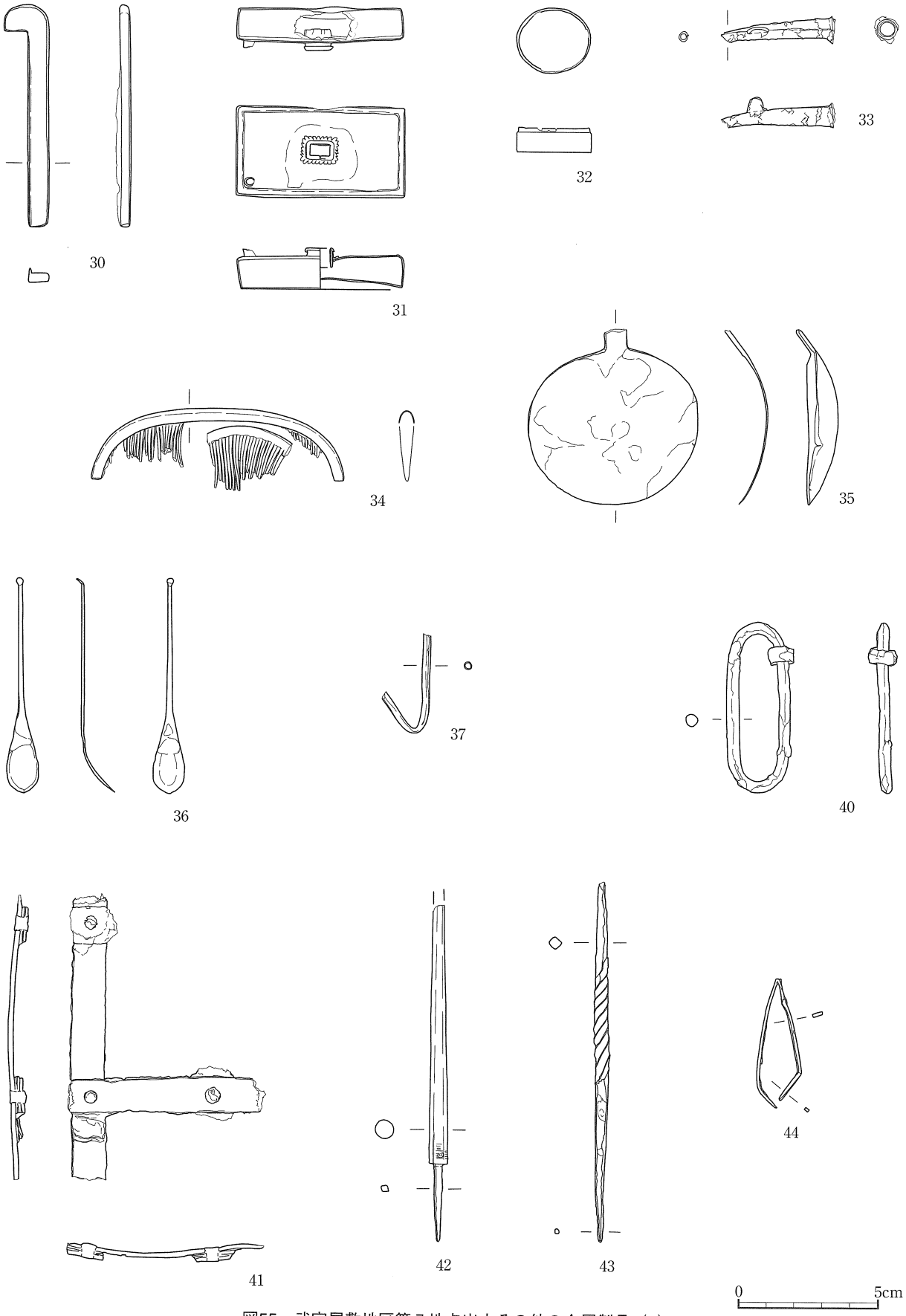


図55　武家屋敷地区第７地点出土その他の金属製品（2）
Fig.55　Various metal implements from BK7（2）

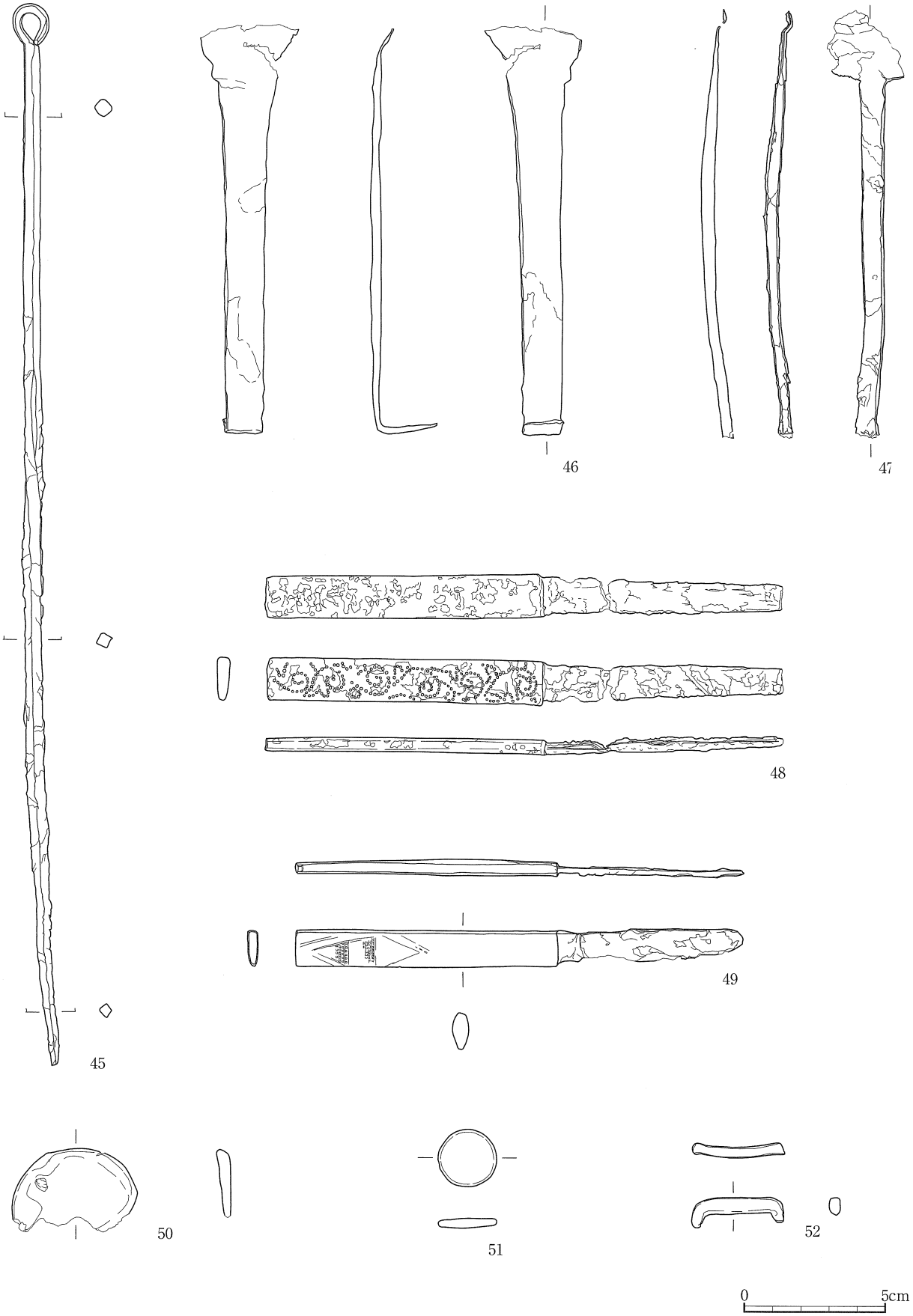


図56　武家屋敷地区第７地点出土その他の金属製品（3）
Fig.56　Various metal implements from BK7（3）

図57　武家屋敷地区第７地点出土石器・石製品（1）
Fig.57　Stone tools, stone-made objects from BK7（1）

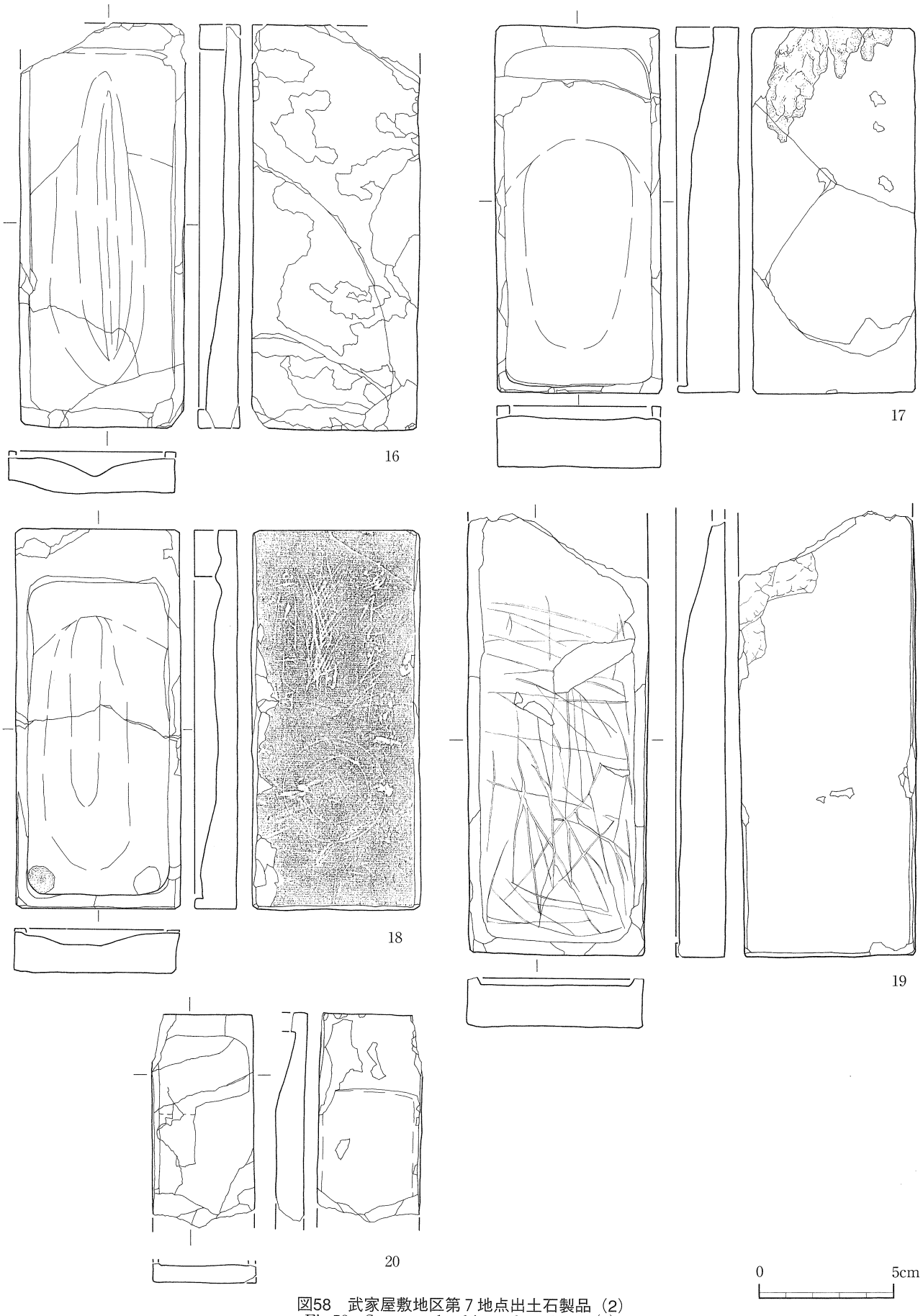


図58　武家屋敷地区第７地点出土石製品（2）
Fig.58　Stone-made objects from BK7（2）

表１　武家屋敷地区第７地点出土漆塗製品・木製品集計表（1）
Tab.1　Distribution of wooden implements from BK7（1）

遺構	箸状木製品			漆塗製品				下駄	栓	曲物	その他	円板	柄	部材	へら	桶類		加工木	竹製品	木羽(g)	樹皮	不明	合計
	完形	一端無	両端無	漆椀	折敷	その他	不明									天底	側板						
2層				身1			7											5					13
2層下部						皿1									1			2	不明1				5
3a層		3	3	身5			4	1										24		67			40
4層																		6					6
不明	28	295	159	身3			1	1			串状1							10	不明2	4		2	502
1層・攪乱	10	13	23	身9		箱状1	3	1	1	1		1	1	2	1	1	1	21		137	杉1	1	91
5号建物																							0
9号土坑						部材1	1													2			2
13号土坑							1															1	2
14号土坑				身1		部材1	1											24		7			27
25号土坑																							0
26号土坑																		15	不明12	4			27
30号土坑				身1																			1
31号土坑																							0
12号溝				身1			2											12	不明4	7			19
24号溝																							0
25号溝																							0
28号溝																							0
29号溝			3								鍬1					1		36	不明24	382	杉86		65
30号溝																							0
32号溝																							0
33号溝																							0
Ⅰ期のピット																							0
Ⅰ期の遺構小計			3	3		2	5				1					1		87	40	402	86	1	143
8号柱列																							0
9号柱列																							0
Ⅰ・Ⅱ期のピット												1									杉14		1
Ⅰ・Ⅱ期の遺構小計												1									14		1
Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ期のピット																		6					6
1号遺構	7	38	46	身22 蓋1	1	箸1	2 板状1	12			しゃく？1、きざみ3、コマ3 柄杓部品1、箱3	5		1	2	1	1	215	不明976 篭1	129	杉219 桜81	7	1351
2号遺構	4611	12894	8540	身148 蓋19	9	部材66、箱状11 皿6、桶(天底)10 桶側板5 へら状6 桶(取っ手？)1 曲物蓋1 曲物12 把手2、円板3 鉢2、おたま7 竹7 栓1、へら状7 箸9、酒杯？1	28	179	37	65	楔22、手元ろくろ1、柄杓部品3、釣瓶桶3 くり物8、釣瓶桶(持手)2、焼印8、串状61 コマ2、竹とんぼ10、扇子7、刷毛3、物差1 ミニチュア(下駄)1、箱23、玩具(鳥)1 縄4、折敷11、玩具(馬)4、きざみ9 櫛1、鍋の蓋1、戸車？2、団扇1、陽物1 調度部材1、耳かき2、灯明台？2、鍬2 包丁(柄)3、砥石台1、台座1、錐？1 把手1、柄？1、すりこぎ１、羽子板１ 建築部材(敷居？)1、繊維製品5	92	53	97	69	34	93	8908	不明 8394 篭2	52845	杉364 桜695	129	44771
7号柱列																							0
3号土坑																			不明1				1

表２　武家屋敷地区第７地点出土漆塗製品・木製品集計表（2）
Tab.2　Distribution of wooden implements from BK7（2）

遺構	箸状木製品			漆塗製品				下駄	栓	曲物	その他	円板	柄	部材	へら	桶類		加工木	竹製品	木羽(g)	樹皮	不明	合計
	完形	一端無	両端無	漆椀	折敷	その他	不明									天底	側板						
4号土坑		3	2	身13			8				焼き印？1	4						46	不明34	11	桜4 杉288	2	113
6号土坑																		41	不明13	5			54
7号土坑																		1					1
8号土坑																		13		3			13
11号土坑																							0
12号土坑				身2														11					13
15号土坑				身2蓋5		曲物蓋1 部材1		8	1		箱2、手元ろくろ（傘）2、包丁1、楔4	2	1	1	1		2	258	傘部品1 物差1 不明554	37	杉139	2	850
16号土坑																							0
18号土坑	3	4	12	身10		皿2、部材2 箱状1	2	2				1		2			5		不明 146			3	195
19号土坑																							0
20号土坑		1	15	身2				3				1						33	不明1	2	桜1		56
21号土坑																							0
22号土坑																							0
23号土坑																							0
24号土坑	746	1037	361	身14 蓋3	1	部材5、箱状2 鉢？1、曲物2 把手？1、箸1	竹1 不明1	20	1	4	櫛1、折敷1、灯明台1、玩具（馬）1 箱2、楔10、くり物1、把手？1 柄杓部品3	7	4	7	16	1	10	277	不明 152	1559	桜18 杉11	6	2702
27号土坑																		8		5	杉1		8
28号土坑	9	7	12	身1	1	部材1、箱状1		12			コマ1、箱1		2	7			5	112	不明66	93	杉100	3	241
29号土坑	1	1	3	身1				4				1						48	不明23	30	杉139		82
32号土坑																							0
4号溝																							0
5号溝																							0
8号溝																							0
9号溝																							0
10号溝																							0
13号溝																							0
15号溝																							0
16号溝																							0
17号溝																							0
21号溝																							0
22号溝							1																1
23号溝																							0
27号溝		22	27	身1		部材2	4	6	1		楔1	36						114	不明22	127	杉14 桜5	2	238
31号溝																		7	不明1		杉63		8
1号井戸				身4		皿1		5								1		45	不明69 へら状1	20	杉112		126
3号井戸																							0
4号井戸	1	2	1	身1														10	不明34	53			49
池状遺構古段階																		6					6

表３　武家屋敷地区第７地点出土漆塗製品・木製品集計表（3）
Tab.3　Distribution of wooden implements from BK7（3）

遺　構	箸状木製品			漆　塗　製　品				下駄	栓	曲物	そ　の　他	円板	柄	部材	へら	桶　類		加工木	竹製品	木羽(g)	樹皮	不明	合計
	完形	一端無	両端無	漆椀	折敷	そ　の　他	不明									天底	側板						
Ⅲ期のピット				身2														1					3
Ⅱ期の遺構小計	5378	14009	9019	251	12	182	48	251	40	69	258	149	60	115	88	37	116	10154	10492	54919	2254	154	50882
Ⅱ・Ⅲ期のピット																		4			桜1		4
1号建物			2															10	不明3	2	杉2		15
2号建物																							0
3号建物																							0
4号建物																							0
1号柱列																							0
2号柱列																							0
3号柱列																							0
4号柱列																							0
5号柱列																							0
6号柱列																							0
2号土坑				身3 蓋1		小Ⅲ1、部材2 桶（天底）1	2	14	3		鍬1、建築部材？1、扇子1	6	1	3			16	169	不明579 たが1	482	杉94	2	807
17号土坑																		1					1
2号溝																							0
3号溝																							0
6号溝																							0
7号溝																							0
14号溝																							0
18号溝																		7		40			7
19号溝																							0
26号溝																		1	不明1	5			2
2号井戸																		1					1
池状遺構新段階			4				2	2	2							1		53	不明38	54	杉11	1	103
石敷遺構																		5					5
桝埋設遺構																							0
桶埋設遺構																1	14		不明5				20
Ⅲ期のピット																		1					1
Ⅲ期の遺構小計			6	4		4	4	16	5		3	6	1	3		2	30	248	627	583	107	3	962
1号土坑																		2					2
5号土坑																							0
1号溝							1													2			1
11号溝							2																2
1号石列																							0
畝状遺構																							0
H·I-6落ち込み																							0
B·C-9·10落ち込み							1																1
Ⅳ期のピット																							0
Ⅳ期の遺構小計							4											2		2			6
合計	5416	14320	9213	276	12	190	76	270	46	70	263	157	62	120	90	41	147	10569	11162	56114	2463	161	52661

表4　武家屋敷地区第7地点出土その他の遺物集計表（1）
Tab.4　Distribution of various implements from BK7（1）

出土場所	古銭					煙管		その他の銅製品		鉄製品				鉛	石器 石製品	その他	合計
	寛永通寶				その他	雁首	吸口	その他	不明	釘		その他	不明				
	古	文	新	不明						和	洋						
2層	2		3	1	熙寧元寶1 不明1		3	小玉1	7	121	1		6	不明3 弾丸2	硯8、砥石2 剥片2、碁石1 石錘1、印鑑1 火打石23 不明19		209
2層下部							1	雁首火皿？1		2					剥片1、不明4 石鏃1		10
3層			1						1	3					不明2、硯1 火打石1	鼈甲?1	10
4層																	0
不明						1	3	薬莢1	2	2	7		3				19
1層・攪乱	5		3		1セントコイン1 元豊通寶1 元祐通寶1	4	5	ベルト1、金具1 把手1、合折釘1 ボタン2 飾金具1	7	30	10	小柄1、鎹6 楔1、棒状2 把手3、螺子1	11	不明2	火打石5 硯12、剥片2 碁石2、不明3		125
5号建物																	0
9号土坑																	0
13号土坑	1				天聖元寶1										碁石1		3
14号土坑															硯1		1
25号土坑																	0
26号土坑																	0
30号土坑																	0
31号土坑																	0
12号溝				1					1	1		鍋？1		不明1			5
24号溝																	0
25号溝																	0
28号溝					洪武通寶1												1
29号溝										1							1
30号溝																	0
32号溝																	0
33号溝																	0
Ⅰ期のピット																	0
Ⅰ期の遺構小計	1			1	2				1	2		1		1	2		11
8号柱列																	0
9号柱列																	0
Ⅰ・Ⅱ期のピット									1								1
Ⅰ・Ⅱ期の遺構小計									1								1
Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ期のピット															火打石1		1
1号遺構	1		1		永楽通寶1 享保一分金1		3	物差1 針金？1					2				11
2号遺構	8	4	19	1	永楽通寶1 渡来銭1 不明1	10	12	雁首銭1、鈎1 飾金具1 火箸1	5	81		飾金具？1 錐？1、火箸2 棒状2、毛抜1 小柄2、皿状1	12		硯1、火打石3 石匙1、砥石1 剥片2、不明7		184
7号柱列																	0
3号土坑																	0
4号土坑							2	和釘1	1	6		1			火打石4、硯2 剥片1、不明2	ガラス板1	21
6号土坑																	0
7号土坑																	0
8号土坑																	0
11号土坑																	0
12号土坑																	0
15号土坑		1			洪武通寶1			不明1		1					硯1、碁石1	ガラス不明1	7
16号土坑						1											1
18号土坑									1	1					碁石1		3
19号土坑															火打石1		1
20号土坑							1	矢立の蓋？1	1	2					砥石1		6
21号土坑																	0
22号土坑																	0
23号土坑																	0
24号土坑			2	3（鉄）					2	1					火打石1	ガラス不明2	11
27号土坑																	0

表5　武家屋敷地区第7地点出土その他の遺物集計表（2）
Tab.5　Distribution of various implements from BK7（2）

出土場所	古銭					煙管		その他の銅製品		鉄製品				鉛	石器 石製品	その他	合計
	寛永通寶				その他	雁首	吸口	その他	不明	釘		その他	不明				
	古	文	新	不明						和	洋						
28号土坑						1		水滴1		6							8
29号土坑																	0
32号土坑																	0
4号溝						1	1										2
5号溝			1														1
8号溝																	0
9号溝			2							2							4
10号溝															硯1		1
13号溝																	0
15号溝																	0
16号溝																	0
17号溝																	0
21号溝																	0
22号溝				1											硯1		2
23号溝																	0
27号溝								飾金具？1							剥片1、火打石4		6
31号溝																	0
1号井戸								飾金具1、鎖1		2							4
3号井戸																	0
4号井戸																	0
池状遺構古段階																	0
Ⅱ期のピット																	0
Ⅱ期の遺構小計	9	5	25	5	6	13	19	13	10	102		11	14		37	4	273
Ⅱ・Ⅲ期のピット															火打石1、不明1		2
1号建物									1	1							2
2号建物																	0
3号建物													1				1
4号建物																	0
1号柱列														弾丸1	火打石1		2
2号柱列																	0
3号柱列																	0
4号柱列																	0
5号柱列																	0
6号柱列																	0
2号土坑					不明1			匙1	3								5
17号土坑																	0
2号溝																	0
3号溝																	0
6号溝																	0
7号溝				1													1
14号溝																	0
18号溝																	0
19号溝										1							1
26号溝																	0
2号井戸																	0
池状遺構新段階			2(鉄)		四文銭1(鉄)	1	2	櫛1	1	3		鎹1	1	錘1	火打石1、不明4		19
石敷遺構																	0
桝埋設遺構																	0
桶埋設遺構																	0
Ⅲ期のピット										6							6
Ⅲ期の遺構小計			2	1	2	1	2	2	5	11		1	2	2	6		37
1号土坑	1									1					硯2		4
5号土坑																	0
1号溝									2	1							3
11号溝						1									硯1		2
1号石列																	0
畝状遺構																	0
H・I-6落ち込み									1	1					不明1		3
B・C-9・10落ち込み															不明1		1
Ⅳ期のピット																	0
Ⅳ期の遺構小計	1					1			3	3					5		13
合計	18	5	33	9	15	20	33	25	37	276	18	27	36	10	144	5	711

表６　武家屋敷地区第７地点出土漆椀観察表（1）
Tab.6　Notes on wooden bowls with lacquer at BK7（1）

登録番号	出土場所	種類	法量 cm				漆の色			文様等	高台（摘み）内銘	備考	図	図版
			口径	底径（摘み）	器高	高台高（摘み）	内面	外面	高台内					
WL001	30号土坑 埋土	身	－	－	－	2.4	朱	朱	黒				1	1
WL002	1号遺構 埋土3層	身	－	5.4	7.2	1.7	朱	朱	黒		銘あり（朱）	口唇部は黒	1	1
WL003	2号遺構 埋土3層	身	－	5.5	－	－	朱	朱	黒		銘あり（朱）		1	1
WL004	1号遺構 埋土3層	身	－	－	－	－	朱	朱	朱		銘あり（金）		1	1
WL005	1号遺構 埋土3層	蓋	－	－	－	－	朱	黒	黒				1	1
WL006	2号遺構 埋土2層	身	13.0	6.5	5.3	1.0	黒	黒	黒				1	1
WL007	2号遺構 埋土2層	身	10.5	5.0	3.6	0.7	黒	黒	黒	見込：丸（朱）			1	1
WL008	2号遺構 埋土2層	身	12.0	5.9	4.3	7.5	黒	黒	黒	見込：丸（朱）			1	1
WL009	2号遺構 埋土2層	身	11.9	5.3	4.3	0.9	黒	黒	黒	線状の文様（朱） 見込：丸（朱）			1	1
WL010	2号遺構 埋土3層	身	－	6.0	－	－	朱	黒	黒	家紋・三階笠（朱）	銘あり（朱）		1	1
WL011	2号遺構 埋土2層	身	－	－	－	－	朱	黒	黒	家紋・四つ目（朱）	木田（朱）	家紋3ヶ所	1	1
WL012	2号遺構 埋土2層	身	－	6.0	－	1.8	朱	朱	黒	線状の文様（黒）	源兵衛？（朱）		2	2
WL013	2号遺構 埋土1層	身	－	－	－	－	朱	朱	朱		竹田（黒）	口唇部は黒	2	2
WL014	2号遺構 埋土2層	身	－	－	－	－	朱	朱	黒		銘あり（朱）	口唇部は黒	2	2
WL015	2号遺構 埋土2b層	身	－	－	－	－	朱	朱	黒			高台内に傷あり	2	2
WL016	2号遺構 埋土3層	身	－	－	－	－	朱	朱	黒		銘あり（朱）		2	2
WL017	2号遺構 埋土2層	身	10.5	5.9	7.7	2.1	朱	朱	黒		銘あり（朱）		2	2
WL018	2号遺構 埋土2b層	身	－	－	－	－	朱	朱	黒		銘あり（朱）		2	2
WL019	2号遺構 埋土2b層	身	－	－	－	－	黒	黒	黒		銘あり（朱）		2	2
WL020	2号遺構 埋土2層	身	11.0	－	－	－	朱	朱	黒		銘あり（朱）		2	2
WL021	2号遺構 埋土2層	身	－	－	－	－	朱	朱	黒		田中？（朱）		2	3
WL022	2号遺構 埋土2b層	身	－	－	－	－	朱	朱	朱		田中（黒）		2	3
WL023	2号遺構 埋土2層	身？	10.6	－	－	－	朱	朱	黒		銘あり（朱）	口唇部は黒	2	3
WL024	2号遺構 埋土2層	身	11.7	5.5	5.2	0.9	朱	朱	黒		銘あり（朱）	口唇部は黒　高台内傷あり	3	3
WL025	2号遺構 埋土2層	身	－	－	－	－	朱	朱	黒		田中（朱）		3	3
WL026	2号遺構 埋土2層	身	－	－	－	－	朱	朱	黒		銘あり（朱）		3	3
WL027	2号遺構 埋土2b層	身	－	－	－	－	朱	朱	朱		田中？（黒）		3	3
WL028	2号遺構 埋土2b層	身	－	－	－	－	茶	茶	黒		銘あり（朱）		3	3
WL029	2号遺構 埋土2層	身	10.5	－	－	－	朱	朱	黒		銘あり（金）	口唇部は黒	3	3
WL030	2号遺構 埋土2b層	身	－	－	－	－	朱	朱	黒		銘あり（朱）	口唇部は黒	3	4
WL031	2号遺構 埋土2層	身	－	－	－	－	朱	朱	黒		銘あり（朱）	口唇部は黒	3	4
WL032	2号遺構 埋土2b層	身	－	－	－	－	朱	朱	黒		銘あり（朱）		3	4
WL033	2号遺構 埋土2層	身	10.3	4.7	3.5	0.6	朱	朱	黒			口唇部は黒　高台内傷あり	3	4
WL034	2号遺構 埋土2b層	身	－	－	－	－	朱	朱	黒				3	4
WL035	2号遺構 埋土2層	身	－	－	－	－	黒	黒	黒				3	4
WL036	2号遺構 埋土2層	身	11.2	5.1	4.0	0.5	朱	朱	黒				3	4
WL037	2号遺構 埋土2層	身	12.0	－	－	－	朱	深緑？	黒				3	4
WL038	2号遺構 埋土2層	身	－	5.1	4.0	0.8	朱	朱	黒				3	4
WL039	2号遺構 埋土1層	身	－	－	－	－	朱	黒	黒	文様あり（朱）			4	4
WL040	2号遺構 埋土2層	身	－	－	－	－	朱	黒	黒	文様あり（銀？）			4	4
WL041	2号遺構 埋土2b層	身	－	－	－	－	朱	黒	黒	文様あり（金？）			4	4
WL042	2号遺構 埋土2層	身	－	－	－	－	朱	黒	黒	文様（菊花）（朱）			4	4
WL043	2号遺構 埋土2b層	身	－	－	－	－	朱	黒	黒	家紋・花菱（銀？）	田中？（朱）	家紋3ヶ所	4	4
WL044	2号遺構 埋土2層	身	－	－	－	－	朱	朱	朱		文様（金）	底部の穿孔に箸が刺さる	4	4
WL045	2号遺構 埋土2層	身	－	－	－	－	朱	黒	黒	家紋・菊？（朱）	銘あり（朱）	穿孔あり（底部1）	4	5
WL046	2号遺構 埋土2b層	身	－	－	－	－	朱	朱	朱			穿孔あり（口縁2、底部1）	4	5
WL047	2号遺構 埋土2層	身	－	－	－	－	朱	朱	黒			穿孔あり（底部1）	4	5
WL048	2号遺構 埋土2層	身	－	5.8	－	－	朱	黒	黒	家紋・桜花（朱）		家紋3ヶ所	4	5
WL049	2号遺構 埋土2層	身	－	－	－	－	朱	黒	黒	家紋・芦（朱）		受熱痕あり	4	5
WL050	2号遺構 埋土3層	身	－	－	－	－	朱	黒	黒	家紋・花菱（朱）		家紋3ヶ所	5	5
WL051	2号遺構 埋土2b層	身	－	－	－	－	朱	黒	黒	家紋・梅（銀？）		家紋3ヶ所	5	5
WL052	2号遺構 埋土3層	身	11.6	－	－	－	朱	黒	黒	家紋・三つ柏（朱）		家紋3ヶ所	5	5
WL053	2号遺構 埋土2層	身	－	－	－	－	朱	黒	黒	家紋・三階笠（朱）		家紋3ヶ所	5	5
WL054	2号遺構 埋土2層	身	－	－	－	－	朱	黒	黒	家紋・亀甲と菱（朱）		家紋3ヶ所	5	5
WL055	2号遺構 埋土2層	身	－	－	－	－	朱	黒	黒	家紋・桐（金？）		家紋3ヶ所	5	5
WL056	2号遺構 埋土2層	身	－	－	－	－	朱	黒	黒	家紋・花菱（朱）		家紋3ヶ所	5	5
WL057	2号遺構 埋土2層	身	－	－	－	－	黒	黒	黒	文様（格子に桜花）			5	5
WL058	2号遺構 埋土2層	身	－	－	－	－	朱	黒	黒	家紋・九枚笹（朱）		家紋3ヶ所	5	5
WL059	2号遺構 埋土1層	身	－	－	－	－	朱	黒	黒	家紋・三つ柏（朱）		家紋3ヶ所	5	5
WL060	2号遺構 埋土1層	身	－	－	－	－	朱	黒	黒	家紋・橘？（朱）		家紋3ヶ所	5	6
WL061	2号遺構 埋土2層	身？	－	7.2	－	－	－	黒	黒	文様あり（朱）			5	6
WL062	2号遺構 埋土2b層	蓋	－	－	－	－	朱	黒	黒	家紋・源氏香（朱）		家紋3ヶ所	5	6
WL063	2号遺構 埋土3層	蓋	8.7	4.4	2.1	0.4	朱	黒	黒	文様（扇）（金・朱）			5	6
WL064	2号遺構 埋土1層	蓋	－	－	－	－	朱	黒	黒	文様（扇）（金？）		穿孔あり（底部1）	5	6

表7　武家屋敷地区第7地点出土漆椀観察表（2）
Tab.7　Notes on wooden bowls with lacquer at BK7（2）

登録番号	出土場所	種類	法量 cm				漆の色			文様等	高台（摘み）内銘	備考	図	図版
			口径	底径（摘み）	器高	高台高（摘み）	内面	外面	高台内					
WL065	2号遺構 埋土2b層	蓋	－	－	－	－	朱	黒	黒	家紋・唐花（金？）		家紋3ヶ所	5	6
WL066	2号遺構 埋土2b層	蓋	－	－	－	－	朱	黒	黒	家紋・芦？（朱）		家紋3ヶ所	5	6
WL067	2号遺構 埋土1層	蓋	－	－	－	－	朱	黒	黒	家紋・三つ巴（朱）		家紋3ヶ所	5	6
WL068	2号遺構 埋土2層	蓋	10.0	－	－	－	朱	黒	黒	家紋・四つ目（朱）		家紋3ヶ所	6	6
WL069	2号遺構 埋土2b層	蓋	－	－	－	－	黒	黒	黒	文様（もみじ）（朱・金・緑）	文様（もみじ）（朱・金・緑）		6	6
WL070	2号遺構 埋土3層	蓋	－	－	－	－	朱	黒	黒	家紋・亀甲と菱（銀？）		家紋3ヶ所	6	6
WL071	2号遺構 埋土2層	蓋	－	－	－	－	朱	黒	黒	家紋・三つ柏（金？）		家紋3ヶ所	6	6
WL072	2号遺構 埋土2層	蓋	－	－	－	－	朱	黒	黒	家紋・三つ柏（朱）		家紋3ヶ所	6	6
WL073	2号遺構 埋土最下層	蓋	10.5	5.1	4.0	0.7	朱	黒	黒	家紋・蔦（銀？）		家紋3ヶ所	6	6
WL074	2号遺構 埋土2層	蓋	10.2	－	－	－	朱	黒	黒	家紋・三引（朱）			6	6
WL075	2号遺構 埋土2層	蓋	－	－	－	－	朱	黒	黒				6	6
WL076	2号遺構 埋土2層	身	10.4	4.8	3.2	0.7	黒	黒	黒				6	6
WL077	2号遺構 埋土1層	蓋	－	4.5	－	0.6	朱	朱	朱				6	6
WL078	2号遺構 埋土2b層	蓋	－	－	－	－	朱	朱	朱				6	6
WL079	2号遺構 埋土2b層	身					朱	黒	黒	家紋・三引（朱）	銘あり（朱）		－	7
WL080	2号遺構 埋土1層	蓋	－	－	－	－	朱	黒	黒	家紋・唐花（銀？）			－	7
WL081	2号遺構 埋土2b層	身	－	－	－	－	朱	黒	黒	家紋・三つ柏（金？）			－	7
WL082	2号遺構 埋土1層	身	－	－	－	－	朱	朱	黒		銘あり（朱）		－	7
WL083	2号遺構 埋土2層	身	－	－	－	－	茶	茶	黒		源兵衛？（朱）	口唇部は黒	－	7
WL084	2号遺構 埋土2層	身？	－	－	－	－	朱	黒	黒	文様あり（朱・銀？）	銘あり（金？）		－	7
WL085	2号遺構 埋土1層	身	－	－	－	－	朱	黒	黒		銘あり（朱）		－	7
WL086	27号溝 埋土4層	蓋	11.2	－	－	－	黒	黒	黒				6	7
WL087	1号井戸 中部埋土	身	－	－	－	1.0	朱	黒	黒	家紋・菊の葉（銀？）		家紋3ヶ所	6	7
WL088	1号井戸 埋土2層	身	－	5.5	－	1.1	朱	黒	黒				6	7
WL089	4号井戸 埋土1層	身	－	－	－	－	朱	黒	黒	文様あり（朱）			6	7
WL090	4号土坑 埋土4層	身	－	－	－	－	朱	黒	黒	家紋・釘抜（朱）		家紋3ヶ所　高台内傷あり	6	7
WL091	4号土坑 埋土13層	身	－	－	－	－	朱	黒	黒	文様（扇？）（朱）			6	7
WL092	4号土坑 埋土9層	身	－	－	－	1.3	朱	朱	朱				6	7
WL093	4号土坑 埋土9層	身	－	－	－	－	朱	黒	黒		銘あり（朱）		－	7
WL094	4号土坑 埋土4層	身	－	－	－	－	朱	朱	朱		銘あり（金）		－	7
WL095	20号土坑 底面	身	－	－	－	－	朱	黒	黒	家紋・（扇）（朱）		家紋3ヶ所	6	7
WL096	20号土坑 底面	身	－	－	－	－	朱	黒	黒	家紋（朱）	銘あり（朱）		6	8
WL097	H10 3a層	身	－	－	－	－	－	－	黒		銘あり（朱）		－	8
WL098	24号土坑 埋土2層	身	－	－	－	－	朱	黒	黒	家紋・花菱（銀？）			6	8
WL099	24号土坑 埋土1層	身	－	－	－	－	朱	黒	黒	文様あり（朱）	銘あり（朱）		7	8
WL100	24号土坑 埋土2層	身	－	－	－	－	朱	朱	朱		山家？（金）		7	8
WL101	24号土坑 埋土2層	蓋	－	－	－	－	朱	黒	黒	家紋・三つ巴（銀？）			7	8
WL102	24号土坑 埋土3層	身	－	－	－	－	黒	黒	黒				7	8
WL103	24号土坑 埋土2層	身	－	－	－	－	朱	黒	黒	家紋・亀甲（金？）			7	8
WL104	24号土坑 埋土1･2層	身	－	－	－	－	朱	黒	黒	家紋・井桁（朱）		家紋3ヶ所	7	8
WL105	24号土坑 埋土2層	蓋	10.5	－	－	－	朱	黒	黒	家紋・三つ巴（朱）	銘あり（朱）	家紋3ヶ所	7	8
WL106	24号土坑 埋土3層	蓋	9.7	－	－	－	朱	黒	黒	文様あり（朱・金？）			7	8
WL107	24号土坑 埋土2層	身	－	－	－	－	朱	黒	－	文様（菊花）（金？）			－	8
WL108	24号土坑 埋土3層	身	－	－	－	－	朱	黒	－	家紋（朱）			－	8
WL109	28号土坑 埋土1層	身	－	－	－	－	朱	黒	黒	家紋・菊（朱）	銘あり？（朱）	家紋3ヶ所	7	8
WL110	18号土坑 埋土2層	身	－	－	－	－	朱	黒	－	文様あり（朱）			－	9
WL111	18号土坑 埋土1層	蓋？	－	－	－	－	朱	黒	黒	家紋・桐（朱）			－	9
WL112	18号土坑 埋土2層	身？	－	－	－	－	朱	黒	－	家紋・山形（朱）			－	9
WL113	15号土坑 埋土2層	身	－	－	－	－	朱	深緑？	深緑？				7	9
WL114	15号土坑 埋土2層	蓋	9.8	5.9	3.1	0.8	朱	黒	黒	家紋・蔦（金？）	文様（金？）	家紋3ヶ所	7	9
WL115	15号土坑 埋土2層	蓋	9.1	－	－	－	朱	黒	黒	文様あり（朱）		穿孔あり（体部2、底部1）	7	9
WL116	15号土坑 埋土2層	蓋？	－	－	－	－	朱	黒	黒	家紋・三つ巴（朱）			－	9
WL117	15号土坑 埋土2層	蓋	－	－	－	－	黒	茶	茶	文様（草花）（金・朱・黒）	文様あり（金・朱・黒）		－	9
WL118	15号土坑 埋土2層	身？	－	－	－	－	－	黒	－	文様あり（朱）			－	9
WL119	12号土坑 埋土	身	－	－	－	－	朱	朱	黒		銘あり（朱）		－	9
WL120	池状遺構新段階 埋土最下層	身					朱	黒茶？	黒茶？	家紋・竪三引（金？）			－	9
WL121	2号土坑 埋土1層	蓋	－	－	－	－	黒	黒	黒				7	9
WL122	2号土坑 埋土1層	身	11.7	－	－	－	黒	黒	黒				7	9
WL123	ピット5 埋土	身	－	－	－	－	黒	黒	黒	家紋・蔦（朱）			－	9
WL124	ピット5 埋土	身	－	－	－	－	－	－	黒		銘あり（朱）		－	9
WL125	1層攪乱	身	11.3	5.6	－	－	朱	朱	黒		銘あり（朱）		7	9
WL126	不明	身	－	－	－	－	朱	黒	－	文様あり（朱）			－	9

表８　武家屋敷地区第７地点出土その他の漆塗製品観察表
Tab.8　Notes on wooden implements with lacquer at BK7

登録番号	出土場所	器　種	外面（表）	内面（裏）	備　考	図	図版
WL127	2号遺構 埋土2b層	皿	黒	朱	高台内：黒漆　文様：黒・金・緑　口径26.2cm　底径15.6cm　器高2.8cm	8	10
WL128	2号遺構 埋土3層	皿？	朱	朱	文様：金	8	10
WL129	2号土坑 埋土1層	皿	黒・朱	黒	高台内：黒　内面：中心が朱、その外側が黒 底径6.4cm	8	10
WL130	18号土坑 埋土2層	皿	黒	朱？	高台内：黒　文様：朱・金　高台内銘あり？	－	10
WL131	2号遺構 埋土2b層	鉢	朱	黒	内面：黒漆の上に付着物？	－	10
WL132	2号遺構 埋土2層	曲物（天板）	黒	黒	文字：朱（□部や）？　最大径34.5cm　厚さ0.9cm	8	10
WL133	2号遺構 最下層	曲物（天板）	黒	黒	文字：朱（□部屋）？　最大径36.7cm　厚さ0.9cm	9	11
WL134	2号遺構 埋土2層	曲物（底板）	黒	黒	直径16.8cmの円板に、厚さ0.3cmの側板が付く	9	11
WL135	2号遺構 埋土2b層	曲物	黒	黒	とじ紐（樹皮）残存 側板に1ヵ所孔あり	9	11
WL136	2号遺構 埋土2層	曲物（天板）	黒	黒	文字：朱　最大径36.7cm　厚さ0.8cm	10	12
WL137	2号遺構 埋土2層	曲物	黒	不明	長幅12.1cm　短幅6.6cm　厚さ4.0cm　底部内面：黒漆は剥落が著しい	10	11
WL138	24号土坑 埋土3層	曲物	黒	黒	長幅12.8cm　短幅8.5cm　器高4.3cm　とじ紐（樹皮）残存　漆の剥落箇所あり	10	11
WL139	24号土坑 埋土3層	曲物（天板）	黒	黒	最大径24.5cm　厚さ0.8cm　2つの部材を合わせて天板を作っている	11	13
WL140	15号土坑 埋土2層	曲物（天板）	黒	黒	最大径15.4cm　厚さ1.0cm　内面に溝があり	11	12
WL141	2号遺構 埋土2層	円板状木製品	黒？	黒	径5.8cm　厚さ0.7cm　樹皮残存 側面に釘穴あり　漆の剥落が著しい	11	12
WL142	2号遺構 埋土2層	円板状木製品	黒	黒	最大径10.0cm　厚さ0.6cm	11	12
WL143	2号遺構 埋土2層	桶（天板）	黒？	黒？	厚さ0.9cm　一面に2箇所の溝あり　溝の内部に木片が残存 他面は1ヵ所の溝　溝の内部に孔あり　木釘2箇所	12	12
WL144	2号土坑 埋土	桶（天板）	朱	黒	側面：黒漆　最大径26.7cm　厚さ1.2cm　外面に2箇所の溝あり　取っ手があったか　釘穴あり	12	13
WL145	2号遺構 埋土2層	桶（天板）	黒	黒	厚さ1.2cm　外面：溝状に漆のない箇所あり　取っ手があったか？釘穴あり	12	13
WL146	2号遺構 埋土2層	桶（天板）	黒	－	最大径25.5cm　厚さ0.7cm　上面と側面に釘穴？あり　漆の剥落が著しい	12	14
WL147	2号遺構 埋土2層	へら	黒	黒	長さ15.5cm　幅5.9cm　厚さ0.6cm　漆を塗った跡で面取りの加工をしている	13	14
WL148	2号遺構 埋土2層	へら？	黒	－	幅3.0cm　厚さ0.9cm	13	14
WL149	2号遺構 埋土2b層	杓子	黒	－	口径10.0cm　底径6.7cm　器高2.4cm　外面に溝あり	13	14
WL150	2号遺構 埋土2層	栓	黒？	－	上径5.9cm　下径1.5cm　長さ7.9cm　わずかに漆付着	13	14
WL151	2号遺構 埋土2層	しゃもじ	黒？	朱	漆の剥落が著しい	13	14
WL152	2号遺構 埋土2層	折敷	黒	黒	厚さ0.4cm　折敷を加工している　釘穴あり	13	14
WL153	2号遺構 埋土2層	折敷	黒	黒	最大幅30.1cm　厚さ0.6cm　木釘あり　外面中心部・内面縁部分は漆なし	13	14
WL154	2号遺構 埋土2層	折敷	黒	黒	高さ2.1cm　厚さ0.3cm　木釘あり	13	14
WL155	2号遺構 埋土2b層	折敷	黒	朱	高さ1.3cm　厚さ0.2cm　膳の脚か	13	14
WL156	2号遺構 埋土2b層	折敷	黒	黒	長幅30.0cm　短幅26.2cm　高さ5.0cm　厚さ1.3cm　膳の脚か	14	15
WL157	2号遺構 埋土2層	折敷	朱	朱	長さ31.8cm　幅3.0cm　厚さ0.7cm　木釘あり	14	15
WL158	2号遺構 埋土2b層	折敷	－	黒	幅27.5cm　厚さ0.7cm　外面は無数の傷あり　釘穴あり	14	15
WL159	2号遺構 埋土2層	折敷	黒	黒	高さ0.9cm　厚さ0.4cm　木釘あり	14	15
WL160	28号土坑 埋土2層	折敷	黒	－	厚さ0.3cm　膳の脚か	14	15
WL161	2号遺構 埋土2b層	折敷	黒	黒	高さ3.1cm　厚さ0.6cm　木釘あり　とじ紐（樹皮）あり	15	15
WL162	2号遺構 埋土2b層	折敷	黒	黒	高さ3.0cm　厚さ0.6cm　木釘あり	15	15
WL163	2号遺構 埋土2b層	折敷	黒	黒	高さ1.8cm　厚さ0.5cm　木釘あり	15	16
WL164	18号土坑 埋土2層	折敷	黒	朱	高さ1.8cm　厚さ1.0cm　膳の脚か　木釘あり	15	16
WL165	2号遺構 埋土3層	折敷	黒	黒	高さ0.9cm　厚さ0.3cm　木釘あり	15	16
WL166	2号遺構 埋土2層	箱状製品	黒	－	高さ3.2cm　釘穴あり	15	16
WL167	2号遺構 埋土2層	箱状製品	黒	黒	高さ2.5cm　厚さ0.6cm　箱状製品の一部（側板）　釘穴あり	15	16
WL168	2号遺構 埋土2層	箱状製品	黒？	黒？	高さ5.9cm　厚さ1.0cm　箱状製品の一部（側板）　釘穴あり	16	16
WL169	2号遺構 埋土2b層	箱状製品	黒	黒	最大長29.0cm　幅9.6cm　厚さ1.3cm　箱状製品の一部（側板）　釘あり	16	16
WL170	2号遺構 埋土1層	箱状製品	黒	黒	幅2.9cm　厚さ0.7cm　箱状製品の一部（側板）　釘穴あり	16	16
WL171	2号遺構 埋土2層	部材	黒	黒	幅1.8cm　厚さ1.9cm　ほぞあり　上下端は後に切断されたか？	16	17
WL172	2号遺構 埋土2層	部材	黒	－	幅1.0cm　厚さ1.2cm	16	17
WL173	2号遺構 埋土2層	部材	黒	黒	長さ32.3cm　厚さ1.2cm　高さ2.7cm　取っ手か？	16	17
WL174	2号遺構 埋土2b層	部材	黒	黒	釘あり	16	17
WL175	2号遺構 埋土2層	部材	黒	－	長さ9.2cm　幅1.2cm　厚さ0.8cm　中心に孔あり　釘穴あり	16	17
WL176	2号遺構 埋土2層	部材	黒	黒	長さ14.3cm　幅1.2cm　高さ0.8cm　取っ手か？　木釘あり	17	17
WL177	2号遺構 埋土2層	部材	黒	黒	長さ21.5cm　幅1.0cm　厚さ0.9cm　釘あり	17	17
WL178	2号遺構 埋土2層	部材	黒	黒	長さ11.6cm　幅1.4cm　厚さ1.0cm　取っ手か？　釘あり	17	17
WL179	2号遺構 埋土2層	部材	黒	黒	幅3.0cm　厚さ2.0cm　釘あり	17	17
WL180	2号遺構 埋土2b層	部材	黒	黒	長さ7.7cm　幅1.5cm　厚さ1.2cm　釘穴あり	17	17
WL181	2号遺構 埋土2層	不明	黒	－	長さ12.3cm　幅0.8cm　厚さ0.3cm	17	17
WL182	24号土坑 埋土2層	不明	朱	－	長さ7.2cm　1ヵ所孔あり　装飾の部品か？	17	17
WL183	2号遺構 埋土2b層	不明	黒	－	竹製品　幅1.5cm　厚さ0.2cm　孔２ヵ所あり	17	17
WL184	24号土坑 埋土2層	不明	黒	黒	竹製品　幅1.6cm	17	17
WL185	2号遺構 最下層	不明	黒	黒	竹製品　幅1.8cm　厚さ0.7cm	17	17
WL186	2号遺構 埋土2層	部材	朱	－	文字：黒　厚さ0.2cm	－	17

表９　武家屋敷地区第７地点出土下駄観察表
Tab.9　Notes on wooden clogs at BK7

登録番号	出土場所	種　類	長 cm	幅 cm	高 cm	備　考	図	図版
W049	1号遺構 埋土3層	丸型連歯下駄	21.3	8.2	3.5	表面に使用による指の凹み	18	18
W050	1号遺構 埋土	無歯中切下駄	15.0	8.3	2.3	釘穴あり　側面に溝あり	18	18
W051	2号遺構 埋土2b層	角型露卯差歯下駄	23.3	8.6	3.9	底面に小石付着	18	18
W052	2号遺構 埋土2b層	丸型露卯差歯下駄	20.5	7.2	6.7	底面に小石付着	18	18
W053	2号遺構 埋土2b層	丸型露卯差歯下駄	21.1	7.2	3.1		18	18
W054	2号遺構 埋土2b層	丸型露卯差歯下駄	14.8	5.2	2.5		18	18
W055	2号遺構 埋土2層	角型連歯下駄	24.0	9.5	4.2	底に小石付着	19	18
W056	2号遺構 埋土2層	角型連歯下駄	22.0	8.6	3.7		19	18
W057	2号遺構 埋土2層	角型連歯下駄	25.2	8.9	3.6	表面に使用による指の凹み 底に小石付着	19	18
W058	2号遺構 埋土2b層	角型連歯下駄	24.0	9.4	4.8	底面に釘あり　底に小石付着	19	19
W059	2号遺構 埋土2層	角型連歯下駄	23.0	9.7	5.3	表面に使用による指の凹み 底面に釘あり　底に小石付着	19	19
W060	2号遺構 埋土2層	角型連歯下駄	22.0	10.2	3.5	表面に使用による指の凹み 底面に釘あり　底に小石付着	19	19
W061	2号遺構 埋土1層	角型連歯下駄	23.5	9.8	3.7	焼印あり	20	19
W062	2号遺構 埋土2層	角型連歯下駄	23.0	10.3	4.5	表面に使用による指の凹み 表面に刻み	20	19
W063	2号遺構 埋土2b層	角型連歯下駄	22.8	9.3	5.8	底面に釘あり　底に小石付着	20	19
W064	2号遺構 埋土2層	角型連歯下駄	24.0	9.9	2.6	表面に刻み	20	20
W065	2号遺構 埋土2層	角型連歯下駄	23.4	8.7	3.3	底に小石付着　表面に刻み	20	20
W066	2号遺構 埋土2b層	角型連歯下駄	21.8	8.6	5.2	底に小石付着　表面に刻み	20	20
W067	2号遺構 埋土2層	角型連歯下駄	21.9	9.2	3.2	表面に刻み	21	20
W068	2号遺構 埋土2層	角型連歯下駄	17.4	6.6	2.8	底に小石付着	21	20
W069	2号遺構 埋土2層	角型連歯下駄	21.5	9.3	2.2	底に小石付着	21	20
W070	2号遺構 埋土2層	角型連歯下駄	21.3	8.5	2.1	底に小石付着	21	20
W071	2号遺構 埋土2層	丸型連歯下駄	22.6	8.7	3.1	底に小石付着	21	21
W072	2号遺構 埋土2層	丸型刳り下駄？	22.2	7.5	2.1		21	21
W073	2号遺構 埋土2層	丸型連歯下駄	16.1	7.6	2.8	表面に使用による指の凹み 底面に釘あり　底に小石付着	22	21
W074	2号遺構 埋土2層	丸型連歯下駄	17.0	6.5	2.4	釘穴あり	22	21
W075	2号遺構 埋土2b層	丸型連歯下駄？	－	8.0	3.5	釘あり？	22	21
W076	2号遺構 埋土2層	丸型刳り下駄	16.2	7.1	3.1	木釘あり	22	21
W077	2号遺構 埋土2b層	角型刳り下駄	22.5	8.9	4.8	底面に小石付着　側面に釘穴あり	22	21
W078	2号遺構 埋土1層	角型刳り下駄	22.0	9.7	3.6		22	21
W079	2号遺構 埋土2層	角型刳り下駄	22.0	9.7	3.7	側面に釘あり	22	21
W080	2号遺構 埋土2層	無歯下駄	24.2	8.3	2.3	釘あり　底面に小石付着	23	22
W081	2号遺構 埋土2層	無歯下駄	24.1	8.0	3.3	釘あり　底面に小石付着	23	22
W082	2号遺構 埋土2層	無歯下駄	23.8	8.2	1.2	底に小石付着　底面に釘穴あり	23	22
W083	18号土坑 埋土2層	角型連歯下駄	22.2	8.8	4.6	底面に小石付着	23	22
W084	24号土坑 埋土2層	角型露卯差歯下駄	23.2	8.9	5.8	底面に小石付着	23	22
W085	20号土坑 底面	角型連歯下駄	21.5	8.2	3.6	底面に小石付着	23	22
W086	28号土坑 埋土2層	角型露卯差歯下駄	23.7	8.3	10.2	底面に小石付着	24	22
W087	15号土坑 埋土2層	丸型刳り下駄	23.4	6.3	7.5		24	23
W088	15号土坑 埋土2層	角型連歯下駄	23.9	11.1	4.5	底面に小石付着	24	23
W089	2号土坑 埋土1層	丸型連歯下駄	19.1	6.8	2.8		24	23
W090	2号土坑 埋土	無歯下駄	15.0	8.0	2.2		24	23
W091	2号土坑 埋土	無歯下駄	19.3	8.7	2.3	底面に小石付着	24	23
W092	2号土坑 埋土	無歯下駄	22.6	8.3	2.3	畳表付き	－	23
W093	2号土坑 埋土	角型陰卯差歯下駄	20.9	9.2	6.3		25	23
W094	1層・撹乱	角型刳り下駄	22.8	8.0	3.5	底面に小石付着	25	23

表10　武家屋敷地区第７地点出土曲物観察表
Tab.10　Notes on round vessels shaped by bending and securing a thin sheet of cypress wood at BK7

登録番号	出土場所	直径 cm	器高 cm	備　　考	図	図版
W095	2号遺構 埋土2b層	13.6	7.3	柄杓の孔　とじ紐（樹皮）残存	25	24
W096	2号遺構 埋土2層	14.9	2.6	完形（蓋）　とじ紐（樹皮）残存	25	24
W097	2号遺構 埋土2層	5.9	1.5	とじ紐（樹皮）残存	25	24
W098	2号遺構 埋土2b層	6.4	2.6	とじ紐（樹皮）残存	25	24
W099	2号遺構 埋土2b層	8.9	2.8	完形（蓋？）　とじ紐（樹皮）残存	25	24
W100	2号遺構 埋土2b層	－	8.7	柄杓の孔　柄杓部品残存　とじ紐（樹皮）残存	－	24

表11　武家屋敷地区第７地点出土箸状木製品観察表
Tab.11　Notes on wooden chopsticks at BK7

登録番号	出土場所	先端形状	全長 mm	最大径 mm	整　形	備　　考	図	図版
W101	1号遺構 埋土3層	AA	240.0	7.0	普通		26	24
W102	2号遺構 埋土2b層	AA	208.0	6.8	良		26	24
W103	2号遺構 埋土1層	AA	212.0	6.3	普通		26	24
W104	2号遺構 埋土2b層	AA	215.0	6.0	普通		26	24
W105	2号遺構 埋土	AA	218.0	5.7	普通	先端を尖らせる成形の途中	26	24
W106	2号遺構 埋土2層	AA	215.0	4.6	良		26	24
W107	2号遺構 埋土2層	AA	215.0	5.3	良		26	24
W108	2号遺構 埋土3層	AA	222.0	5.3	普通		26	24
W109	2号遺構 埋土2層	AA	215.0	6.3	普通	先端を尖らせる成形の途中	26	24
W110	2号遺構 埋土2層	AA	215.0	6.6	普通		26	24
W111	2号遺構 埋土1層	AA	204.5	6.3	普通		26	24
W112	2号遺構 埋土1層	AA	241.0	5.4	良		26	24
W113	2号遺構 埋土2b層	AA	231.0	6.0	普通		26	24
W114	2号遺構 埋土2層	AA	214.0	4.7	良		26	25
W115	2号遺構 埋土3層	AA	218.0	6.2	良	炭化	26	25
W116	2号遺構 埋土2層	AA	210.0	6.1	普通	角状	26	25
W117	2号遺構 埋土2層	AB	59.0	5.5	普通		26	25
W118	2号遺構 埋土2層	AB	209.0	5.8	普通		26	25
W119	2号遺構 埋土2層	AB	219.0	5.2	普通		26	25
W120	2号遺構 埋土2b層	AB	212.0	5.9	普通		26	25
W121	2号遺構 埋土2層	AC	215.0	6.1	普通		27	25
W122	2号遺構 埋土2層	AC	118.0	4.5	普通		27	25
W123	2号遺構 埋土2層	AC	131.0	5.9	普通		27	25
W124	2号遺構 埋土2層	AD	206.0	6.1	普通		27	25
W125	2号遺構 埋土2層	AE	205.0	6.1	普通		27	25
W126	2号遺構 埋土2層	AE	212.0	5.9	普通		27	25
W127	2号遺構 埋土2層	DC	211.0	5.6	普通		27	25
W128	2号遺構 埋土2層	CF	107.0	5.9	良		27	25
W129	2号遺構 最下層	BD	208.0	5.9	普通		27	25
W130	4号土坑 埋土13層	AA	213.0	5.8	普通		27	25
W131	18号土坑 埋土2層	AA	205.0	6.2	普通		27	25
W132	24号土坑 埋土3層	AA	215.0	5.0	普通		27	25
W133	24号土坑 埋土3層	AA	214.0	5.9	良		27	25
W134	24号土坑 埋土2層	BC	173.0	5.0	普通		27	25
W135	24号土坑 埋土3層	BD	137.0	5.4	普通		27	25
W136	24号土坑 埋土3層	CD	112.0	5.3	良		27	25
W137	28号土坑 埋土2層	AA	212.0	5.1	普通		27	25
W138	4号井戸 埋土1層	AA	234.0	5.4	普通		27	25
W139	2号土坑 埋土2層	AA	217.0	5.4	良	成形が特に丁寧	27	25

表12　武家屋敷地区第７地点出土桶類観察表
Tab.12　Notes on wooden buckets at BK7

登録番号	出土場所	部　位	特　徴　等	図	図版
W140	2号遺構 埋土1層	天　板	径23.0cm　厚さ0.9cm　やや楕円か	28	26
W141	2号遺構 埋土2層	天　板	径49.4cm　厚さ2.9cm　2枚の部品を木釘で接合している	28	26
W142	2号遺構 埋土2層	天　板	径48.6cm　厚さ3.5cm　栓穴あり　それを裏側から板をあて鉄釘で留めている	28	26
W143	2号遺構 埋土2層	天　板	径29.0cm　厚さ1.1cm　片面に釘穴６箇所あり	28	26
W144	2号遺構 埋土2層	天　板	径16.2cm　厚さ1.6cm　栓穴あり	28	27
W145	2号遺構 埋土2層	天　板	径23.6cm　厚さ1.4cm　木釘で接合か	29	26
W146	2号遺構 埋土2b層	天　板 側　板	口径23.7cm　底径21.3cm　器高11.2cm　底板厚さ1.1cm　側板13枚 外面に箍の痕跡が残存　内面に帯状に塗りの痕跡あり	29	26
W147	2号遺構 埋土2b層	天　板	径50.0cm　厚さ3.2cm　鉄釘が残存　栓が付いた状態で残存	29	27
W148	2号遺構 埋土2b層	天　板	径27.1cm　厚さ1.2cm　3枚の部品が木釘で接合されている	29	27
W149	池状遺構新段階埋土2層	天　板	径28.4cm　厚さ1.8cm　2枚の部品を木釘で接合している　栓穴あり　焼印あり	30	27
W150	桶埋設遺構	天板・側板	底板径39.8cm　底板厚さ1.7cm　側板14枚	30	28
W151	2号土坑 埋土1層	側　板	焼印あり（富）　同様のものが計7枚ある	30	27
W152	2号土坑 埋土1層	側　板	焼印あり（冨）　同様のものが計7枚ある	30	27
W153	18号土坑 埋土2層	側　板	穿孔あり	30	27
W154	28号土坑 埋土2層	側　板		30	27

表13　武家屋敷地区第７地点出土栓観察表
Tab.13　Notes on wooden plugs at BK7

登録番号	出土場所	上　径 cm	下　径 cm	長　さ cm	備　考	図	図版
W155	2号遺構 埋土2層	1.8	1.2	5.1		31	28
W156	2号遺構 埋土2b層	3.5	3.2	3.3		31	28
W157	2号遺構 埋土2層	3.5	2.5	7.5		31	28
W158	2号遺構 埋土1層	2.3	1.2	11.9		31	28
W159	2号遺構 埋土2層	3.5	1.8	5.4		31	28
W160	2号遺構 埋土2層	1.5	0.6	8.2		31	28
W161	2号遺構 埋土2層	3.3	2.4	4.6		31	28
W162	2号遺構 埋土2層	3.7	2.0	10.7		31	28
W163	2号遺構 埋土2b層	3.0	3.0	9.5		31	28
W164	2号遺構 埋土2b層	3.7×3.0	3.6×2.2	3.2		31	28
W165	2号遺構 埋土2層	2.7×2.1	2.0×0.7	4.7		31	28
W166	2号遺構 埋土3層	2.1	－	7.4		31	28
W167	2号遺構 埋土2層	－	1.1	4.8		31	28
W168	2号遺構 埋土2層	－	1.0	4.8		31	28
W169	2号遺構 埋土	－	0.8	6.5		31	28
W170	27号溝 埋土3層	4.5	1.7	6.5		31	28
W171	1層・撹乱	－	1.1	4.8		31	28

表14　武家屋敷地区第７地点出土円板状木製品観察表
Tab.14　Notes on wooden implements shaped round plate at BK7

登録番号	出土場所	直径 cm	厚さ cm	備考	図	図版
W172	1号遺構 埋土3層	25.2	0.6	焼印あり	31	29
W173	1号遺構 埋土3層	6.5	0.5	中央に小孔　樹皮摘み	31	29
W174	2号遺構 埋土2層	5.1	0.5	樹皮摘み　中央に小孔あり	31	29
W175	2号遺構 埋土2層	20.0	0.8	中央に小孔　片面にキズあり	32	29
W176	2号遺構 埋土2層	11.0	0.8	線刻あり　鉄釘あり	32	29
W177	2号遺構 埋土2層	6.4	0.5	中央に小孔　樹皮摘み	32	29
W178	2号遺構 埋土2層	5.8	0.4	中央に小孔	32	29
W179	2号遺構 埋土2層東岸一括	5.8	0.3	中央に小孔　片面に刻みの文様あり	32	29
W180	2号遺構 埋土2層	13.2	0.8	側面に木釘３ヶ所	32	29
W181	2号遺構 埋土2層東岸一括	14.6	0.8	側面に木釘５ヵ所　釘穴１ヵ所	32	29
W182	2号遺構 埋土2b層	10.6	0.9		32	29
W183	2号遺構 埋土2b層	21.0	1.0	鉄釘　釘穴あり　片面には木材が接合していた痕跡あり	32	29
W184	2号遺構 埋土2b層	23.0	0.6	側面に釘穴２ヶ所	33	30
W185	2号遺構 埋土2b層	8.6	0.7	側面に木釘1ヵ所　釘穴３ヶ所	33	30
W186	2号遺構 埋土2b層	5.2	0.6	中央に小孔　側面に刻み	33	30
W187	2号遺構 埋土2b層	11.4	0.7	小孔　片面に刻みあり　樹皮摘み	33	30
W188	2号遺構 埋土最下層	17.1	0.3	木釘３ヶ所　釘穴２ヶ所	33	30
W189	4号土坑 埋土9層	9.0	0.9	樹皮摘み	33	30
W190	27号溝 埋土3層	3.2	0.5	側面は面取りされている	33	30

表15　武家屋敷地区第７地点出土へら状木製品観察表
Tab.15　Notes on wooden spatulas at BK7

登録番号	出土場所	種類	長さ cm	幅 cm	厚さ cm	備考	図	図版
W201	2号遺構 埋土2層	A	14.8	7.2	0.6		34	31
W202	2号遺構 埋土2層	A	15.2	4.2	0.4		34	31
W203	2号遺構 埋土2層	A	13.7	−	0.3		34	31
W204	2号遺構 埋土2層	A	23.2	7.6	0.3		34	31
W205	2号遺構 埋土2層	A	14.0	5.8	0.2		34	31
W206	2号遺構 埋土2層	A	11.6	7.7	0.4	刻み「や」「き」	34	31
W207	2号遺構 埋土2層	B	25.2	3.4	0.2		34	31
W208	2号遺構 埋土2層	B	26.8	2.6	0.3		34	31
W209	2号遺構 埋土2b層	B	29.6	5.3	0.7		34	31
W210	2号遺構 埋土2b層	B	20.5	2.8	0.5		34	31
W211	2号遺構 埋土2層	B	31.0	5.1	0.4		35	31
W212	2号遺構 埋土2層	B	29.8	2.6	1.6		35	32
W213	2号遺構 埋土2層	B	19.0	2.5	0.3		35	32
W214	2号遺構 埋土2層	C	−	10.5	1.1		35	32
W215	24号土坑 埋土3層	B	23.0	4.1	0.3		35	32
W216	24号土坑 埋土2層	A	16.8	7.3	0.4		35	32
W217	24号土坑 埋土3層	A	16.0	7.5	0.3		35	32
W218	24号土坑 埋土2層	C	78.0	−	2.5		36	32

表16　武家屋敷地区第７地点出土楔観察表
Tab.16　Notes on wooden implements shaped wedge at BK7

登録番号	出土場所	長さ cm	幅 cm	厚さ cm	図	図版
W191	2号遺構 埋土2層	15.0	3.3	3.0	33	30
W192	2号遺構 埋土2層	12.8	2.4	1.2	33	30
W193	2号遺構 埋土2層	6.0	3.5	1.1	33	30
W194	15号土坑 埋土2層	9.2	2.4	1.7	33	30
W195	2号遺構 埋土2層	8.2	1.6	1.4	33	30
W196	24号土坑 埋土3層	11.8	−	1.6	33	30
W197	24号土坑 埋土3層	10.9	4.3	1.0	33	30
W198	2号遺構 埋土2層	4.6	1.1	0.9	33	30
W199	2号遺構 埋土2b層	20.5	2.4	1.6	33	30
W200	2号遺構 埋土2b層	17.6	1.6	3.7	33	30

表17　武家屋敷地区第７地点出土柄状木製品観察表
Tab.17　Notes on wooden handles at BK7

登録番号	出土場所	種類	長さ cm	幅 cm	厚さ cm	備考	図	図版
W219	2号遺構 埋土2層	A	54.9	3.1	1.0	釘穴あり　彫りによる文様	36	33
W220	2号遺構 埋土2層	A	41.1	2.5	1.3	釘穴あり	37	33
W221	2号遺構 埋土2層	B	26.4	2.2	1.0	釘穴あり　端部に孔あり	37	33
W222	2号遺構 埋土1層	B	31.9	1.5	0.6	釘穴あり	37	33
W223	2号遺構 埋土2b層	F	17.8	1.6	1.0	端部に孔あり	37	33
W224	2号土坑 埋土	D	15.2	1.5	1.5		37	33
W225	24号土坑 埋土3層	D	32.6	1.3	1.2		37	33
W226	24号土坑 埋土3層	A	65.2	3.9	1.5	釘穴あり	37	33
W227	15号土坑 埋土2層	C	49.0	3.2	2.1	釘穴あり　端部に孔あり	37	33

表18　武家屋敷地区第７地点出土竹製品観察表
Tab.18　Notes on various bamboo implements at BK7

登録番号	出土場所	種類	法量	備考	図	図版
W310	15号土坑 埋土2層	ものさし	厚さ0.2cm	1目盛は約1寸	49	42
W311	15号土坑 埋土2層	不明	長さ8.3cm　幅2.8cm　厚さ0.7cm		49	42
W312	15号土坑 埋土2層	手元ロクロ	幅3.6cm	傘の手元ロクロ	49	42
W313	2号遺構 埋土2層	不明	長さ22.5cm　幅2.1cm　厚さ0.6cm	孔あり	49	42
W314	27号溝 埋土3層	不明	長さ19.4cm　径2.8cm	刻み・孔あり	49	42
W315	2号遺構 埋土2b層	編籠		黒色の塗り？	49	42
W316	1号遺構 埋土3層	編籠		黒色の塗り？	49	42
W317	2号遺構 埋土2b層	編籠			49	42

表19　武家屋敷地区第７地点出土その他の木製品観察表（1）
Tab.19　Notes on various wooden implements at BK7（1）

登録番号	出土場所	種　類	法　量	特　徴	図	図版
W228	2号遺構 埋土2層	鍬	長さ36.7cm　幅12.5cm　厚さ2.6cm	身のみ	38	34
W229	2号土坑 埋土1層	鍬	長さ32.5cm　幅11.9cm　厚さ4.2cm	柄と身が一体	38	34
W230	29号溝 埋土	鍬	柄：長さ81.5cm　厚さ3.7cm 身：長さ34.2cm　幅15.5cm　厚さ2.6cm	柄と身が分離	38	34
W231	2号遺構 埋土4層	刳物（槽）	幅46.5cm　高さ27.0cm		39	35
W232	2号遺構 埋土2b層	刳物	長辺48.0cm　短辺35.0cm　高さ10.0cm	炭化物？付着	39	35
W233	2号遺構 埋土2b層	刳物	口径9.5cm　底径7.2cm　器高1.5cm		39	35
W234	2号遺構 埋土4層	刳物（槽）	幅38.0cm　高さ11.0cm		－	35
W235	2号土坑 埋土１層	建築部材？	長さ80.6cm　幅2.6cm　厚さ2.8cm	溝あり	40	36
W236	2号遺構 埋土2層	釣瓶桶	縦10.4cm　長幅22.5cm　短幅17.0cm 厚さ2.4cm	溝・底部に釘穴あり	40	36
W237	2号遺構 埋土2層	釣瓶桶	縦11.6cm　長幅26.3cm　短幅18.7cm 厚さ2.3cm	側面に釘穴あり	40	36
W238	2号遺構 埋土2層	釣瓶桶（持ち手）	長さ28.4cm　幅6.2cm　厚さ4.5cm	中央に孔があり、釣瓶桶の持ち手部分にあたるか	40	36
W239	2号遺構 埋土2b層	部材	長さ29.9cm　幅5.4cm　厚さ4.6cm	端部に鉄釘あり　一端に別の木質が残存	40	36
W240	2号遺構 埋土2層	部材	長さ29.8cm　幅4.0cm　厚さ4.4cm	端部に鉄釘あり	40	36
W241	24号土坑 埋土３層	駒形木製品	縦15.0cm　横9.8cm　厚さ3.8cm	尾は金属	41	37
W242	2号遺構 埋土2層	駒形木製品	縦11.0cm　横6.5cm　厚さ2.1cm	馬のたてがみ部分には孔あり 底部は差し込める形状	41	37
W243	2号遺構 埋土2層	駒形木製品	幅3.3cm	尾に穿孔あり　鞍部分に板材が残存	41	37
W244	2号遺構 埋土2層	駒形木製品	縦11.6cm　横6.7cm　厚さ2.1cm	馬のたてがみ部分には孔あり 底部は差し込める形状	41	37
W245	2号遺構 埋土2層	駒形木製品	縦8.9cm　厚さ4.4cm	馬のたてがみ部分には孔あり	42	37
W246	2号遺構 埋土2b層	鳥形木製品	縦4.5cm　横8.8cm　厚さ1.2cm	釘穴２ヶ所あり	42	37
W247	2号遺構 埋土2層	コマ状製品	長さ4.0cm　幅2.9cm		42	37
W248	2号遺構 埋土2層	コマ状製品	長さ4.2cm　幅4.2cm		42	37
W249	28号土坑 埋土1層	コマ状製品	長さ7.7cm　幅3.9cm		42	37
W250	2号遺構 埋土2層	ミニチュア（下駄）	長さ5.1cm　幅2.0cm　厚さ1.8cm		42	37
W251	2号遺構 埋土2層	竹とんぼ	長さ12.5cm　幅1.8cm　厚さ0.4cm	木製　中心に孔あり	42	37
W252	2号遺構 埋土2層	竹とんぼ	長さ15.0cm　幅2.1cm　厚さ0.7cm	木製　中心の孔には木質が残存	42	37
W253	2号遺構 埋土2層	羽子板	幅9.5cm　厚さ0.6cm	片面には細かい傷がある	42	37
W254	2号遺構 埋土2層	耳かき	長さ21.3cm　径0.6cm		43	38
W255	2号遺構 埋土2b層	耳かき	長さ11.8cm　径0.5cm		43	38
W256	2号遺構 埋土2層	扇子			43	38
W257	2号遺構 埋土2層	団扇			43	38
W258	2号遺構 埋土３層	物差			43	38
W259	24号土坑 埋土１層	櫛	縦4.3cm　厚さ0.6cm		43	38
W260	2号遺構 埋土2b層	櫛	縦4.5cm　厚さ0.9cm		43	38
W261	2号遺構 埋土2層	刷毛	長さ11.9cm　幅7.8cm　厚さ7.0cm	木釘・釘穴・穿孔あり	43	38
W262	2号遺構 埋土３層	刷毛	長さ11.7cm　厚さ8.5cm	木釘・釘穴・穿孔あり	43	38
W263	2号遺構 埋土１層	刷毛	長さ14.5cm　厚さ0.5cm		43	38
W264	2号遺構 埋土2b層	錐？	長さ13.1cm　径1.9cm	金属が残存	43	38
W265	2号遺構 埋土2層	灯明台			44	38
W266	2号遺構 埋土2層	灯明台		2つの部材が組み合う　底部に木釘の跡あり	44	38
W267	24号土坑 埋土3層	灯明台			44	38

表20　武家屋敷地区第７地点出土その他の木製品観察表（2）
Tab.20　Notes on various wooden implements at BK7（2）

登録番号	出土場所	種　類	法　量	特　徴	図	図版
W268	2号遺構 埋土2b層	灯明台	長辺11.0cm　短辺10.9cm　厚さ1.5cm	中央に鉄釘あり　灯明台（切燈台）の底部か	44	39
W269	2号遺構 埋土2ｂ層	砥石台	長さ17.8cm　幅5.4cm　厚さ3.0cm		44	39
W270	2号遺構 埋土2ｂ層	包丁	長さ7.9cm　幅2.7cm　厚さ1.4cm	包丁の柄か　金属部分が残る	44	39
W271	2号遺構 埋土2層	串状製品	長さ18.7cm　幅0.8cm　厚さ0.4cm		44	39
W272	2号遺構 埋土2層	串状製品	長さ14.4cm　幅0.8cm　厚さ0.3cm		44	39
W273	2号遺構 埋土３層	折畳み枕	長さ24.8cm　幅7.5cm　厚さ3.2cm		45	39
W274	１号遺構 埋土３層	笏	長さ27.2cm　幅4.2cm　厚さ0.7cm		45	39
W275	2号遺構 埋土2層	手元ろくろ	径5.9cm	傘の部品	45	39
W276	24号土坑 埋土2層	柄杓部品	長さ13.8cm　幅3.1cm　厚さ2.3cm	柄杓の柄を取り付けるための穿孔あり	45	39
W277	1号遺構 埋土3層	柄杓部品	長さ10.4cm　幅1.9cm　厚さ0.9cm	柄杓の柄を取り付けるための穿孔あり 鉄釘残存	45	39
W278	2号遺構 埋土2層	不明	縦6.3cm　横3.4cm　厚さ0.4cm		45	39
W279	2号遺構 埋土2b層	戸車？	径5.2cm　厚さ1.5cm		45	39
W280	2号遺構 埋土2層	折敷？	一辺5.5×5.7cm　厚さ0.3cm		45	39
W281	2号遺構 埋土2層	折敷	一辺16.4cm　高さ2.2cm	側板と底板は樹皮紐で固定 底板に２ヶ所の穿孔あり	45	39
W282	2号遺構 埋土2層	猪目懸魚？	長さ17.0cm　幅13.0cm　厚さ0.6cm	中央にハート型の飾り穴がある	46	40
W283	2号遺構 埋土2b層	台座	長さ20.9cm　幅6.1cm　厚さ5.8cm	何かの台座部分になるか	46	40
W284	15号土坑 埋土2層	箱状製品	長さ21.1cm　幅14.5cm　高さ3.4cm	木釘あり　内面は黒色の塗り	46	40
W285	2号遺構 埋土2b層	不明	長さ21.5cm　幅6.5cm　厚さ0.7cm	箱状製品の蓋か	46	40
W286	2号遺構 埋土2層	調度部材	長さ5.9cm　径1.0cm	丸みを帯びた八角形で、4面と底面に孔あり　調度品の装飾部分か	46	40
W287	2号遺構 埋土2b層	持ち手	長さ23.4cm　幅1.7cm　厚さ4.8cm	木釘4ヶ所あり　何かの持ち手部分か	46	40
W288	2号遺構 埋土2層	不明	長さ19.0cm　幅3.8cm　厚さ2.9cm	穿孔４ヶ所あり	47	40
W289	2号遺構 埋土2層	不明	長さ18.5cm　最大径4.3cm	木釘１ヵ所　穿孔４ヶ所	47	40
W290	24号土坑 埋土３層	不明	長さ21.6cm　幅1.1cm　厚さ1.3cm	底面に釘穴があり、蓋の持ち手になるか	47	40
W291	2号遺構 埋土2b層	不明	長さ13.4cm　幅10.3cm　厚さ0.7cm		47	41
W292	2号遺構 埋土2層	不明	径16.2cm　厚さ0.8cm		47	41
W293	2号遺構 埋土1層	不明	長さ7.3cm　幅0.9cm　厚さ0.9cm	穿孔2ヶ所あり	47	41
W294	2号遺構 埋土2b層	不明	縦4.3cm　横5.4cm　厚さ0.8cm		47	41
W295	2号遺構 埋土2層	不明	縦4.3cm　縦8.0cm　厚さ0.5cm		47	41
W296	2号遺構 埋土2層	不明	長辺5.3cm　短辺4.9cm　厚さ0.8cm		47	41
W297	2号遺構 埋土2層	陽物	長さ15.1cm　幅1.5cm　厚さ0.3cm		47	41
W298	2号遺構 埋土2b層	不明	幅2.1cm　厚さ0.2cm	木羽を成形したか	47	41
W299	2号遺構 埋土2層	不明	幅5.4cm　厚さ0.9cm	片面に格子状の刻みあり	48	41
W300	2号遺構 埋土2層	不明		線刻による文字あり	48	41
W301	2号遺構 埋土2層	不明		線刻による文字あり	48	41
W302	2号遺構 埋土2層	不明		線刻による文字あり	48	41
W303	2号遺構 埋土2b層	不明		線刻で人面を描く	48	42
W304	2号遺構 埋土2層	不明	幅9.5cm　厚さ0.2cm	線刻による文様あり	48	42
W305	2号遺構 埋土2層	不明	厚さ0.1cm	寛永通宝の焼印あり	48	42
W306	2号遺構 埋土2b層	不明	径1.6cm	棒状のものに竹紐を編みこむ	－	42
W307	2号遺構 埋土3層	不明		繊維状のものを縄で縛っている	－	42
W308	2号遺構 埋土1層	縄	径0.3cm		－	42
W309	2号遺構 埋土2層	縄	径1.0cm		－	42

表21　武家屋敷地区第７地点出土古銭観察表（1）
Tab.21　Notes on coins at BK7（1）

登録番号	出土場所	銭　名	外径(mm)	穿径(mm)	重量(g)	備　考	図	図版
MC01	13号土坑 埋土	寛永通寶（古寛永）	24.0	6.0	4.0	完形	50	43
MC02	13号土坑 埋土	天聖元寶（篆書）	24.0	7.0	3.3	一部欠損　北宋（1023年初鋳）	50	43
MC03	12号溝 埋土1層	寛永通寶	－	－	0.6	1/2欠損	50	43
MC04	28号溝 埋土1層	洪武通寶	23.0	6.0	1.9	完形　明（1368年初鋳）	50	43
MC05	1号遺構 埋土2層	享保一分金	－	－	4.4	完形　縦17mm　横10mm	50	43
MC06	1号遺構 埋土3層	寛永通寶（古寛永）	24.0	6.0	1.1	一部欠損　「ハネ永」　錆化顕著	50	43
MC07	1号遺構 埋土3層	永楽通寶	24.0	6.0	1.9	完形　一部変形	50	43
MC08	1号遺構 埋土3層	寛永通寶（新寛永）	－	7.0	1.3	一部欠損　錆化顕著	50	43
MC09	2号遺構 埋土1層	寛永通寶（新寛永）	25.0	6.0	3.6	完形	50	43
MC10	2号遺構 埋土1層	寛永通寶（新寛永）	23.0	7.0	2.6	完形　「俯頭永」	50	43
MC11	2号遺構 埋土1層	寛永通寶（新寛永）	25.0	6.0	2.9	完形	50	43
MC12	2号遺構 埋土1層	不明	23.0	6.0	1.9	一部欠損　錆化顕著	50	43
MC13	2号遺構 埋土1層	寛永通寶（古寛永）	24.0	6.0	3.6	完形	50	43
MC14	2号遺構 埋土1層	寛永通寶（古寛永）	24.0	5.0	2.9	完形	50	43
MC15	2号遺構 埋土1層	寛永通寶（新寛永）？	24.0	7.0	1.8	表面欠落　錆化顕著	50	43
MC16	2号遺構 埋土2層	寛永通寶（新寛永）	25.0	6.0	3.6	完形　背文「文」	50	43
MC17	2号遺構 埋土2層	寛永通寶（新寛永）	24.0	6.0	2.8	完形	50	43
MC18	2号遺構 埋土2層	寛永通寶（新寛永）	23.0	7.0	2.8	完形　「俯頭永」	50	43
MC19	2号遺構 埋土2層	寛永通寶（新寛永）	23.0	6.0	2.2	完形	50	43
MC20	2号遺構 埋土2層	寛永通寶（古寛永）	24.0	6.0	2.3	完形	50	43
MC21	2号遺構 埋土2層	寛永通寶（古寛永）	25.0	6.0	2.4	完形	50	43
MC22	2号遺構 埋土2層	寛永通寶（新寛永）	23.0	7.0	2.3	ごく一部欠損　錆化顕著	50	43
MC23	2号遺構 埋土2層	寛永通寶（新寛永）	23.0	6.0	1.9	完形	50	43
MC24	2号遺構 埋土2層	寛永通寶（新寛永）	24.0	6.0	3.0	完形	50	43
MC25	2号遺構 埋土2層	永楽通寶？	－	－	0.5	1/2欠損	50	43
MC26	2号遺構 埋土2層	渡来銭	25.0	7.0	3.6	完形　皇宋通寶（北宋1039年初鋳）か	51	44
MC27	2号遺構 埋土2層	寛永通寶（新寛永）	24.0	7.0	1.9	完形	51	44
MC28	2号遺構 埋土2層	寛永通寶（新寛永）	25.0	6.0	3.2	完形　背文「文」	51	44
MC29	2号遺構 埋土2層	寛永通寶（古寛永）	25.0	6.0	2.6	完形	51	44
MC30	2号遺構 埋土2層	寛永通寶（新寛永）	25.0	6.0	3.1	完形　背文「文」	51	44
MC31	2号遺構 埋土2層	寛永通寶（新寛永）	23.0	6.0	3.2	完形	51	44
MC32	2号遺構 埋土2層	寛永通寶（新寛永）	26.0	6.0	4.0	完形	51	44
MC33	2号遺構 埋土2層	寛永通寶	－	－	1.7	1/4欠損　錆化顕著	51	44
MC34	2号遺構 埋土2層	寛永通寶（古寛永）	24.0	5.0	1.5	一部欠損　錆化顕著	51	44
MC35	2号遺構 埋土2層	寛永通寶（新寛永）	22.0	7.0	1.2	一部欠損　「俯頭永」	51	44
MC36	2号遺構 埋土2層	寛永通寶（新寛永）	24.0	7.0	3.0	完形	51	44
MC37	2号遺構 埋土2層	寛永通寶（新寛永）	22.0	6.0	3.0	完形	51	44
MC38	2号遺構 埋土2層	寛永通寶（新寛永）	22.0	7.0	1.7	ごく一部欠損	51	44
MC39	2号遺構 埋土2層	寛永通寶（新寛永）	23.0	6.0	2.4	完形	51	44
MC40	2号遺構 埋土2b層	寛永通寶（新寛永）	22.0	7.0	2.5	ごく一部欠損　錆化顕著	51	44
MC41	2号遺構 埋土2b層	寛永通寶（古寛永）	24.0	5.0	3.6	完形	51	44
MC42	2号遺構 埋土2b層	寛永通寶（新寛永）	25.0	6.0	3.3	完形　背文「文」	51	44
MC43	2号遺構 埋土3層	寛永通寶（古寛永）	24.0	5.0	3.0	完形	51	44
MC44	5号溝 埋土	寛永通寶（新寛永）	－	－	0.5	1/2欠損　錆化顕著　「延尾永」	51	44

表22　武家屋敷地区第７地点出土古銭観察表（2）
Tab.22　Notes on coins at BK7（2）

登録番号	出土場所	銭　名	外径(mm)	穿径(mm)	重量(g)	備　考	図	図版
MC45	9号溝　埋土1	寛永通寶（新寛永）	22.0	7.0	1.3	一部欠損　錆化顕著　「俯頭永」	51	44
MC46	9号溝　埋土1	寛永通寶（新寛永）	23.0	6.0	1.6	一部欠損　錆化顕著　「俯頭永」	51	44
MC47	22号溝　埋土	寛永通寶	－	－	0.9	1/2欠損　錆化顕著	51	44
MC48	15号土坑　埋土1層	寛永通寶（新寛永）	25.0	6.0	2.7	完形　背文「文」	51	44
MC49	15号土坑　埋土1層	洪武通寶	23.0	6.0	2.3	ほぼ完形　明（1368年初鋳）	52	44
MC50	24号土坑　埋土1・2層	寛永通寶（新寛永）	25.0	6.0	2.8	完形	52	45
MC51	24号土坑　埋土2層	寛永通寶（新寛永）	23.0	6.0	2.2	完形	52	45
MC52	24号土坑　埋土2層	寛永通寶	23.6	7.3	－	完形　鉄銭　錆化顕著　MC52～54結合	－	45
MC53	24号土坑　埋土2層	寛永通寶	23.6	7.3	－	完形　鉄銭　錆化顕著　MC52～54結合	－	45
MC54	24号土坑　埋土2層	寛永通寶	23.6	7.3	－	完形　鉄銭　錆化顕著　MC52～54結合	－	45
MC55	H-10　3a層	寛永通寶（新寛永）	23.0	6.0	2.9	完形	52	45
MC56	池状遺構新段階埋土	寛永通寶（新寛永）	22.2	7.3	2.1	鉄銭　完形　錆化顕著　背文「十？」	52	45
MC57	池状遺構新段階埋土1層	寛永通寶（新寛永）	22.0	7.0	1.2	一部欠損　錆化顕著	52	45
MC58	池状遺構新段階埋土2層	寛永通寶（四文銭）	28.9	7.1	4.5	鉄銭　完形　錆化顕著　背文「千」「波」	52	45
MC59	2号土坑　埋土1層	不明	－	－	－	1/2残存？錆化顕著　全体が破損	－	－
MC60	7号溝　埋土	寛永通寶	－	7.0	0.5	1/2欠損　錆化顕著	52	45
MC61	1号土坑　埋土1層	寛永通寶（古寛永）	23.0	6.0	1.3	ごく一部欠損　錆化顕著	52	45
MC62	B-8　2層	寛永通寶（古寛永）	24.0	6.0	1.5	完形	52	45
MC63	D-7　2層	寛永通寶（新寛永）	22.0	6.0	1.6	完形　錆化顕著	52	45
MC64	D-10　2層	寛永通寶（古寛永）	24.0	6.0	2.0	完形　錆化顕著	52	45
MC65	F-3　2層	寛永通寶（新寛永）	24.0	6.0	2.5	完形　錆化顕著	52	45
MC66	F-4　2層	不明	－	－	－	1/2欠損　錆化顕著	－	－
MC67	H-5　2層	熙寧元寶（篆書）	23.0	6.0	1.9	完形　北宋（1068年初鋳）　錆化顕著	52	45
MC68	H-10　2層	寛永通寶（新寛永）	23.0	7.0	1.9	ごく一部欠損	52	45
MC69	I-10　2層	寛永通寶	22.0	7.0	1.1	一部欠損　錆化顕著	－	45
MC70	1層・撹乱	寛永通寶（古寛永）	25.0	6.0	3.3	完形	52	45
MC71	1層・撹乱	寛永通寶（新寛永）	25.0	6.0	2.0	ごく一部欠損　錆化顕著	52	45
MC72	1層・撹乱	寛永通寶（古寛永）	22.0	7.0	1.3	完形	52	45
MC73	1層・撹乱	寛永通寶（新寛永）	23.0	6.0	1.8	完形　「虎の尾寛」	52	45
MC74	1層・撹乱	寛永通寶（古寛永）	26.0	6.0	2.5	ごく一部欠損	52	45
MC75	1層・撹乱	寛永通寶（古寛永）	25.0	6.0	2.8	完形	52	45
MC76	1層・撹乱	元祐通寶（篆書）	24.0	6.0	2.0	北宋（1093年初鋳）　錆化顕著　ごく一部欠損	52	45
MC77	1層・撹乱	元豊通寶（篆書）	24.0	7.0	1.7	北宋（1078年初鋳）　錆化顕著　一部欠損	52	45
MC78	1層・撹乱	寛永通寶（古寛永）	24.0	6.0	2.8	完形	52	45
MC79	1層・撹乱	寛永通寶（新寛永）	－	6.0	1.3	1/2欠損	－	46
MC80	1層・撹乱	１セントコイン	19.0	－	2.9	完形	－	46

表23　武家屋敷地区第７地点出土煙管雁首観察表
Tab.23　Notes on pipes (stems and bowls) at BK7

登録番号	出土場所	全体形状	火皿形状	接合方法	首部アワセメ	全長(mm)	火皿直径(mm)	ラウ口直径(mm)	備考	図	図版
MO01	2号遺構　埋土3層	ⅡB	1a	3	右上	64.5	10.5	10.0		53	46
MO02	2号遺構　埋土2層	ⅡB	1a	2	左	65.0	16.0	10.5		53	46
MO03	2号遺構　埋土2層	ⅡB	1a	3	左	55.0	16.7	11.0		53	46
MO04	2号遺構　埋土2層	ⅡB	1a	3	左	47.5	15.0	10.0		53	46
MO05	2号遺構　埋土1層	ⅡB	1a	3	左	4.0	14.5	10.0		53	46
MO06	16号土坑　埋土	ⅡB	—	3	上	—	—	9.2	火皿なし	53	46
MO07	池状遺構新段階埋土3層	ⅡB	1a	2	左	60.0	14.5	10.2		53	46

表24　武家屋敷地区第７地点出土煙管吸口観察表
Tab.23　Notes on pipes (mouth pipes) at BK7

登録番号	出土場所	全体形状	全長(mm)	ラウ口直径(mm)	吸口直径(mm)	備考	図	図版
MO08	2号遺構 埋土2層	ⅡA	41.0	11.0	3.5		53	46
MO09	2号遺構 埋土2層	ⅡA	38.0	12.5	5.2		53	46
MO10	2号遺構 埋土2層	ⅡB	53.0	9.0	4.0	ラウ付	53	46
MO11	2号遺構 埋土3層	ⅡB	93.0	9.0	4.2		53	46
MO12	2号遺構 埋土2層	ⅡB	65.3	9.5	4.5		53	46
MO13	2号遺構 埋土3層	ⅡB	62.0	8.2	3.5		53	46
MO14	2号遺構 埋土2層	ⅡB	59.5	9.0	3.5		53	46
MO15	2号遺構 埋土1層	ⅡB	55.0	9.0	3.0	ラウ付	53	46
MO16	2号遺構 埋土2層	ⅡB	50.0	8.5	3.7	ラウ付	53	46
MO17	4号土坑 埋土9層	ⅡB	55.0	6.5	3.0	ラウ部分に返し付？	53	46
MO18	池状遺構新段階埋土3層	ⅡB	57.3	11.3	4.3		53	46

表25　武家屋敷地区第７地点出土その他の銅製品観察表
Tab.25　Notes on various implements made of copper at BK7

登録番号	出土場所	種類	特徴・法量など	図	図版
MO19	1号遺構 埋土3層	物差	長さ152.5mm　幅8.0mm　一端で留めており、くの字状に動く 大きな目盛１つが1寸　全体で約5寸	54	46
MO20	2号遺構 埋土3層	飾り金具	幅16.6mm　厚さ0.5mm　釘穴あり	54	46
MO21	2号遺構 最下層	取っ手	長さ44.0mm　幅21.0mm　厚さ3.5mm	54	46
MO22	2号遺構 埋土3層	杓子？	径91.1mm　厚さ1.0mm	54	47
MO23	2号遺構 埋土2層	鉄漿坏	厚さ0.4mm　線刻による文様	54	47
MO24	2号遺構 埋土2層	不明	径8.0mm　銅の芯に籐を巻きつける	54	47
MO25	2号遺構 埋土2b層	鉤	長さ59.9mm　径5.5mm	54	47
MO26	2号遺構 埋土2b層	雁首銭	径22.0mm　厚さ1.0mm	54	47
MO27	1号井戸 埋土1層	飾り金具	厚さ1.3mm	54	47
MO28	1号井戸 埋土3層	鎖	残存長155.0mm	−	47
MO29	20号土坑 埋土2層	矢立の蓋	長さ26.3mm　幅27.6mm　厚さ0.5mm	54	47
MO30	24号土坑 埋土1・2層	不明	長さ80.0mm　最大幅16.2mm　厚さ3.6mm	55	47
MO31	28号土坑 埋土2層	水滴	長さ59.4mm　幅31.5mm　厚さ11.2mm	55	47
MO32	3a層	不明	径26.0mm　厚さ0.6mm	55	47
MO33	15号土坑 埋土1層	不明	径7.0mm	55	47
MO34	池状遺構新段階埋土2層	櫛	長さ89.0mm　幅5.5mm　峰部分は銅製　歯部分は木製	55	47
MO35	池状遺構新段階埋土2層	杓子？	最大径61.2mm　厚さ0.6mm	55	47
MO36	2号土坑 埋土1層	匙	長さ78mm　幅11.5mm　厚さ1.1mm　両端に大小の匙が付く	55	47
MO37	2号土坑 埋土1層	不明	径2.6mm	55	47
MO38	2号土坑 埋土1層	不明	銅の芯に籐を巻きつける	−	47
MO39	1号建物 柱25	不明	銅の芯に籐を巻きつける	−	47

表26　武家屋敷地区第７地点出土その他の鉄製品観察表
Tab.26　Notes on various implements made of iron at BK7

登録番号	出土場所	種　類	特徴・法量など	図	図版
MO40	2号遺構 埋土1層	不　明		55	47
MO41	2号遺構 埋土2層	不　明		55	48
MO42	2号遺構 埋土2層	錐	柄は木製	55	48
MO43	2号遺構 埋土2b層	火　箸	長さ127.0mm　最大径5.7mm	55	48
MO44	2号遺構 埋土2b層	毛抜き		55	48
MO45	2号遺構 埋土2層	火　箸	長さ378.0mm　最大径6.2mm	56	48
MO46	2号遺構 埋土2b層	不　明		56	48
MO47	2号遺構 埋土2層	不　明		56	48
MO48	2号遺構 埋土3層	小　柄	刃部分は鉄製　柄部分は銅製か	56	48
MO49	2号遺構 埋土2層	小　柄	刃部分は鉄製　柄部分は銅製	56	48

表27　武家屋敷地区第７地点出土その他の鉛製品観察表
Tab.27　Notes on various implements made of lead at BK7

登録番号	出土場所	種　類	法　量　な　ど	図	図版
MO50	12号溝 埋土1層	不　明	厚さ5.0mm	56	48
MO51	2号遺構 埋土2層	不　明	径19.9mm　厚さ3.3mm	56	48
MO52	池状遺構新段階底面	錘	長さ33.0mm　幅9.3mm　厚さ3.6mm	56	48

表28　武家屋敷地区第７地点出土石器・石製品観察表
Tab.28　Notes on stone tools and stone implements at BK7

登録番号	出土場所	種　類	石　材	特　　徴	図	図版
S01	G-10　2層下部	石　鏃	頁　岩		57	49
S02	2号遺構 埋土1層	石　匙	頁　岩	一部欠損	57	49
S03	H-10　2層	石　錘	軽　石		57	49
S04	4号土坑 埋土2層	火打石	メノウ		57	49
S05	24号土坑 埋土1・2層	火打石	メノウ		57	49
S06	27号溝 埋土4層	火打石	メノウ		57	49
S07	H-9　3a層	火打石	メノウ		57	49
S08	池状遺構新段階埋土3層	火打石	メノウ		57	49
S09	1号柱列　柱5	火打石	メノウ		57	49
S10	ピット78 埋土	火打石	水　晶		57	49
S11	ピット78 埋土	火打石	メノウ		57	49
S12	ピット111 埋土1層	火打石	メノウ		57	49
S13	20号土坑 埋土1層	砥　石	粘板岩		57	49
S14	2号遺構 埋土2層	硯	粘板岩	墨の痕跡が残る	57	49
S15	2号遺構 埋土2b層	硯	粘板岩	切断？	57	49
S16	15号土坑 埋土2層	硯	粘板岩	墨の痕跡が残る　陸中央にくぼみ	58	49
S17	20号溝 埋土	硯	粘板岩	墨の痕跡が残る	58	50
S18	1層・撹乱	硯	粘板岩	文字線刻「宝永七年大□□村三月十八日」か	58	50
S19	1層・撹乱	硯	紫雲石		58	50
S20	1層・撹乱	硯	粘板岩	赤色の墨跡が残る	58	50

表29　武家屋敷地区第７地点出土その他の遺物観察表
Tab.29　Notes on various implements at BK7

登録番号	出土場所	種　類	材質	備　　考	図	図版
G01	2号遺構　埋土1層	容器？	ガラス	茶褐色	－	50
G02	15号土坑　埋土2層	不明	ガラス	ねじりのモチーフ　箸や簪等か？径約0.2mm	－	50
OT01	18号土坑　埋土１層	不明	不明	欠損面に穿孔の痕跡あり	－	50

〈引用・参考文献〉

青山礼志　1982　『新訂貨幣手帳』
秋岡芳夫　1980　『木工具・使用法－機能・種類・仕立て・使い方－』
朝倉治彦・柏川修一編　『守貞謾稿』第一巻
朝倉治彦・柏川修一編　『守貞謾稿』第二巻
朝倉治彦・柏川修一編　『守貞謾稿』第三巻
朝倉治彦・柏川修一編　『守貞謾稿』第四巻
朝倉治彦・柏川修一編　『守貞謾稿』第五巻
石村真一　1997　『桶・樽Ⅰ』ものと人間の文化史82－Ⅰ
石村真一　1997　『桶・樽Ⅱ』ものと人間の文化史82－Ⅱ
石村真一　1997　『桶・樽Ⅲ』ものと人間の文化史82－Ⅲ
市田京子　1992　「江戸時代の下駄」『考古学と江戸文化』江戸遺跡研究会第5回大会発表要旨　237～255頁
市田京子　2000　「江戸時代の下駄」『江戸文化の考古学』26～54頁
岩井宏實　1994　『曲物』ものと人間の文化史75
植田啓司　1997　「日本の正式な膳について」『全集日本の食文化第九巻 台所 食器 食卓』　243～268頁
江戸遺跡研究会編　2001　『図説江戸考古学研究事典』
大橋康二　1994　『古伊万里の文様 初期肥前陶磁を中心に』
岡泰正　1996　『びいどろ・ぎやまん図譜　江戸時代のガラス・粋と美』
小川啓司　1974　『そば猪口絵柄事典』
小川望　2000　「出土遺物から見る江戸のタバコ」『江戸文化の考古学』江戸遺跡研究会315～343頁
京大日本史辞典編纂会編　1898　『新編日本史辞典』
小泉袈裟勝　1977　『ものさし』ものと人間の文化史22
神戸市立博物館　1990　『THEびいどろ展－江戸時代のガラス・粋と美－』
神戸市立博物館　2000　『特別展　びいどろ・ぎやまん・ガラス－江戸時代から明治・大正へ－図録』
児玉幸多　1970　『くずし字解読辞典』
小林克　1992　「江戸から出土する火打石」『江戸時代の生産遺跡』江戸遺跡研究会第7回大会発表要旨　94～109頁
小林克　2000　「あかりの道具研究の方向」『江戸文化の考古学』江戸遺跡研究会221～242頁
小林博範・齋藤進・小島正裕ほか　2000　『汐留遺跡Ⅱ－旧汐留貨物駅跡地内の調査』 東京都埋蔵文化財センター調査報告第79集
小林博範・西澤明・小林裕・石崎俊哉・福田敏一・宍戸知　2003　『汐留遺跡Ⅲ－旧汐留貨物駅跡地の調査』東京都埋蔵文化財センター調査報告第125集
財団法人富山美術館　1988　『特別展　ぎやまん・びいどろ　異国情緒ただよう江戸期のガラス　江戸ガラス館コレクション』
笹尾局之　1992　「江戸時代のあかり」『考古学と江戸文化』江戸遺跡研究会第5回大会発表要旨　135～184頁
サントリー美術館　1990　『サントリー美術館コレクション　くし・かんざし・化粧具－江戸の巧芸』
潮田鉄雄　1973　『はきもの』ものと人間の文化史8
白川昌三　1987　『新寛永通宝カタログ』
島崎とみ子　2000　「江戸時代の料理と器具」『江戸文化の考古学』江戸遺跡研究会86～98頁
仙台市史図録編纂委員会　『目で見る仙台の歴史』
仙台市史編さん委員会　1997　『仙台市史 資料編3 近世2城下町』
仙台市史編さん委員会　2001　『仙台市史 通史編3 近世1』
仙台市史編さん委員会　2003　『仙台市史 通史編4 近世2』
仙台市史編さん委員会　2004　『仙台市史 通史編5 近世3』
鈴木省三　1977　『仙台風俗志』
高橋幹夫　1994　『江戸萬物辞典 絵で知る江戸時代』
高橋洋二　1987　『江戸細密工芸尽くし』別冊太陽
谷田有史　1992　「江戸時代のたばこ」『考古学と江戸時代』江戸遺跡研究会第5回大会発表要旨　315～342頁
谷田有史　2000　「江戸時代のたばこ」『江戸文化の考古学』江戸遺跡研究会編　171～191頁
東北大学埋蔵文化財調査委員会　1985　『東北大学埋蔵文化財調査年報1』
東北大学埋蔵文化財調査委員会　1990　『東北大学埋蔵文化財調査年報3』
東北大学埋蔵文化財調査委員会　1992　『東北大学埋蔵文化財調査年報4・5』
東北大学埋蔵文化財調査委員会　1993　『東北大学埋蔵文化財調査年報6』

東北大学埋蔵文化財調査委員会　1994　『東北大学埋蔵文化財調査年報７』
東北大学埋蔵文化財調査研究センター　1997　『東北大学埋蔵文化財調査年報８』
東北大学埋蔵文化財調査研究センター　1998　『東北大学埋蔵文化財調査年報９』
東北大学埋蔵文化財調査研究センター　1998　『東北大学埋蔵文化財調査年報10』
東北大学埋蔵文化財調査研究センター　1999　『東北大学埋蔵文化財調査年報11』
東北大学埋蔵文化財調査研究センター　1999　『東北大学埋蔵文化財調査年報12』
東北大学埋蔵文化財調査研究センター　2000　『東北大学埋蔵文化財調査年報13』
東北大学埋蔵文化財調査研究センター　2001　『東北大学埋蔵文化財調査年報14』
東北大学埋蔵文化財調査研究センター　2001　『東北大学埋蔵文化財調査年報15』
東北大学埋蔵文化財調査研究センター　2001　『東北大学埋蔵文化財調査年報16』
東北大学埋蔵文化財調査研究センター　2002　『東北大学埋蔵文化財調査年報17』
東北大学埋蔵文化財調査研究センター　2005　『東北大学埋蔵文化財調査年報18』
東北大学埋蔵文化財調査研究センター　2006　『東北大学埋蔵文化財調査年報19第１分冊』
東北大学埋蔵文化財調査研究センター　2006　『東北大学埋蔵文化財調査年報20』
東北大学埋蔵文化財調査室　2007　『東北大学埋蔵文化財調査年報19第３分冊』
東北大学埋蔵文化財調査室　2007　『東北大学埋蔵文化財調査年報21』
中井さやか　1992　「近世の漆椀について－その器種と組み合わせを考える－」『江戸の食文化』　180～204頁
永井久美男編　1997　『近世出土銭Ⅰ』
永井久美男編　1998　『近世出土銭Ⅱ』
日本風俗史学会編　1998　『図説江戸時代食生活事典』
日本民具学会編　1989　『信仰と民具』
日本民具学会編　1997　『日本民具辞典』
萩尾昌枝　1992　「江戸時代初期の宴会の食器類－東京大学医学部付属病院中央診療棟建設予定地点「池」出土の木製品」『江戸の食文化』江戸遺跡研究会編　205～219頁
福田敏一・石崎俊哉ほか　1997　『汐留遺跡Ⅰ－旧汐留貨物駅跡地内の調査』東京都埋蔵文化財センター調査報告第37集
福田敏一・石崎俊哉・西澤明・田仲桂　2006　『汐留遺跡Ⅳ－旧汐留貨物駅跡地内の調査』東京都埋蔵文化財センター調査報告第189集
堀内秀樹　2000　「考古資料から見た江戸時代の料理と器具」『江戸文化の考古学』江戸遺跡研究会
増尾富房　1992　「江戸時代の銭貨・寛永通宝」『考古学と江戸時代』江戸遺跡研究会第５回大会発表要旨　1～15頁
増尾富房　2000　「江戸時代の銭貨・寛永通宝」『江戸文化の考古学』江戸遺跡研究会　260～272頁
宮内悊　1991　『箱』ものと人間の文化史67
室井綽　1973　『竹』ものと人間の文化史10
村田孝子・津田紀代・村山博美・田丸恵理　1989　『日本の化粧－道具と心模様』ポーラ文化研究所コレクション
山村博美　2000　「江戸時代の化粧」『江戸文化の考古学』江戸遺跡研究会
山本忠尚・松井章　1988　『日本考古学用語英訳辞典稿本』

REPORT

OF THE ARCHAEOLOGICAL RESEARCH ON THE CAMPUS OF

TOHOKU UNIVERSITY

vol.19-4, March 2008

The Archaeological Research Office

On The Campus, Tohoku University

1-1, Katahira, 2-chome, Aoba Ward, Sendai 980-8577 JAPAN

Summary

This volume carries the report of salvage excavation of BK7 (Loc.7 of *samurai* residences located at the side of north outer moat of *Ninomaru*, i.e., Secondary Citadel of Sendai Castle), which was conducted by the archaeological Research Center on the Campus of Tohoku University in 2001.

In the excavation of BK7, a large number of artifacts have been excavated, so these are reported in five separate volumes. This report is the 4th separate volume, and describes about various wooden implements, lacquered wooden implements, metal implements, stone tools, stone-made implements and glass-made implements. Wooden implements include wooden tablets and wooden implements written in black ink (Indian ink), but these were reported in the 3rd separate volume.

Mainly, various wooden implements and lacquered wooden implements were excavated from No.2 structural remains. About the amount of these implements, No.2 structural remains yielded the largest quantity among all other structural remains.

Concerning the bowls and lids with lacquer, on the whole, the shape of them had been warped by the pressure of the burden soil. Therefore it is difficult to get information of the shape features. About the design, there are a lot of patterns with a family crest. They are arranged on 3 sides of the bowl. At a glance, there are some marks of the same family crest, but there are differences in their details, for example, the shape of the leaves or flowers. In addition to the family crests, there are also other designs, for example some chrysanthemums, cherry blossoms, fans and maples. There are some bowls and lids with the inscription drawn in the pedestal.

In addition to the bowls and lids, there are various lacquered wooden implements, for example, dishes, tubs, plugs, spatulas, dippers, rice scoops and boxes. There are dishes on which the design of shrimps or chrysanthemums are drawn. And there are some round vessels on which the character, such as "~ room", are drawn on their top.

Various wooden implements include some clogs, round vessels by bending and securing a thin sheet of cypress wood, chopsticks and wedges. Clogs are classified into 3 groups. One is a single wood-block sculpture, and the clog's body and supports are continuous. Another type is that clog's body and supports were made separately, and these were combined. The third type is a single wood-block sculpture, and these clogs have no supports. And each group is classified into sub-types, a round shape and a square shape by their body's corner. There are many clogs with toe impression on their body by use, and there are many clogs that small pebbles cling to the sole of their supports. And there are some ones with brand or carved seal.

As to the round vessels by bending and securing a thin sheet of cypress wood, there are some with a square hole

and bark strings attached at the side of this hole. A similar hole is also on the diagonal side of this hole. In addition, there are some vessels with attached parts such as a small kokeshi doll inside, by bark strings. Based on their shape, it is considered that these were ladles and the handle had been inserted into the square hole.

There are a lot of handles. Handles are classified into 6 groups by the size and the shape in section. It is considered that some handles with a hole of the nail seem to be ladle's. The hole of the nail is for the ladle to be fixed. The others without a hole of the nail seem to be for other purpose of use.

A huge number of chopsticks were excavated. The amount of these is over 28000 items. There are a lot of chopsticks the points of which have been burned. It is considered that these had been used not only for the meal, but also for cooking.

In addition to the above mentioned ones, various other wooden implements were found. These include plugs, spatulas, hoes, troughs, well buckets, wooden implements for light, brushes, fans, ear picks and more. As to bamboo implements, some were found at this location too. For example, rulers, parts of umbrella and baskets.

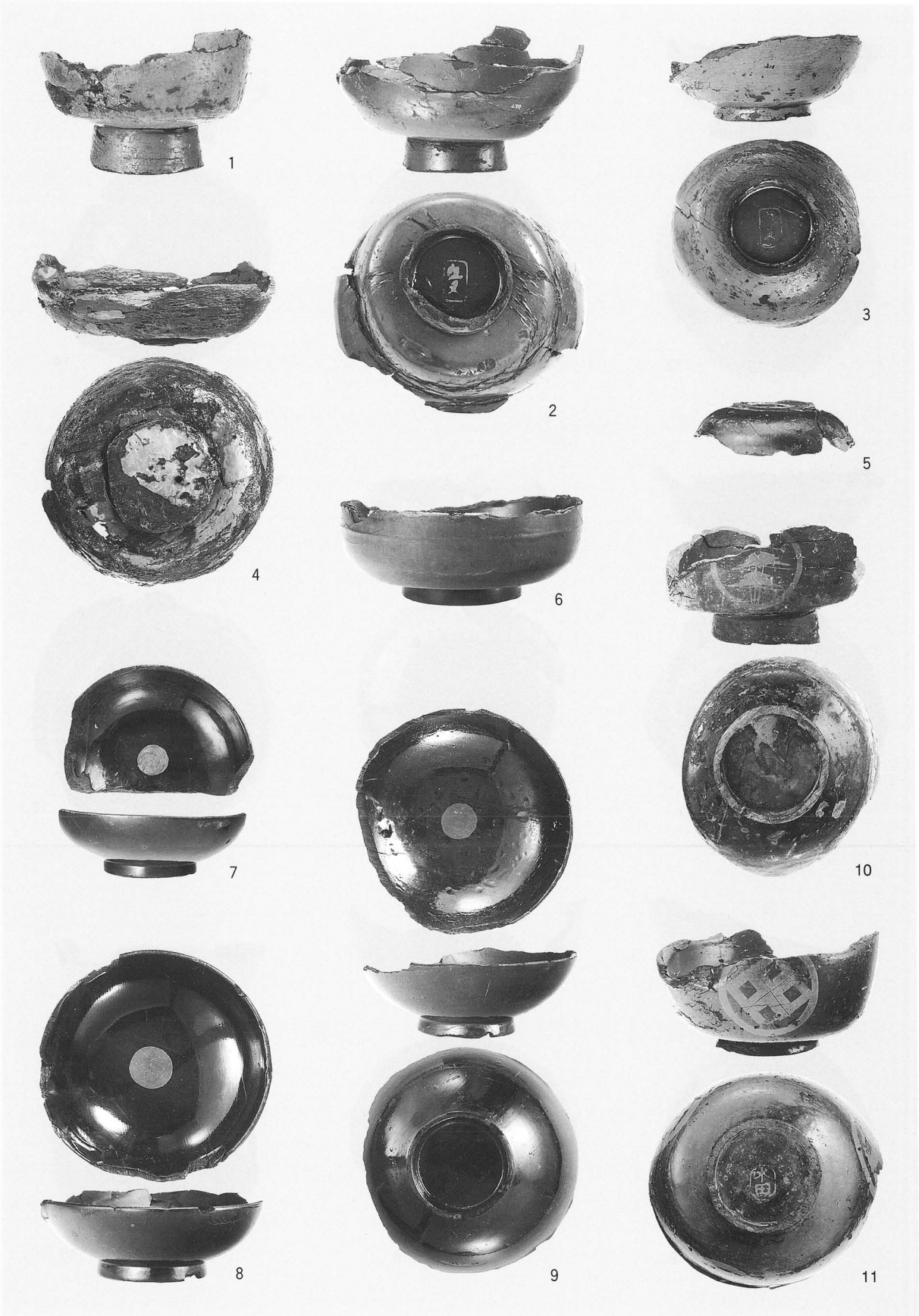
As to metal implements, there are copper, iron and lead artifacts. These were mainly excavated from 2nd layer and No.2 structural remains. Copper implements include coins, pipes, rulers, chopsticks for charcoal, combs, and water droppers. Various kinds of coins were found. "*Kanei-tsuho*" is the most frequent type. "*Kanei- tsuho*"is the coin during the Edo period, and they are often found at Secondary Citadel of Sendai Castle and *samurai* residences. And other coins were also found. Some of them are those before the period of "*Kanei-tsuho*". Iron implements are nails, awls, chopsticks for charcoal, cramps and so on. Lead implements are bullets, sinkers and so on.

As to stone tools and stone implements, 2 stone tools were found. It is considered that these belong to Jomon period. The others belong to Edo period, for example, flints, ink stones and whetstones.

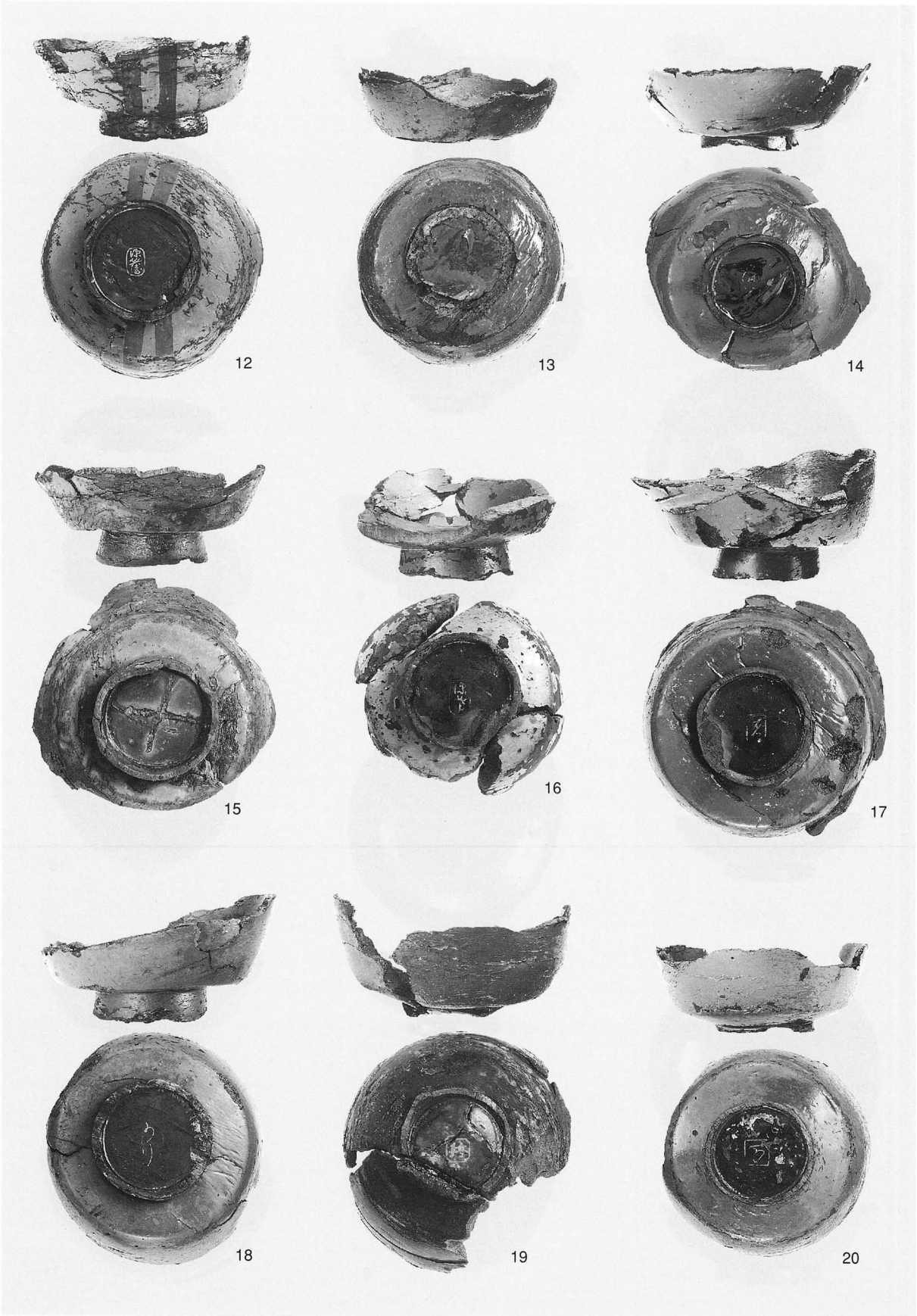
There are also 2 glass-made implements and an implement of unidentified material.One glass-made implement is a part of ware, and the other one is the tip of a chopstick or an ornamental hairpin. An unidentified material implement is something like a globular bead.

写　真　図　版

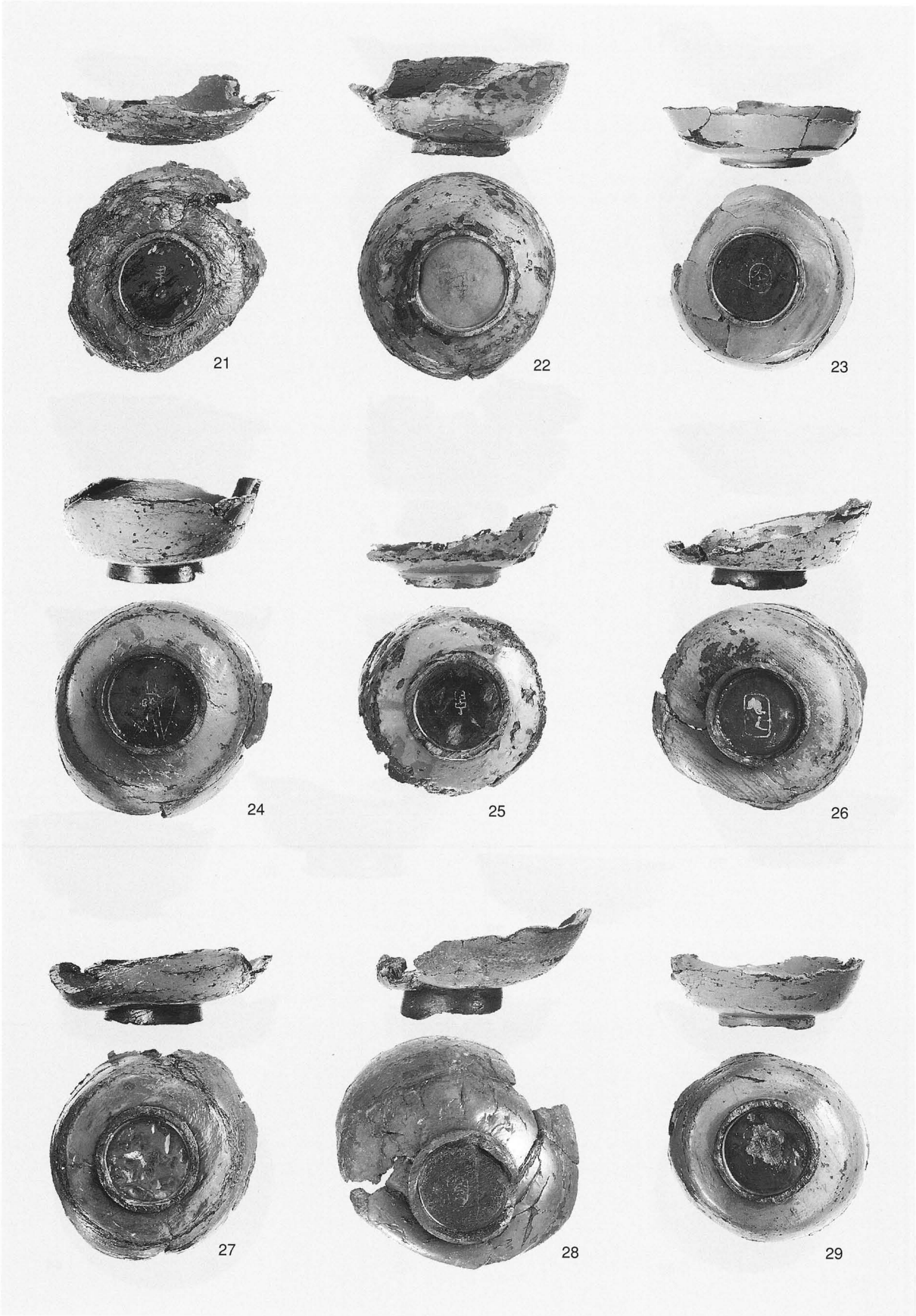
図版１～17：武家屋敷地区第７地点出土漆塗製品
図版18～42：武家屋敷地区第７地点出土木製品
図版43～48：武家屋敷地区第７地点出土金属製品
図版49～50：武家屋敷地区第７地点出土石器・石製品・その他の遺物



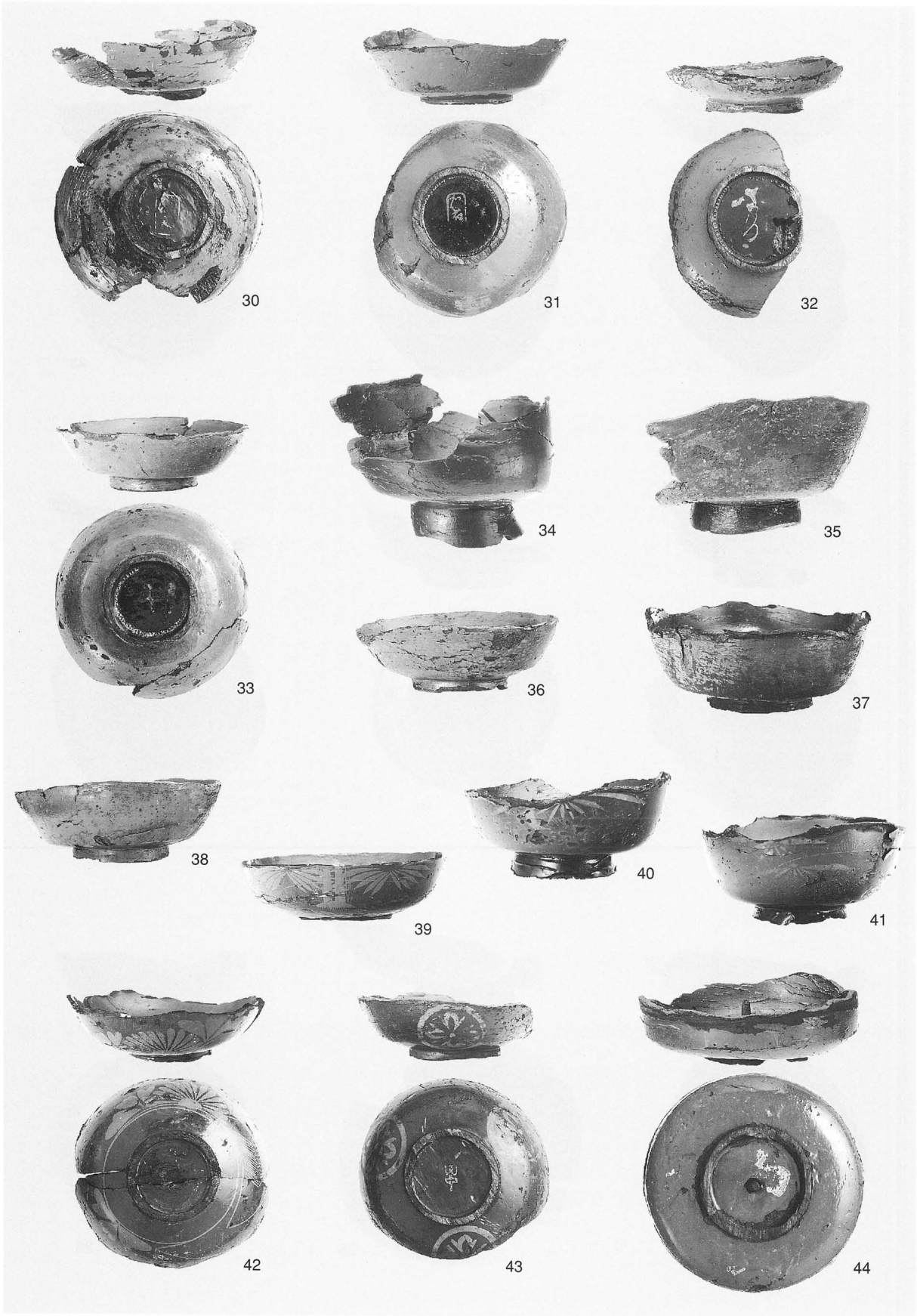
図版１　武家屋敷地区第７地点出土漆椀（1）　S＝1：3
Pl.1　Bowls with lacquer from BK7（1）



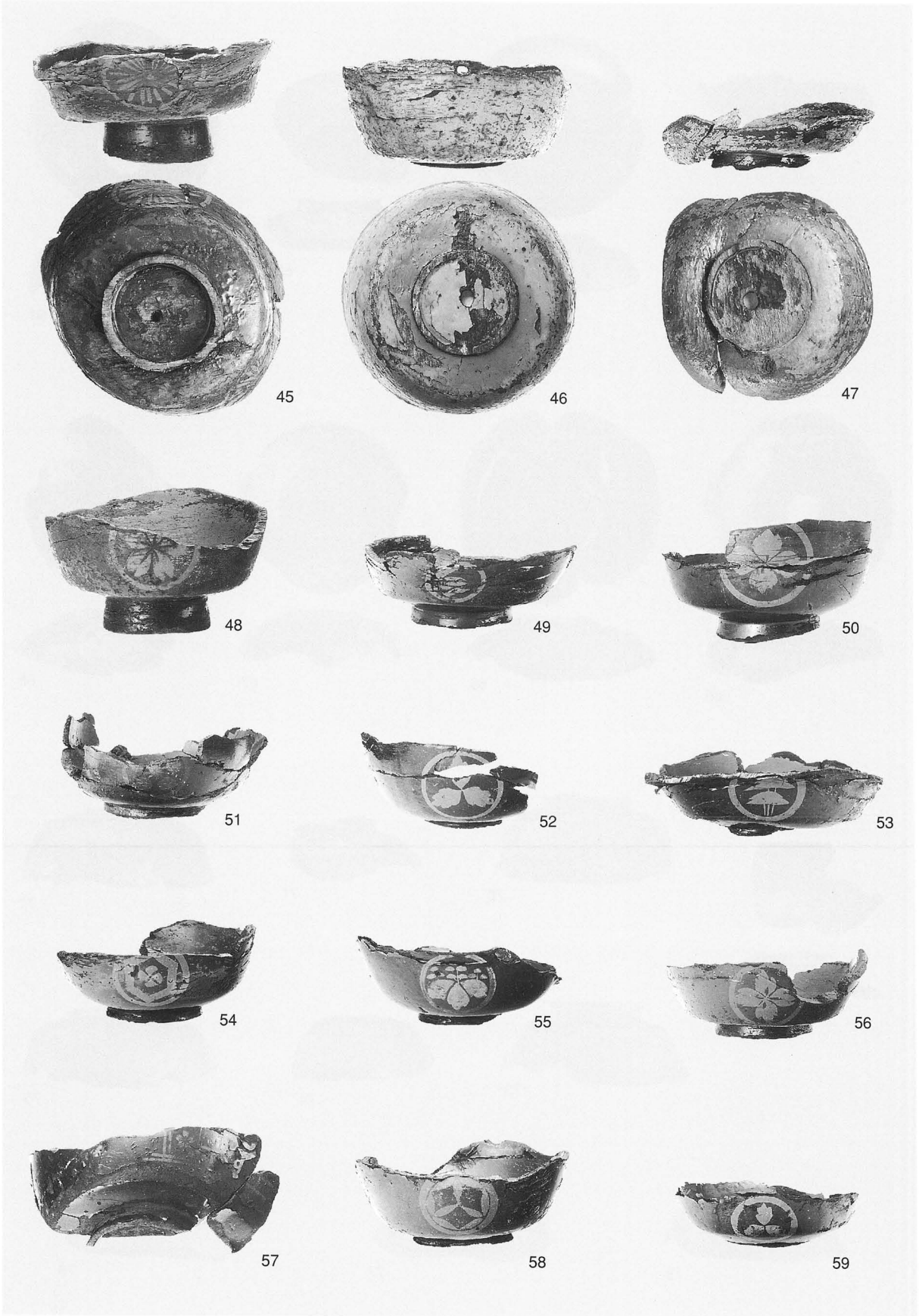
図版２　武家屋敷地区第７地点出土漆椀（2）　S＝1：3
Pl.2　Bowls with lacquer from BK7（2）



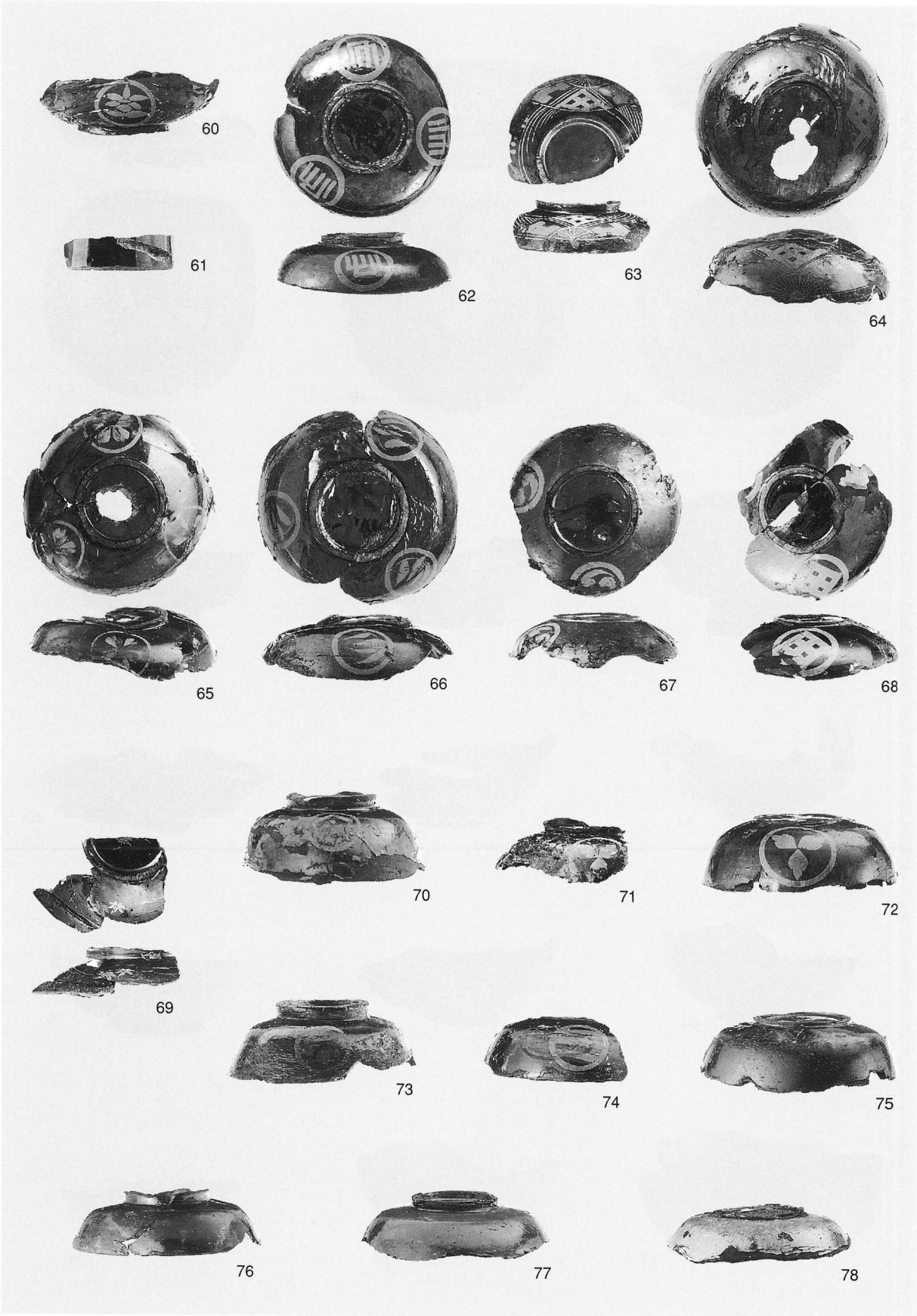
図版 3　武家屋敷地区第 7 地点出土漆椀（3）　S＝1：3
Pl.3　Bowls with lacquer from BK7（3）



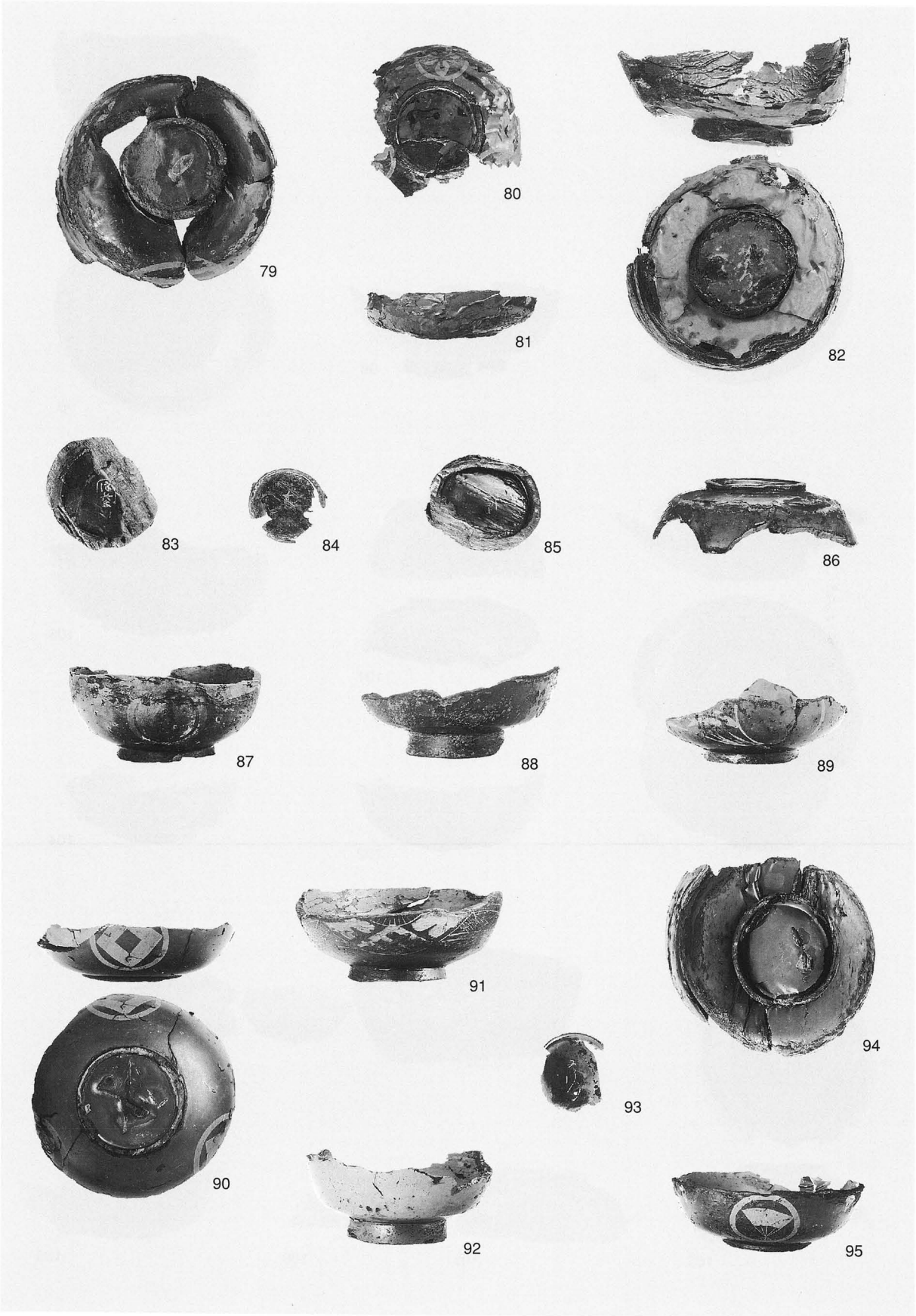
図版 4　武家屋敷地区第 7 地点出土漆椀（4）　S＝1：3
Pl.4　Bowls with lacquer from BK7（4）



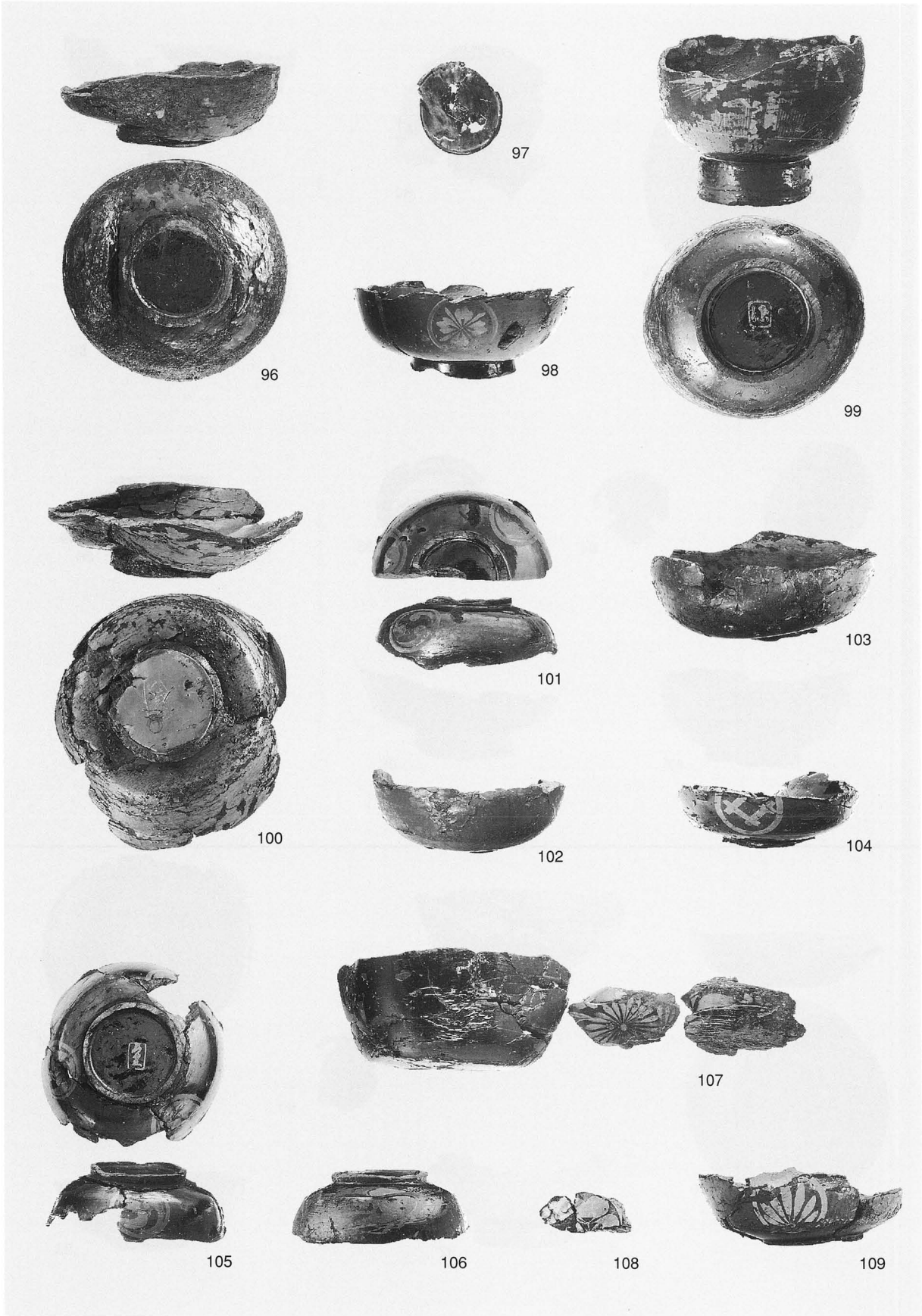
図版5　武家屋敷地区第7地点出土漆椀（5）　S=1：3
Pl.5　Bowls with lacquer from BK7（5）



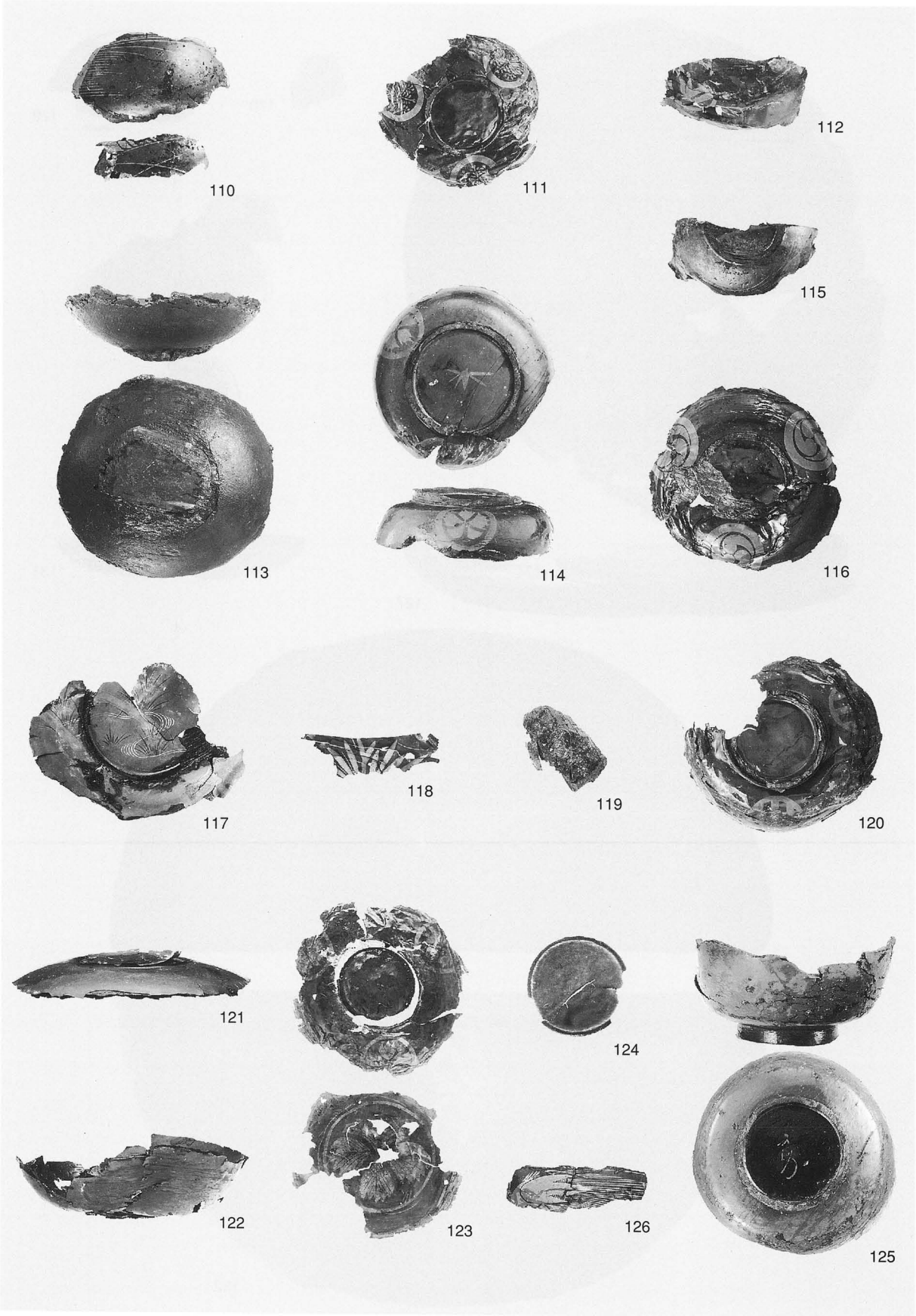
図版 6　武家屋敷地区第 7 地点出土漆椀（6）　S＝1：3
Pl.6　Bowls with lacquer from BK7（6）



図版７　武家屋敷地区第７地点出土漆椀（7）　S＝1：3
Pl.7　Bowls with lacquer from BK7（7）

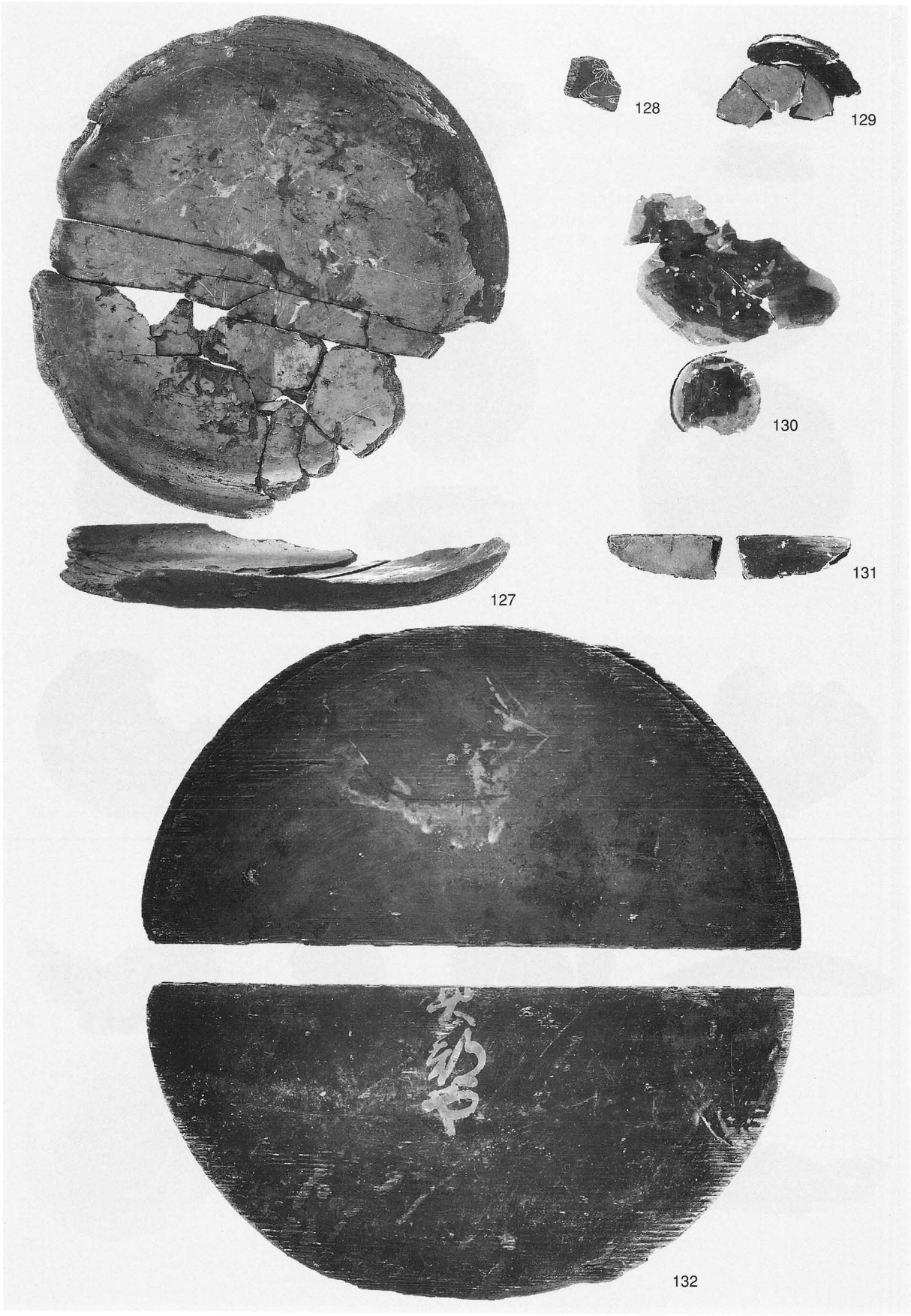


図版 8　武家屋敷地区第 7 地点出土漆椀（8）　S＝1：3
Pl.8　Bowls with lacquer from BK7（8）

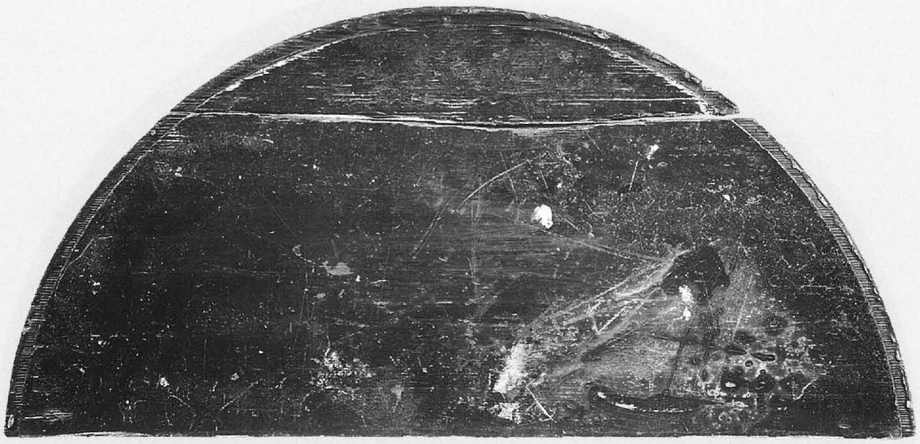


図版 9　武家屋敷地区第 7 地点出土漆椀（9）
Pl.9　Bowls with lacquer from BK7（9）

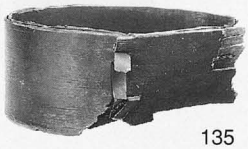
S＝1：3



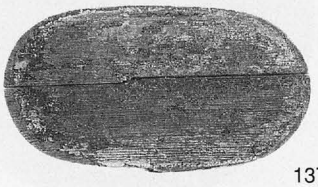
図版10　武家屋敷地区第７地点出土その他の漆塗製品（1）　S＝1：3
Pl.10　Various wooden implements with lacquer from BK7（1）



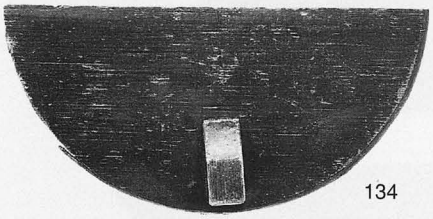
133



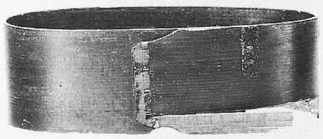
135



137

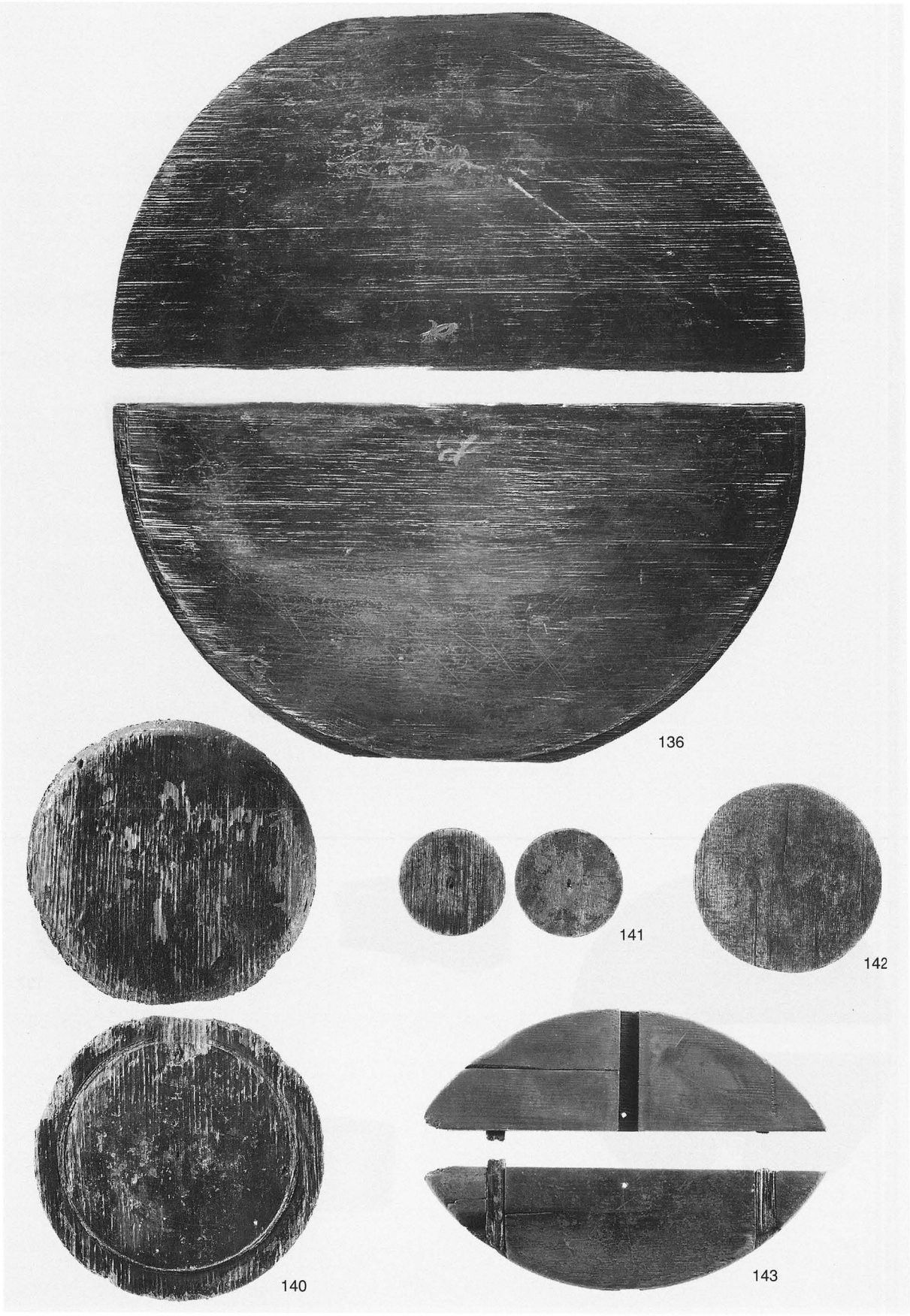


134

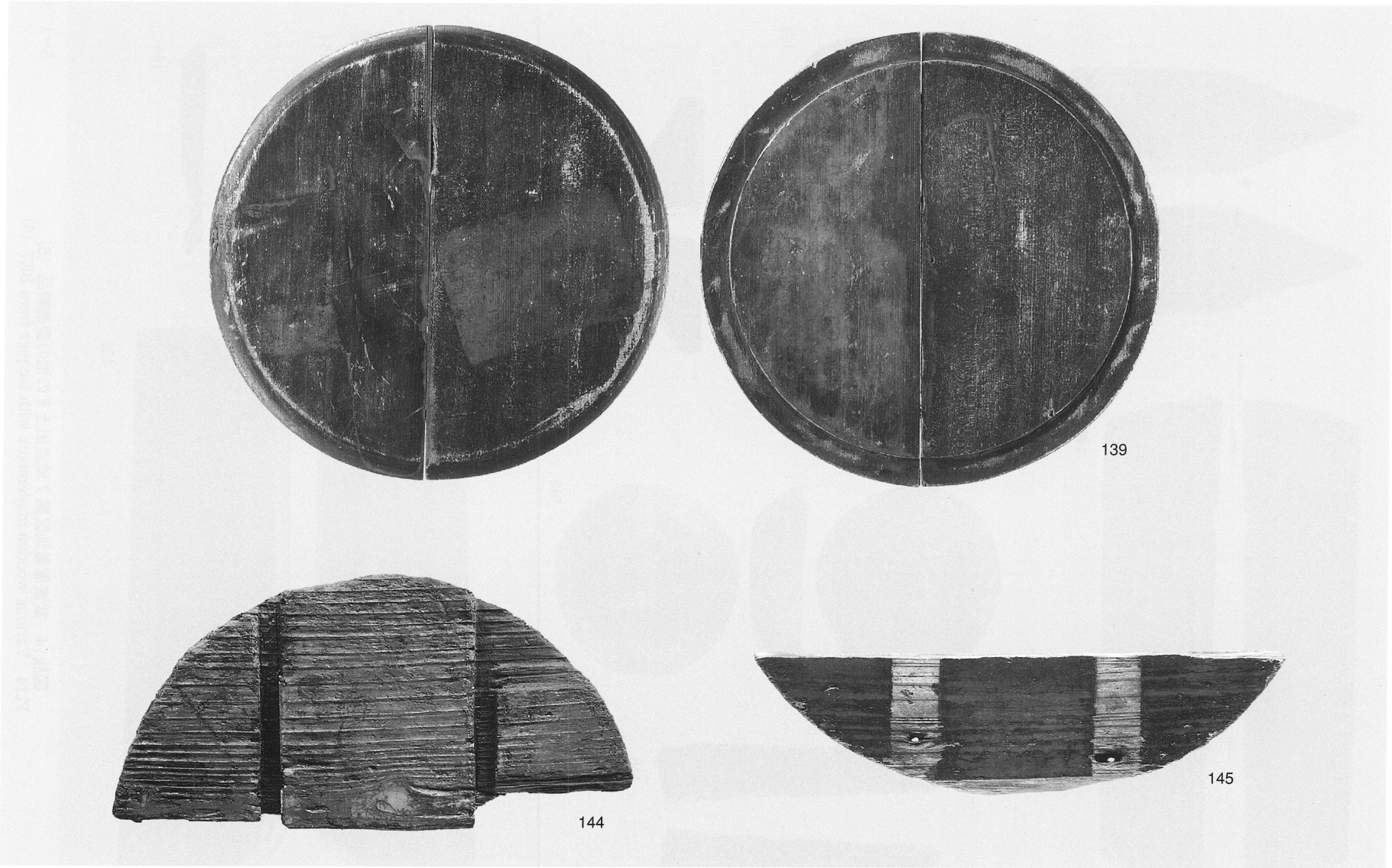


138

図版11　武家屋敷地区第７地点出土その他の漆塗製品（2）　S＝1：3
Pl.11　Various wooden implements with lacquer from BK7 (2)

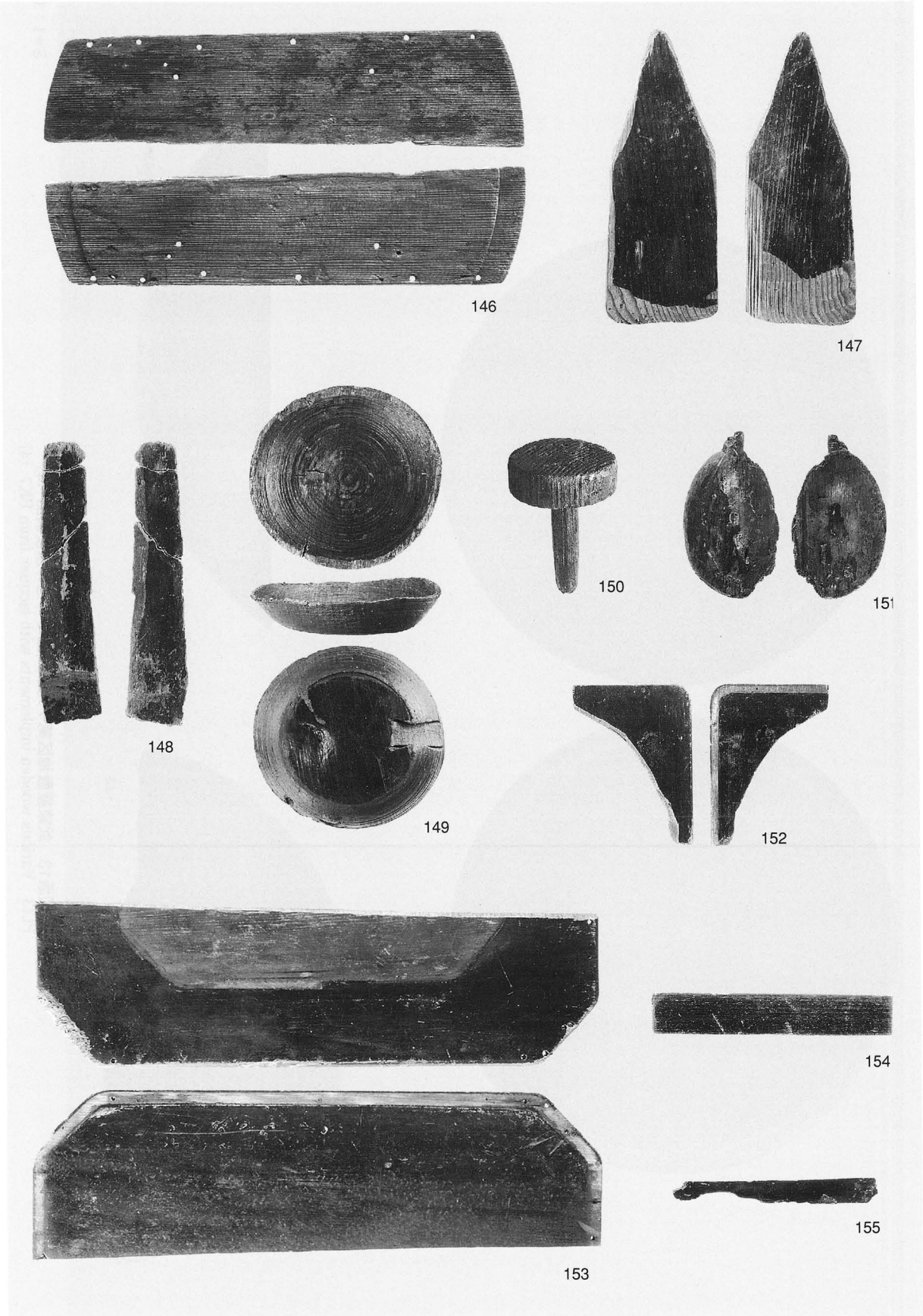


図版12　武家屋敷地区第７地点出土その他の漆塗製品（3）　S＝1：3
Pl.12　Various wooden implements with lacquer from BK7 (3)

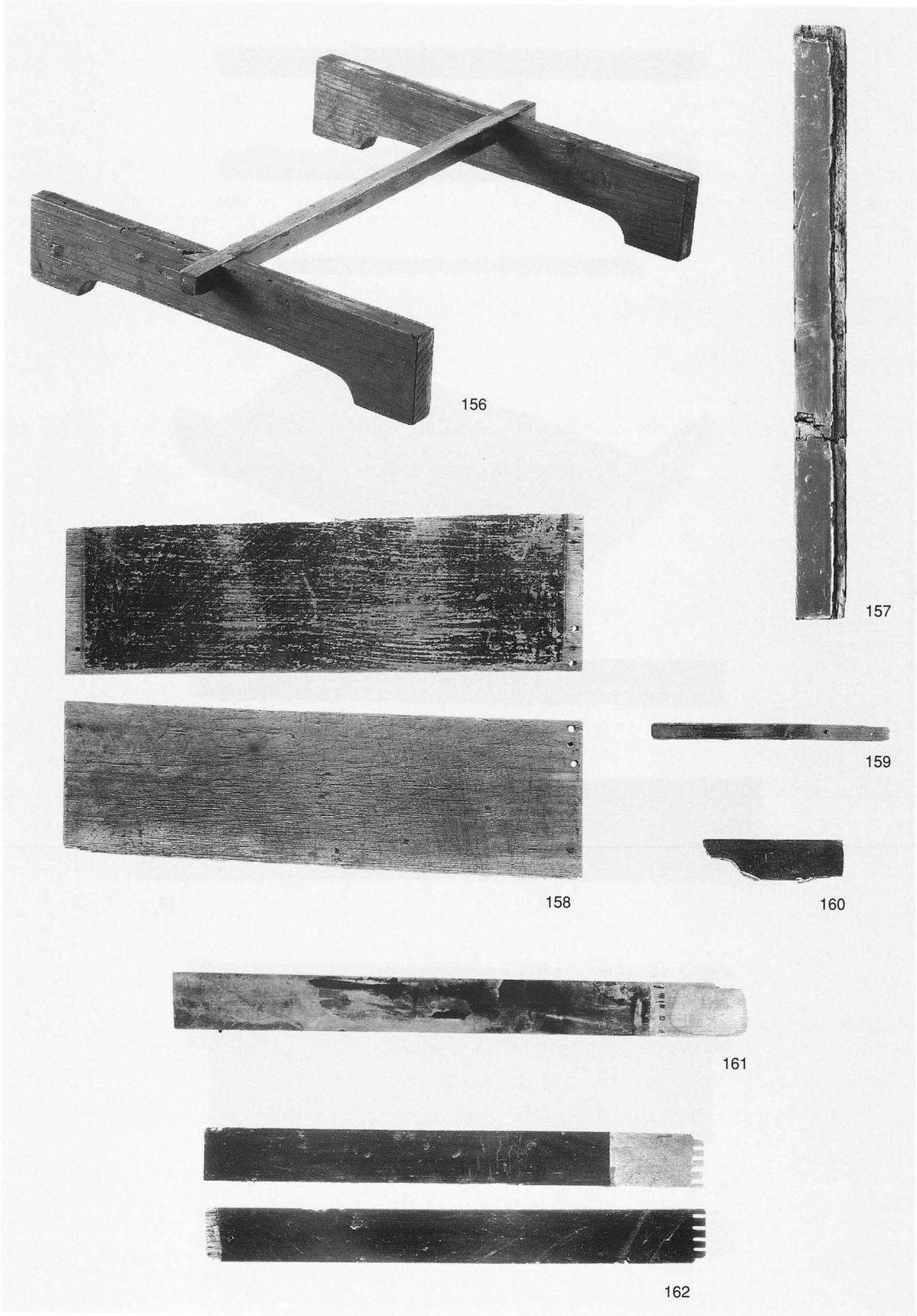


図版13　武家屋敷地区第７地点出土その他の漆塗製品（4）
Pl.13　Various wooden implements with lacquer from BK7（4）

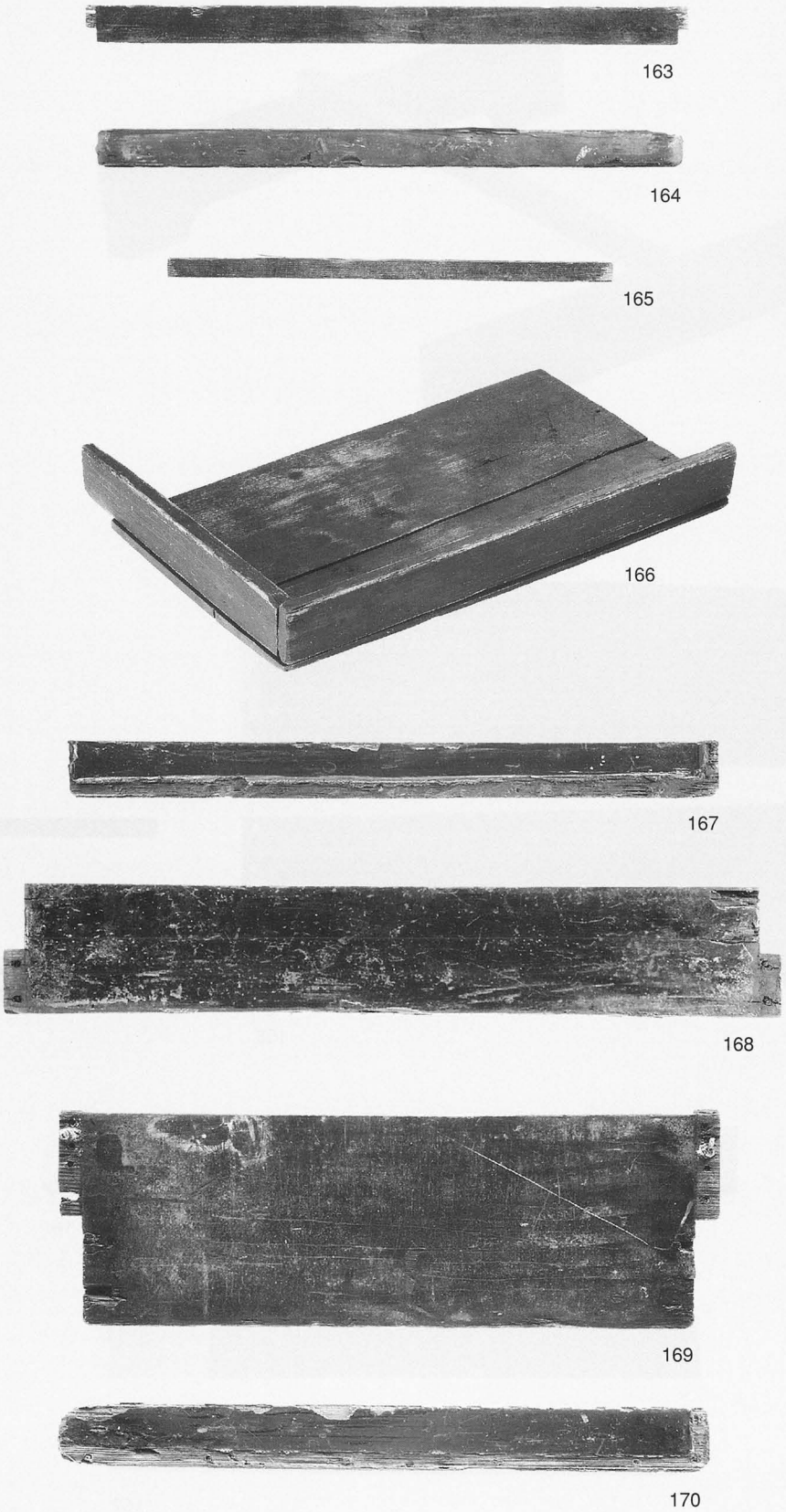
S＝1：3



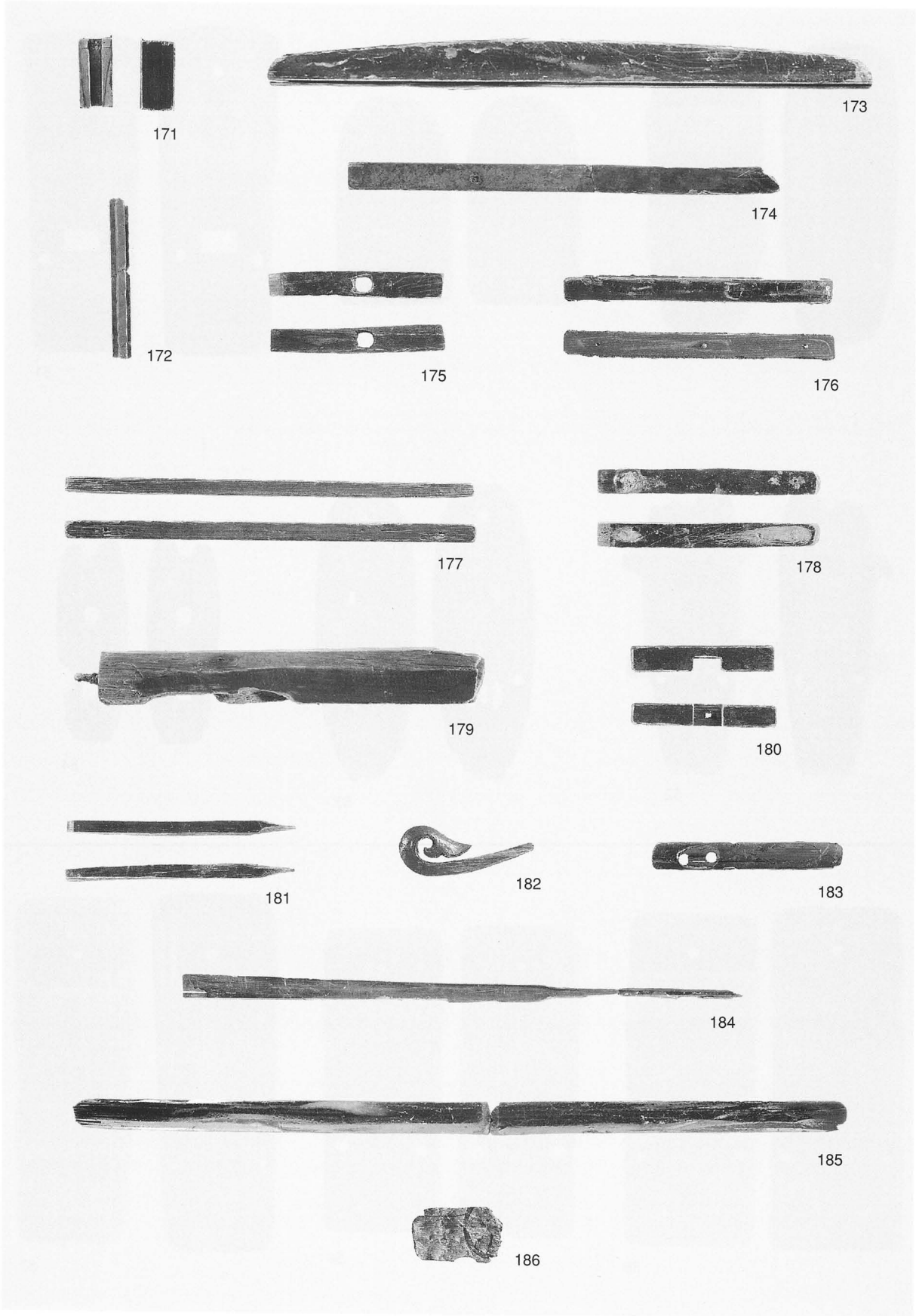
図版14　武家屋敷地区第７地点出土その他の漆塗製品（5）　S＝1：3
Pl.14　Various wooden implements with lacquer from BK7（5）



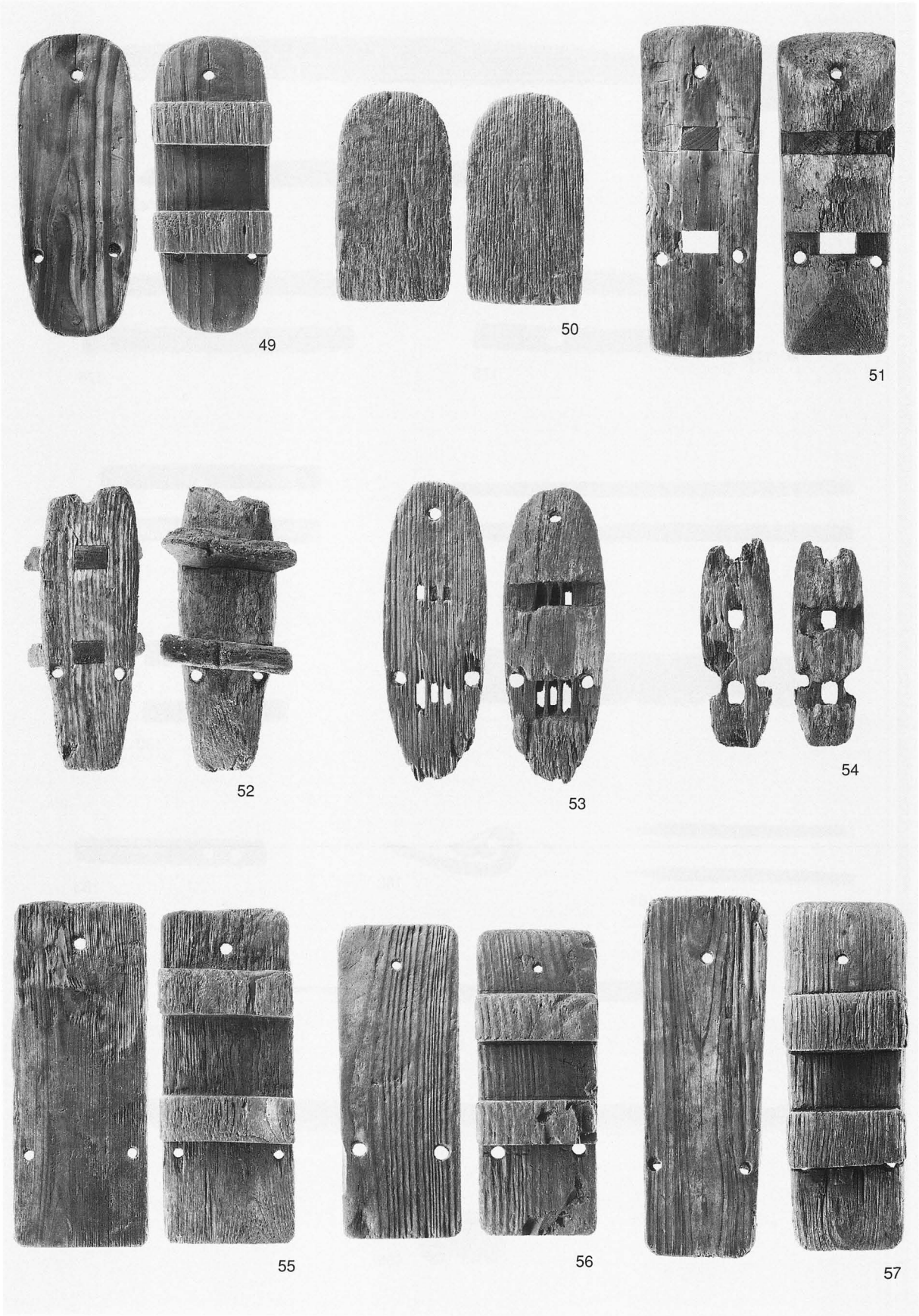
図版15　武家屋敷地区第７地点出土その他の漆塗製品（6）　S＝1：3
Pl.15　Various wooden implements with lacquer from BK7（6）



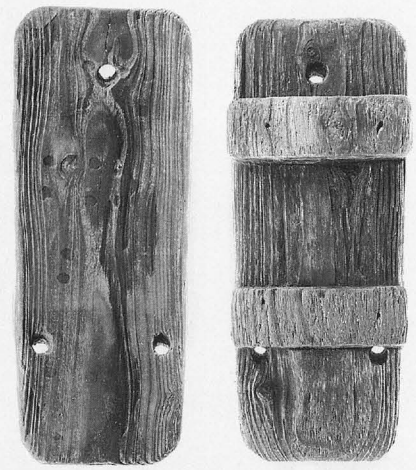
図版16　武家屋敷地区第７地点出土その他の漆塗製品（7）　S＝1：3
Pl.16　Various wooden implements with lacquer from BK7（7）



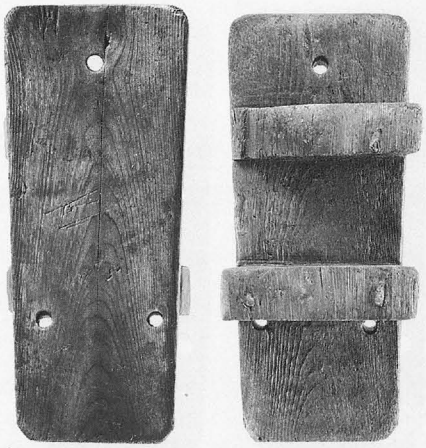
図版17　武家屋敷地区第７地点出土その他の漆塗製品（8）　S＝1：3
Pl.17　Various wooden implements with lacquer from BK7（8）



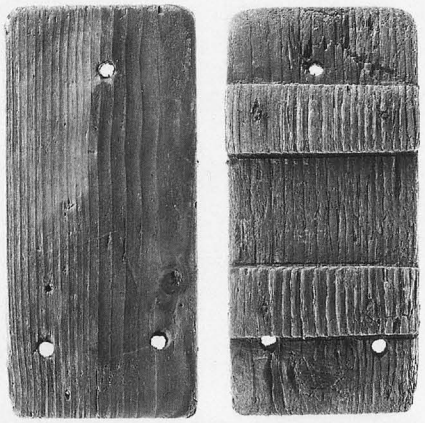
図版18　武家屋敷地区第７地点出土下駄（1）　S＝1：4
Pl.18　Clogs from BK7（1）



58

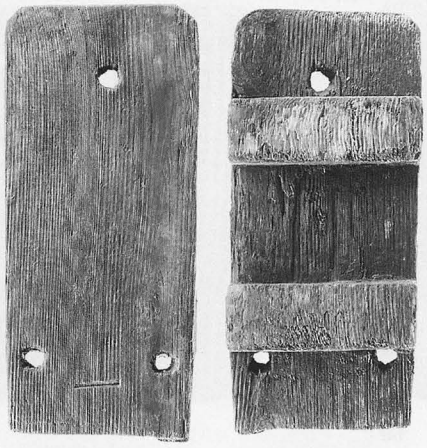


59

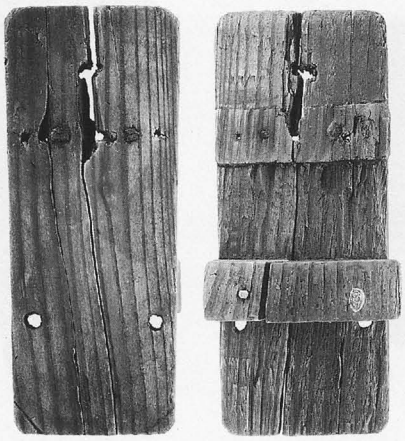


60

61

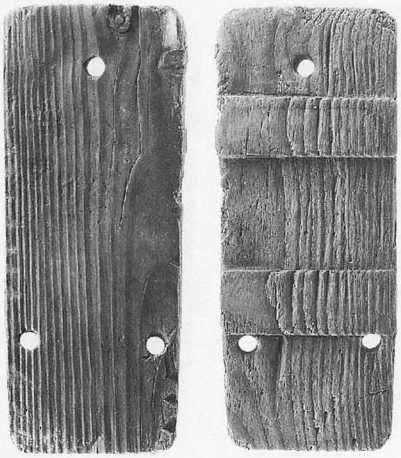


62

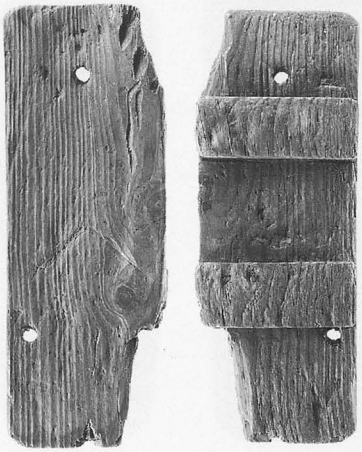


63

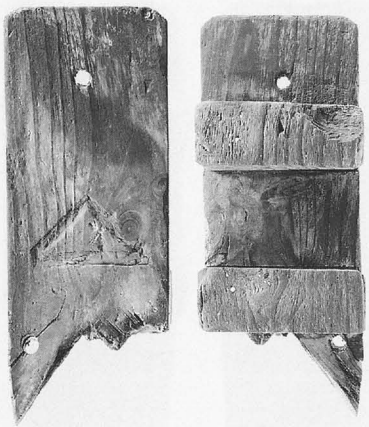
図版19　武家屋敷地区第７地点出土下駄（2）　S＝1：4
Pl.19　Clogs from BK7（2）



64

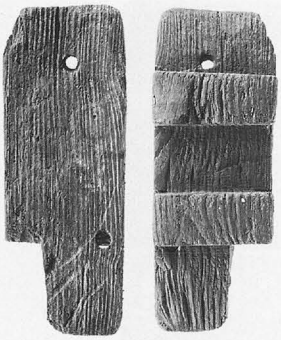


65

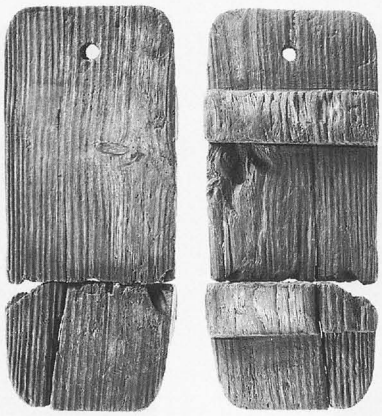


66

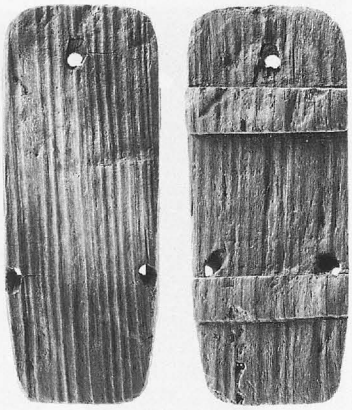
67



68

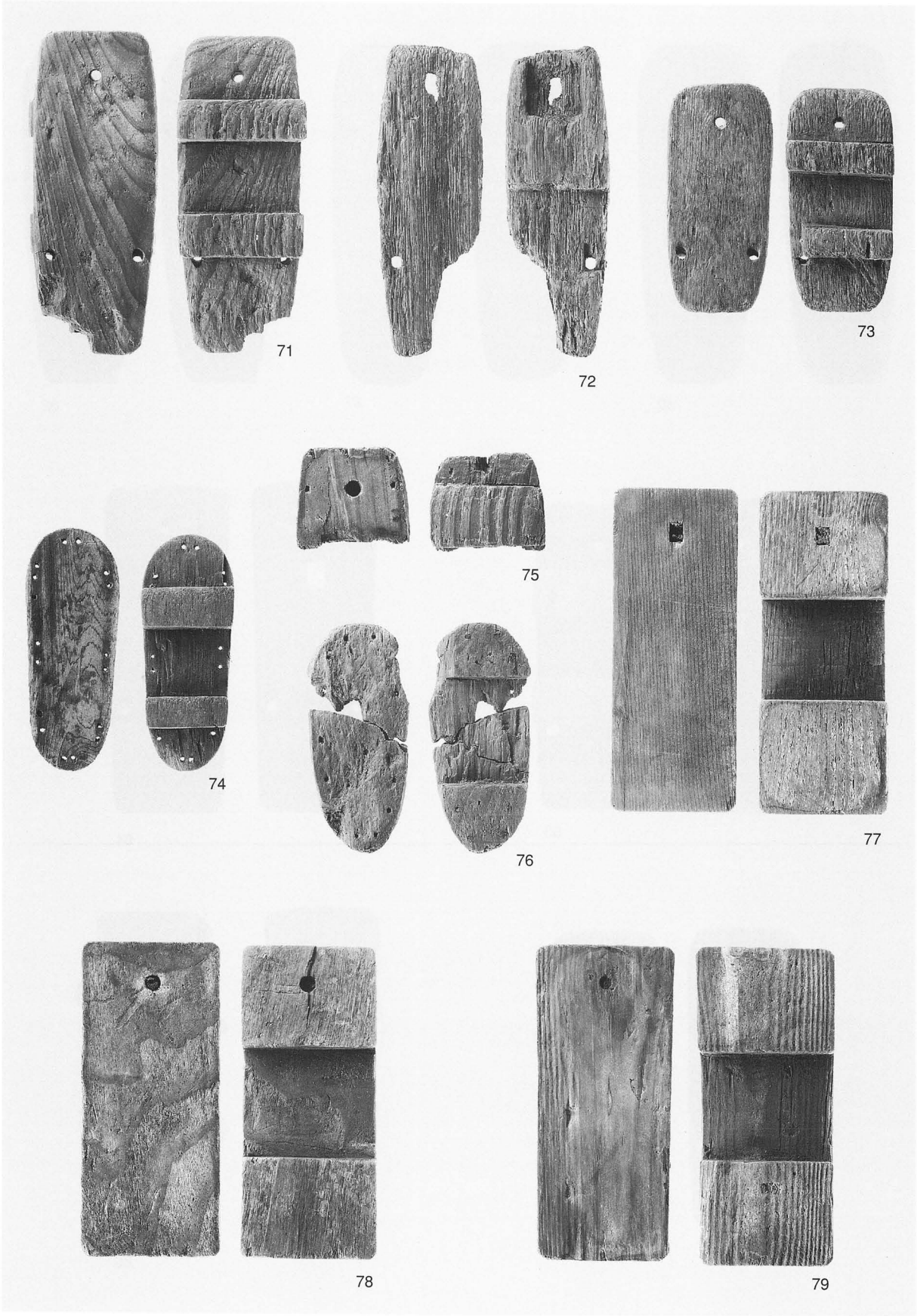


69

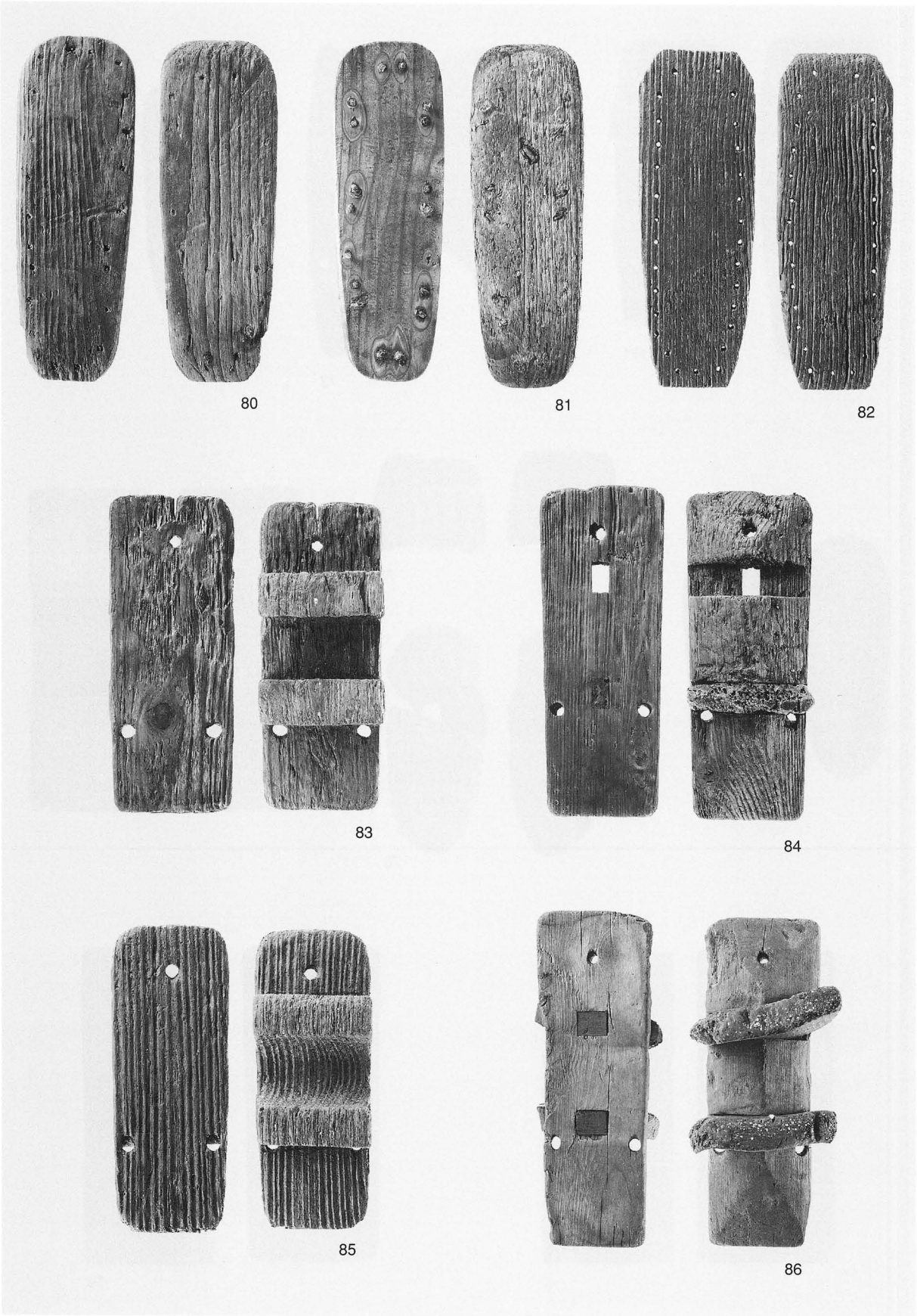


70

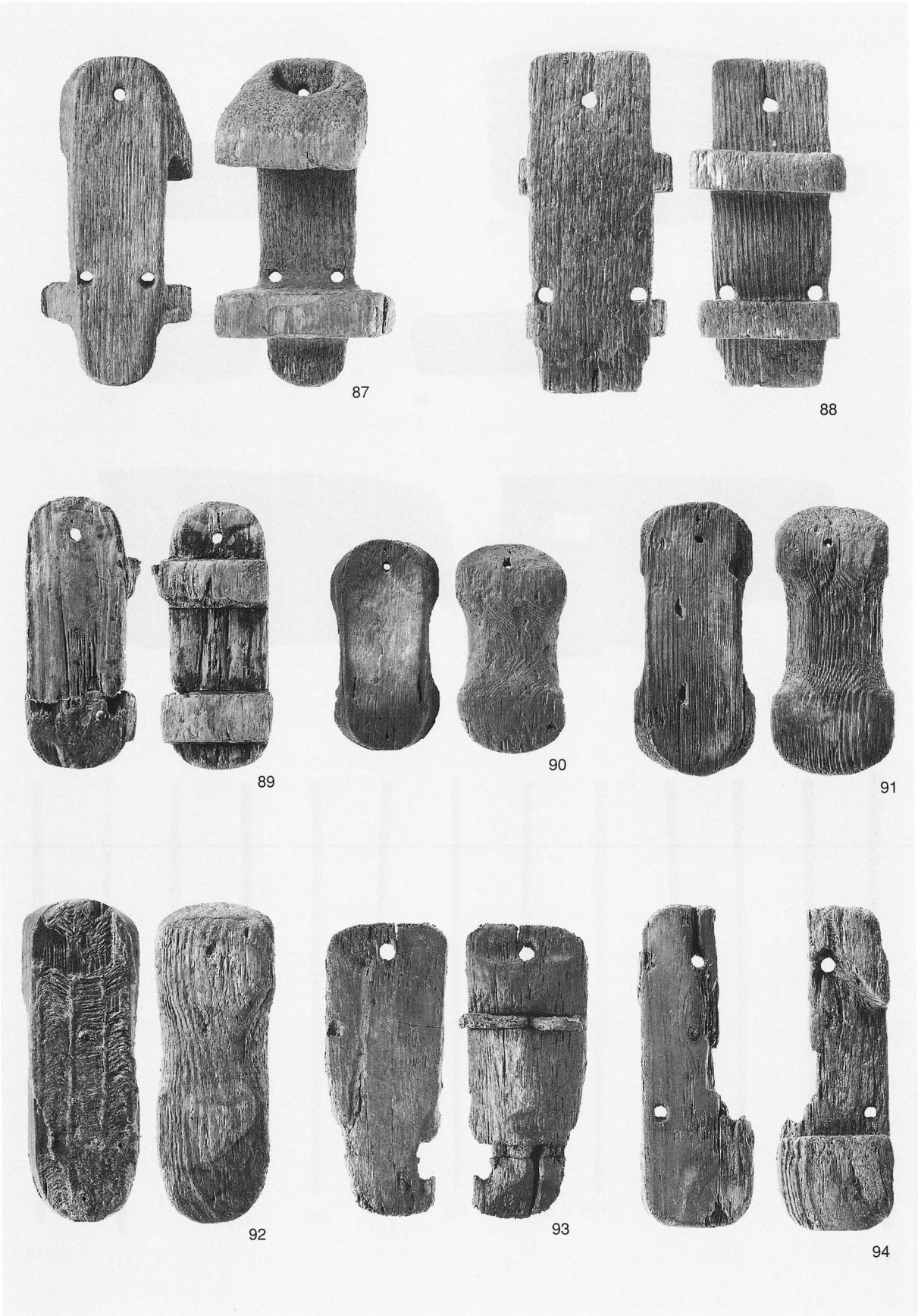
図版20　武家屋敷地区第７地点出土下駄（3）　S＝1：4
Pl.20　Clogs from BK7（3）



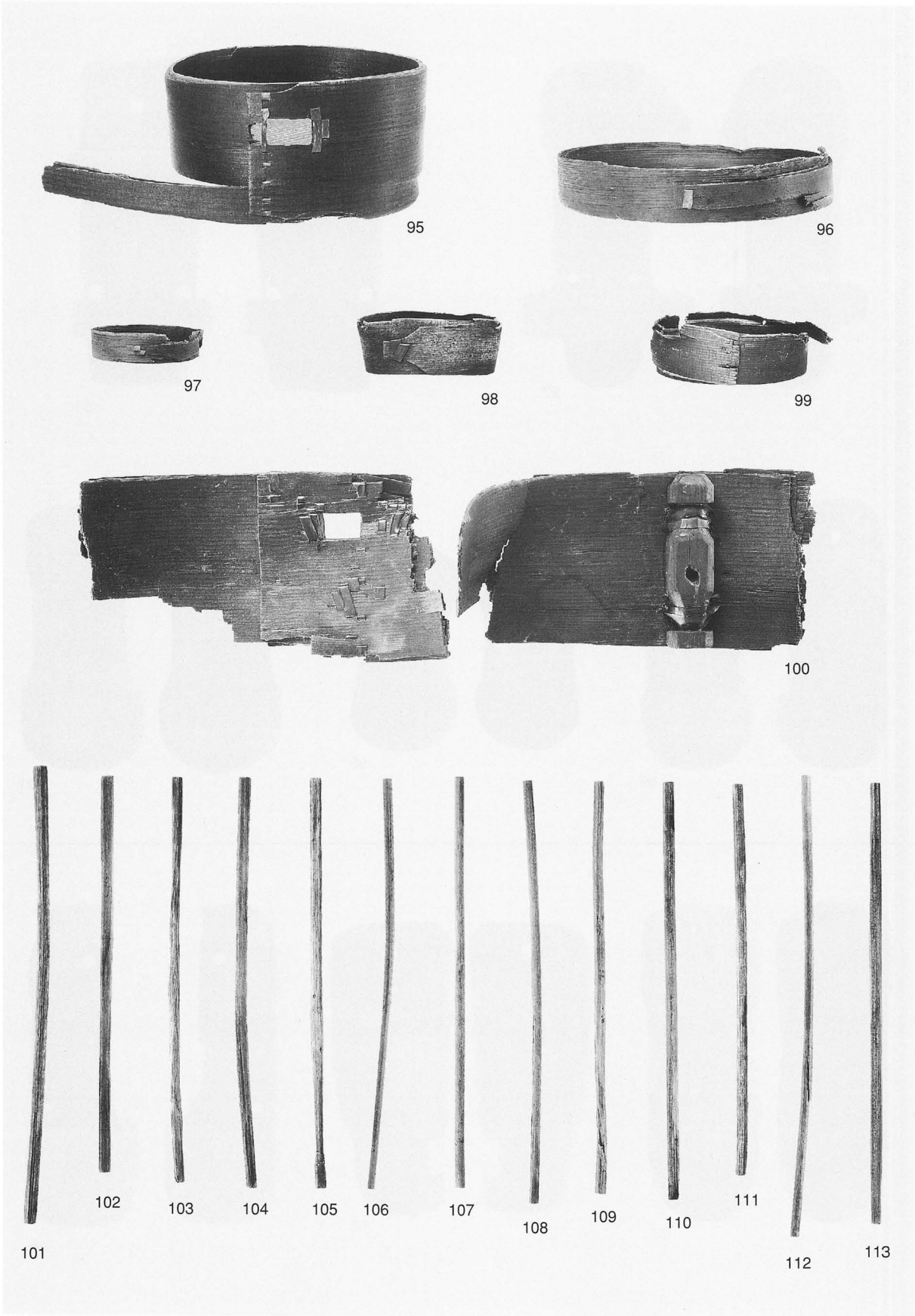
図版21　武家屋敷地区第７地点出土下駄（4）　S＝1：4
Pl.21　Clogs from BK7（4）



図版22　武家屋敷地区第７地点出土下駄（5）　S＝1：4
Pl.22　Clogs from BK7（5）

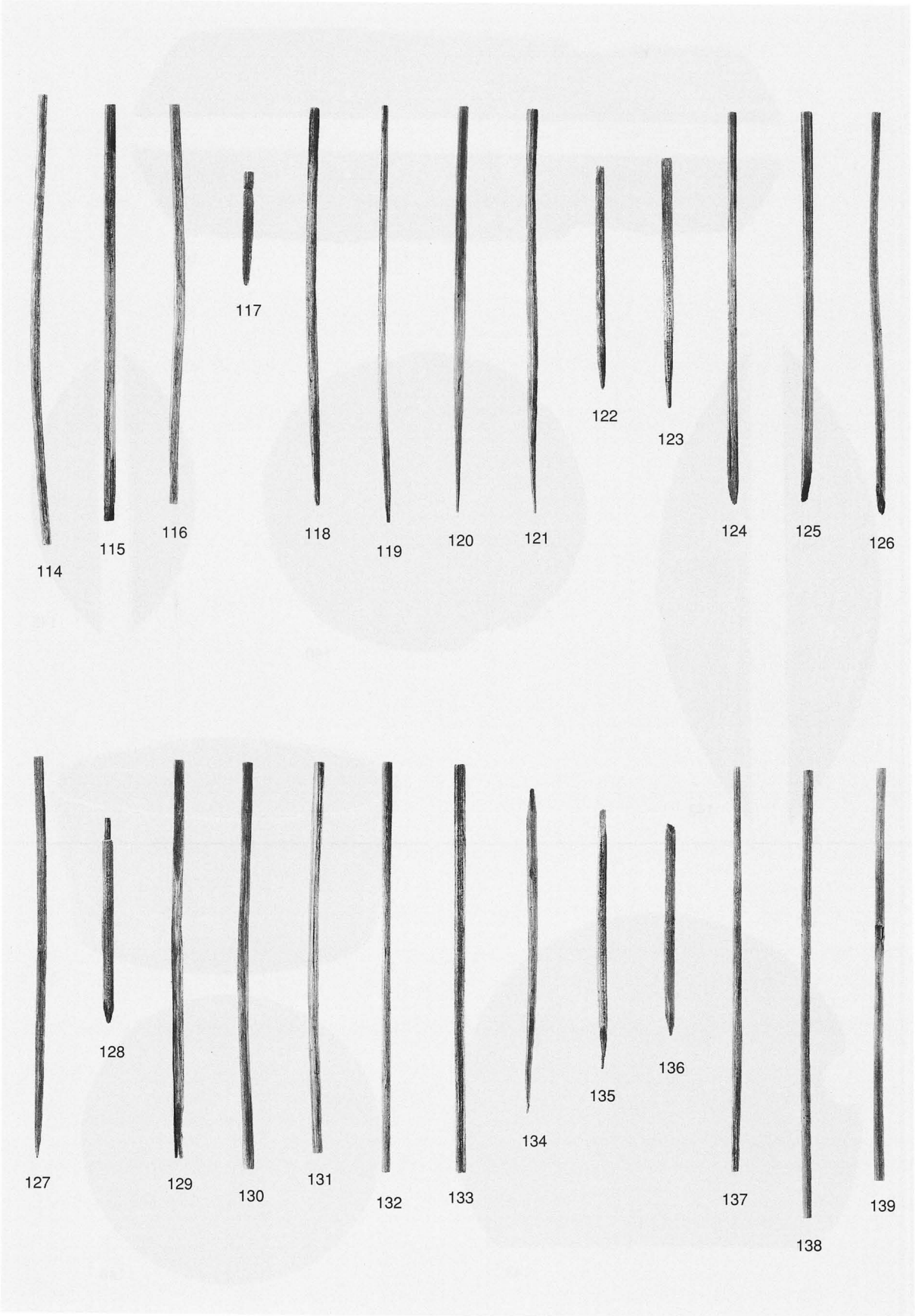


図版23　武家屋敷地区第７地点出土下駄（6）　S＝1：4
Pl.23　Clogs from BK7（6）

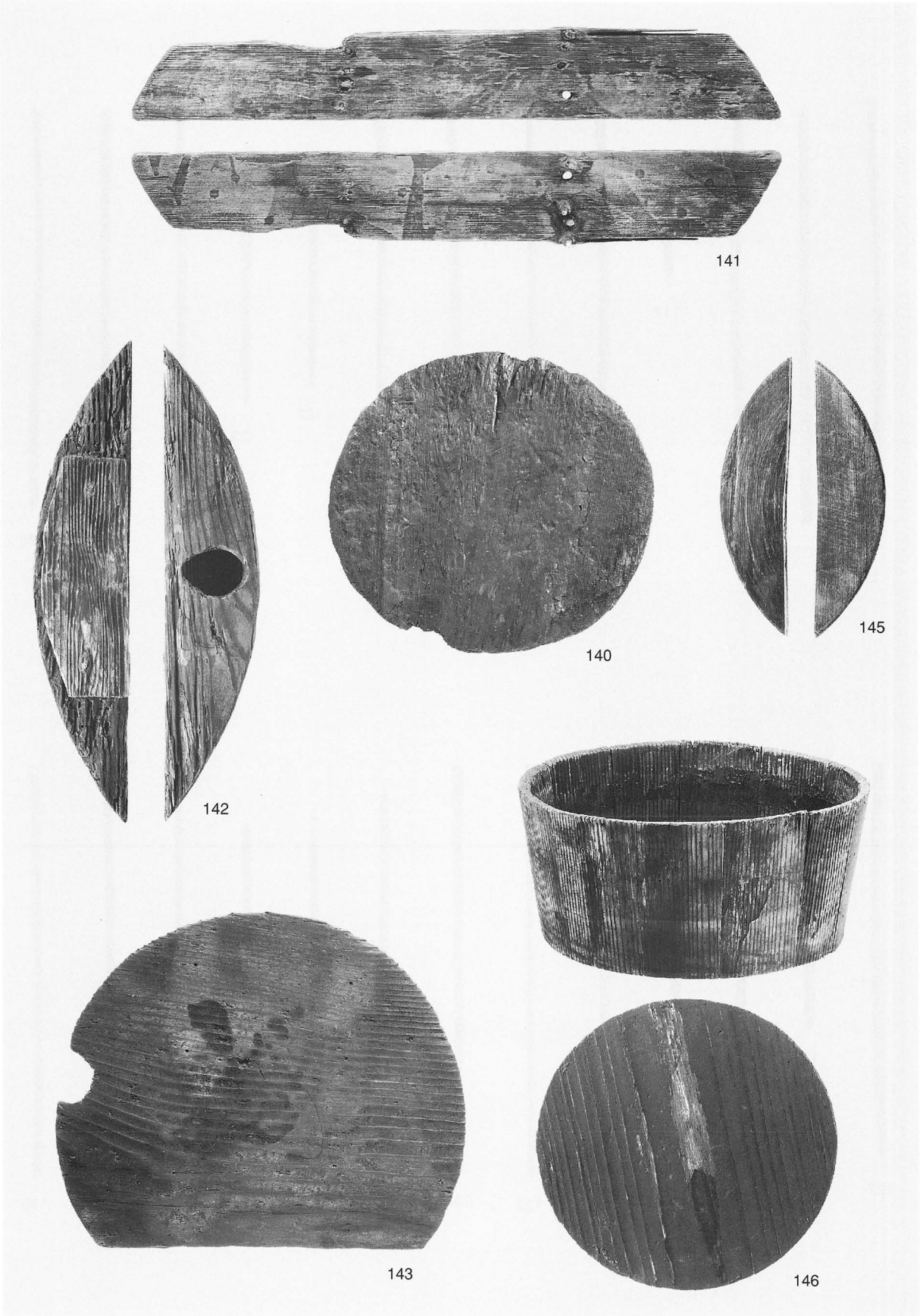


図版24　武家屋敷地区第７地点出土曲物・箸（1）　S＝1：3

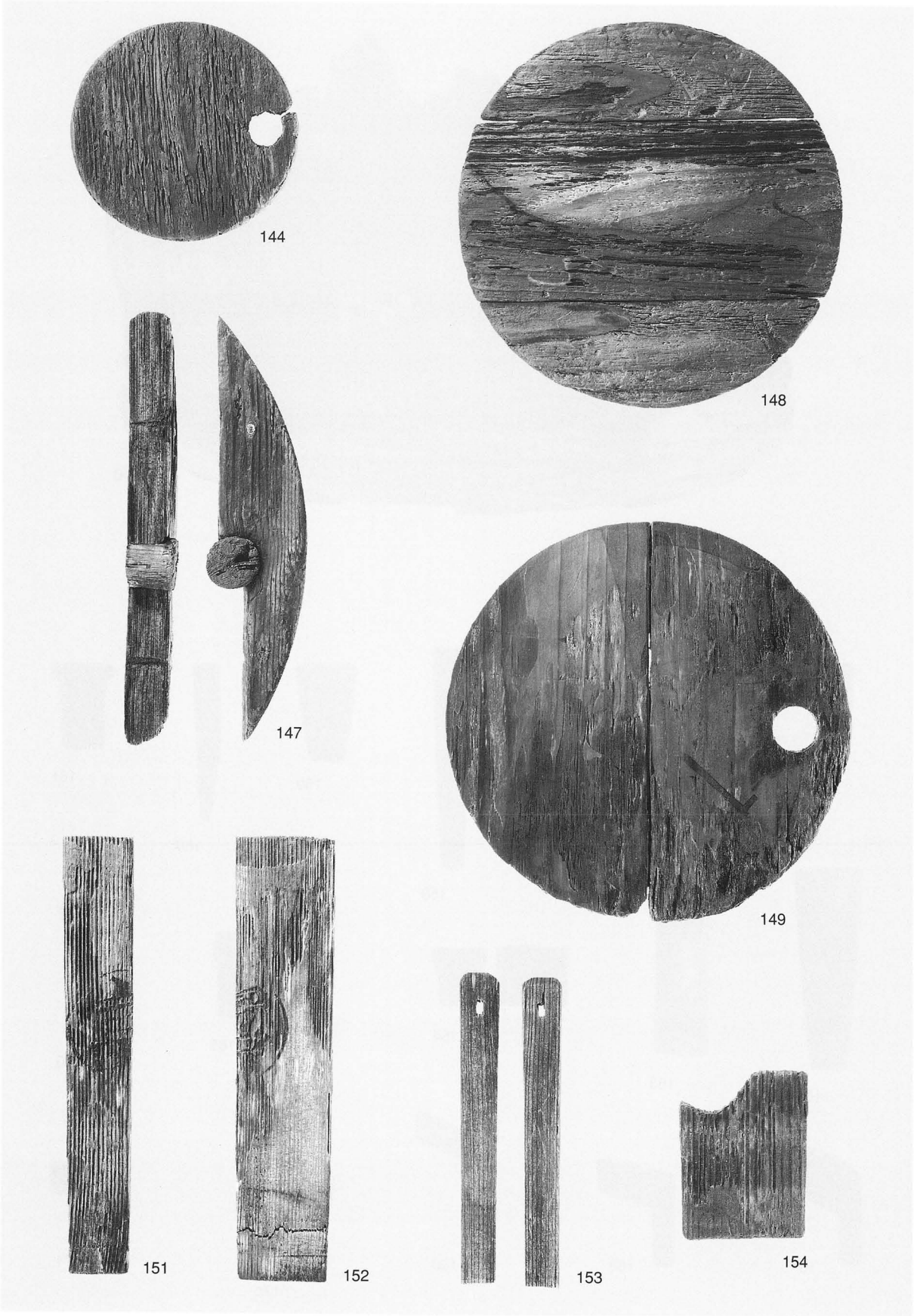
Pl.24　Round vessels by bending and securing a thin sheet of cypress wood and wooden chopsticks from BK7



図版25　武家屋敷地区第７地点出土箸（2）　S＝1：3
Pl.25　Wooden chopsticks from BK7

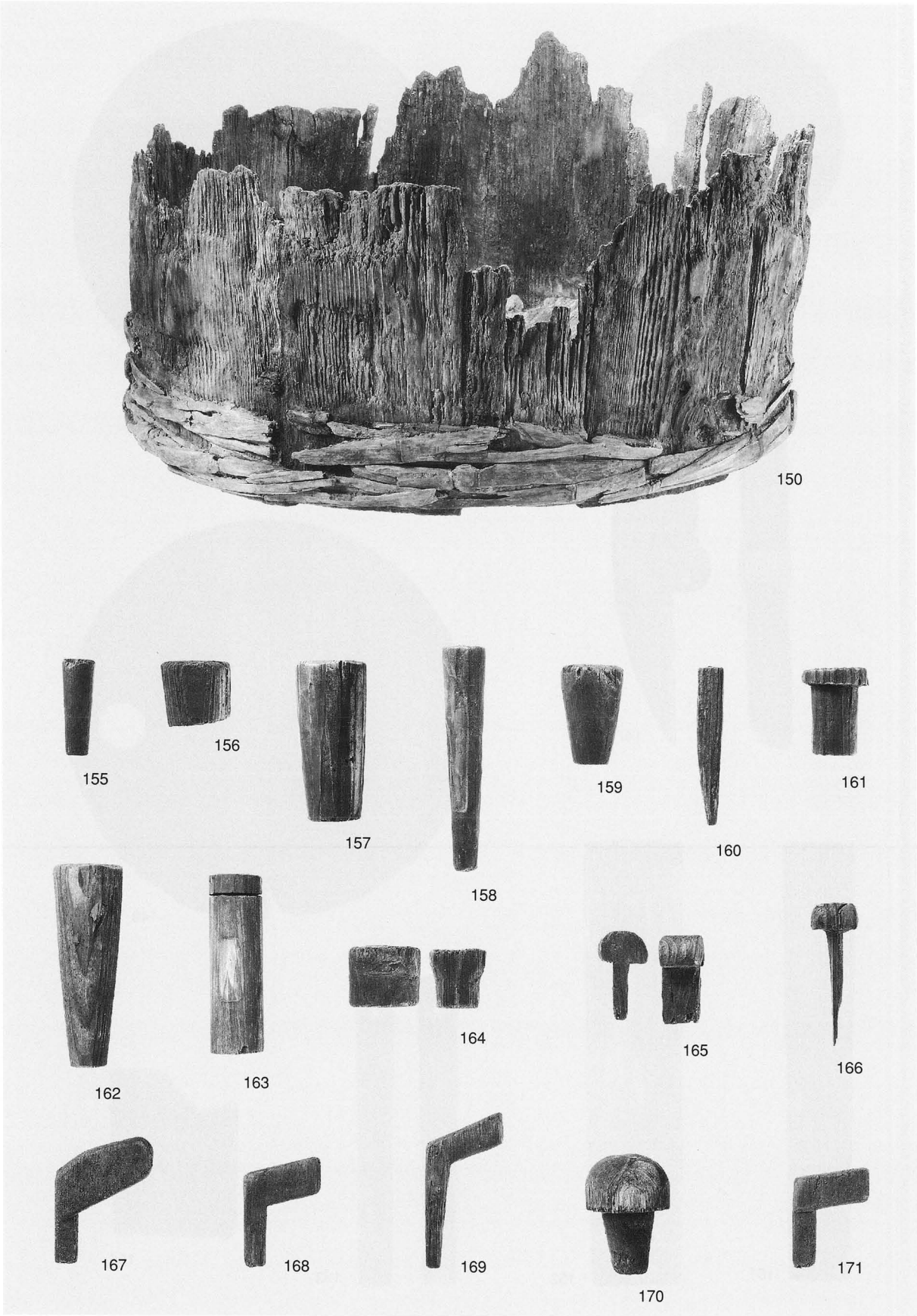


図版26　武家屋敷地区第７地点出土桶類（1）　S＝1：4
Pl.26　Various wooden tubs from BK7（1）



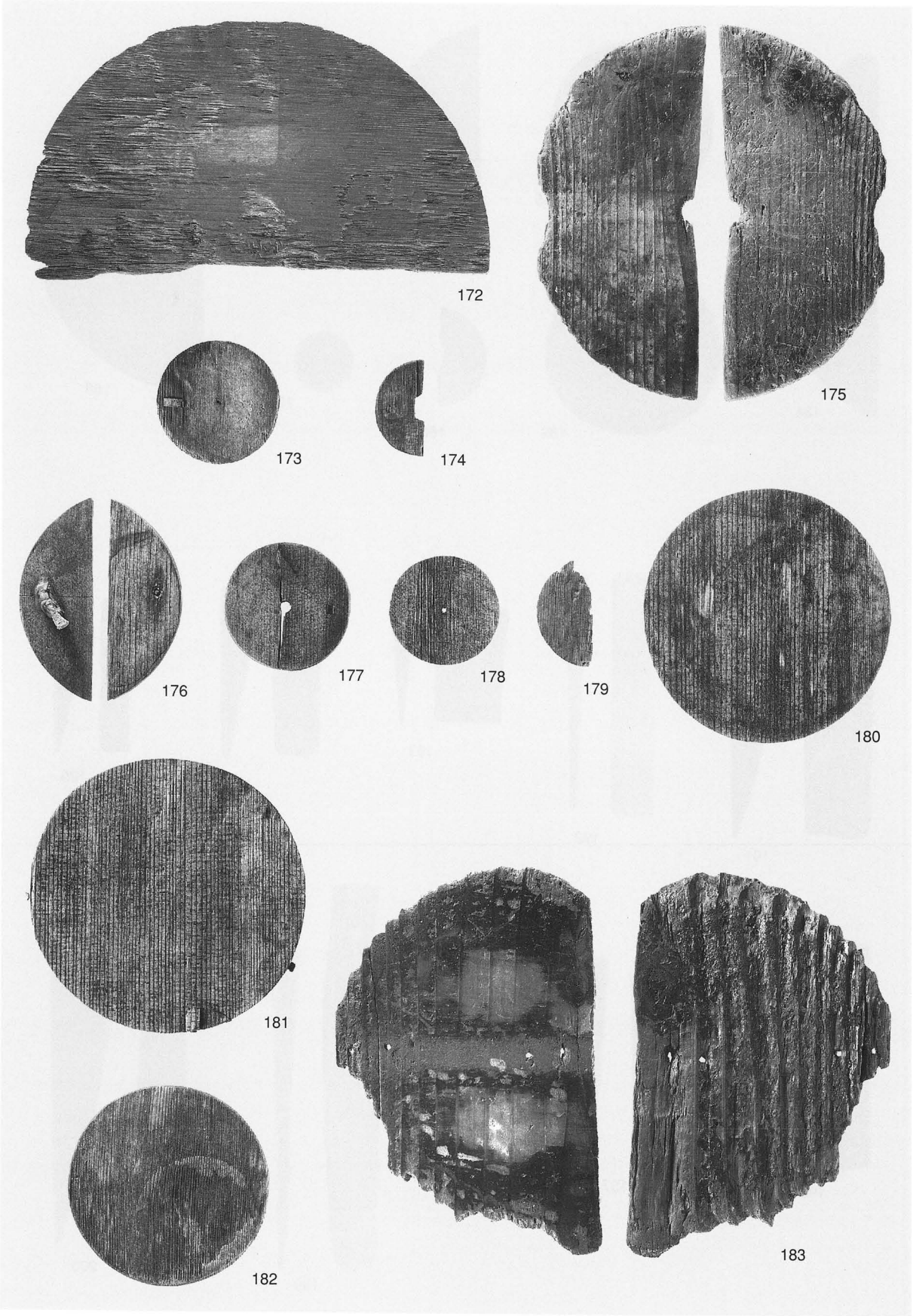
図版27　武家屋敷地区第７地点出土桶類（2）
Pl.27　Various wooden tubs from BK7（2）

S＝1：4

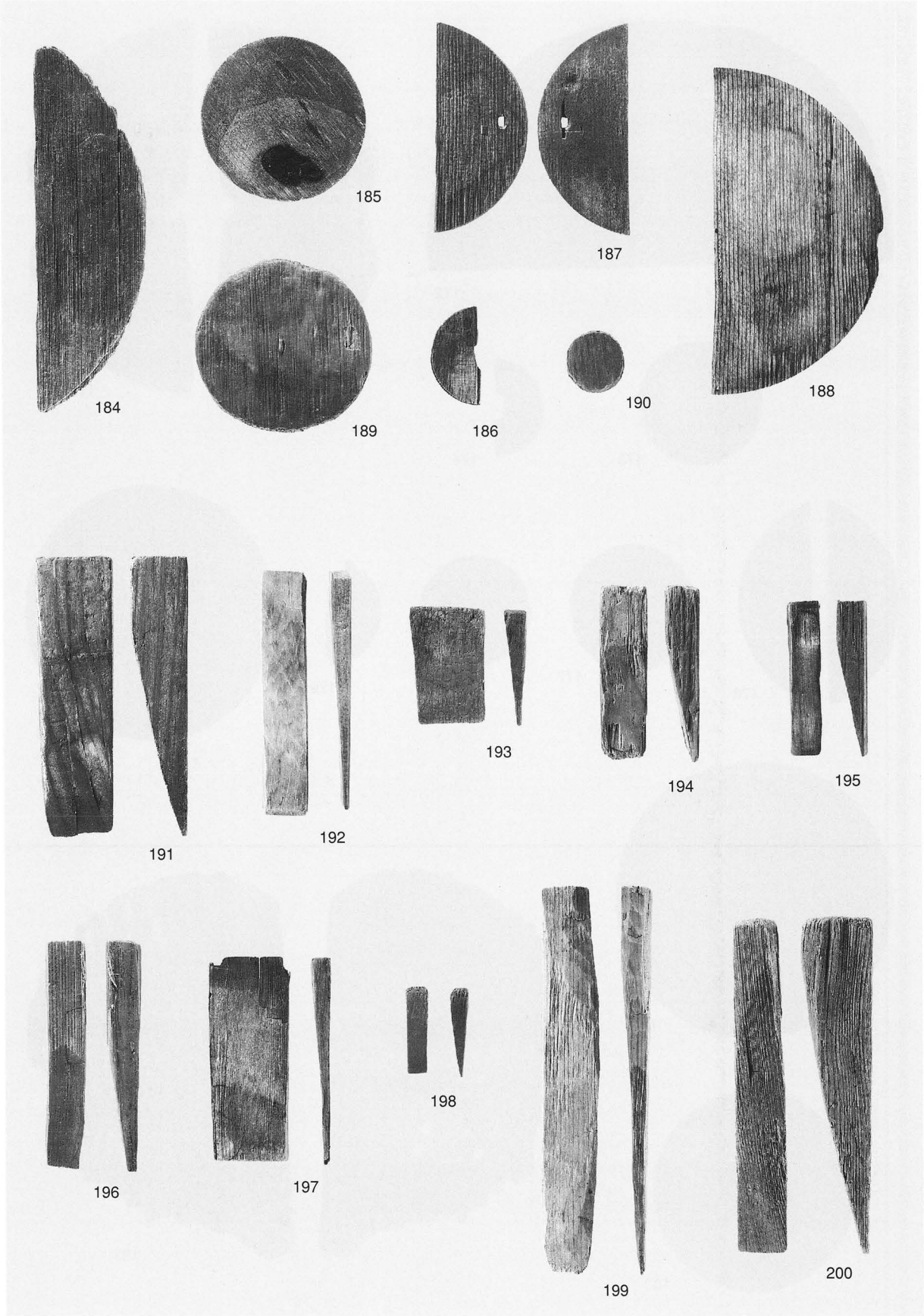


図版28　武家屋敷地区第７地点出土桶類（3）・栓
Pl.28　Various wooden tubs and wooden plugs from BK7

150　S＝1：4
155～171　S＝1：3

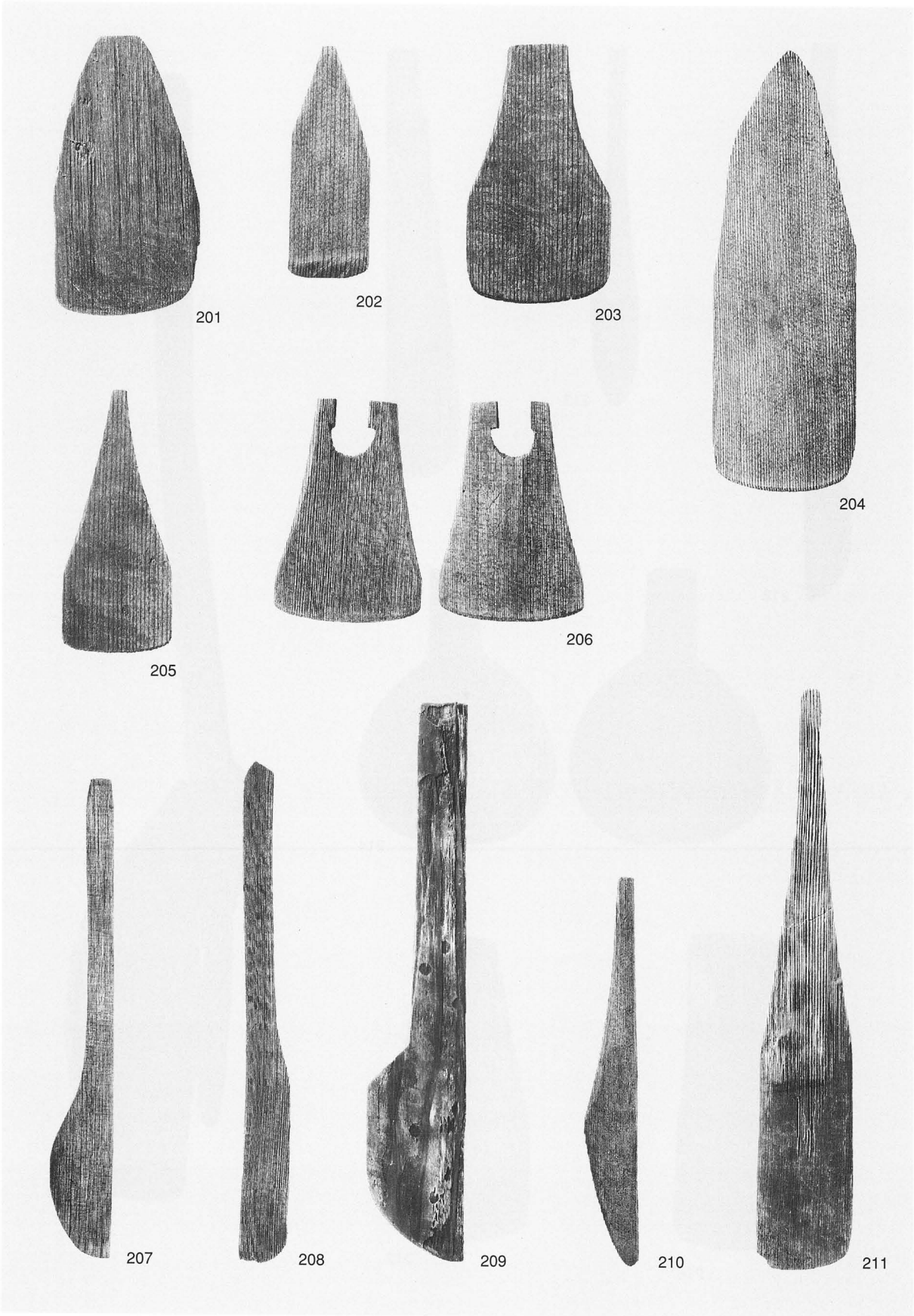


図版29　武家屋敷地区第７地点出土円板状木製品（1）　S＝1：3
Pl.29　Wooden implements shaped round plate from BK7

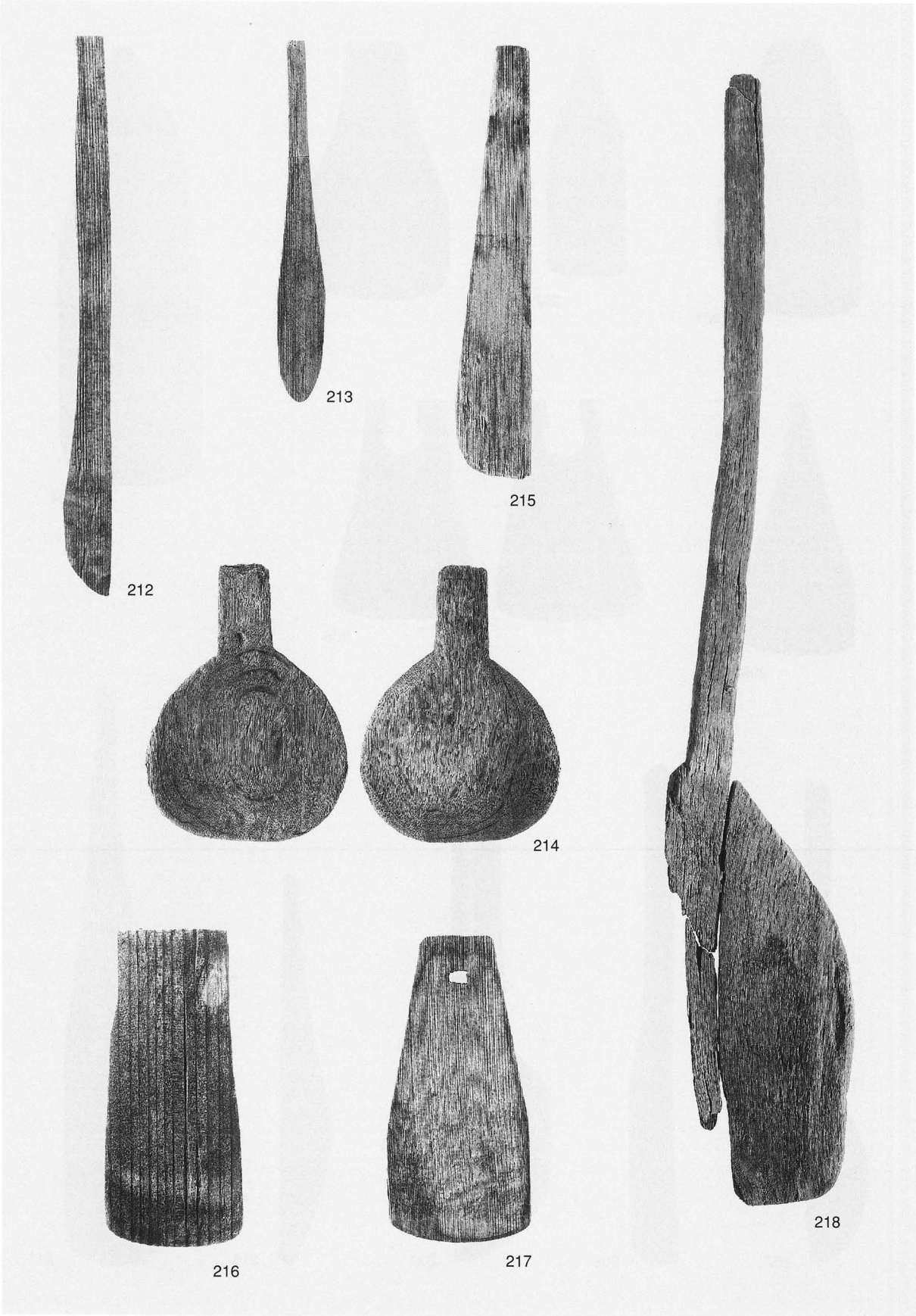


図版30　武家屋敷地区第７地点出土円板状木製品（2）・楔　S＝1：3

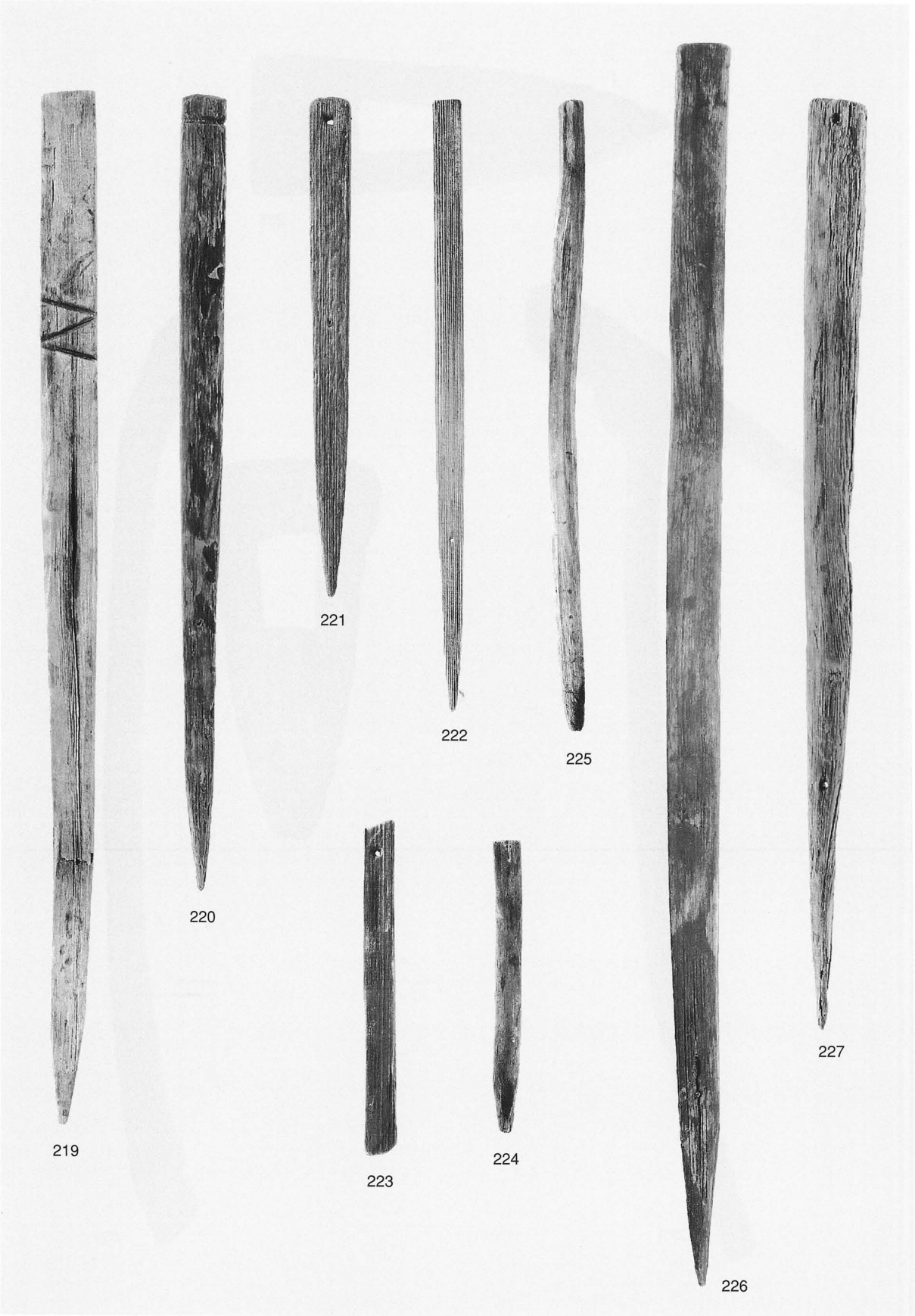
Pl.30　Wooden implements shaped round plate and wooden implements shaped wedge from BK7



図版31　武家屋敷地区第７地点出土へら状木製品（1）　S＝1：3
Pl.31　Wooden spatulas from BK7（1）



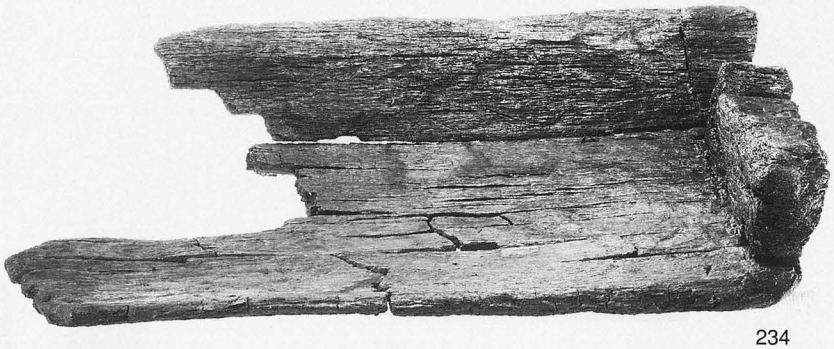
図版32　武家屋敷地区第７地点出土へら状木製品（2）　S＝1：3
Pl.32　Wooden spatulas from BK7（2）



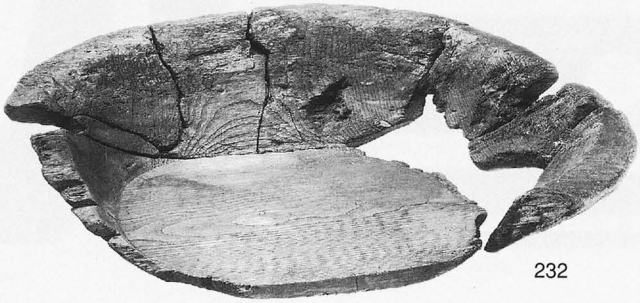
図版33　武家屋敷地区第７地点出土柄状木製品　S＝1：3
Pl.33　Wooden handles from BK7

図版34　武家屋敷地区第７地点出土鍬　S＝1：5
Pl.34　Wooden hoes from BK7

231



234

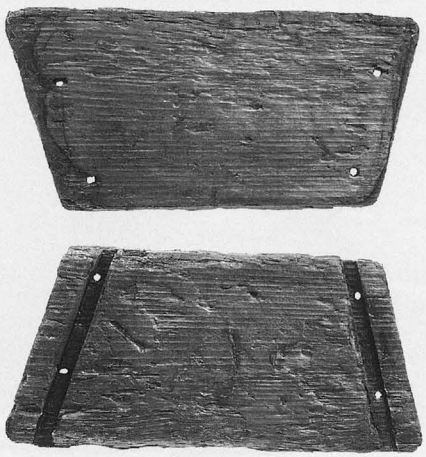


232

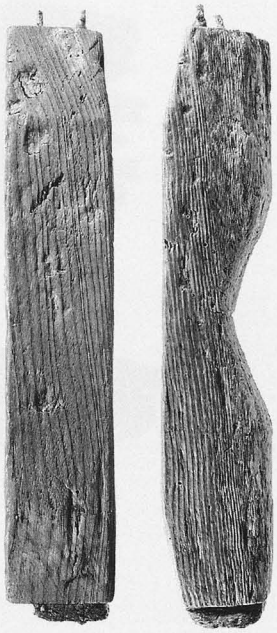
233

図版35　武家屋敷地区第７地点出土槽・刳物　　231・232・234　S＝1：6
Pl.35　Wooden troughs from BK7　　233　S＝1：3

235

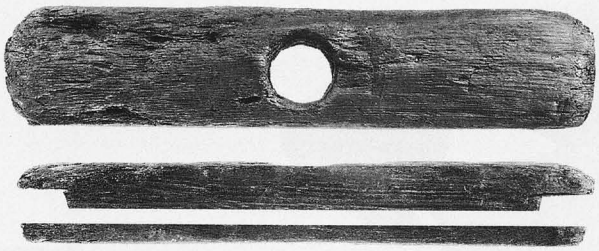


236



239

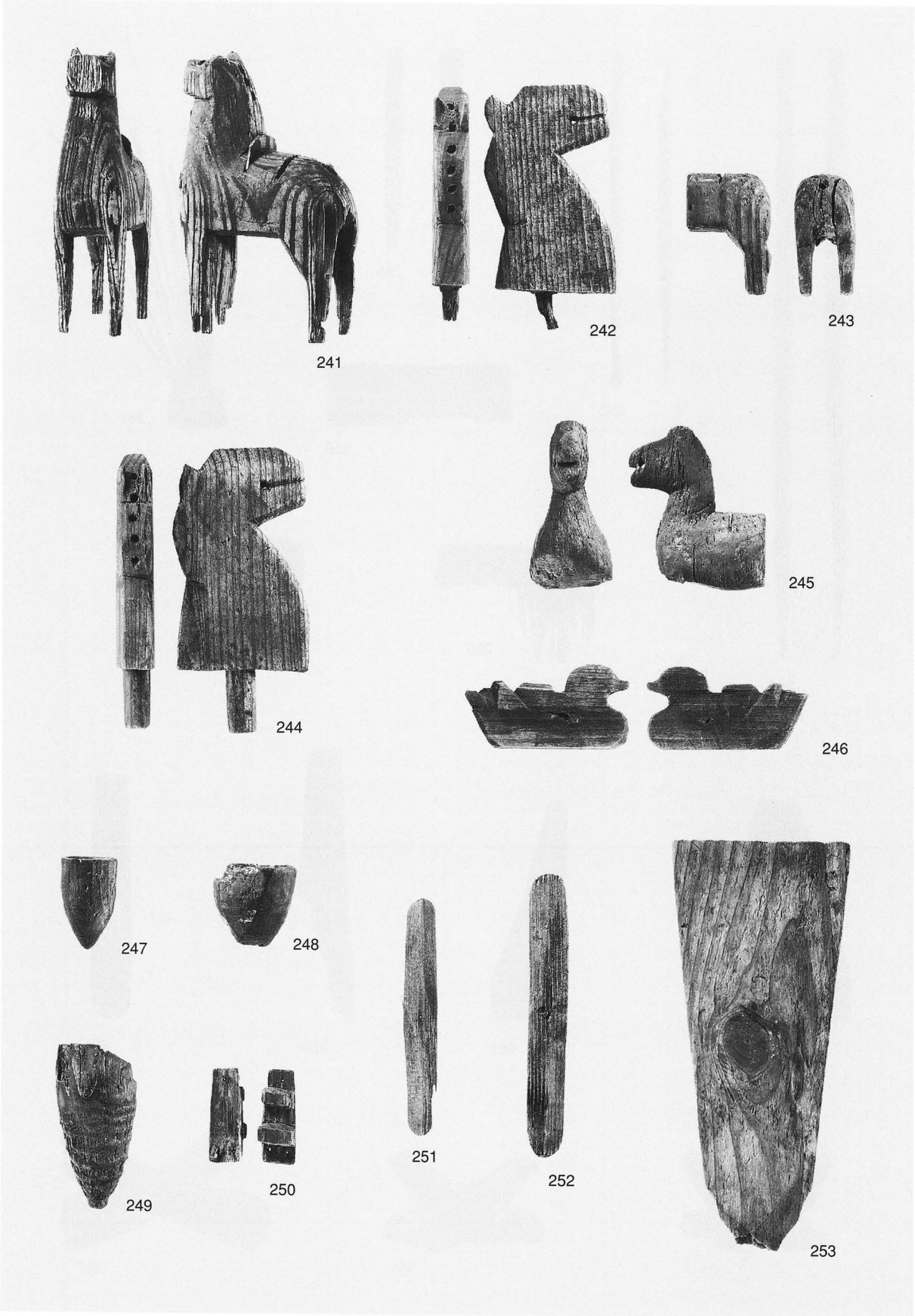
237



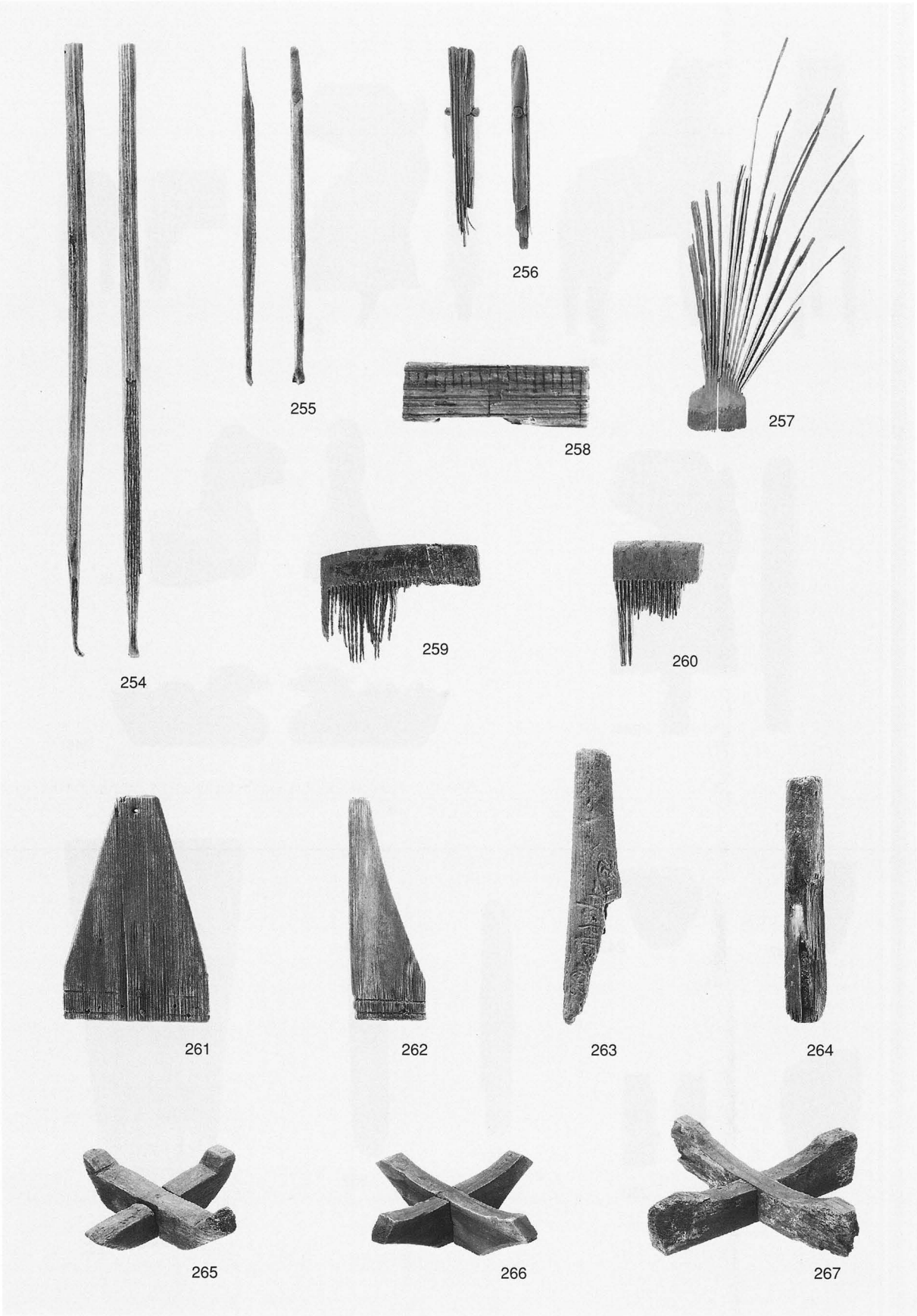
238

240

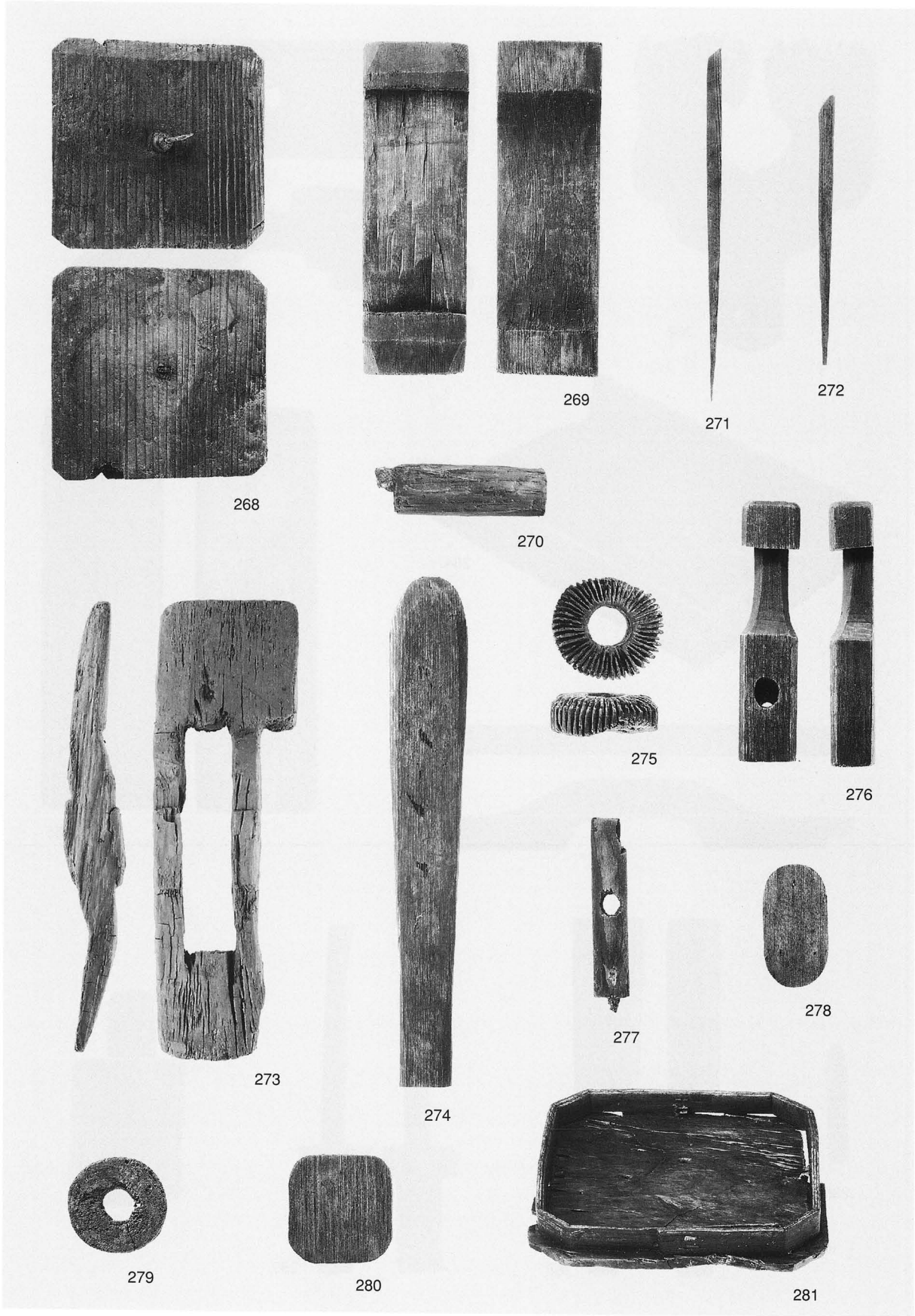
図版36　武家屋敷地区第７地点出土その他の木製品（1）　S＝1：4
Pl.36　Various wooden implements from BK7（1）



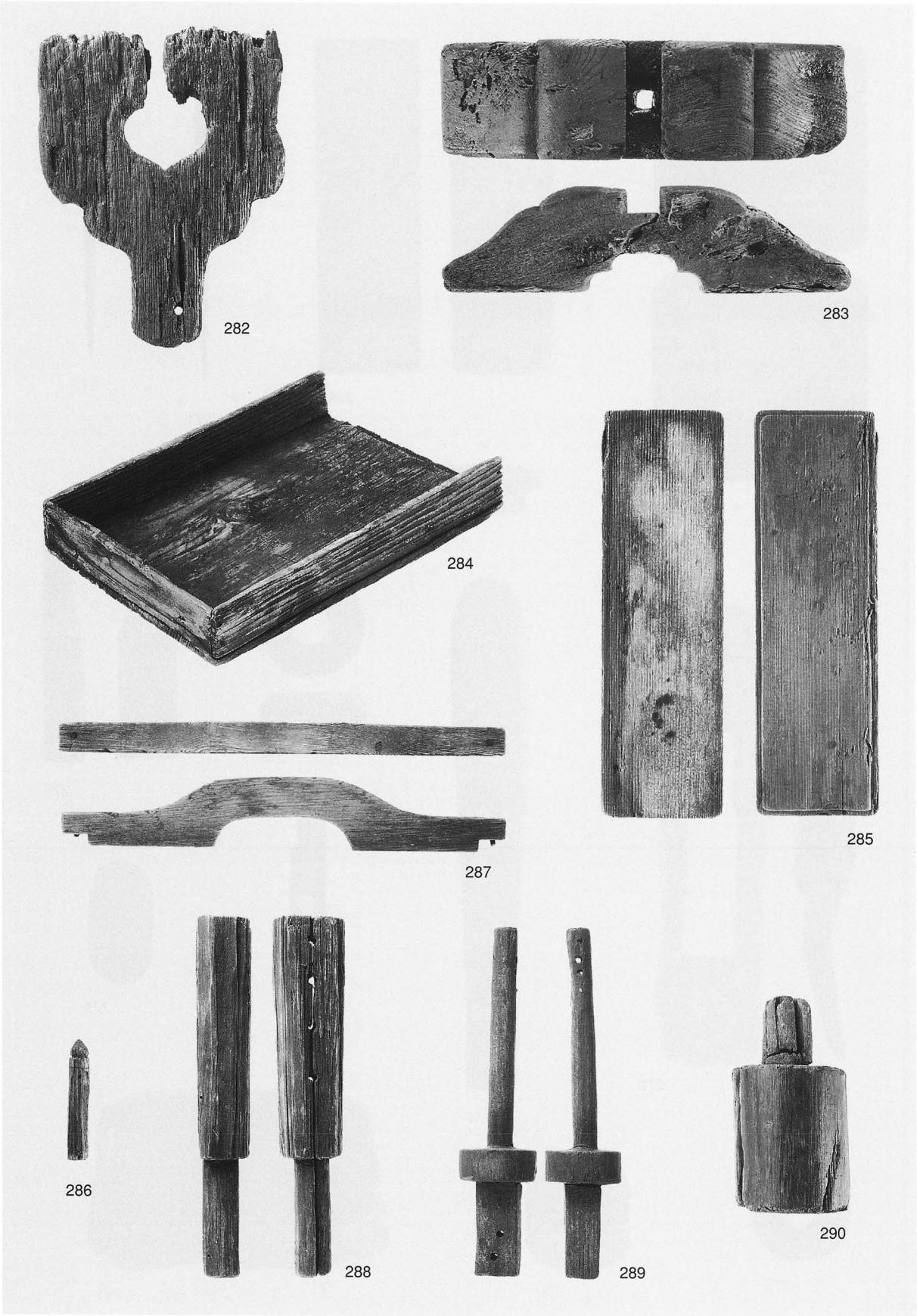
図版37　武家屋敷地区第７地点出土その他の木製品（2）　S＝1：3
Pl.37　Various wooden implements from BK7（2）



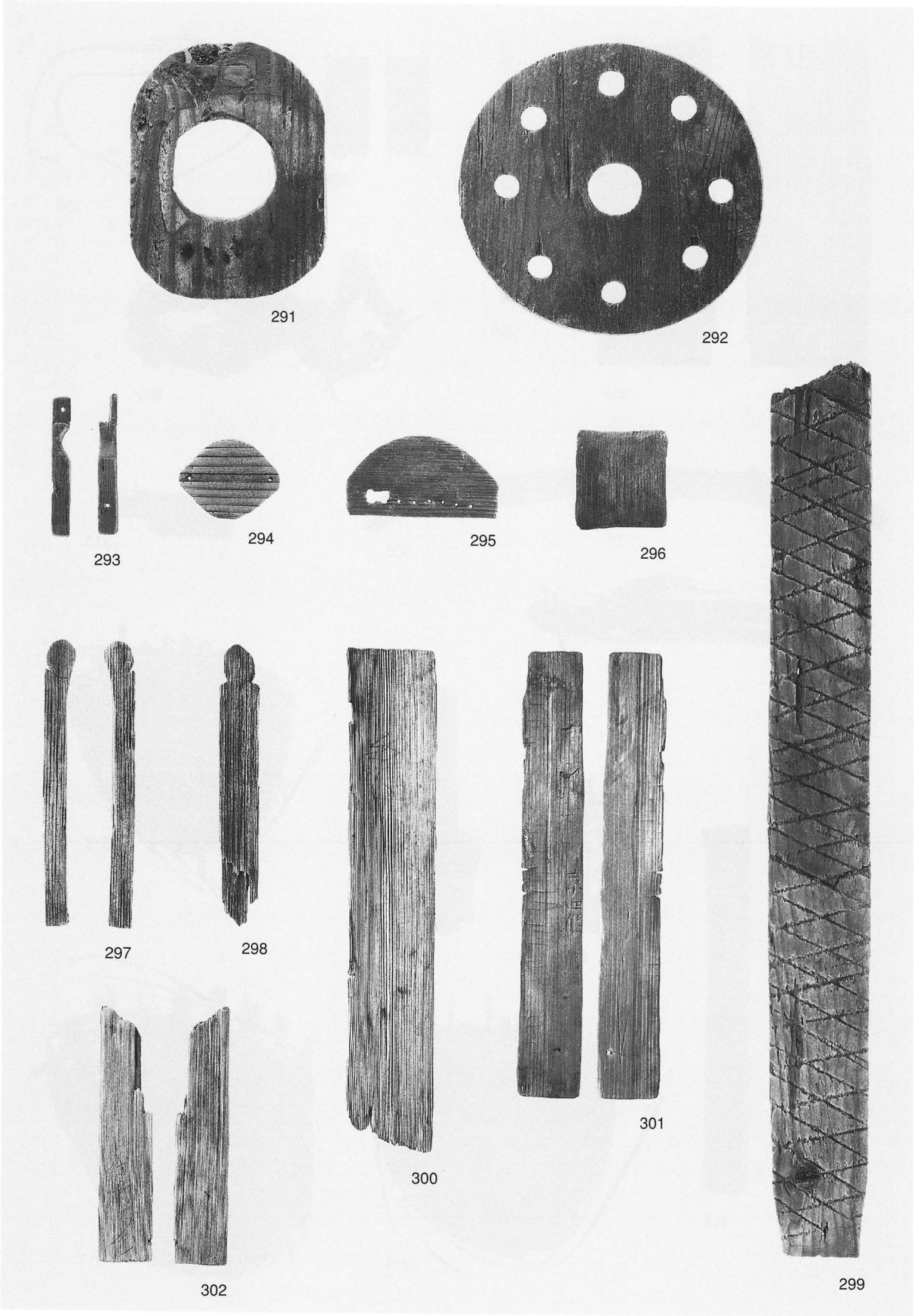
図版38　武家屋敷地区第７地点出土その他の木製品（3）　254～260　S＝1：2
Pl.38　Various wooden implements from BK7（3）　261～267　S＝1：3



図版39　武家屋敷地区第７地点出土その他の木製品（4）　S＝1：3
Pl.39　Various wooden implements from BK7（4）

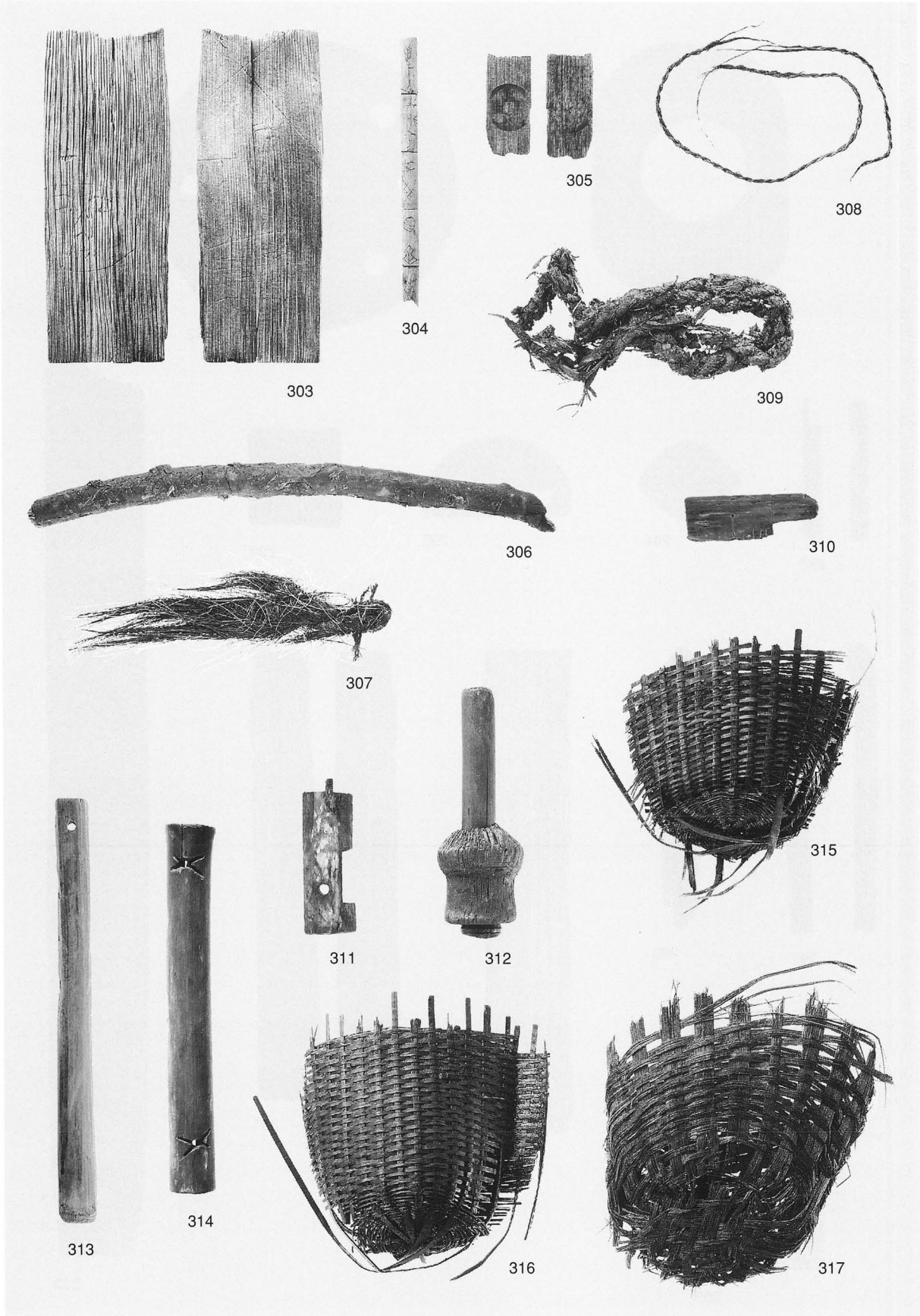


図版40　武家屋敷地区第７地点出土その他の木製品（5）　S＝1：3
Pl.40　Various wooden implements from BK7（5）

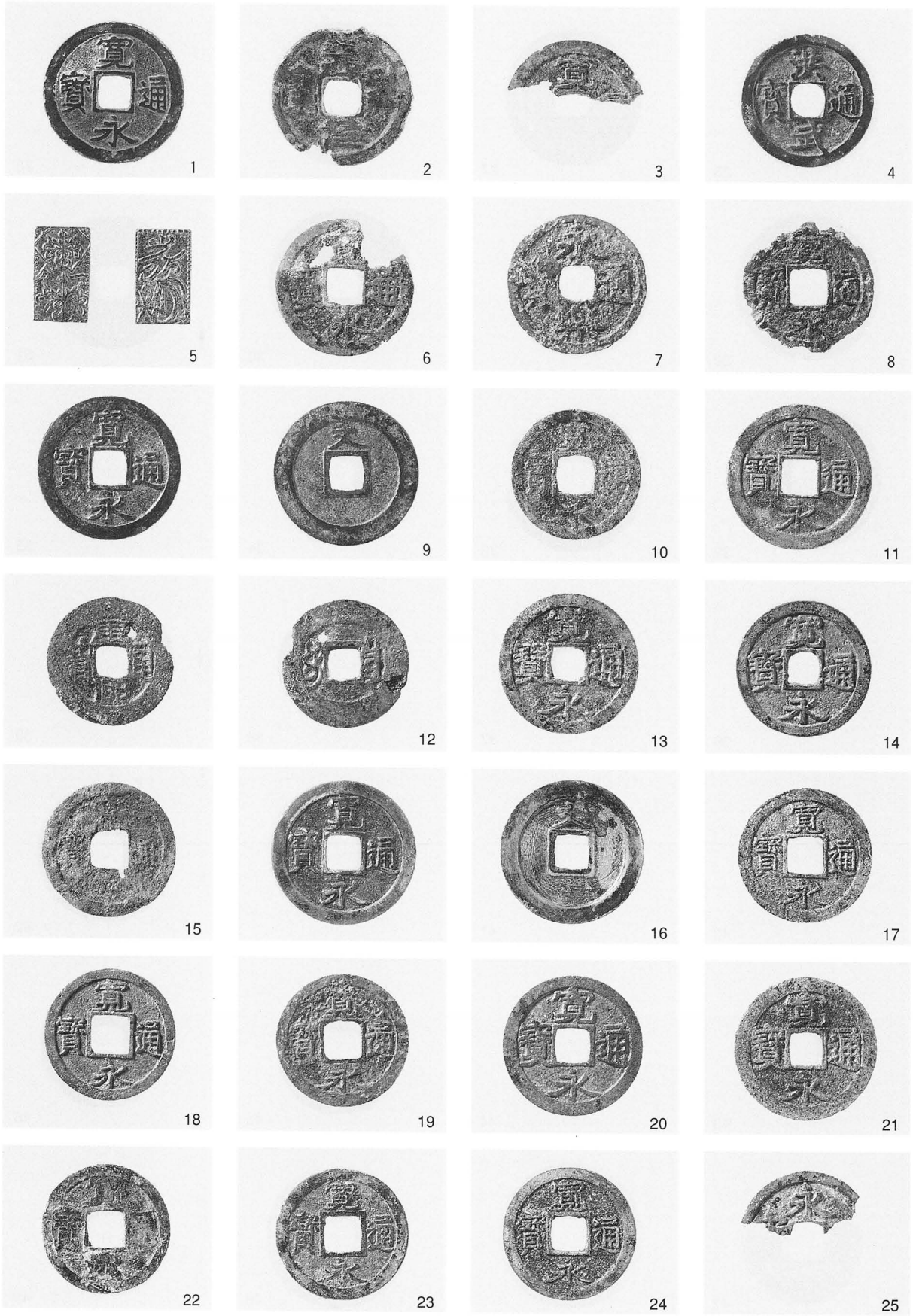


図版41　武家屋敷地区第７地点出土その他の木製品（6）
Pl.41　Various wooden implements from BK7（6）

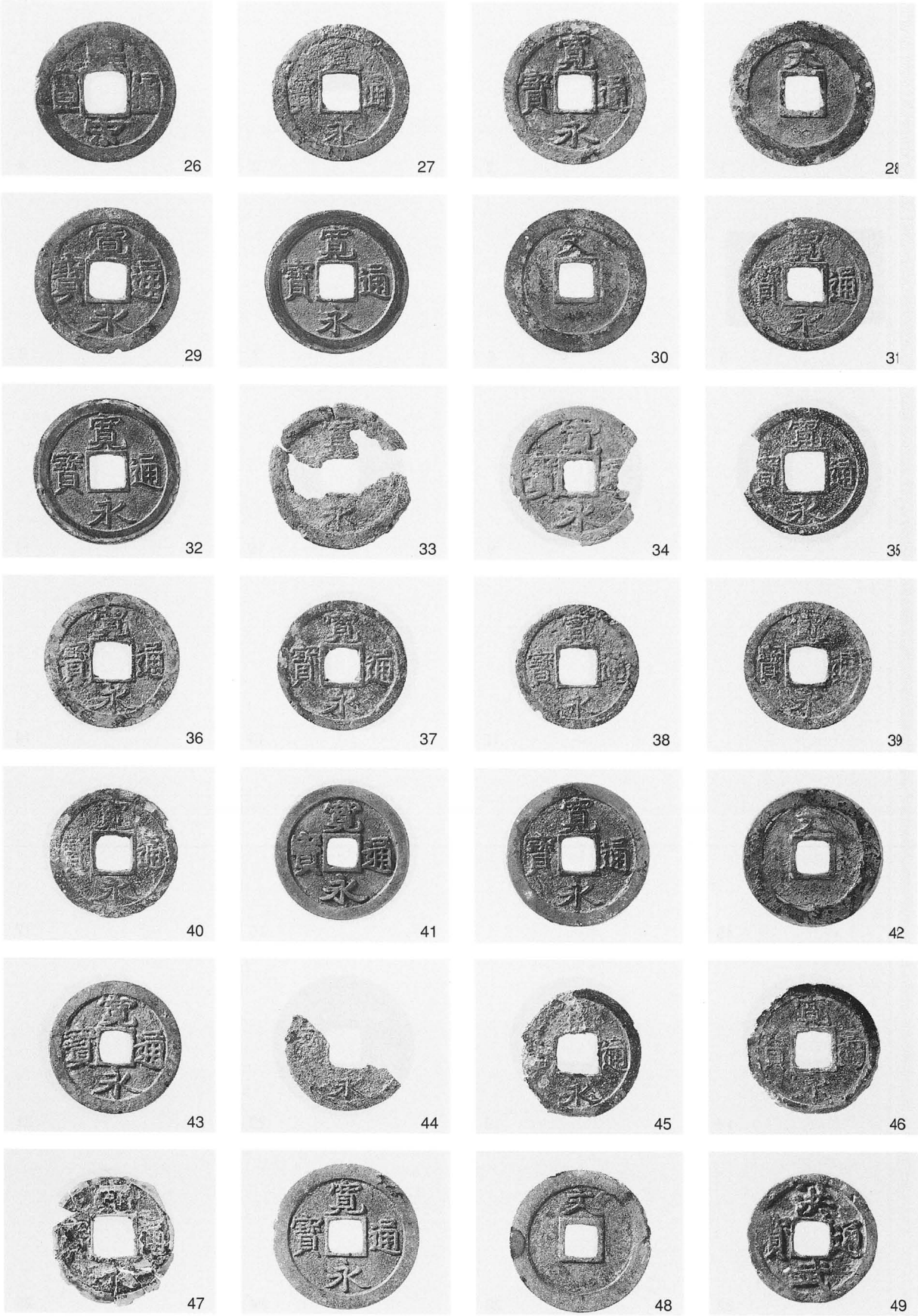
S＝1：3



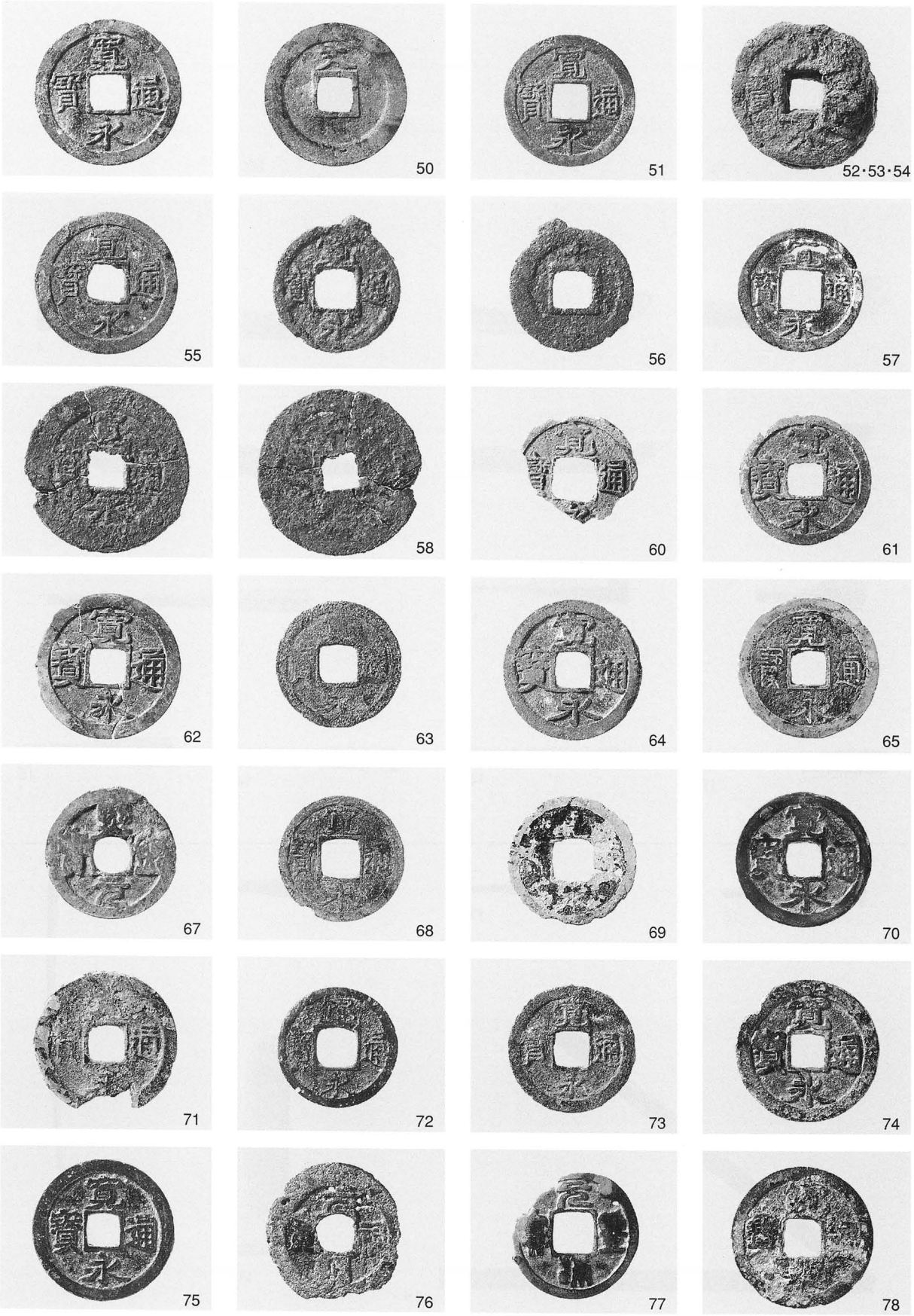
図版42　武家屋敷地区第７地点出土その他の木製品（7）・竹製品　　310　S＝1：2
Pl.42　Various wooden implements and various bamboo implements from BK7　　310以外　S＝1：3



図版43　武家屋敷地区第７地点出土古銭（1）　S＝1：1
Pl.43　Coins from BK7（1）

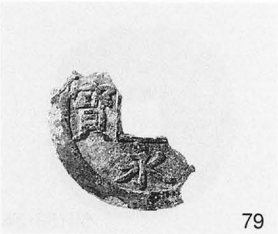


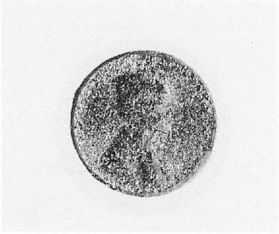
図版44　武家屋敷地区第７地点出土古銭（2）　S＝1：1
Pl.44　Coins from BK7（2）

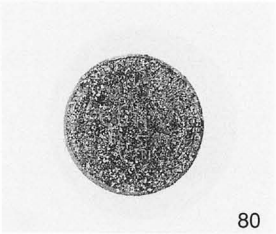


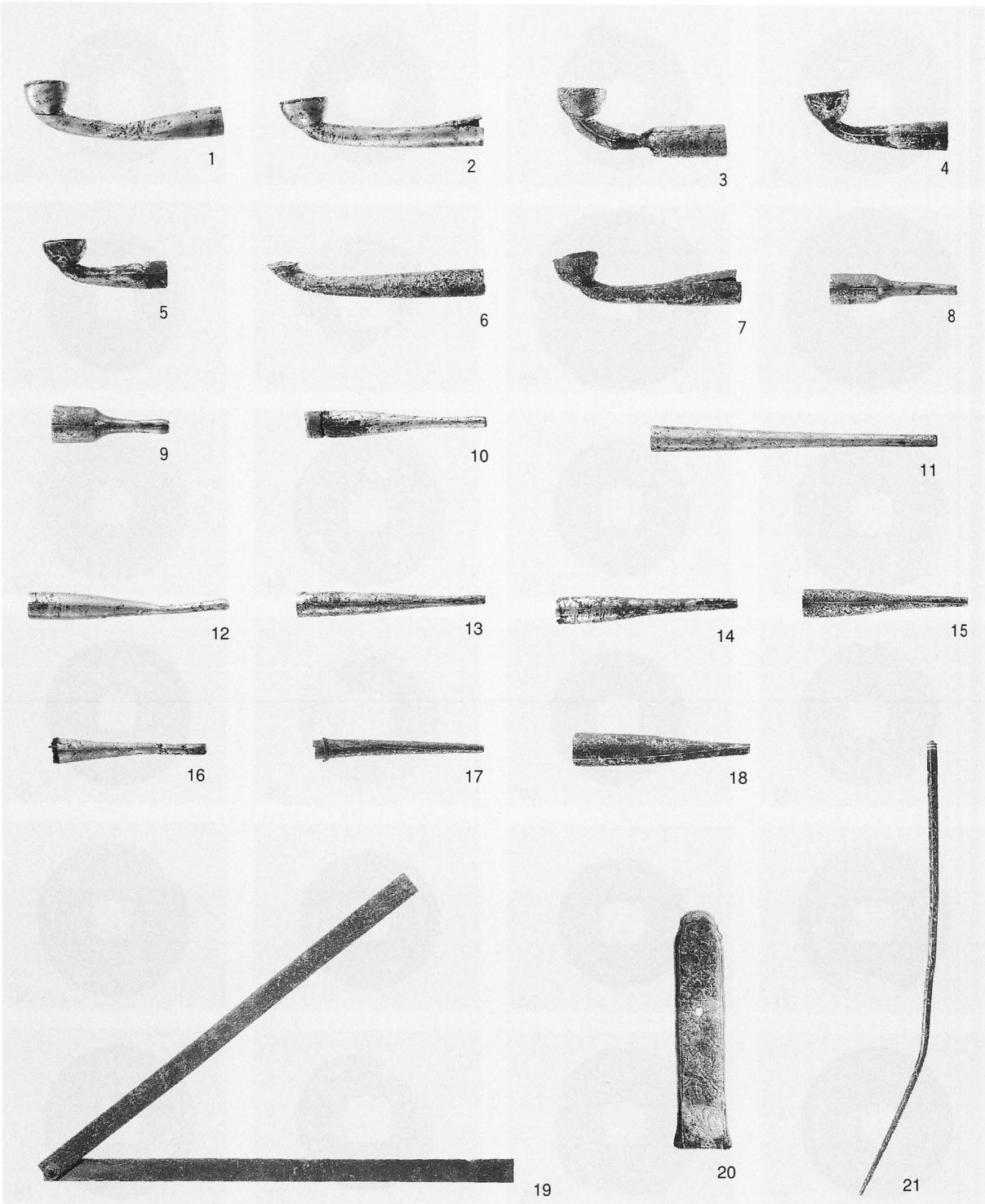
図版45　武家屋敷地区第７地点出土古銭（3）
Pl.45　Coins from BK7（3）

S＝1：1

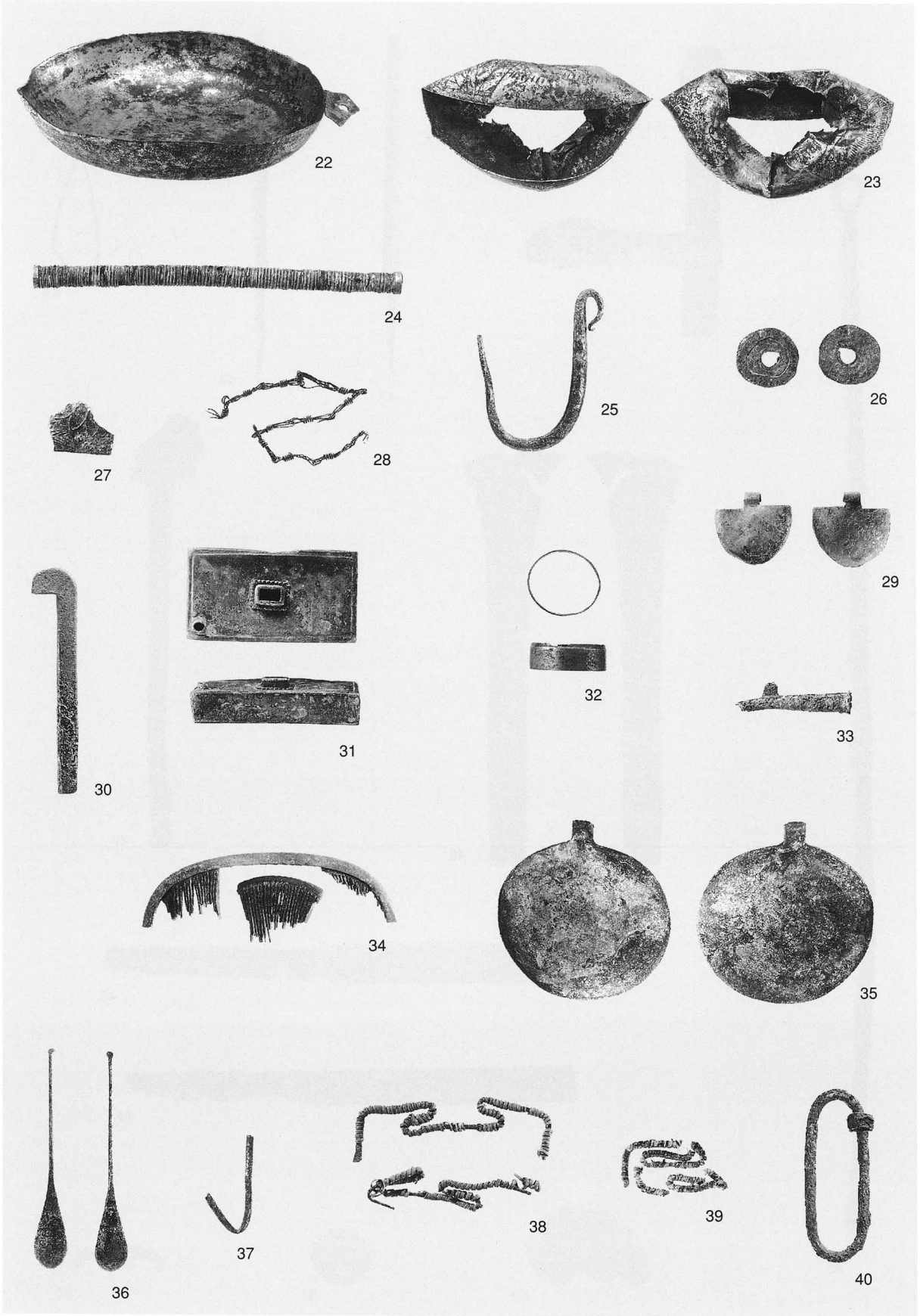




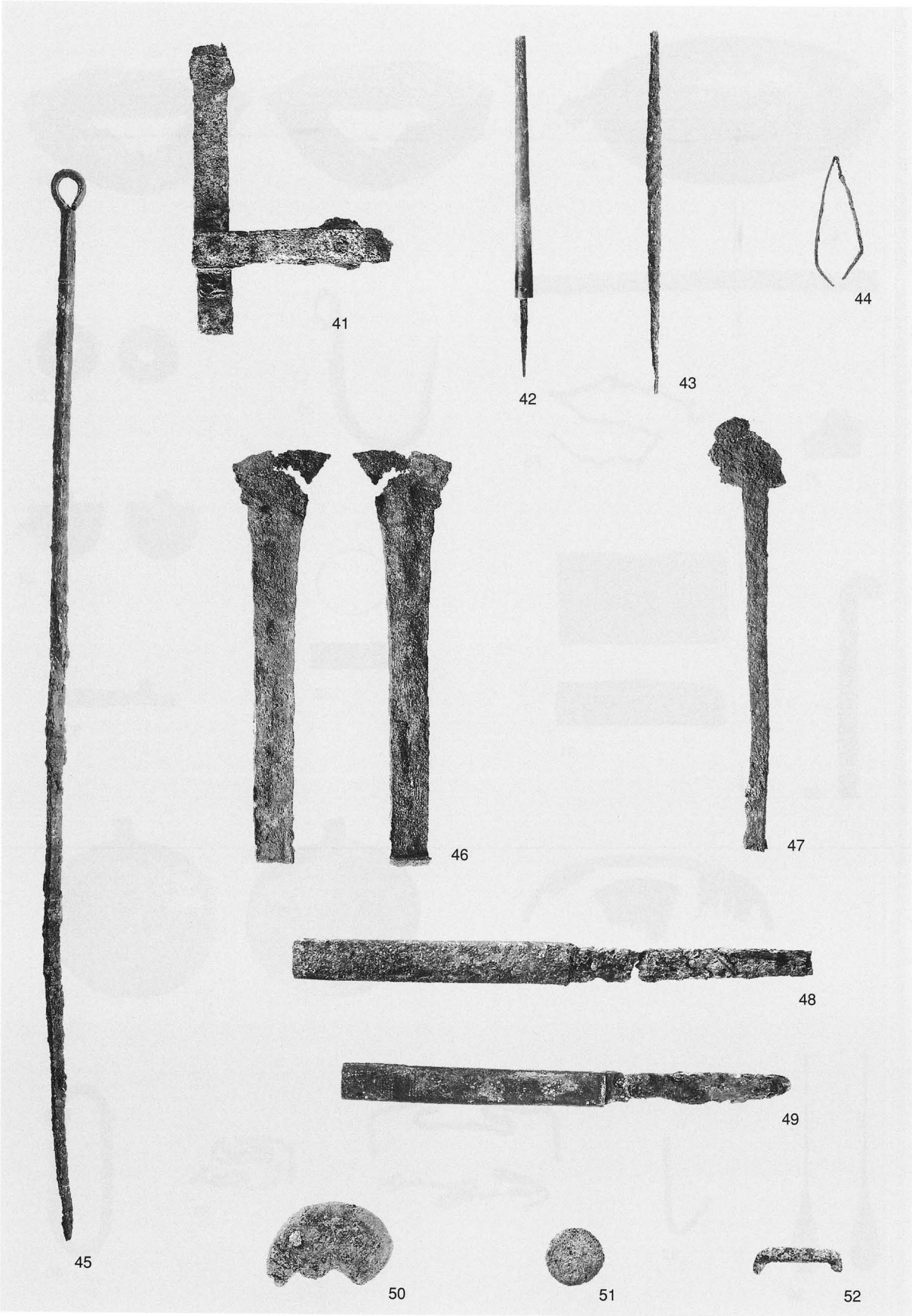




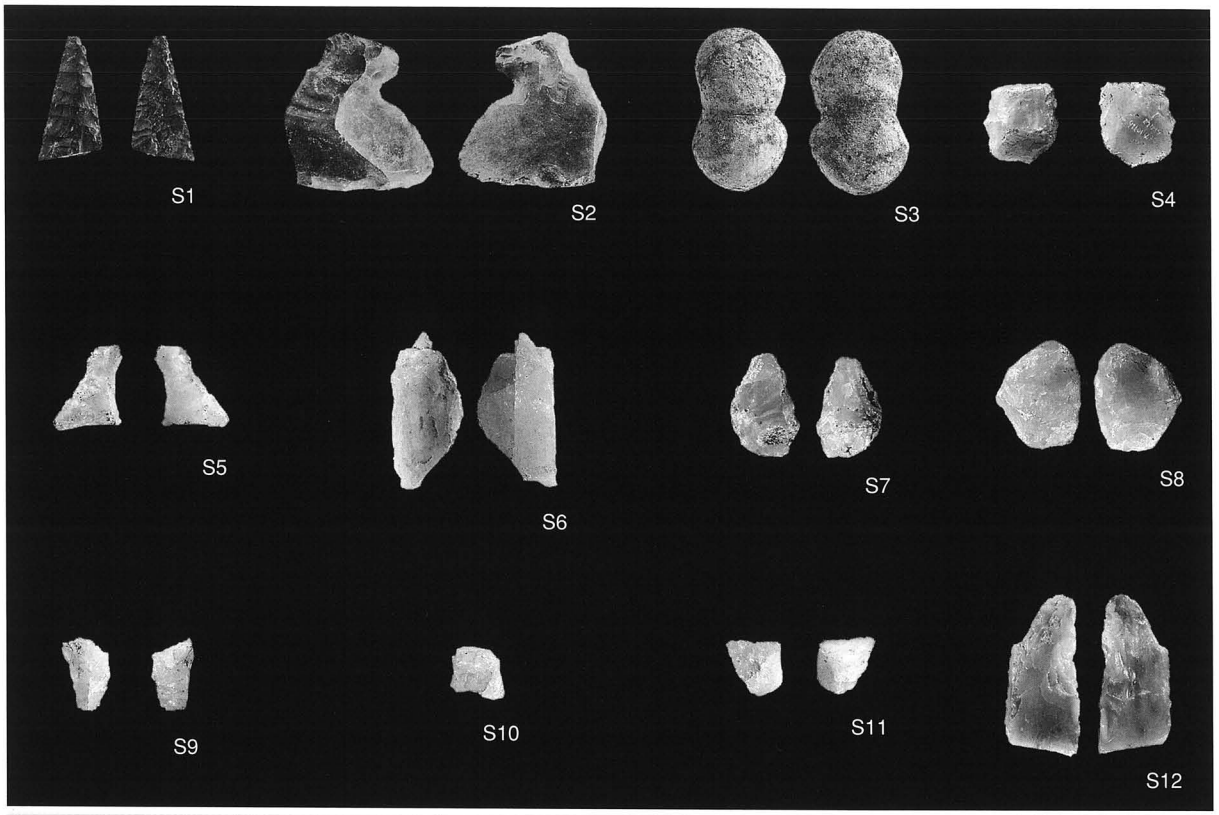
図版46　武家屋敷地区第７地点出土古銭（4）・煙管・その他の金属製品（1）　79・80　S＝1：1
Pl.46　Coins, pipes and various metal implements from BK7　1～21　S＝1：2

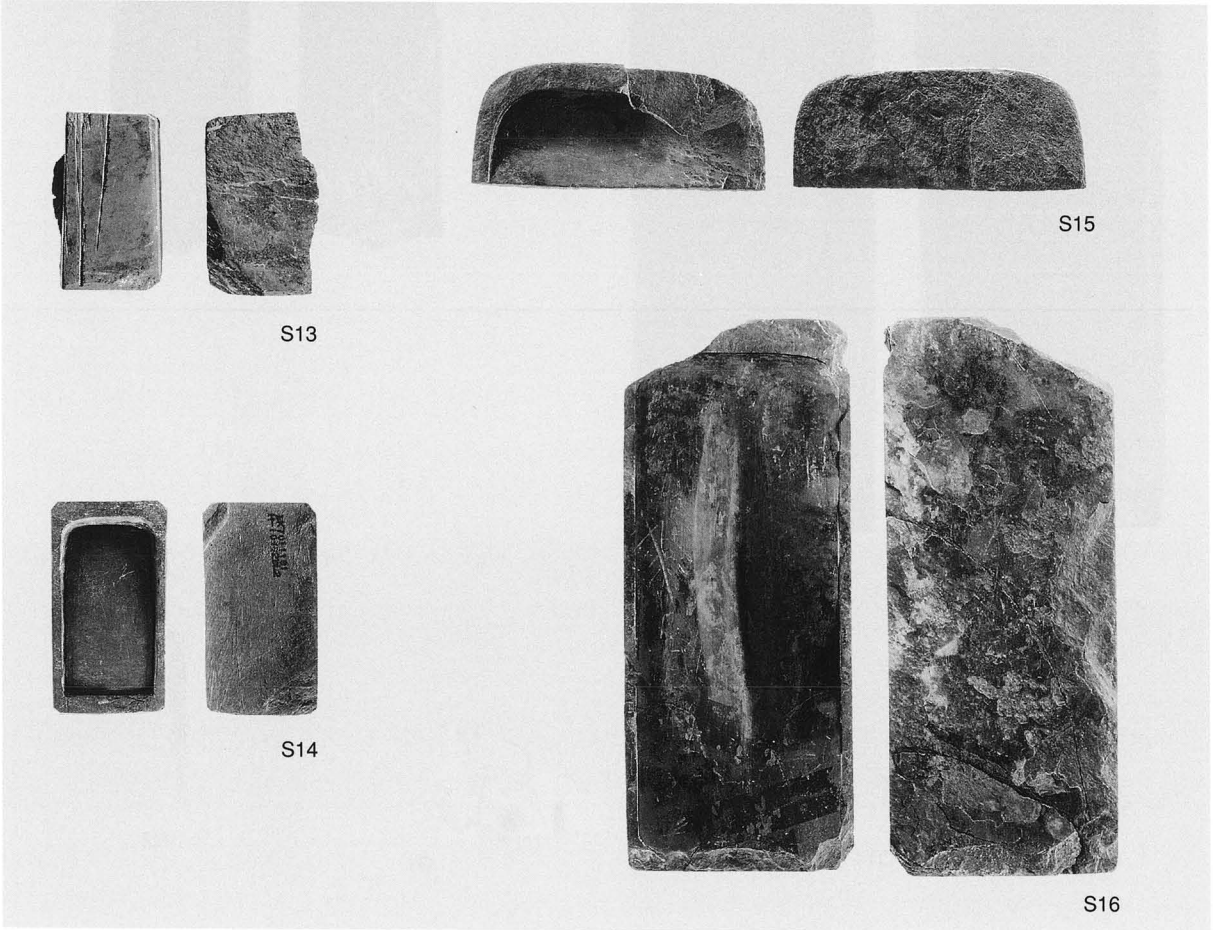


図版47　武家屋敷地区第７地点出土その他の金属製品（2）　S＝1：2
Pl.47　Various metal implements from BK7



図版48　武家屋敷地区第７地点出土その他の金属製品（3）　S＝1：2
Pl.48　Various metal implements from BK7



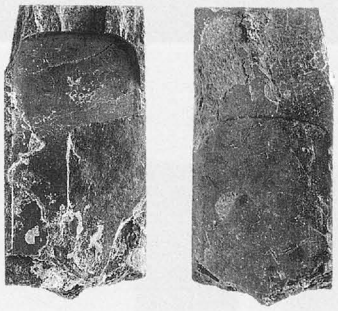


図版49　武家屋敷地区第７地点出土石器・石製品（1）　S＝1：2
Pl.49　Stone tools and stone-made objects from BK7（1）

S17

S18

S19



S20

OT1

G1

G2

図版50　武家屋敷地区第７地点出土石製品（2）・その他の遺物　　S17～20　S＝1：2
Pl.50　Stone-made objects and the other implements from BK7　　OT1、G1、G2　S＝1：1

報告書抄録

ふりがな	とうほくだいがくまいぞうぶんかざいちょうさねんぽう
書名	東北大学埋蔵文化財調査年報
副書名	
巻次	19
シリーズ名	
シリーズ番号	
編著者名	阿子島香・藤沢　敦・柴田恵子・高木暢亮
編集機関	東北大学埋蔵文化財調査室
所在地	〒980-8577　宮城県仙台市青葉区片平二丁目１－１　TEL022-217-4995
発行年月日	西暦2008年３月31日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯 (世界測地系)	東経 (世界測地系)	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
仙台城 武家屋敷跡	宮城県 仙台市 青葉区川内41	04100	01033	38° 15′ 32″	140° 50′ 57″	2001.5.7～11.23	810	マルチメディア 総合研究棟 新営

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
仙台城跡 二の丸北方 武家屋敷地区	城館	近世	石垣・溝・ ピット	陶磁器・瓦・ 金属製品・土製品・ 木製品・木簡・石製品	

東北大学埋蔵文化財調査年報19　第４分冊

平成20年３月31日

発行　東北大学埋蔵文化財調査室
〒980-8577 仙台市青葉区片平２丁目１－１
東北大学生命科学研究科内
ＴＥＬ　022（217）4995

印刷　株式会社　東　北　プ　リ　ン　ト
ＴＥＬ　022（263）1166